

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

7 vol.1



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

7 vol.1

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

地区ガバナー就任のご挨拶	1
岡部泰鑑ガバナー プロフィール	3
松本新太郎 直前ガバナーへの感謝の言葉	4
カルヤン・バネルジーRI 会長メッセージ	5
カルヤン・バネルジーRI 会長プロフィール	6
2011～2012年度のための「地区協議会を意義あるものに」	7
2011～2012年度 RI第2660地区 ガバナー補佐の紹介	8～11
国際ロータリー第2660地区 2011～12年度予算	12～14
RI特別月間／RI第2660地区 年間カレンダー	15
主要報告書／報告書送付先及び送金先	16
主要送金	17
I.M.日程一覧表	18
ガバナー公式訪問日程	19
第2660地区 各RCホームページ・E-mailアドレス	20・21
災害支援プロジェクト／ガバナー会からの報告	22
敬弔／お知らせ	23
文庫通信	24
国際ロータリー第2660地区 組織図	25・26
国際ロータリー第2660地区 ロータリークラブ一覧表	27・28



ガバナー・ノミネーの指名から、ガバナー・エレクトを経て7月1日よりガバナーとなりました。

2011～12年度のカリヤン・バネジーRI会長（発音通りの表記）のメインテーマは“Reach Within to Embrace Humanity”すなわち『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』です。RI会長はインド出身の会長であり、宗教的意味合いを強く感じます。そこで、宗教的なお話をさせていただきますと、博愛はキリスト教では無償の愛だと思います。儒教の教えでは仁です。皆様よくご存知の医は仁術なりの仁です。己に克つ、欲望を抑える、他に対するいたわりのある心となります。仏教ではこの博愛は慈悲ということです。利己心のない愛、利己心のない愛を仏教では「慈悲」と呼んでいます。

まさしくインド人の会長の方針には仏教が宿っているテーマだと思います。

また、RI会長は、国際ロータリーの長期計画として、次のとおり3つの優先項目を発表されました。

3つの優先項目

1. クラブのサポートと強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する
- ・会員の多様性を増進する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における長期計画の立案を奨励する

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する
- ・以下の分野における奉仕の継続性を高める
 - ◎新世代奉仕プログラム
 - ◎ロータリー財団の6つの重点分野
 - (1) 平和と紛争予防／紛争解決
 - (2) 疾病予防と治療

(3) 水と衛生設備

(4) 母子の健康

(5) 基本的教育と識字率の向上

(6) 経済と地域社会の発展 → グローバル補助金・新世代奉仕

- ・他団体との協力やつながりを深める
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

3. 公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を推進する
- ・職業奉仕を強調する
- ・クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびに独自の主な活動について周知をはかるようクラブに奨励する

当地区の方針は『見直しをすすめ 新たな第一歩を』とし、見直しをもう一步進めることとし次の4つの強調事項を掲げます。

4つの強調事項

1. クラブのサポートと強化

- ・リーダーを育成する
入会間もない若い人達にロータリーを理解していただくため、入会歴も古く経験豊かなしかりとしたリーダーを置くこととしました。メークアップの積極的な活用をお願いしたい。
- ・ダイナミックな新クラブの結成
モーニング例会をするような新クラブの結成やクラブ同士の合併を考えているところは、機会を捉えて例会時間の変更を考える等、若い人の入りやすい新クラブの結成を考えてほしい。

2. 地区での人道的奉仕の重点化と増加について

RIでは2億ドルチャレンジというポリオの撲滅運動が進められています。私の年度でこれを終結するという目標としております。その為には今年度の寄付目標は各クラブ1人当たり3,000円（内半分をポリオ広報に利用）のご寄付をお願いしようと思っておりますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

3. 公共イメージと認知度の向上

・公共イメージの向上

来る7月18日にテレビ大阪特別番組の中に協賛の形でインドでのポリオワクチン接種活動が放映されます。これによりポリオイメージとロータリーのイメージの向上を図りたいと考えています。

・職業体験事業

中高生の若い方々にロータリアンの職場を知ってもらおうと考えています。現在、当地区では出前授業を行っていますが、今年度は中高生の職場体験事業、キャリア教育を考え、この活動を通じて若い人達の将来の目標達成に寄与したいと考えています。

4. 未来の夢計画 (Future Vision Plan)

2013年より財団の仕組みが変更され、補助金制度の活動が少々限定されます。夢計画がスタートしますと手続きが簡素化され、地区の裁量権がアップすることになり、煩わしさが減ってきます。すなわち、私達の奉仕の機会が広がり、ロータリー財団が自分達の財団であるというロータリアンの自覚をさらに養うことが出来ます。

さらに、ロータリー活動を重点分野に集中させることで、補助金の効果を高めることが出来ます。私達の年度はこの計画を十分に理解すべき1年だと思っておりますので、よろしくご理解下さい。

『**すすめ 新たな第一歩を**』を実施するための具体的な強調事項です。当地区会員の方々には、このテーマに沿った活動をお願いします。

東日本大震災の支援に向けての当地区の取組について

最後になりましたが、去る3月11日に発生した東日本大震災は国難と言えます。当地区全会員の知恵と活動を震災支援に向けていただきたいと思っております。WCS、MG、DDF、DSG等も全て（出来る限り）震災支援にご活用できるように知恵を絞っていただきたい。また、活動においては、地区でまとめて活動するのが良いのか、IM単位なのか、各クラブごとに考えていくのが良いのか等々を十二分に考えて活動をお願いしたい。

今回の震災の復興には長期間を要すると考えられることから、まずは、長期災害支援の為に（イ）地区として（仮称）災害支援プロジェクトを立ち上げて特化させ、（ロ）資金確保の為に出来るだけ多額の募金を地区に集中させ優先順位をつけて支援活動を行いたいと考えています。なお、資金の収支については出来る限り2ヶ月に1回位の割で報告ができるよう努力します。今こそ、第2660地区のロータリアン全員一致協力して“知恵”と“義援金”を準備して、被災地の復興に力を注ぎたいと強く切望していますので、是非とも皆様方の暖かいご支援を賜りますことを強くお願いいたします。

地区のロータリアン全員の活動があつてこそ、ロータリーの未来が築けます。『**こころの中を見つめよう 博愛を広げるために**』。これが今年度のテーマですので、十分にご理解賜り、是非とも皆様方の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

見直しをすすめ 新たな第一歩を!!

以上が2011-12年度に地区のテーマ『**見直しを**

ガバナープロフィール

国際ロータリー第2660地区

2011～2012年度ガバナー

岡部 泰鑑 (おかべ たいかん)

生年月日 1950年11月28日

勤務先 日蓮宗 本山 妙國寺

所在地 〒590-0942
大阪府堺市堺区材木町東4丁1の4

経歴 1973年 立正大学仏教学部卒業
1980年 大阪市中央区 海寶寺 住職
2002年 堺市 本山 妙國寺 貫首

職業分類 僧侶

ロータリー歴 1985年 大阪城南RC入会
1993～1994年度 幹事
2004～2005年度 会長

第2660地区 1990～1993年度 インターアクト委員会委員
1996～1997年度 地区幹事 (青少年担当)
1999～2002年度 会員増強委員会委員

その他 メジャードナー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者 (マルチプル)



松本新太郎 直前ガバナーへの 感謝の言葉

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー 岡部 泰鑑



松本新太郎直前ガバナー

松本新太郎 直前ガバナーは、昔でいうところの“甲南ボーイ”です。外見上スマートで背丈もあり、気高さも感じられます。又、松本さんは高尚な趣味の持ち主で、日本古来の伝統芸術である歌舞伎に造詣が深い方です。ガバナーという衣の堅苦しさは外には見せずいつも笑顔で対応され、青少年部門等の送迎には、いやな顔一つされずにいつも出かけられました。

一方で、松本直前ガバナーは、RI会長レイ・クリンギンスミス氏の“地域を育み、大陸をつなぐ”のテーマのもと『ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと』に留意され、「RCには今、何が求められているのか」「当地区は何を必要としているのか」「ガバナーとして私に何ができるのか」などを自問され、“会員数の減少”や“マンネリ化”が叫ばれている昨今、『今こそもう一度原点を見つめ直す必要があるのではないか』という観点から、地区のテーマを『ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか』とされました。

まさしくロータリークラブ誕生100年をこえて種々出て来た“きしみ”を前向きに取り上げられました。まさに時を得た感があります。

ガバナー・ノミネーに指名されてから、すぐ傍に

実の兄がいるような気さくさで私に対して公私ともにご指導を賜りました。

私自身がやはりロータリーの原点を見直す機会を作っていただき、さらに路線を踏襲するべきだと気付かせていただきました。一つの事を成し遂げるには一年だけでは付焼刃になる、複数年に亘って続けるべきだと。加えてこれから先、地区予算が窮屈になると、地区予算の大幅な削減を断行されました。まさしく冷静に地区の動向を勘案されての決断でした。

私へのバトンタッチもいよいよという時に松本直前ガバナーはアクシデントから腰の手術をされ、地区協議会に2人揃って出席できませんでした。本当に残念な思いをしております。ただ、実はこれも松本直前ガバナーの本当の教育なのかなあと考えさせられました。いつまでもわしを頼りにせんといてや、もうそろそろ自分で考えてしっかりやってや!!

これからも経験の少ない年少の後輩の私をサポートしていただき、PGとして又、第2660地区の指導者の一人として早く完治され一緒に歩んでいただきたいと切望いたします。

松本直前ガバナーの気さくな中にきらりと光る助言に敬意を表し、感謝の言葉といたします。

2011-12年度には、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎日を送りたいと望んでいます。人に何かを与えようとするなら、まず自分自身にそれを与えることです。なぜなら、自らが抱く望みを理解せずして、人々の望みを理解することはできないからです。

全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。

自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強くなります。そして、強い家族を土台として、前進していくことができるのです。うちに強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです。

次年度には、ロータリーの奉仕において3つの強調事項に力を注いでいきたいと思えます。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。

年度の第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。

ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。

同時に、改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。

マハトマ・ガンジーはかつて次のように述べました。「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親善を分かち合い、あらゆる人々の真の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力しています。ロータリアンは並みのことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織であり、ロータリアンは類まれな人々だからです。私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようと取り組むのは、このためなのです。

私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないのでしょうか。幸せと健康と平和にあふれた世界をつくることができる、過去よりも明るい未来を築くことができると、私たちは信じています。理想主義者である私たちは、ロータリーの奉仕を通じてこの理想を実現しているのです。

2011-12年度の第三の強調事項を「変化」としたのは、このためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身になることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか。



Kalyan Banerjee

カルヤン・バネルジー氏のプロフィール

カルヤン・バネルジー（インド、グジャラート）
2011-12年度国際ロータリー会長
2001-05年度ロータリー財団管理委員
2008-09年度ロータリアン行動グループ委員会委員長
1995-97年度国際ロータリー理事
1980-81年度地区ガバナー



カルヤン・バネルジー氏は、Uniphos Agro Industries Limitedの国内最大の農業メーカーであるUnited Phosphorus Limited社の理事、ならびに同社バングラデシュ支社の会長を務めています。1942年、インドのカルカッタで生まれたバネルジー氏は、インド工科大学カラグプル校で化学工学を専門に学び、1964年に卒業しました。現在はインド最大規模の工業都市であるグジャラート州のパピに居住し、これまでに保健と教育の分野におけるインフラ整備に深く関与して発展に大きく貢献してきました。

1972年にパピ・ロータリー・クラブ会員となって以来、ロータリーのありとあらゆるレベルで活躍してきました。1975年に同クラブの会長となり、1980年には地区ガバナーを務めました。

1995年には国際ロータリーの理事に選出され、国際レベルで活躍し始めました。1997年に貧困および飢餓緩和グループでゼネラル・コーディネーターに任命され、2001年にはロータリー財団の管理委員を務めました。その後、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員（2008-09）、東南アジア・ポリオ・プラス委員会委員長（2009-10）、アフリカ支援委員会委員（2009-10）、リーダーシップ教育・研修委員会委員（2009-10）、インド恒久基金

委員会委員（2008-09）、子供の死亡率低下強調委員会委員（2008-09）などに加え、その他さまざまな委員会を通じて経験を積んできました。

バネルジー氏はまた、アメリカ化学会（American Chemical Society）やインド化学工学会（Indian Institute of Chemical Engineers）で活躍し、ヴィシュヴァ・バーラティ大学では評議員を務めています。また、パピ工業協会（Vapi Industries Association）の会長を2回、インド産業同盟（Confederation of Indian Industry）のグジャラート支部長を務めた経歴もあります。さらに、ジャイ研究財団（Jai Research Foundation）とロータリー人道賞基金（Rotary Awards for Humanity Trust）などの団体の管理委員を務めています。

配偶者のピノタ夫人は活発に社会活動を行っており、夫妻には2人のお子さんと4人のお孫さんがいます。

2011～2012 年度のための 「地区協議会を意義あるものに」

地区協議会実行委員長
畑田 豊 (大阪城南RC)

「皆さんありがとう」地区協議会を無事終了させて頂きました。当日は生憎の雨天で参加者は大変でしたが、多数のご出席に感謝申し上げます。

大谷PGには松本Gの代行を、近藤PGにはタイムリーなご講演を賜り誠に有難うございました。

部門別リーダー、サブリーダーには適切な進行でスムーズな運営が出来ました。地区委員長、委員、G事務所の皆さんのご協力、加えて大阪西南RC、八尾RCのご指導に感謝し、次年度ホストに対しては十分な引継ぎと惜しめない協力を約束し成功に導きたいと思っております。今回ホストとして時間と労力、経費面で改善の要を感じました。次年度の協議会運営に関しては、反論、叱声を承知で、前例、形式に囚われない軽量簡素化を図り不要なものは排除、小クラブ、少人数クラブでもホスト出来る体制を考えるべきと思っておりました。RCの行事催しに於けるホストは大変ですが、反面、効用は極めて大きいものがあります。

大阪城南RCでは、今回ホストに当たり、クラブの全員が準備に携わり、クラブ内の意思統一、老壮、

新旧の別無く一丸の協働作業による成果は、クラブに新風を送り活性化の効用は極めて大きかったと思っております。第2部は前年より増え11部門、大きな瑕疵、トラブルも無く予定時間に無事終了出来ました。

本会議では岡部泰鑑GEからRI会長指針の発表とテーマについて簡明な説明、更に地区方針と岡部泰鑑GEが目指すところを述べられました。

出席の皆様には充分ご理解頂けた事と思っております。

いよいよ新年度に入りました。協議会での勉強を糧として各クラブで実践され、花開き結実させその成果を地区大会で問うことが出来ればホストとしての喜びであり、そうされることを望みます。部門別で一部論議されたようですが、東日本復興支援に関してロータリーとして何が出来るか、何を為すべきか、各クラブで応分のご配慮をお願い致します。

紙面の都合で多くを語れませんが、協議会へのご協力と善意に関し感謝で始まり、協議会が意義あり実り多いものである事を念じ、参加者各位の活躍に期待、重ねて感謝の言葉を申し上げご報告とします。



2011～2012年度 第2660地区ガバナー補佐の紹介

IM第1組

氏名 二井 清治 (にい せいじ) (豊中南RC)

生年月日 1946年8月19日

職業 株式会社二井清治建築研究所 所長

ロータリー歴 1999年12月 豊中南RC入会

2007～2008年 副会長

2009～2010年 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者 (マルチプル)



今年度、ガバナー補佐の重責を承ることになりました。岡部ガバナーによる本年度の地区方針「見直しをすすめ 新たな第一歩を」と4つの強調事項、さらに、東日本大震災への支援という大きな方針があります。その実現に向け、ロータリーの主体である各クラブの自主性を尊重しつつ、クラブ間の情報・交流のお手伝いと、地区と各クラブの橋渡しに努め

たいと思っています。微力ながらお役にたてればと願っておりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

IM第2組

氏名 矢橋 弘嗣 (やはし ひろつぐ) (千里RC)

生年月日 1930年11月1日

職業 大阪府北大阪赤十字血液センター 名誉所長

ロータリー歴 1989年7月 千里RC入会

1997～2000年度 地区社会奉仕委員長

2002～2003年度 地区代表幹事

国際ロータリー2004年国際大会 (関西) 財務長補佐

第39回ロータリー研究会実行委員会 総務委員長

2006～2007年度 会長

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者



今年度ガバナー補佐を承ることになりました。北田直前ガバナー補佐からは適切にご指導を頂きましたが、この一年無事に勤まるかどうか不安で一杯です。「2011～2012年度RIのテーマは慈悲の心」だと説かれる岡部ガバナーが本年度の方針として定められたのは「見直しをすすめ 新たな第一歩を」です。また岡部ガバナーは「地区ロータリアン全員の活動

があつてこそ、ロータリーの未来が築ける」として、3月11日に発生した東日本大震災復興のため、長期災害支援への「知恵」と「義援金」の提供、ご協力をIM第2組の皆様へ訴えておられます。皆様のご指導、ご協力をお願い致します。

IM第3組

氏 名 三村 雄太郎（みむら ゆうたろう）（枚方RC）

生 年 月 日 1939年2月5日

職 業 三村登記事務所 所長

ロータリー歴 1980年2月 枚方RC入会

1997年～1998年度 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者（マルチプル）



東日本大震災で被害・被災を受けられた方々に衷心より哀悼ならびにお見舞い申し上げます。

今こそ全国のロータリアンは、その強力な組織力、団結力を生かし物心ともに支援、援助いたしましょう。

さて、IM第3組ガバナー補佐に選任されましたが元来、浅学非才、不勉強で一年間の責務が果たせるか不安でいっぱいです。

IM第3組の会長さまをはじめ会員各位の絶大なるご支援、ご鞭撻を得て任を全うする覚悟です。

西原前ガバナー補佐さまの熱心で素晴らしいご指導を得てエレクト時代に勉強させて頂きました経験を生かし、地区とIM第3組各クラブそして各クラブ間の連絡・調整と融和・親睦に努めてまいります。

岡部泰鑑ガバナーの方針は「見直しをすすめ 新たな第一歩を」です。

マンネリ化に流されず、新しい何かを始めようというメッセージと理解しております。

皆様のあたたかいご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

IM第4組

氏 名 岡田 耕治（おかだ こうじ）（東大阪東RC）

生 年 月 日 1949年11月17日

職 業 大和油化株式会社 代表取締役

ロータリー歴 1990年4月 東大阪東RC入会

2007～2008年度 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者



各クラブには歴史と伝統があり、それを基盤とした奉仕活動が行われ、またロータリーに対する独自の考え方があります。

他方、岡部ガバナーは本年度「見直しをすすめ 新たな第一歩を」を地区方針として、4つの強調事項を掲げておられます。

ここにガバナー補佐の責務として、地区と各クラブの橋渡しの役割を努めさせて頂き、クラブ協議会において各クラブの会員の皆様との討議を通じてク

ラブの目標を達し、課題を克服するための情報提供、意見交換をさせて頂きます。

また震災に対しての支援につきましては、既に支援の為の委員会を立ち上げているクラブもありますが、少しでも早期に各クラブが具体的な行動を実行できます様に、地区のみならず他クラブの情報をも提供させて頂きます。

今後とも一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

IM第5組

氏名	森 康次 (もり やすつぐ) (大阪梅田RC)
生年月日	1935年10月29日
職業	ナビオコンピュータ株式会社 代表取締役会長
ロータリー歴	1986年12月 大阪梅田RC入会
	1993～1994年度 幹事
	2003～2004年度 ロータリー財団部門地区幹事
	2005～2006年度 会長
	2008～2009年度 少年少女ニコニコキャンプ実行委員長
	ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



感動は自分が体感してこそ初めて得られます。他人の感動話をいくら聞いても自分の体感にはなりません。むづかしいことを、やさしく、ひろく、ふかく、そしてたのしく、やりましょう。

メンバーが話し合って納得した事はしっかりと計画を作って必ず実行。

IM第5組の皆さんと共に、まず自分が行動を起し感動を体感しましょう。

自分が感動を得たいと思う心が、"I serve above self."につながると思っています。今年は、よろしく、おつきあい下さい。

IM第6組

氏名	佐藤 俊一 (さとう としかず) (大阪鶴見RC)
生年月日	1940年2月21日
職業	歯科医
ロータリー歴	1984年 大阪鶴見RCチャーターメンバー
	1988年度 クラブ幹事
	1993年度 クラブ会長
	1994～1996年度 地区青少年交換委員会委員
	1997～2001年度 地区国際親善奨学生委員会委員および副委員長
	1998年度 春のライラ実行委員長
	2002～2004年度 ロータリー財団奨学金学友委員会委員長
	2005～2008年度 地区財団委員会委員長
	2010年 GSE団長としてテキサス (5870地区) 訪問
	2011年 IM第6組実行委員長



ガバナー補佐の本来の役割はガバナーのクラブ訪問に先立つ「露払い」のようなものだとおもっているが、現実にはガバナー補佐エレクトとして、IMの実行委員長となったことは重責であった。IMの成功は担当クラブが一年間の準備と総力をあげて取り組んだ結果であってクラブの結束力の賜物だと感謝している。すでにガバナー月信の5月号でその内容を報告している。幸い東日本大震災の6日前に閉会でき、また開催に当たって多大の運営努力により、当初の

予算より剰余金を生み出すことができ、その一部の50万円を地区への災害寄付に回すことをIM内の会長・幹事会で了承していただいた。

従来よりIM第6組は「睦輪会」という名の会長・幹事会を年数回もっているが、親睦と情報交換以外にもお互いのクラブ間で協力することによって、ガバナー・ガバナー補佐・クラブとの縦の関係とあわせて、より緊密で効果的なクラブ運営ができればと考えている。

IM第7組

氏名	丹羽 健二 (にわ けんじ) (大阪西南RC)
生年月日	1943年3月22日
職業	株式会社丹羽アセットマネジメント 代表取締役会長
ロータリー歴	1985年2月 大阪西南RC入会
	1994年～1995年度 クラブ幹事
	1998年～1999年度 地区職業奉仕委員長
	2004年～2005年度 クラブ会長
	2009年～2010年度 地区大会大会委員長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



本年度ガバナー補佐のお役目を承ることになりました。岡部ガバナーの方針であります「見直しをすすめる 新たな第一歩を」を実践していく為には、ともすればマンネリ化に陥りやすいロータリー活動について、改善すべき点がないかあらためて考えると同時に、2013年より始動する「未来の夢計画」について十分に理解する努力を始めることが必要かと

思っております。

各クラブの皆様とご一緒に考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

IM第8組

氏名	小島 康秀 (こじま やすひで) (大阪帝塚山RC)
生年月日	1949年12月30日
職業	公認会計士
ロータリー歴	2001年10月 大阪住之江RC入会
	2007～2008年度 幹事
	2010～2011年度 会長
	ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



本年度のRIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」と地区テーマ「見直しをすすめる 新たな第一歩を」を實踐すべく精一杯の努力をしまっている所存ですが、ロータリー歴僅か10年でこのような大役を仰せつかってしまい、分からないことだらけで困惑しています。

ただ幸いなことに当クラブは合併したばかりで、

クラブ内に泉博朗 直前ガバナー補佐をはじめ3人のガバナー補佐経験者がいらっしゃいますので、先輩方のご指導を仰ぎながら、岡部泰鑑ガバナーのミッションたる役割を確実に果たしたいと考えておりますので、皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

国際ロータリー第2660地区 2011～12年度予算

■ 地区運営資金

【収入の部】	科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
	1. 地区資金	35,625,000	37,000,000	1,375,000	
	2. RI助成金	2,000,000	2,000,000	0	
	3. 雑収入	0	600,000	600,000	
	収入合計	37,625,000	39,600,000	1,975,000	

【支出の部】	科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
	A. 負担金				
	1. ガバナー会	800,000	800,000	0	
	2. ロータリー文庫	1,200,000	1,200,000	0	
	3. 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0	
	小 計	2,060,000	2,060,000	0	
	B. 会議費				
	1. PETS・地区チーム合同セミナー	900,000	1,500,000	600,000	
	2. 合同地区委員会	900,000	900,000	0	
	3. 財団セミナー	400,000	600,000	200,000	
	4. DGPGGE会議	300,000	200,000	-100,000	
	5. G補佐・地区幹事会	50,000	30,000	-20,000	
	6. GE国際協議会	730,000	730,000	0	
	7. 予備費	100,000	100,000	0	
	小 計	3,380,000	4,060,000	680,000	
	C. ガバナー関係費				
	1. ガバナー事務所経費	29,850,000	29,930,000	80,000	
	2. ガバナー月信費	5,500,000	5,300,000	-200,000	
	3. ガバナー補佐経費	100,000	100,000	0	
	4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0	
	小 計	35,550,000	35,430,000	-120,000	
	D. 総予備費	160,000	120,000	-40,000	
	支 出 合 計	41,150,000	41,670,000	520,000	
	収 支 差 額	-3,525,000	-2,070,000	1,455,000	
	前年度繰越金	7,197,588	3,672,588	-3,525,000	
	次年度繰越金	3,672,588	1,602,588	-2,070,000	

■ ガバナー事務所経費

	科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
	1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,400,000	-100,000	
	2. 給料・手当	16,250,000	16,530,000	280,000	
	3. 厚生費	2,300,000	2,300,000	0	
	4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,300,000	0	
	5. DGGE交通会合費	900,000	900,000	0	
	6. 印刷費	1,400,000	1,400,000	0	
	7. 交通通信費	1,500,000	1,500,000	0	
	8. 文献費	100,000	50,000	-50,000	
	9. 事務用品費	600,000	600,000	0	
	10. 什器備品費	200,000	150,000	-50,000	
	11. 雑 費	500,000	500,000	0	
	12. 予備費	300,000	300,000	0	
	合 計	29,850,000	29,930,000	80,000	

■ 地区活動資金

【収入の部】	科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
	1. 地区資金	28,125,000	25,900,000	-2,225,000	
	2. ポリオ広報活動協力金	0	5,550,000	5,550,000	
	収 入 合 計	28,125,000	31,450,000	3,325,000	

【支出の部】	科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
A.	地区委員会活動費				
	1. DG指名(委)	40,000	30,000	-10,000	
	2. 意義ある業績賞(委)	24,000	20,000	-4,000	
	3. クラブ奉仕部門				
	①クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	480,000	0	
	②広報(委)	500,000	6,210,000	5,710,000	
	4. 職業奉仕部門				
	職業奉仕(委)	250,000	250,000	0	
	5. 社会奉仕部門				
	社会奉仕(委)	500,000	450,000	-50,000	
	6. 青少年奉仕部門				
	①新世代合同	32,000	32,000	0	
	②青少年活動(委)	5,500,000	5,500,000	0	
	③ローターアクト(委)	4,320,000	4,700,000	380,000	
	④青少年交換(委)	5,500,000	5,650,000	150,000	
	⑤インターアクト(委)	1,900,000	2,000,000	100,000	
	7. 国際奉仕部門				
	国際奉仕・WCS(委)	320,000	320,000	0	
	8. ロータリー財団部門				
	①ロータリー財団(委)	240,000	300,000	60,000	
	②財団情報・増進(委)	30,000	30,000	0	
	③財団奨学金・学友(委)	700,000	650,000	-50,000	
	④研究グループ交換(委)	1,690,000	2,700,000	1,010,000	
	⑤財団人道的補助金(委)	30,000	45,000	15,000	
	9. 米山奨学部門				
	米山奨学(委)	330,000	350,000	20,000	
	10. RI規定審議会派遣積立金	400,000	200,000	-200,000	
	11. RIJYEC維持協力金	400,000	400,000	0	
	12. 危機管理積立金	500,000	500,000	0	
	13. 予備費	2,339,000	2,000,000	-339,000	
	小 計	26,025,000	32,817,000	6,792,000	
	B. RI会長DG協調事業費	0	0	0	
	C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0	
	D. 研修委員会	200,000	200,000	0	
	E. ロータリー研究会準備基金	0	0	0	
	支 出 合 計	28,625,000	35,417,000	6,792,000	
	収 支 差 額	-500,000	-3,967,000	-3,467,000	
	前年度繰越金	13,803,410	13,303,410	-500,000	
	次年度繰越金	13,303,410	9,336,410	-3,967,000	

■特別会計

1. 地区大会資金

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	6,284,673	7,905,257	1,620,584	
地区資金	18,750,000	18,500,000	-250,000	
地区大会会計へ	18,750,000	18,500,000	-250,000	
地区大会会計から戻入	1,620,584	0	-1,620,584	
次年度繰越金	7,905,257	7,905,257	0	

2. 米山奨学生活動費

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
【収入の部】				
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	2,700,000	0	
選考試験補助金	0	0	0	
カウンセラー研修会補助金	0	0	0	
レクリエーション登録料	0	0	0	
米山奨学歓送迎会登録料	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
収入合計	2,700,000	2,700,000	0	

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
【支出の部】				
米山活動費	2,700,000	2,700,000	0	
カウンセラー研修会	0	0	0	
情報交換会	0	0	0	
レクリエーション	0	0	0	
選考会	0	0	0	
歓送会	0	0	0	
オリエンテーション	0	0	0	
米山奨学会学友会支援	0	0	0	
印刷、郵送	0	0	0	
(財)米山記念奨学会へ返金	0	0	0	
支出合計	2,700,000	2,700,000	0	
収支差額	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	

3. 世界社会奉仕基金

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
【収入の部】				
クラブ拠出金	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
収入合計	0	0	0	

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
【支出の部】				
プロジェクト資金	0	0	0	
送金手数料	0	0	0	
支出合計	0	0	0	
収支差額	0	0	0	
前年度繰越金	2,144,659	2,144,659	0	
次年度繰越金	2,144,659	2,144,659	0	

4. RI規定審議会派遣積立金

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	654,400	1,054,400	400,000	
地区活動資金繰り入れ	400,000	200,000	-200,000	
実際派遣事業	0	0	0	
次年度繰越金	1,054,400	1,254,400	200,000	

5. ロータリー研究会準備基金

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	1,000,000	6,000,000	5,000,000	
地区基金繰り入れ	5,000,000	0	-5,000,000	
研究会会計へ	0	6,000,000	6,000,000	
次年度繰越金	6,000,000	0	-6,000,000	

6. 危機管理積立金

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	0	500,000	500,000	
地区活動資金繰り入れ	500,000	500,000	0	
次年度繰越金	500,000	1,000,000	500,000	

■地区基金

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	20,000,000	15,000,000	-5,000,000	
受取利息	0	0	0	
特別会計へ取崩し	5,000,000	0	-5,000,000	
利息を本会計へ繰り入れ	0	0	0	
次年度繰越金	15,000,000	15,000,000	0	

◆ 国際ロータリー 特別月間

月 日	行 事 名
2011年 8 月	会員増強・拡大月間 (Membership and Extension Month)
9 月	新世代のための月間 (New Generations Month)
10 月	職業奉仕月間 (Vocational Service Month)
10 月	米 山 月 間 (Yoneyama Month)
11 月	ロータリー財団月間 (Rotary Foundation Month)
11月5日を含む週	世界 インターアクト 週間 (World Interact Week)
12 月	家 族 月 間 (Family Month)
2012年 1 月	ロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month)
1月27日を含む週	追 悼 記 念 週 間 (Remembrance Week)
2 月	世界 理 解 月 間 (World Understanding Month)
2月23日	ロータリー創立記念日/ 世界理解と平和の日 (Rotary Anniversary/ World Understanding & Peace Day)
3 月	識 字 率 向 上 月 間 (Literacy Month)
3月13日を含む週	世界ローターアクト週間 (World Rotaract Week)
4 月	雑 誌 月 間 (Rotary's Magazine Month)
6 月	ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)

◆ 2011～2012年度 RI第2660地区 年間カレンダー

開 催 日	行 事 名	会 場
2011年 5月21日(土)～25日(水)	国際大会	ニューオーリンズ (アメリカ)
6 月 4日(土)	地区会員増強セミナー	大阪科学技術センター
7月16日(土)	合同地区委員会	大阪YMCA
7月30日(土)～8月1日(月)	少年少女ニコニコキャンプ (ホスト：吹田江坂)	舞洲スポーツアイランド
8月27日(土)	地区財団セミナー	大阪YMCA
10月 8日(土)～10日(月)	秋のライラ (ホスト：東大阪みどり)	大阪府立少年自然の家
11月11日(金)～12日(土)	地区大会	シェラトン都ホテル大阪・NHKホール
11月23日(水)～26日(土)	ロータリー研究会、財団地域セミナー	リーガロイヤルホテル・大阪国際会議場
2012年 3月31日(土)	PETS・地区チーム研修セミナー	大阪国際会議場
4月28日(土)	地区協議会 (ホスト：大阪中之島)	大阪国際会議場
5月3日(木)～5日(土)	春のライラ (ホスト：箕面)	(未定)
5月6日(日)～9日(水)	国際大会	バンコク (タイ)

◆ 主要報告書

報告事項	期 日	報 告 先
1. 半期報告	7月1日 1月1日	① 国際ロータリー日本事務局 ② (写)ガバナー ③ (写)クラブに保管
2. クラブ出席率報告	翌月14日午前中までに必着	ガバナー事務所
3. 会員数及び出席報告	毎月5日までに必着	ガバナー事務所
4. クラブ会員数および女性 会員数報告のお願い	前期 7月7日までに必着 後期 1月10日までに必着	ガバナー事務所 前期:6月30日付、7月1日付 後期:12月31日付、1月1日付
5. 物故者報告用紙	その都度	ガバナー事務所
6. クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
7. 充填未充填職業分類表	8月31日	ガバナー事務所
8. 効果的なロータリー・クラブと なるための活動計画の指標	2011年7月1日	所定の用紙3部に記入して、ガバナー・エレクト事務所に1部 ガバナー補佐に1部、1部はクラブに保管
9. 地区大会提出・信任状証明書	2011年9月30日	直前の半期人頭分担金支払時会員数25名毎に1名または その端数13名以上の場合はさらに1名を選ぶ。 (RI細則15.050.1)
10. 新入会員、退会者、会員の 住所または種類の変更	その都度	① RI世界本部(英文・所定の用紙) ② ガバナー事務所
11. クラブ会長、幹事、例会場、 日時、事務所等の変更届	その都度	① 国際ロータリー日本事務局 ② ガバナー事務所 ③ ロータリーの友事務所
12. RI文献購入申込 各RC常備の注文用紙にて	その都度	RI世界本部(英文の文献) 国際ロータリー日本事務局(和文の文献)
13. 次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿・記載資料)	クラブ役員が決定次第	RI世界本部(ウェブサイトを通して報告)
14. 国際大会提出・信任状証明書 (会長・幹事のサインが必要)	4 月	国際大会出席者の代議員またはその代理者(ガバナー・ エレクトなど)用紙はRIより直接各クラブに送付される。
15. 寄付増進クラブ目標報告書式	2011年5月1日	ガバナー・エレクト事務所

◆ 報告書送付先及び送金先

国際ロータリー世界本部	Rotary International One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL60201-3698, U.S.A. TEL 1-847-866-3000 FAX 1-847-328-8554 または 1-847-328-8281
国際ロータリー日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル 1階 奉仕室 TEL(03)3903-3161 地区・クラブ関係のお問い合わせ 財団室 TEL(03)3903-3192 ロータリー財団関係のお問い合わせ 経理室 TEL(03)3903-3183 出納関係のお問い合わせ 資料室 TEL(03)3903-3194 文献・資料の注文、お問い合わせ 各室共通 FAX(03)3903-3781
財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL(03)3434-8681 FAX(03)3578-8281 (三井住友銀行 京橋支店 普通 0920373)
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL(03)3436-6651 FAX(03)3436-5956 (三井住友銀行 浜松町支店 普通 7450015)
国際ロータリー第2660地区 会計 井上 裕貴 (いのうえ ひろき)	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階 TEL(06)6264-2660 FAX(06)6264-2661 (りそな銀行 阿倍野橋支店 普通 0166853)
ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

◆ 主要送金

送 金	期 日	送 金 先																				
1. 人頭分担金1人当り半年分(\$ 25.50) 中途入会者の場合 比例人頭分担金として、次の半期が始まるまで 一ヶ月につき、\$ 25.50 ÷ 6の金額	7月1日・1月1日	三井住友銀行 新宿通支店 普通 6733244 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎																				
2. 規定審議会のための追加人頭分担金1人当り \$ 1.00	7月1日																					
3. 「The Rotarian」の購読料 半年分 \$ 12.00	7月1日・1月1日																					
4. ロータリー財団への寄付 年 次 寄 付：各クラブで目標金額を設定 恒久基金寄付：ベネファクター(1,000ドル以上寄付した場合) 大 口 寄 付：大口寄付者(累計寄付金1万ドル)	随 時	(公益財団法人ロータリー 日本財団への寄付) 三井住友銀行 赤羽支店 普通3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団 米ドル建の専用口座 (税制上の優遇措置対象外) 三井住友銀行 新宿通支店 普通0100707 Rotary International																				
5. 地区運営資金・地区活動資金・地区大会資金 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前期分</th> <th>後期分</th> <th>合計(年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区運営資金</td> <td>5,000円</td> <td>5,000円</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>地区活動資金</td> <td>3,500円</td> <td>3,500円</td> <td>7,000円</td> </tr> <tr> <td>地区大会資金</td> <td>5,000円</td> <td>—</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>計(一人当たり)</td> <td>13,500円</td> <td>8,500円</td> <td>22,000円</td> </tr> </tbody> </table> 中途入会者及び新クラブ設立の場合 7月2日より10月1日まで入会した会員に対し ￥ 9,250 1月2日より 4月1日まで入会した会員に対し ￥ 4,250		前期分	後期分	合計(年間)	地区運営資金	5,000円	5,000円	10,000円	地区活動資金	3,500円	3,500円	7,000円	地区大会資金	5,000円	—	5,000円	計(一人当たり)	13,500円	8,500円	22,000円	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	第2660地区会計
	前期分	後期分	合計(年間)																			
地区運営資金	5,000円	5,000円	10,000円																			
地区活動資金	3,500円	3,500円	7,000円																			
地区大会資金	5,000円	—	5,000円																			
計(一人当たり)	13,500円	8,500円	22,000円																			
6. 財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 普通寄付金は1人当り各クラブの決定額の半分 特別寄付金は随時送金	7月1日・1月1日	ロータリー米山記念奨学会																				
7. 「ロータリーの友」購読料 半期分 ￥1,260 (消費税含む) (但し、中途入会者については雑誌を受け取った月より月割1部 ￥210) *請求書が「友」より各クラブへ送付されるので、確認してから振込のこと。	7月1日・1月1日	ロータリーの友事務局																				

I.M. 日程一覧表

2011～2012年度

組	開催年月日	ホスト クラブ	所属クラブ	クラブ 数	ガバナー補佐
1	2012年4月21日(土)	豊中	池田、池田くれは、箕面、箕面中央 豊中、豊中南、豊中ー大阪国際空港 豊中千里	8	二井 清治 (豊中南)
2	2012年4月14日(土)	茨木東	茨木、茨木東、茨木西、千里 千里メイプル、摂津、吹田 吹田江坂、吹田西、高槻、高槻東 高槻西	12	矢橋 弘嗣 (千里)
3	2012年1月28日(土)	四條畷	大東、大東中央、枚方、くずは 門真、交野、香里園、守口 守口イブニング、寝屋川、四條畷	11	三村 雄太郎 (枚方)
4	2012年2月4日(土)	八尾中央	東大阪、東大阪中央、東大阪東 東大阪みどり、東大阪西、大阪柏原 八尾、八尾中央、八尾東 大阪ネクスト	10	岡田 耕治 (東大阪東)
5	2012年2月18日(土)	大阪梅田	大阪中央、大阪堂島、大阪北 大阪北梅田、大阪リバーサイド 大阪西、大阪淀、大阪西北 大阪そねぎき、大阪梅田 大阪梅田東、大阪ユニバーサルシティ	12	森 康次 (大阪梅田)
6	2012年3月10日(土)	大阪-淀川	大阪、大阪東、大阪東淀ちややまち 大阪城東、大阪中之島、大阪大手前 大阪城北、大阪天満橋、大阪鶴見 大阪ー淀川、新大阪	11	佐藤 俊一 (大阪鶴見)
7	2012年3月3日(土)	大阪難波	大阪フレンド、大阪本町 大阪御堂筋、大阪南、大阪難波 大阪なにわ、大阪南西、大阪西南 大阪船場、大阪心斎橋、大阪うつぼ	11	丹羽 健二 (大阪西南)
8	2012年5月12日	大阪帝塚山	大阪平野、大阪イブニング 大阪城南、大阪咲洲 大阪天王寺、大阪帝塚山、大阪東南	7	小島 康秀 (大阪帝塚山)

ガバナー公式訪問日程

2011～2012年度

■18:00～開始 ★18:30～開始 ●19:30～開始

日	2011年7月	8月	9月	日	10月	11月	12月	日	2012年1月	2月	3月	4月	日
1	金	月	木	1	土	火 大阪柏原	木	1	日	水	木	日	1
2	土	火	金	2	日	水 守口	金	2	月	木 大阪中央	金	月	2
3	日	水	土	3	月	木	土	3	火	金 豊中- 大阪国際空港	土 IM7組	火	3
4	月	木	日	4	火	大阪西北	金	4	水	土 IM4組	日	水	4
5	火	金	月	5	水	高槻	土	5	木	日	月	木	5
6	水	土	火	6	木	★大阪平野・ 大阪イブニング	日	6	金	月	火	金	6
7	木	日	水	7	金	高槻東	月	7	土	火	水	土	7
8	金	月	木	8	土	秋のライラ	火	8	日	水	木	日	8
9	土	火	金	9	日	大阪心斎橋	水	9	月	木 大阪東	金	月	9
10	日	水	土	10	月	大阪城北	木	10	火	金 大阪城南	土 IM6組	火	10
11	月	木	日	11	火	千里	金	11	水	土	日	水	11
12	火	金	月	12	水	大阪船場	土	12	木	日	月	木	12
13	水	土	火	13	木	大阪南	日	13	金	月	火	金	13
14	木	日	水	14	金	八尾東	月	14	土	火	水	土	14
15	金	月	木	15	土	門真 ★高槻西	火	15	日	水	木	日	15
16	土	火	金	16	日	大阪城東	水	16	月	木	金	月	16
17	日	水	土	17	月	香里園	木	17	火	金 大阪東南	土	火	17
18	月	木	日	18	火	吹田江坂 ★八尾中央	金	18	水	土 IM5組	日	水	18
19	火	金	月	19	水	池田・池田くれは	土	19	木	交野・くずは・枚方	日	木	19
20	水	土	火	20	木	大阪本町	日	20	金	箕面中央	月	金	20
21	木	日	水	21	金	大阪咲洲	月	21	土	火	水	土	21
22	金	月	木	22	土	大阪	火	22	日	水	木	日	22
23	土	火	金	23	日	大阪天王寺	水	23	月	木	金	月	23
24	日	水	土	24	月	大阪帝塚山	木	24	火	金	土	火	24
25	月	木	日	25	火	大阪天満橋	金	25	水	土	日	水	25
26	火	金	月	26	水	大阪東淀ちやまち	土	26	木	日	月	木	26
27	水	土	火	27	木	地区財団 セミナー	日	27	金	月	火	金	27
28	木	日	水	28	金	大阪西南	月	28	土	火	水	土	28
29	金	月	木	29	土	大阪リバーサイド ★守口イブニング	火	29	日	水	木	日	29
30	土	火	金	30	日	大阪梅田	水	30	月	金	月	月	30
31	日	水	土	31	月	八尾	火	31	火	土	土	5月12日(土)IM8組	31

第2660地区 各ロータリークラブ ホームページ・E-mailアドレス

No.	クラブ名	ホームページ	E-mail
1	大東	www.daito-rc.org/	office@daito-rc.org
2	大東中央	www9.ocn.ne.jp/~dc-rc/	dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
3	東大阪	www16.ocn.ne.jp/~horotary/	rcmail@lime.ocn.ne.jp
4	東大阪中央	—	hcrc@at.wakwak.com
5	東大阪東	www.higashiosaka-eastrc.jp/	higashiohrc@air.ocn.ne.jp
6	東大阪みどり	www.george24.com/~midori-rc/	midori-rc@george24.com
7	東大阪西	www9.ocn.ne.jp/~hon-rc/	hon-rc@soleil.ocn.ne.jp
8	枚方	www.hirakata-rc.jp	office@hirakata-rc.jp
9	茨木	www.ibaraki-rc.com	jimukyoku@ibaraki-rc.com
10	茨木東	www10.ocn.ne.jp/~ierotary/	ierotary@beach.ocn.ne.jp
11	茨木西	www.ibarakiwest.is-mine.net/	ibanisi@theia.ocn.ne.jp
12	池田	www12.plala.or.jp/ikedarc	ikedarc@amber.plala.or.jp
13	池田くれは	www.ikedakureha.jp	jimukyoku@ikedakureha.jp
14	門真	kadoma-rc.com	office-kadoma@silk.plala.or.jp
15	交野	www9.ocn.ne.jp/~katanorc/	katanorc@oak.ocn.ne.jp
16	香里園	www1.ocn.ne.jp/~korienrc/index.html	korien-rc@aria.ocn.ne.jp
17	くずは	www.kcat.zaq.ne.jp/kuzuha-rc/	kuzuha-rc@kcat.zaq.ne.jp
18	箕面	www.mino-orc.com	mino-orc@abeam.ocn.ne.jp
19	箕面中央	www5.ocn.ne.jp/~minoh-c/	mc-rc@citrus.ocn.ne.jp
20	守口	www.moriguchi-rc.jp	info@moriguchi-rc.jp
21	守口イブニング	www7b.biglobe.ne.jp/~m-eveningrc/	m-evening@msj.biglobe.ne.jp
22	寝屋川	www.neyagawa-rc.gr.jp	jimukyoku@neyagawa-rc.gr.jp
23	大阪	www.osaka-rc.org	secretariat@osaka-rc.org
24	大阪中央	www.osaka-central-rc.org/	osaka-central-rc@nifty.com
25	大阪堂島	www10.ocn.ne.jp/~dojimarc/index.html	dojimarc@violin.ocn.ne.jp
26	大阪フレンド	ofrc.info	osakafriend-rc@soleil.ocn.ne.jp
27	大阪東	www.osaka-east-rc.org	osaestrc@silver.ocn.ne.jp
28	大阪東淀ちゃやまち	www1.ocn.ne.jp/~hycm-rc/	h-yodo-chaya-m.rc@shore.ocn.ne.jp
29	大阪平野	www.geocities.jp/hiranorc06/	hiranorc@lily.ocn.ne.jp
30	大阪本町	www.hommachi-rc.com	hommachi-rc@tuba.ocn.ne.jp
31	大阪イブニング	www5.ocn.ne.jp/~evening/	evening@theia.ocn.ne.jp
32	大阪城南	www.osaka-johnan-rc.org/	johnan25@crocus.ocn.ne.jp
33	大阪城東	www.osaka-jrc.org	jrc@almond.ocn.ne.jp
34	大阪柏原	www4.ocn.ne.jp/~okrotary/	okrc@pearl.ocn.ne.jp
35	大阪北	www.osaka-north-rc.org/	info@osaka-north-rc.org
36	大阪北梅田	www.kita-umeda2660rc.org/	info@kita-umeda2660rc.org
37	大阪御堂筋	www.midosujirc.com	midosuji@guitar.ocn.ne.jp
38	大阪南	www15.ocn.ne.jp/~o-south	osaka-south@alpha.ocn.ne.jp
39	大阪中之島	osaka-nakanoshimarc.org	nakanoshima@ace.odn.ne.jp
40	大阪難波	osaka-namba-rc.org	osaka-namba@poem.ocn.ne.jp
41	大阪なにわ	www11.ocn.ne.jp/~naniwarc/	naniwarc@theia.ocn.ne.jp
42	大阪南西	—	nanseirc@poppy.ocn.ne.jp
43	大阪ネクスト	osaka-next.com/	osaka.next@gmail.com

No.	クラブ名	ホームページ	E-mail
44	大阪西	www.osaka-westrc.org	osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
45	大阪大手前	www.otemae-rotary.com	info@otemae-rotary.com
46	大阪大淀	osaka-oyodo-rc.com/	oyodo-rc@h7.dion.ne.jp
47	大阪リバーサイド	www3.ocn.ne.jp/~osriver/	osrvsdrcc@lily.ocn.ne.jp
48	大阪咲洲	www18.ocn.ne.jp/~sakishim/	sakishima-rc@extra.ocn.ne.jp
49	大阪西北	www3.ocn.ne.jp/~osknwrc/	osk1nwrc@pearl.ocn.ne.jp
50	大阪西南	osaka-southwest-rc.org/	seinanrc@pearl.ocn.ne.jp
51	大阪船場	www4.ocn.ne.jp/~semba-rc/	semba@cocoa.ocn.ne.jp
52	大阪心斎橋	www.shinsaibashirc.jp/	s-rotary@galaxy.ocn.ne.jp
53	大阪城北	www.osaka-shirokita-rc.jp/	shirokita@s5.dion.ne.jp
54	大阪そねざき	www.osakasonezaki-rc.jp	sonezaki@alpha.ocn.ne.jp
55	大阪天満橋	http://temmabashirc.xsrv.jp/	temma-rc@lapis.plala.or.jp
56	大阪天王寺	www1a.biglobe.ne.jp/tennoji-rc/	osaka_trc_1969@kfd.biglobe.ne.jp
57	大阪帝塚山		osaka-tezukayama@nifty.com
58	大阪東南	—	tounanrc@chive.ocn.ne.jp
59	大阪鶴見	www31.ocn.ne.jp/~osaka_tsurumi_rc/	rcosatrm@cf.mbn.or.jp
60	大阪梅田	www4.ocn.ne.jp/~umeda-rc/	umeda-rc@ace.ocn.ne.jp
61	大阪梅田東	www.umeda-e.jp	mail@umeda-e.jp
62	大阪うつぼ	www.osa-utsuborc.com/	office@osa-utsuborc.com
63	大阪-淀川	osaka-yodogawa-rc.jp	office@osaka-yodogawa-rc.jp
64	大阪ユニバーサルシティ	www.osaka-ucrc.org	ucrc@osaka-ucrc.org
65	千里	www15.ocn.ne.jp/~senri-rc/index.html	senri-rc@giga.ocn.ne.jp
66	千里メイプル	www2.ocn.ne.jp/~maplerc/	maplerc@lime.ocn.ne.jp
67	摂津	www.settsu-rc.gr.jp	info@settsu-rc.gr.jp
68	四條畷	www4.ocn.ne.jp/~nawaterc/	shijyonawaterc@gamma.ocn.ne.jp
69	新大阪	www.shin-osakarc.jp	shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
70	吹田	www.suitarotary.marche.ne.jp	suitarotary@sutv.zaq.ne.jp
71	吹田江坂	www.suitaesaka-rc.net/index.html	esaka-rc@lake.ocn.ne.jp
72	吹田西	www.suita-west-rc.org	src@jasmine.ocn.ne.jp
73	高槻	www.takatsuki-rc.org/	takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
74	高槻東	takatsukieast.jp	jimu@takatsukieast.jp
75	高槻西	rc-takatsuki-west.main.jp/	aef02524@nifty.com
76	豊中	www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/	jtrc2660@sun-inet.or.jp
77	豊中南	www.kaigisho.com/tsrc/	tsrc@mail.infomart.or.jp
78	豊中-大阪国際空港	www.ae-osaka.co.jp/kuhkohrc/index.html	t-airport@dance.ocn.ne.jp
79	豊中千里	toyonakasenri-rc.main.jp/	info@toyonakasenri-rc.main.jp
80	八尾	www.yaorc.com/	info@yaorc.com
81	八尾中央	www.eonet.ne.jp/~yaocentrc/	yaocentrc@pearl.ocn.ne.jp
82	八尾東	yaohigashi.org/yaohigashi/	yaohigashi@japan.email.ne.jp

RI世界本部ホームページ www.rotary.org/

ロータリー・ジャパン・ウェブホームページ (日本語によるロータリーの公式ウェブサイト)

www.rotary.or.jp/

災害支援プロジェクト（仮称）

当地区におきまして「災害支援プロジェクト」（仮称）を立ち上げました。

委員の方々は次のとおりです。

委員長：井上暎夫（千里RC）

副委員長：高島凱夫（大阪中之島RC）、福家宏（八尾中央RC）

宮里唯子（茨木西RC）

委員：溝畑正信（東大阪東RC）、五味千秋（大阪心斎橋RC）

古澤照明（豊中RC）、川上大雄（大阪ユニバーサルシティ）

丹羽健二（大阪西南RC）、小林和由（大阪咲洲RC）

東日本大震災の義援金（第3回・第4回送金）

6月10日に義援金の第3回送金分12,713,626円、6月21日に第4回送金分1,821,000円をそれぞれガバナー会に送金いたしました。

<ガバナー会集計> 2011年東日本大震災義援金地区別合計（2011年6月7日現在）

D	区 域	送 金 額	見 舞 金	特 記 事 項（個別的支援）
2500	北海道東部	18,418,095	8,000,000	
2510	北海道西部	14,671,555		
2520	岩手、宮城		50,000,000	
2530	福島		30,000,000	
2540	秋田	2,313,000		
2550	栃木		5,000,000	
2560	新潟	20,000,000		
2570	埼玉西部	10,000,000		
2580	東京、沖縄	100,000,000		
2590	神奈川 横浜・川崎	15,173,606		2530へ120万円の他、日本赤十字などへ450万円余り直接送金
2600	長野	25,665,636		
2610	富山、石川	13,000,000		
2620	山梨、静岡	30,618,225		
2630	岐阜、三重	35,973,264		
2640	和歌山、大阪府の一部	10,000,000		支援物資など500万円相当を6回に分け、2520、2530、2820に搬入
2650	福井、滋賀、奈良、京都	42,902,265		
2660	大阪	68,000,886		
2670	香川、愛媛、徳島、高知	75,677,939		
2680	兵庫	33,474,142		
2690	鳥取、島根、岡山	24,632,536		3,517万円を日本赤十字他へ送金
2700	福岡/鳥栖・杵岐・対馬	40,350,016		
2710	広島、山口	44,614,156		
2720	大分、熊本	8,320,000		1,400万円を2520に振込み、800万円を2530に振込み
2730	宮崎、鹿児島	13,866,531		
2740	佐賀、長崎	19,188,737		
2750	東京、マリアナ諸島他	70,000,000		
2760	愛知	23,820,340		2520に医師・支援物資運搬のためのヘリコプター派遣費1,000万円相当、2530に支援物資として贈呈すべくガイガーカウンター発注
2770	埼玉南東	24,943,584		
2780	神奈川	33,468,434		
2790	千葉	40,000,000	15,000,000	
2800	山形	7,513,000		
2820	茨城		10,000,000	
2830	青森	3,000,000	5,000,000	
2840	群馬	20,000,000		
3340	ラタクル会経由	2,000,000		
	合 計	891,605,947	123,000,000	

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

高 士 茂 会員
(大阪城北RC)

2011年3月30日逝去(享年81歳)
会長、副会長
社会奉仕担当理事
会員増強委員長
青少年活動委員長
緑化推進委員長
会員選考委員長
米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

田 中 義 明 会員
(八尾RC)

2011年5月20日逝去(享年63歳)
副会長
社会奉仕委員長
SAA
米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

井 上 良 昭 会員
(大阪西南RC)

2011年5月23日逝去(享年77歳)
会長、幹事、会場監督
国際奉仕担当理事
会員増強委員長
会員選考委員長
ロータリー情報委員長
ローターアクト委員長
ロータリー財団委員長
米山奨学委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

● **クラブの合併**

大阪阿倍野RC、大阪住吉RC、大阪住之江RCの
3RCが合併しました。

合併後の名称：大阪帝塚山RC

合併した日付：2011年7月1日

合併後の住所：〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町2-3-5

藤和シティスクエア503号室 川上方

電話：06-6628-0450 FAX：06-6628-0451

Eメール：osaka-tezukayama@nifty.com

例会場：〒545-0052 大阪市阿倍野区松崎町1-2-8

天王寺都ホテル5階

例会日：水曜日12:30～13:30

● **お詫びと訂正**

月信6月号(2011年)9ページで間違いがありました。

お詫びして訂正いたします。

米山功労者

(誤)

(正)

中 山 浩 志 大阪城南RC 大阪城東RC

新 谷 裕 之 大阪城南RC 大阪城東RC

柳 瀬 寛 之 大阪城南RC 大阪城東RC

安 村 史 郎 大阪城南RC 大阪城東RC

● **例会場変更**(2011年6月23日より)

大阪イブニングRC

新しい例会場：「パル法円坂」

大阪市中央区法円坂1-1-38

電話：06-6943-1122

※ 例会日：木曜日 18:30は

変更ありません

※ ビジターフィー：4,000円

● **例会日変更**(2011年7月より)

大阪ネクストRC

新しい例会日と時間：水曜日 19:30

※ 例会場(摂南大学 大阪センター)は

変更ありません

文庫通信 (285号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー文献より

- ◎「ドイツの『ROTARY MAGAZIN』と『ロータリーの友』」織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)
- ◎「日本人の奉仕の心」延原 正 2011 2p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「『ロータリーの心と原点』－基本に返ろう」廣畑富雄 2011 3p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「識字率向上が意味するもの」小林完治 2011 1p (D.2690月信)
- ◎「CLP導入の現状とクラブ活性化計画」川岸洋一 2011 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーの曙」田中 毅 2011 4p (米山梅吉記念館館報)
- ◎「新世代育成」片山主水 2010 4p (奉仕の理想－ロータリーの心と形)
- ◎「一以って貫く」菅 正明 2010 8p (論語でロータリー)

[申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

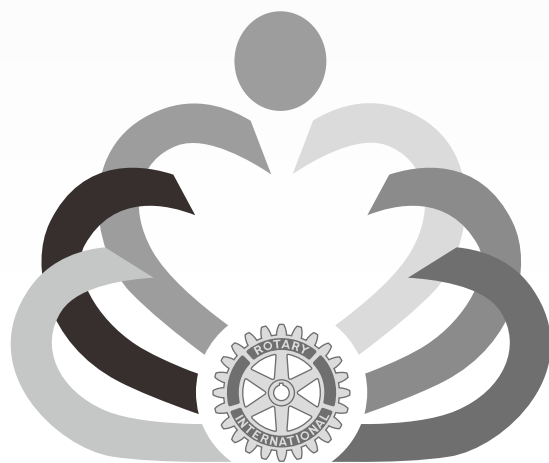
開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

2011-2012年度

国際ロータリー 第2660地区 地区大会実行委員会

地区大会



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年 **第1日目**

11月11日 **金** 13:00~

シェラトン都ホテル大阪

●分科会 ●RI会長代理歓迎晚餐会

第2日目

12日 **土** 13:00~

NHK大阪ホール

●本会議 ●記念講演

■ホストクラブ 大阪城南ロータリークラブ ■コ・ホストクラブ 大阪東南ロータリークラブ

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年8月12日(金)～
2011年8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

8 vol.2



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

8 vol.2

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

会員増強・拡大月間	1
会員増強・拡大月間に寄せて	2
2010～2011年度 IM第8組報告	3
国際ロータリー第2660地区 ガバナー・ノミネー指名宣言	4
2014～2015年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦について	5
米国ニューオリンズ国際大会に参加して	6
東日本大震災の義援金	8
地区大会のご案内	10
青少年交換プログラム	11
会員増強・拡大月間にあたり	12
各クラブ創立日・認証日一覧表	14
文庫通信	16
敬弔／お知らせ	



暑中お見舞い申し上げます。

7月より新年度が始まり、早1ヶ月が過ぎました。既にご存知の通り、RIでは毎月ごとに強調事項を決めています。ちなみに、今月は『会員増強・拡大月間』です。地区ではすでに6月4日に『会員増強セミナー』を開催いたしました。

私は、PETS・地区チーム研修セミナー、地区協議会において次のように今年度の会員増強の指針を述べております。

すなわち、「今年度は会員増強（純増何名というような具体的な数字）の人数をあえて申し上げておりません。これは、会員増強を全くしなくてもいいということを示しているものではありませんので、どうぞ誤解のないようにしていただきたいと思えます。それよりも、もっともっとロータリアンの価値観並びに職業奉仕の倫理観を高めていただきたいと思っています。」と申しあげています。

今、日本の人口構成と同じように、地区ロータリークラブ在籍者の平均年齢も会員減少に伴い高齢化が進んでおります。このまま手をこまねいては更なる会員の減少が見込まれるのは明らかです。

そこで、私は見方を少し変えまして、ダイナミックなクラブ作りを奨励したいと思っています。若い人がロータリークラブに入会しようと思っても、時間的に無理なところが見受けられます。例会時間が昼間あるいは夜間である、会費が高額であるため等の理由により入会をためらっている若い人の話をよく耳にします。

そこで、周年記念やクラブ同士の合併を機に例会時間・曜日を見直し、変更する等、若い人達にも入りやすい環境作りをお願いしたいと思っています。また、例えば、モーニング例会、朝8、9時よりスタートして10時までに終了。朝食はバイキングにしたり、軽食で済ます等するといったダイナミックな新クラブを結成して会員増強に結びつけられないでしょうか。

今回、地区としては、このような考えに基づき、ガバナー主導による新クラブ作りを提唱し、「新クラブ創立準備委員会」を立ち上げました。

会員対象者としては、年齢、性別は問わず、元会員、元ロータアクターの方、又、勤務の都合上新クラブのモーニング例会希望者等を考えています。区域は大阪市内全域とし、目標人数は設立時およそ30名程度、食事はジュッフェ形式、実費払い、会費は入会金、年会費は出来る限り低額に設定。

会員募集にあたっては、地区クラブ奉仕・拡大増強委員会、地区広報委員会を通じて、会員候補者に新クラブの概要を周知徹底の上で、募集する予定です。

クラブの会員増強は、一朝一夕にはなしえませんが、会員増強なくしてはロータリークラブは存続し得ません。

是非とも会長・幹事が中心となって、強い心構えのもとに若い人達にとって魅力あるロータリークラブ作りと会員増強のために知恵を絞り、行動を起こしていただきたいのです。強い意志を持つことによって結果が生まれてまいります。

よろしく申し上げます。



第2660地区の今年度岡部Gは「純増何名と言う事をあえて申し上げない」という方針を打ち出されました。

まさに従来の拡大増強のあり方に一石投げられた形であります。

「数は力なり」という概念を少し横に置いて魅力あるクラブ作り、魅力有る会員探求、にシフトする。がしかし会員が多いクラブと、少ないクラブとでは、自ずと変わる事情が有るのも事実であります。

第2660地区クラブ会員数 (2011・4現在)

10～19	小規模クラブ	07クラブ
20～29	弱小クラブ	19クラブ
30～39	要注意クラブ	24クラブ
40～49	国際的平均クラブ	16クラブ
50～以上	活性化クラブ	18クラブ

以上のような会員構成では有りますが、少ない会員でも素晴らしい活動をしているクラブがたくさんあります。要はクラブが活性化しているかどうかの問題ではないかと思えます。

さて2011年度の増強セミナーがいちはやく6月4日大阪科学技術センターで開催されました。新年度より増強の最前線で活躍される各クラブ会長、増強委員長に参加して頂き、じっくりと今後の増強の在り方等について、東京城南RC 松下昌夫氏 (Renew the Spirit of Rotary) に講演して頂き其ののち、クラブ

の問題点や提案等で新会長、新增強委員長らとディスカッションを行いました。会員増強は、増強月間だからというのではなく、常に其の心もち、仲間を増やし、楽しくなければなりません。常日ごろから地域との交流を通じロータリアン以外の人にもロータリーイメージの向上にこそがけ、理解して頂く広報活動も会員増強に大きく影響致します。ゆえに会員増強し新会員を増やす事も大事ですが、それとは裏腹にいろんな事情で退会される方の会員維持にも大きく力を注ぎこんでほしいと思えます。

ロータリーの最大財産とは其れは疑いもなく我々ロータリークラブ会員一人ひとりです。この財産なくしてロータリークラブ意味が有りますか？何故会員増強が必要か、それはロータリーの生存に関わる問題だからです。新会員はロータリアンの未来だからです。

ロータリークラブとは

- たくさん仲間と出会います
- いろんな勉強になります
- 仕事のためにもなります
- 趣味も増えます
- 何ととっても楽しいです

2010～2011年度 IM第8組報告

会長 西山雅康 (大阪咲洲RC)
IM実行委員会 委員長 高松伸伍 (大阪咲洲RC)

テーマ：隠れた逸材を世に出すには

ホスト：大阪咲洲RC

日時：2011年5月14日(土) 13:30～17:00

場所：ハイアットリージェンシー 大阪

参加クラブ：大阪阿倍野RC、大阪平野RC、大阪イブニングRC、大阪城南RC、大阪住之江RC、大阪住吉RC、大阪天王寺RC、大阪東南RC、大阪咲洲RC

登録者数：309名

出席者数：119名

世の中には一生懸命努力して十分な実力を備えているのに、世に広く認められない人が少なくありません。そんな隠れた逸材を探し出して世に送り出すことは文化・スポーツをはじめ、あらゆる分野において必要なことではないでしょうか。今回私たちは「隠れた逸材を世に出すには」をテーマに講演と演奏とパネルディスカッションを企画いたしました。

(講演)

朝日放送ラジオのアナウンサー道上洋三氏から「隠れた有望な人材を見つけよう」というテーマでご講演をいただきました。西武ライオンズやダイエーホークス(現ソフトバンクホークス)が長年時間をかけて、選手をスカウトするフロントとフロントが獲得した選手を使って試合に専念する現場との役割分担を明確にすることで、選手を発掘・育成し、チームの強化と観客動員数の増加に成功した話を、現在低迷している阪神タイガースと比較しながら情熱的に語られました。



(演奏)

隠れた逸材候補として2名の音楽家の演奏を聞きました。ピアニストの桑原怜子氏はリストとショパンの曲を、フルート演奏家の江戸聖一郎氏はビゼーとドップラーの曲をそれぞれ思いを込めて演奏されました。



(パネルディスカッション)

パネラー：響 敏也氏 (音楽評論家)

疋田哲夫氏 (放送作家)

道上洋三氏 (朝日放送ラジオアナウンサー)

桑原怜子氏 (ピアニスト)

江戸聖一郎氏 (フルート演奏家)

コーディネーター：上田 彰 (大阪咲洲RC会員)

上田彰氏による司会進行のもと、人材の発掘や新人の育成についての真剣で軽妙な数多くのエピソードが5人のパネラーから飛び出し、楽しく聞きごたえのあるパネルディスカッションになりました。芸術というものには命の大切さを一瞬でわからせてくれるものだから、商売として売れる売れないというより、命の尊さを伝えられる人が多く出てほしいと話された響敏也氏の言葉や、目の前のお客さんに生の演奏を通じて音楽家としてこうありたいという思いを表現し伝えることのできる人が音楽家として逸材だと思う、と話された江戸聖一郎氏の言葉が特に印象に残りました。

(閉会式)

泉博朗ガバナー補佐による講評のあと、次回ホストクラブの大阪住吉RC川上富清会長より、来たる7月に大阪阿倍野RC・大阪住之江RCと合併して大阪帝塚山RCとして発足し、次回IMでの再会に向けて鋭意準備中とのご挨拶をいただきました。

国際ロータリー第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

第2660地区 ガバナー・ノミニー候補者の指名

地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、当指名委員会において慎重審議の結果、八尾中央RC会員、福家宏氏を2013～2014年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として指名することに決定いたしました。

ガバナー月信9月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をおねがいしましたが、期日までに規約に該当するお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条に基づき、当指名委員会により選出された同氏を上記年度のガバナー候補者として指名いたします。

2011年6月22日

2010～2011年度
地区ガバナー指名委員会


第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、八尾中央RC会員、福家宏氏を2013～2014年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補として宣言します。

2011年6月23日

国際ロータリー第2660地区
2010～2011年度
ガバナー 松本新太郎

福家 宏（ふけ ひろし）氏の略歴

生年月日	1943年1月1日	
勤務先	医療法人 福家医院	
所在地	〒581-0831 八尾市山本町北4-5-13	
経歴	1972年 大阪市立大学医学部卒業	
	1972年 大阪市立大学医学部附属病院 大阪市立桃山市民病院 他	
	1987年 福家医院開業 現在に至る	
職業分類	小児科医	
ロータリー歴	1985年 八尾東ロータリークラブ入会	
	1991年 八尾東ロータリークラブ退会(業務多忙のため)	
	1995年 八尾中央ロータリークラブ入会	
第2660地区	1998～1999年度 クラブ幹事	
	2007～2008年度 クラブ会長	
	2000～2002年度 地区ポリオプラス委員	
	2002～2003年度 財団法人道的補助金委員会委員	
	2004～2005年度 財団法人道的補助金委員会委員	
	2005～2007年度 財団法人道的補助金委員会委員長	
	2008～2009年度 地区ロータリー財団副委員長	
	2009～2012年度 地区ロータリー財団委員長(現在に至る)	
	2010年12月 財団FVP委員会委員長(現在に至る)	
	2011年6月 災害支援プロジェクト副委員長(現在に至る)	
その他	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 米山功労者(マルチプル) ベネファクター	

2014～2015年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦について

国際ロータリー 第2660地区
各ロータリークラブ会長様

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー **岡部 泰鑑**
地区ガバナー指名委員会
委員長 **松本新太郎**

2014～2015年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦書提出の要請

RI細則13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により、地区内の各クラブで2014～2015年度ガバナー・ノミネー候補者がおられましたら、10月31日までにガバナー指名委員会委員長（地区ガバナー事務所）宛に必着するよう提案して下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条15.070、15.070.1～15.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミネー候補者の選出を行うにあたっては、その選出の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

国際ロータリー細則第13条 13.020.5（参照）

米国ニューオリンズ 国際大会に参加して

角谷真枝(茨木西RC)



5月21日～25日まで米国ルイジアナ州 New Orleans で開催されました国際大会に21日、22日参加してまいりました。4月上旬にミシシッピー河上流で大雨があり、その影響で下流地域が水没しているニュースがテレビで連日放映されていました。その大水量がミシシッピー河口に到達するには90日かかるということで、さすがアメリカ10州6,019kmを縦断するミシシッピーだと感心すると同時に、ひょっとして国際大会に影響するのではないかと大変心配しました。2006年5月にもNew Orleansを訪れましたが、その時は、前年ハリケーン・カトリーヌで大きな損害を受けた10カ月後でしたので、訪れる人は全く少なく町全体がとても寂しい感じでした。しかし今回は、丁度5月が米国の卒業式の時期でもあって、卒業記念旅行の若者も多く、復興整備された町全体が明るい雰囲気になっていました。New Orleansは観光地としての本来のカラーを取り戻してきているように見えました。レイ・クリンギンスミス会長は、22日の開会挨拶の際「地域を育み、大陸をつなぐ」という、今年のテーマそのままを表すようなNew Orleansの復興を映像で紹介されたのですが、今回のロータリー国際大会開催は、町の復興に一役も二役も寄与していたのではないかとつくづく感じたところです。24日にはどうしても帰国しなくてはならなかった為、田中作次RI会長ノミニの会長エレクト受諾演説や、楽しみにしていたビル・ゲイツ氏のポリオ撲滅活動の講演が聞けなかったことは非常に残念でした。又近藤雅臣RI理事をはじめ、第2660地区の方々にお会いしたかったのですが、残念ながらお目にかかることができませんでした。やはり日本人食事会に参加しなければ、会議会場でお会いするのは難しそうです。埼玉県からは田中作次会長ノミニがいらっ

しゃる為、大変多くの参加者があったようです。21日、22日は気温33度、アメリカ南部特有の強い日ざしでしたが、良いお天気に恵まれた2日間でした。

<21日 登録と友愛の家>

身分証明書提示さえすれば登録は大変スムーズでした。今回は日本からEメールで国際大会に関する色々な資料が用意でき、おかげで時間的な計画がたてやすくなりました。登録時に詳しい日本語の大会資料が貰えます。友愛の家のグランドオープニングパレードや、各ブースを見て回りました。日本からは広島平和レポート、東京恵比寿RCの「水と衛生設備」プロジェクト、東日本大震災の被災地域である第2520地区(岩手・宮城)のブースがありました。総てのプログラムが、コンベンションセンター1ヶ所で行われたので移動は大変楽でした。

<22日 開催本会議>

12時の開場を待つ人でアーネスト・メモリアル・コンベンションセンターのC～Fを貫く物凄く長い行列ができました。しかし、さすがロータリアン、明るいお喋りはあっても総ての人が紳士的で穏やかでした。

- ・元RI会長のご紹介では懐かしい方々がお元気で登場され、特に昨年地区大会におこし下さいましたタイのビチャイ・ラタクルP・Pや、大阪大会の時奥様を亡くされお一人だったマジアベP・Pが、再婚された奥様とご出席されていたのが印象的でした。
- ・オープニングセレモニーでは今年度、大阪天満橋RCから交換学生としてミズーリに派遣されてい



る山村芹菜さんが、1985年レイ現RI会長の助力によって創立されたSCRYE（サウス・セントラル青少年交換多地区合同活動グループ）の一員としてコーラスに参加。彼女の笑顔満面の顔がスクリーンに大きく映し出された時は、実のおばあちゃん？の気分になって涙ぐんでしまいました。彼女は登録会場でも案内ボランティアで活躍していました。コーラスの最後では会場の多くの人が立ち上がり拍手。前列のご婦人もハンカチで涙をぬぐっていらっしゃいました。日本ではさほど感じませんが、国際大会に参加すると、ロータリーが次世代青少年にかける想いがいかに大きいのか、良くわかります。私は少しの間でしたが、地区の青少年交換委員会の仕事に携わり良かったとつくづく思いました。その他少し気になったこととして、会場には日本語・英語・フランス語・イタリア語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の通訳提供が用意されていましたが、何故か中国語がありませんでした。理由はあると思いますが、台湾・香港からの参加者、特に台湾からは今回多く参加されていたので気の毒な気がいたしました。

のある頃、綿花の栽培や砂糖生産で富を築いた大農園のことで、「風と共に去りぬ」にでてくるような巨大なオーク（樺の木）群に囲まれた農園主のマンション（大邸宅）の見学ができます。New Orleansから少し上流の両岸にはこうした大きなプランテーションが3つほどあり、会場からバスでプランテーション見学ツアーに参加されたロータリアンもいらしたようです。



<ニューオリンズの観光とグルメ>

アメリカの中でも少し不思議な雰囲気のある魅力的な町 New Orleans。

街中でジャズが流れるNew Orleansがあまりにも有名ですが、グルメでは、牡蠣、アメリカザリガニ、シーフード料理、ガンボ料理が有名です。又フレンチ・クォーターとよばれる地区にあるカフェ・デュモンドのベニエという小さな四角いドーナツも有名（江坂と茶屋町に、カフェ・デュモンドの支店がありますので、大阪でもベニエが味わえます）。

ヒューストンに戻る途中、息子に勧められてオーケレイというシュガープランテーションを見学してきました。プランテーションというのは奴隷制度

東日本大震災の義援金

6月19日までに当地区で受け付けました各クラブからの義援金は総額82,535,512円（海外姉妹クラブなどからの24,052,837円を含む）に達しました。お預かりしました義援金は全額、ガバナー会へ送金させていただきました。

地区宛に義援金をお送りいただきましたのは、次の各クラブです。

（★は海外姉妹・友好クラブ等）

大東RC ★台北雙溪RC	守口イブニングRC	大阪難波RC	大阪梅田東RC
大東中央RC ★台中南門RC	寝屋川RC	大阪なにわRC	大阪うつぼRC ★釜山西面RC
東大阪RC	大阪RC ★大阪ローターアクトクラブ ★Hua-Hin RC	大阪南西RC	大阪淀川RC ★高雄RC ★台北東海RC会員 陳思乾
東大阪中央RC	大阪阿倍野RC	大阪ネクストRC	大阪ユニバーサルシティRC
東大阪東RC	大阪中央RC	大阪西RC ★高雄西RC	千里RC
東大阪みどりRC	大阪堂島RC	大阪大手前RC ★台北百齡RC	千里メイプルRC
東大阪西RC	大阪フレンドRC	大阪大淀RC	摂津RC ★元米山奨学生 王 璇
枚方RC	大阪東RC ★SEOUL-MUAK RC ★MANILA RC	大阪リバーサイドRC	四條畷RC
茨木RC	大阪東淀ちゃやまちRC	大阪咲洲RC	吹田RC ★Grunwald RC ★新竹東區RC
茨木東RC	大阪平野RC	大阪西南RC	吹田江坂RC ★台北龍門RC ★高雄大發RC
茨木西RC	大阪本町RC	大阪船場RC	吹田西RC ★Students from the school donated by WCS Project ★Nakhonphanom RC ★タイ3340地区個人

池田RC ★ソウル東南RC ★加平RC	大阪イブニングRC ★マカティセントラルRC	大阪心齋橋RC	高槻RC
池田くれはRC	大阪城南RC	大阪城北RC	高槻東RC
門真RC	大阪城東RC	大阪住之江RC	高槻西RC
交野RC	大阪柏原RC	大阪住吉RC	豊中RC
香里園RC	大阪北RC	大阪天満橋RC ★RI 第3350地区	豊中南RC
くずはRC	大阪北梅田RC	大阪天王寺RC	豊中—大阪国際空港RC ★大園RC ★桃園東北RC ★桃園東RC
箕面RC	大阪御堂筋RC	大阪東南RC	豊中千里RC
箕面中央RC	大阪南RC	大阪鶴見RC	八尾RC
守口RC	大阪中之島RC ★台北福齡RC	大阪梅田RC ★台北天母RC	八尾中央RC ★高雄西南扶輪社RC
			八尾東RC

●その他・・・米山学友会

またこれ以外にも、各クラブ独自の被災地支援の活動をそれぞれに行っていております。
皆様のご理解とご協力に感謝致します。

国際ロータリー 第2660地区

2010—2011年度 ガバナー 松本 新太郎

地区大会のご案内

地区大会実行委員会

委員長 光信昌明 (大阪城南RC)

地区方針：「見直しをすすめ 新たな第一歩を」

地区方針に則り、第2660地区内外のロータリアンとの交流を図り、意義深い講演の受講や、分科会の討論で自らを高揚し、ロータリーの綱領を推進すべく、地区大会を開催致します。

大会日程

2011年11月11日(金)、12日(土)

ホストクラブ 大阪城南RC コ・ホストクラブ 大阪東南RC

第一日目 シェラトン都ホテル大阪

・13時～17時30分

「開会式」

「セッション1」 ロータリーの原点 第2680地区PG 深川純一氏

「セッション2」 米山修了生とともに理想の米山奨学生像を探る

「セッション3」 大会決議案上程承認等の議事

「セッション4」 入会3年未満の新入会員の研修

・18時～20時30分

「RI会長代理歓迎晩餐会」

・14時30分～

「家族の集い」は、大阪歴史博物館を中心に見学して頂きます。

第二日目 NHK大阪ホール

・13時～17時30分

「本会議」 映像を多用し、出来るだけ多くの情報を提供

「基調講演」 京都大学教授 中西輝政氏

「大震災からの復興と真の日本再生を考える」

「友愛の広場」 地区委員の活動等の情報提供等

各クラブ 会長・幹事・各委員長の皆様へお願い

1. 是非とも、地区内の全会員を対象とした地区大会への参加を、会員の方々に対して強力に推進して頂きますよう、お願い申し上げます。
2. 各クラブ所属の地区大会関係者への各種文書に関しましては、各クラブの事務局へ送信させていただきますので、当事者の皆様にご連絡よろしくお願い致します。また、地区大会事務局への返信も、事務局からお願い致します。
3. また、参加申し込みに際しては、地区大会事務局の事務効率化のため、例年各クラブに送付させて頂いております、「地区大会登録申込集計表」の記入方法を一部変更させていただきます。何卒ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

青少年交換プログラム

2012～2013年度 派遣学生募集要項

青少年交換委員会

委員長 野村正勝 (箕面中央RC)

このプログラムは、短期間の海外研修や海外生活体験といった表面的な交流とは異なり、約1年間を派遣先の国のホストファミリーの家(3-4軒の家庭)に滞在し、それぞれの家族の一員として生活を共にし、現地の高校にも通って多くの友人や人々との触れ合いを経験するというものです(このほかに夏休み限定の短期のプログラムがあります)。

異なる言語の国や地域に高校生という多感な時期に単身で派遣された当初は誰もが、十分なコミュニケーションができないため、辛く寂しい時期を経験します。しかし多くの若者はこの困難を乗り越え1年後には多くの友人を作って一回りも二回りも成長し、逞しくなって日本に戻ってきます。

青少年交換プログラムは、ロータリアンの子弟らに参加できる、唯一のRI正式プログラムです。ロータリアン自身のお子様、お孫さん、親戚の子供らで派遣時に高校生であれば誰でも候補生になれます。

クラブの各位におかれましては、プログラムの趣旨、目的をご理解くださり奮って参加されますよう、そして次世代を担う青少年の育成にご協力くださるようお願いいたします。

- 1 主な交換相手国：アメリカ、カナダ、フランス、台湾、オーストラリア、ベルギー、スイス、フィンランド、スウェーデン、ポーランド など。
- 2 交換期間：2012年8月出国—2013年6,7月帰国
(短期交換は2012年7、8月出国—同年8、9月帰国)
- 3 交換内容：それぞれの派遣先のご家庭でホームステイして現地の高等学校に通います。ホームステイ先や高校で現地の言葉を学び、クラブ活動、授業に出席します。また受け入れロータリークラブの例会にも参加しその国の文化や習慣を学びます。

- 4 費用：プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費(高校)の全額および少々の小遣いはホストロータリークラブが負担します。
- 5 応募資格：①出発時、16—18歳であること。②健康で礼儀正しく、水準以上の学力をもち外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は学年で1/3以内の者(在学高校により差があるので、相談に応じます)③学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可がえられる学生であること(派遣中における単位取得の可否、単位数については、通学中の学校にご確認ください)④RCの推薦が得られる学生であること。
- 6 応募期限：長期交換 2011年9月30日(金) 必着
短期交換 2012年4月まで随時
応募方法：応募者はスポンサークラブを通じて地区青少年委員会またはガバナー事務所にお申し込みください。申込書はガバナー事務所に請求ください。原則として派遣学生を送り出したロータリークラブは交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

お問い合わせ：国際ロータリー第2660地区
ガバナー事務所(担当 今井)
Tel 06-6264-2660
Fax 06-6264-2661
〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6F

創立される新しいロータリークラブの概要は以下の通りです。

1. 新クラブ設立の必要性

- (1) 会員数の減少傾向が長期的に継続しています
 - (2) 会員の高齢化が年々進行しています
 - (3) 高いコストが続いています
 - (4) CLP導入後も、クラブ運営の見直しが困難な状況が続いています
- ★現在のロータリーの閉塞感を打ち破るような、新しい形のクラブが必要です

2. 地区ガバナー主導

新クラブ設立のためのスポンサークラブは設置しません。

各クラブにおいて、様々な問題を抱えている中で、新クラブ設立のためにスポンサークラブを探し、依頼する事は、現在の情勢では極めて難しいことです。

また、たとえスポンサークラブの申し出があっても、新クラブが、その従来型のクラブ運営を踏襲するようになりますと、新たな視点でのクラブ運営は、困難を伴います。

★新クラブの設立は、地区ガバナー主導の下で、新たに委嘱された「新クラブ創立準備委員会」が担当し進めてまいります。

3. 新クラブの基本構想

- (1) 各会員が負担するコストの削減を行い、若年層、女性、定年退職者など、幅広い会員が入会可能になるような低コストを目指します。
- (2) クラブ運営に伴う事務作業は会長・幹事等の役員が、分担して行う事を基本とし、クラブ事務局、及び事務局員は、当分の間、設置しません。
- (3) 例会は、「モーニング例会」を基本とし、時間を有効に使えるように設定します。
- (4) 例会場は、交通至便な梅田ターミナル近辺を予定しています。
- (5) IM所属グループは設立時までには地区で検討します。

4. 会員と例会

- (1) 会員対象者：年齢、性別は問わず、元会員・元ロータアクターの方も歓迎します。
- (2) エリア：大阪市内全域とします。
- (3) 目標人数：設立時30名、その後、会員増強を段階的に進めます。
- (4) 会員連絡手段：電子メールを基本とし、会員専用のHPを設けます。
さらにメーリングリストを活用します。
- (5) 食事：ビュッフェ形式とし実費払いにします。

(6) 会 費：入会金・年会費いずれも10万円以下を目標とします（食事代は別）。

★同様な趣旨で設立され発展を続ける「パワー浜松RC」などの新しいクラブを参考に、進むべき方向を、探ります。

5. 会員募集

(1) 創立会員の年代層

少なくとも電子メールを使える事業経営・専門職・奉仕活動等に従事されている方々を原則として、幅広い世代の、幅広い職業人に募集をかけてまいります。

(2) 会員募集方法

地区会員増強拡大委員会・地区広報委員会を通じて、当地区会員の皆様に、新クラブの趣旨・概要を周知徹底したうえで、募集を行います。

(3) 広報の方法

広く一般に募集することを原則とします。

(4) その他

設立時期については、2011－2012年度中の設立を目指し進めてまいります。

6. 新クラブ創立準備委員会

岡部 泰鑑（大阪城南RC）	ガバナー
境 高彦（大阪城南RC）	地区代表幹事
横山 守雄（大阪中央RC）	ガバナー特別代表
池尻 誠（八尾RC）	直前地区代表幹事
村橋 義晃（大阪中之島RC）	次年度地区代表幹事
西村 俊彦（東大阪みどりRC）	地区クラブ奉仕・拡大増強委員長
西口 宗宏（大阪中央RC）	地区広報委員長
山田芙美江（元大阪そねざきRC）	元地区クラブ奉仕・拡大増強委員

7. 入会希望者の推薦

会員の皆様には、入会希望者の推薦ならびに勧誘に、ご協力賜わりますようお願い申し上げます。

8. 連絡問合せ先

西口 宗宏：地区広報委員長

TEL 06-6622-1323 FAX 06-6622-0837

Mail westgate@nifty.com

★創立の趣旨・募集に関しては、地区HPにも掲載させて頂く予定です。

各クラブ創立日・認証日一覧表

2011年7月1日現在

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ビザ・フィー	備考
大東	1967年12月26日	1968年 1月24日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
大東中央	1996年 3月14日	1996年 4月16日		¥100,000	¥240,000	¥3,000	
東大阪	1957年 6月 4日	1957年 6月17日		¥120,000	¥320,000	¥4,500	
東大阪中央	1972年 2月20日	1972年 3月 3日	40周年	¥100,000	¥285,000	¥4,500	
東大阪東	1965年 3月 4日	1965年 4月28日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
東大阪みどり	1998年 9月24日	1998年10月28日		¥100,000	¥320,000	¥3,000	
東大阪西	1985年 3月18日	1985年 3月29日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
枚方	1961年 2月28日	1961年 4月 3日		¥200,000	¥250,000	¥3,000	
茨木	1959年12月23日	1960年 2月 9日		¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨木東	1974年 2月14日	1974年 3月 8日		¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨木西	1993年12月 8日	1993年12月21日		¥150,000	¥290,000	¥4,000	第3週は¥2,000
池田	1954年 4月24日	1954年 5月 4日		¥150,000	¥300,000	¥3,000	
池田くれは	1984年 4月16日	1984年 4月24日		¥100,000	¥260,000	¥3,500	
門真	1969年 4月17日	1969年 6月13日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	第2・4週は¥2,500
交野	1984年 6月25日	1984年 6月28日		¥50,000	¥200,000	¥1,000	
香里園	1995年 4月29日	1995年 5月31日		¥100,000	¥250,000	¥2,000	
くずは	1974年 5月30日	1974年 6月25日		¥200,000	¥280,000	¥3,000	
箕面	1969年 4月17日	1969年 5月 9日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	
箕面中央	1980年 6月13日	1980年 6月13日		¥100,000	¥336,000	¥3,800	
守口	1961年 3月20日	1961年 4月24日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
守口イブニング	2000年11月 2日	2000年11月22日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	
寝屋川	1969年 4月18日	1969年 4月25日		¥100,000	¥290,000	¥3,000	
大阪	1922年11月17日	1923年 2月10日		¥200,000	¥320,000	¥4,700	
大阪中央	1984年 1月26日	1984年 2月 6日		¥250,000	¥300,000	¥4,000	第2・4週は¥3,000
大阪堂島	1987年 6月15日	1987年 6月29日	25周年	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪フレンド	1999年 6月 3日	1999年 6月23日		¥50,000	¥360,000	¥4,500	月1回軽食¥3,500 隔月1回¥4,800
大阪東	1957年 6月 6日	1957年 6月17日	55周年	¥100,000	¥280,000	¥4,700	
大阪東淀ちゃやまち	1970年 6月26日	2009年 5月18日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪平野	1975年 2月20日	1975年 3月29日		¥200,000	¥340,000	¥4,500	最終週は¥2,800
大阪本町	1991年 3月26日	1991年 6月24日		¥100,000	¥220,000	¥4,800	月1回¥3,800
大阪イブニング	1986年 1月23日	1986年 2月17日		¥150,000	¥364,000	¥4,000	
大阪城南	1969年 5月30日	1969年 6月13日		¥100,000	¥150,000	¥4,500	
大阪城東	1973年 4月27日	1973年 6月 7日		¥150,000	¥340,000	¥4,600	
大阪柏原	1970年 6月 1日	1970年 6月17日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
大阪北	1952年12月16日	1953年 1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,200	
大阪北梅田	1992年 1月20日	1992年 2月17日	20周年	¥100,000	¥150,000	¥4,400	最終週は軽食¥3,000
大阪御堂筋	1993年 1月28日	1993年 3月 9日		¥150,000	¥300,000	¥4,800	第1例会日は¥3,800
大阪南	1952年12月16日	1953年 1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,500	
大阪中之島	1992年10月29日	1992年11月20日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
大阪難波	1976年 8月 5日	1976年 8月27日		¥100,000	¥330,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪なにわ	1984年 2月23日	1984年 3月 5日		¥150,000	¥360,000	¥4,800	コーヒー例会¥2,500

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ビザ-フィー	備考
大阪南西	1974年 6月10日	1974年 6月17日		¥100,000	¥310,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪ネクスト	2007年10月13日	2007年11月 7日		¥10,000	¥70,000	¥1,000	食食用意なし
大阪西	1957年 6月 4日	1957年 6月17日		¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪大手前	1983年 3月18日	1983年 4月 6日	29周年	¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪大淀	1973年 2月22日	1973年 3月20日		¥200,000	¥320,000	¥4,800	最終例会日は¥3,500
大阪リバーサイド	1980年 4月10日	1980年 4月29日		¥200,000	¥300,000	¥3,000	最終週は¥2,000
大阪咲洲	1995年10月11日	1995年10月31日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪西北	1969年 5月27日	1969年 6月13日		¥200,000	¥270,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪西南	1969年 5月21日	1969年 6月 9日		¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪船場	1988年 5月23日	1988年 6月 3日		¥150,000	¥320,000	¥4,800	
大阪心斎橋	1970年11月10日	1970年11月19日		¥150,000	¥300,000	¥4,300	月末は軽食¥3,300
大阪城北	1977年 6月29日	1978年 2月20日	35周年	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪そねざき	1994年 3月 2日	1994年 3月16日		¥150,000	¥320,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪天満橋	1967年11月 4日	1967年12月21日		¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪天王寺	2011年 1月 1日	1969年 6月21日		¥100,000	¥320,000	¥4,500	第2・4週は¥2,500
大阪帝塚山	2011年 7月 1日	1961年 6月21日		¥100,000	¥300,000	¥4,500	最終例会日は¥2,800
大阪東南	1985年11月26日	1985年12月10日		¥150,000	¥120,000	¥4,600	
大阪鶴見	1984年 7月10日	1984年 8月 6日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪梅田	1977年 6月29日	1977年 7月30日		¥100,000	¥320,000	¥4,800	月1回は¥3,500
大阪梅田東	1988年 5月20日	1988年 6月 1日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪うつば	1981年 4月17日	1981年 4月28日		¥100,000	¥352,000	¥4,500	年会費に会食費含む
大阪一淀川	1961年 1月14日	1961年 3月28日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪ユニバーサルシティ	2001年 3月27日	2001年 5月 2日		¥200,000	¥240,000	¥4,000	軽食日は¥3,000
千里	1973年 6月12日	1973年 6月28日		¥200,000	¥240,000	¥4,500	
千里メイプル	1998年 6月13日	1998年 6月24日		¥150,000	¥300,000	¥4,000	
摂津	1970年 9月26日	1970年10月 9日		¥100,000	¥270,000	¥3,000	月1回は¥2,000
四條畷	1977年11月30日	1978年 2月 3日		¥50,000	¥200,000	¥2,000	
新大阪	1985年 5月 8日	1985年 5月17日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
吹田	1958年12月18日	1959年 4月15日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
吹田江坂	1990年 2月27日	1990年 3月15日		¥200,000	¥320,000	¥4,000	
吹田西	1980年 6月12日	1980年 6月13日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
高槻	1954年 6月15日	1954年 7月 6日		¥120,000	¥260,000	¥3,000	
高槻東	1973年 3月 1日	1973年 4月19日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
高槻西	1989年 6月15日	1989年 6月27日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
豊中	1959年 6月16日	1959年 6月27日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	
豊中南	1969年 6月 5日	1969年 6月13日		¥100,000	¥320,000	¥3,500	
豊中一大阪国際空港	1972年 2月23日	1972年 3月 2日		¥100,000	¥316,000	¥3,000	
豊中千里	1986年 2月 5日	1986年 2月20日		¥100,000	¥320,000	¥4,000	
八尾	1961年 3月28日	1961年 5月 3日		¥100,000	¥274,000	¥2,500	
八尾中央	1982年12月 7日	1982年12月15日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	第3例会日 (第2例会場)は¥5,000
八尾東	1973年 2月23日	1973年 5月23日		¥50,000	¥270,000	¥3,000	

(注) 大阪RCは1949年4月13日に再認証

文庫通信 (286号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演から

- ◎「日本の歩むべき道」 小泉純一郎 2011 8p (D.2590)
- ◎「日本人のわすれもの」 櫻井よしこ 2011 2p (D.2690)
- ◎「日本経済復活のキーワード“グローバルセンス”」 財部誠一 2011 3p (D.2760)
- ◎「地域の繁栄は国の繁栄」 金 美齡 2011 2p (D.2630)
- ◎「私とスペシャルオリンピックス活動」 有森裕子 2011 6p
(D.2750第30回インターアクトクラブ年次大会)
- ◎「変わりつつあるロータリー」 江崎柳節 2011 3p (D.2760)
- ◎「ロータリー財団の方向性」 川尻政輝 2010 5P (D.2780)
- ◎「CLPとクラブ活動について」 松宮 剛 2010 9P (D.2780)
- ◎「津波が変えた私の人生」 道下俊一 2008 10P (D.2780)

[申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

高 田 剛 会員
(大阪城北RC)

2011年6月16日逝去(享年54歳)
IT委員長
青少年活動委員長

植 田 恭 平 会員
(大東RC)

2011年6月29日逝去(享年53歳)
理事
社会奉仕委員長
米山奨学委員長
青少年奉仕委員長
会計
世界社会奉仕委員長
広報委員長
出席委員長

米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

●事務局移転

大阪そねぎRC
新事務局
住所：〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8
本町クロスビル9階 JTB海外旅行西日本支店内
電話：06-6252-2798 FAX：06-6252-2790
Eメール：k_kawanami803@west.jtb.jp

●クラブ幹事変更

大阪そねぎRC
新幹事 川 並 和 幸
旧幹事 菅 原 真 一

●お詫びと訂正

月信7月号の地区組織図に地区大会実行委員会
実行副委員長 野崎瞭様が抜けておりました。
また、地区協議会ホスト 大阪城南ロータリー
クラブとなっておりますが、大阪中之島ロー
タリークラブの間違いです。
お詫びして訂正いたします。

●Eメールアドレスの変更

大阪帝塚山RCのEメールアドレスが
変更になりました。
新Eメール：tezukayama-rc@nifty.com

●ホームページアドレスの変更

大阪南西RCの新アドレス：
<http://nanseirc.com/>
大阪梅田RCの新アドレス：
<http://osaka-umeda-rc.sakura.ne.jp/>
高槻西RCの新アドレス：
<http://rc-takatuki-west.main.jp/>
八尾中央RCの新アドレス：
<http://www6.ocn.ne.jp/~ycentrc/>

●危機管理委員会委員変更

新委員 小 林 正 啓 (大阪城南RC)
旧委員 岩 本 洋 子 (大阪そねぎRC)

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年8月12日(金)～
2011年8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

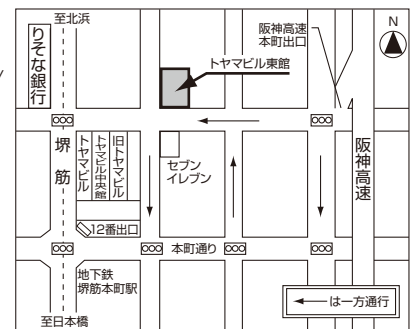
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

9 vol.3



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



9 vol.3

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

新世代のための月間	1
新世代のための月間に寄せて	2
意義ある業績賞について	3
大阪帝塚山RC創立記念例会・懇親会を終えて	4
2011～2012年度合同地区委員会報告	5
2011～2012年度第1回クラブ国際奉仕・WCS委員長会議報告	6
新クラブ設立の準備状況報告と新会員募集について	7
災害支援プロジェクト報告（第3回）	8
2011年7月度 会員数・出席報告	9
文庫通信	10
敬弔／お知らせ	



私がガバナーに就任しまして早3ヶ月目に入ります。9月は既に皆様ご存知の通り、『新世代のための月間』です。これは“四大奉仕”に新世代奉仕が追加されて“五大奉仕”になり、ロータリークラブは「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を、期間中クラブ会報や広報資料に使用を奨励されています。

RIは新世代育成の重要性を折に触れて訴えています。新世代の健全な育成、ところで新世代とは何歳までいのでしょうか。それは、年齢30歳までの青少年の人達を言っており、新世代の人々の多様なニーズを考えてより良い未来へと新世代の人達に対して彼らの将来を見据えて私達が健全な方向へ導くことの重要性が特に求められています。

新世代の健全な育成を目指すための青少年プログラムとしては、

- (1) ロータリー青少年交換
- (2) ニコニコキャンプ
- (3) ローターアクト
- (4) インターアクト
- (5) RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

等が用意されています。

私達ロータリアンは、このようなプログラムを通じて青少年と共に将来に向かっての目標を設定し、共に楽しみ、話し合い、彼らの行動を見極めて健全な方向へと共に歩む姿勢が必要です。

では、上記(1)～(5)について簡単に説明していきます。

(1) ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange)

ロータリー青少年交換に参加する学生は、長期交換プログラムで最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活を体験し、学校へ通います。これに参加する学生は、自国の文化、自分の考えを相手国の人々に伝えると共に親善使節としての役割を果たします。

(2) ニコニコキャンプ

ローターアクトの研修の場の必要性から、ローターアクターがリーダー役となり、小学生を対象として彼らをマトメる場としてニコニコキャンプが始

まりました。今年は7月30日～8月1日まで開催されました。当地区独自のもので、大阪ロータリークラブが提唱されました。

(3) ローターアクト (Rotaract)

ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のためのロータリーが提唱する奉仕クラブで地域社会または大学を基盤として、地元のロータリークラブが提唱しています。

(4) インターアクト (Interact)

奉仕と国際理解の推進に献身する12歳～18歳の学生のためにロータリークラブが提唱するクラブです。

インターアクトは、地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築いています。

(5) RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

RYLAの目的は、地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる『ロータリーパパ制度』を設け、研修期間中、青少年と寝食を共にし、彼らにロータリーを伝えたり、彼らの考え方を聞いたりしています。年齢は14歳～30歳までを対象としています。

私達ロータリアンは、上記プログラムを通じて青少年と直接対話することとなり、彼ら彼女らの健全な成長を見守る機会を与えられています。このことは、私達が彼ら彼女らの未来をサポートすることになり、私達の未来を彼らにゆだねることになります。彼らは厳しい目で私達を逆に見ています。私達が誠心誠意接することで彼らは心を開き、打ち解けると思っています。是非ともこのことを念頭において、多くのロータリアンがこれらのプログラムに参加して、若者達との心の交流を実感して下さい。

若者達の生きる喜びを、活力を身をもって体験されることをお褒めいたします。

なお、青少年保護法の遵守、および青少年と接する際の行動規範が厳しく謳われておりますので、ロータリアンはこれらに対しては十分の注意を払う必要があります。



9月は新世代のための月間です。従来、青少年のための奉仕部門として青少年委員会や、インターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラムなどは社会奉仕や国際奉仕部門の一部に位置づけられていましたが、2010-11年度よりそれらを統合した「新世代奉仕」部門が設置され、五大奉仕部門の一つに位置づけられました。

ロータリー章典の新世代奉仕部門(40.050.)の冒頭に掲げられている文章です。

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務である。すべてのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むよう奨励されている。

(1998年6月理事会会合、決定348号)

新世代の健全な育成を目指してロータリーには5つのプログラムが常設されています。

- ① ロータリー青少年交換
- ② ニコニコキャンプ
- ③ インターアクト
- ④ ローターアクト
- ⑤ RYLA

です。

それぞれ年齢や境遇に応じて適切なプログラムが準備されることにはなりますが、ロータリアンがこのプログラムに携わるに当たっての大切なことは、この子供たちがどのような人間に育っていったかという未来像をはっきりと持つことです。そして愛です。関心を持つことです。子供に対する愛情がなければ、せっかく捧げられた時間も、時間をかけて準備されたプログラムも無益なものとなるでしょう。愛されることによって人間は、愛する事のできる人間へと育ってゆくのです。愛情あふれるロータリアンと接することによって、人を思いやることのできる人格が形成されていくことでしょう。

RACの標語「Fellowship through Service」はすべての新世代プログラムに共通した言い得て妙の基本姿勢です。即ち、**良い友達作り**です。今、先進国で若年者死亡原因の最高位は心の病からくる自殺です。無関心の中ですよとゆくと心にとって、“嬉しい時に共に喜び、悲しい時に共に泣いてくれる友達”がどれほど大切かは言を待ちません。ロータリーは、次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長してくれることを願い、先にあげた5つの新世代のためのプログラムを設け、その中で良き友達作りがなされることを願っているのです。



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R I から「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、R I に選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2010年版「手続要覧」P105を参照)

◇選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること。また推薦できるのは地区につき1クラブのみです。既に「意義ある業績賞」を受賞したことのあるプロジェクトは重ねて業績の認証を受けることはできません。

「R I 意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうかを確認して下さい。

- ・プロジェクトは地元地域社会の重要な問題やニーズに取り組むもの。
- ・ほとんどのまたはすべてのクラブ会員が、単に金銭面の奉仕ではなく、自ら奉仕に参加し、クラブの規模とリソースに比例するものであること。
- ・地域社会においてロータリーのイメージを高めるものであること。
- ・他のロータリークラブが模倣できるものであること。
- ・賞が贈られるロータリー年度において、進行中または完了されたものであること。
- ・単一ロータリークラブによって実施されたものであること。

◇選定手続

地区ガバナーは8月1日までに地区選考委員を選任し、この選考委員会が表彰プロジェクトの申請書を受理することを告知する。

地区ガバナーは、その月信で選定基準(前記)と共に申請書を委員会が受理する締切日(1月31日)を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できる。

地区選考委員会は2月15日までに会議を開き、5プロジェクトまでを限度として受賞候補を選び、これを3月1日までに地区ガバナーに提出する。

選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員と協議のうえ1プロジェクトを選定する。当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2012年1月31日(火)とします。

なお、地区ガバナーは選定した通知が2012年3月15日までに届くようRI 会長に提出することとします。

RI から正式の認定状が送付されてくると、例年通りガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰することとします。

大阪帝塚山 RC 創立記念例会・懇親会を終えて

大阪帝塚山RC会長 西尾良一

7月6日に大阪南港のホテルハイアットリージェンシー大阪にて、大阪阿倍野RC、大阪住之江RC、大阪住吉RC、3クラブ合併による新生大阪帝塚山RCの創立記念例会と懇親会が盛大に執り行われました事を心から喜んでおります。

ご出席いただきました、RI理事の近藤雅臣様、RI第2660地区の岡部泰鑑ガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナー、ガバナー補佐、IM8組の会長、幹事様や多数のご来賓のご臨席を賜り誠に有難うございました。中でも東日本大震災で被災された岩沼RCの会長、幹事さんのご出席には頭の下がる思いがいたしました。鹿児島友好クラブ加治木RCからは祝電を、海外からはRI第3650地区の姉妹クラブの韓国ソウル中央RCより、丁寧な日本語の祝電と生花が届けられ、その心配りに感動いたしました。同時に多数ご出席くださいました大阪帝塚山RC会員、家族の皆様方のお陰と衷心よりお礼申し上げます。

例会の点鐘は、第2454回であると同時に大阪帝塚山RC第1回である事も感慨深いものでありました。

認証状の伝達式では、RI理事の近藤様から第2660地区の岡部ガバナーに手渡され、岡部ガバナーからさらに私に伝授され、気持ちの引き締まる思いが致しました。

新生大阪帝塚山RCは会員数58名で発足致します。阿倍野RCは32年、住之江RCは36年、住吉RCは50年のそれぞれの歴史あるクラブです。合併の話が出てから3回の協議で合併の概要が決まり、1年間は3クラブの合同例会を開くことが決定しました。合併への最初の難関は、合同例会の曜日、例会場の決定ですが、ここで発揮したのが3クラブとも強い合併する意識と譲り合いの精神でした。新クラブに対する名前、会費の決定、奉仕活動状況のすり合わせ等、諸々の



決め事を、3クラブによる会長、幹事が合併委員としてご尽力下さいました。名前に関しては、従来の3クラブの名前を継承せず新しい名前で発足する事が決定。会費は「事務所の賃料、事務員の給与、事務機のリース料等」の合理化により当然安くする。安くなった分を活動費に充足する。奉仕活動は、3クラブ共に活動してきましたが、出来る限り3クラブ、奉仕活動に協力する事を前提に取り決められました。このような過程を経て新生大阪帝塚山RCが51年目に創立されました。

ガバナーの心こもった祝辞があり、方針の中に「見直しをすすめ、新たな第一歩を」提唱され、大阪帝塚山RCはまさに第一歩を歩み始めたところです。ロータリーの綱領を守り、会員間の絆を深化させ基盤の強化と会員増強に励みます。

記念例会の閉会点鐘の後は懇親会です。部屋も懇親会場に移り雰囲気も新たに和やかに行われました。オペラ歌手の公演はお祝いの席にふさわしく考慮され、鏡割りで場の雰囲気が一気に盛り上がり、乾杯の音頭をとられた斉藤昭会員の92歳のかくしゃくとした言動に勇気づけられて、会食が始まりました。RI理事の近藤雅臣氏のご祝辞の中で、会員増強は職業奉仕を基盤とした高潔なクラブであれば、おのずと入会希望者が増えるとの示唆にとんだ挨拶に深く心を動かされました。余興としてのチアリーディングは会場狭しと、躍動するはじけるような若さが圧巻でした。お楽しみ抽選会も終え参加者全員の記念写真を撮り、宴たけなわのうちに、片山副会長の中締めの挨拶で開きになりました。末尾に板垣実行委員長はじめ実行委員の皆様方の企画運営に深くお礼申し上げます。



2011～2012年度 合同地区委員会報告

地区代表幹事 境 高彦 (大阪城南 RC)



岡部G就任最初に行われる地区会合の「合同地区委員会」が7月16日大阪YMCA会館で開催されました。当日は高島GE、福家GN又、13名のPGのご出席を得て地区を構成するほとんどの出席義務者の参加を得ました。まず最初に岡部Gの「私の年度が始まりました」の第一声に始まりRIのテーマ、岡部Gの重点項目等を踏まえた挨拶があり各委員会の活発な活動と協力の要請がありました。

例年通り地区より会計・ガバナー月信・ロータリーの友に関して説明があり、本年度は特に3月11日の東日本大震災に対して地区として災害支援プロジェクトを立ち上げ、その説明と協力要請をプロジェクト委員長の井上PGがされました。

地区の最大行事である地区大会については大阪城南RCの光信大会実行委員長より11月11日・12日に開催される旨の案内がありました。

引き続き16にわたる各委員会の活動計画に対して各委員長より発表があり、詳細については当日配布された地区委員会活動計画書に記載された通りと言う事で時間の制約もありアウトラインに終始しましたが、各委員長とも要領よくまとめ上げ、時間超過のために用意されていたレッドカードならぬレッド団扇の提示もなく会議を終了しました。

当日配布された資料は各クラブにも送付されますのでクラブの会長、各委員会でご覧いただき、本年度のクラブ運営に効果的にご活用いただきますようお願い申し上げます。



2011～2012年度 第1回クラブ国際奉仕・WCS委員長会議報告

国際奉仕・WCS委員会
委員長 古澤照明(豊中RC)

7月23日(土)13時30分より薬業年金会館で今年度第1回クラブ委員長会議(参加者数合計:112名)を開催しました。まず岡部Gより開会のご挨拶を頂き、その後支援方法の変更点について下記の説明がありました。

これまで、今年度のMGは東日本大震災支援をお願いしてきました。しかし、ロータリー財団は6月30日に被災地支援のMGを廃止し、さらに「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」も変更し、新たに「東日本震災復興基金日本委員会」を設立しました。申請方法については、プロジェクトが被災地区のニーズを汲み取っていれば被災地区以外からも申請ができ、手続きは申請書と見積書を添付すればよいと簡単です。さらに、クラブ単独での申請が可能で、海外パートナーがなくても申請でき、これまでできなかった建築物も可能です。申請地区やクラブ拠出金がゼロでも、必要資金の100%を基金からの補助金として申請できますが、被災地以外の地区またはクラブが申請する場合は現金を拠出することが望まれます。申請は2012年12月31日まで受け付けられますが、資金が枯渇した時点で終了します。申請にはガバナーと会長の署名が必要ですので、必ず地区経由で提出をお願いします。

なお震災支援プロジェクトの資金については、次の方法があります。

- ① 東日本震災復興基金の補助金と、当地区基金、各クラブ独自の資金、海外協力クラブからの寄付金を組み合わせる。



東日本震災復興基金に申請しない場合には、

- ② 地区人道的補助金委員会にDSGを申請し、クラブ独自の資金、海外協力クラブからの寄付金を組み合わせる。
- ③ 各クラブ独自の資金、海外協力クラブからの寄付金のみで実施する。

以上の申請や資金のご相談は、地区災害支援プロジェクトが対応します。

先般、被災地支援のMGが再開されるとロータリー財団から連絡がありました。被災地支援のMGにも、通常の規定が適用され、クラブ拠出金、DDF、海外協力クラブ、50%ルール等に関して、免除事項はございません。今後当委員会は、①国内や海外向けにDDFを使用したMGの推進、②国内外のプロジェクトの紹介、③複数のクラブによるプロジェクトへの参加要請等、本来のWCS事業に戻ります。今年度のDDFの予算は65,000ドルで、1件につきMGプロジェクト最大5,000ドルまで申請できます。

以上の報告後、川田地区財団法人道的補助金委員長からR財団補助金について、吉田地区副委員長及び上場地区委員からの活動報告、糸川地区委員からWCS基金会計報告があり、高島GEの講評を頂き、岩田PGの閉会挨拶で終了しました。



新クラブ設立の準備状況報告と 新会員募集について

ガバナー 岡部 泰鑑

地区ガバナー主導で進めております新クラブ創立準備活動は、地区担当委員会において、新クラブ設立に伴う諸条件について綿密な調査と検討を行い、これまでに下記の通り決定しております。

1. 新クラブの名称

「大阪アーバン・ロータリークラブ」(仮称)

「The Osaka Urban Rotary Club」

2. 例会場

ホテルグランヴィア大阪

3. 例会日時

毎週水曜日 07:30～08:30

4. 会 費

入会金：8万円

年会費：10万円(RI・地区人頭分担金。その他の義務的経費、及びホテル例会場費を含みます。但し食費は1例会につき、各出席者が@ ¥1,500を負担します。)

5. 会 員

創立時の会員目標数：30名

6. 今後の準備作業の予定

9月～10月：仮クラブ発足、クラブ細則作成・クラブ組織編成

10月：RIへの加盟申請

2012年1～2月：認証状伝達式、チャーターナイト

各クラブ会員の皆様より、お知り合いの方、事業所内の方など、会員候補者のご推薦を、ガバナー事務所、或いは新クラブ創立準備委員会、西口宗宏委員 TEL.06-6622-1323、FAX.06-6622-0837、E-mail(westgate@nifty.com)宛てにご連絡賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

災害支援プロジェクト報告(第3回)

災害支援プロジェクト

委員長 井上 暎夫 (千里RC)

今回、東日本震災復興支援2660地区基金の運用等、東日本大震災復興支援を地区横断的に、より効果的に実施するため、災害支援プロジェクトが設置されました。(月信7月号で既に報告済み)

本月号では以下のご報告をさせていただきますのでご一読ください。

(1) 7月～8月の歩みについて

プロジェクトの業務

- ・東日本震災復興支援2660地区基金寄付金の募集および運用
- ・現地ニーズ掌握と各クラブ支援
- ・地区、各クラブの活動状況の掌握とサポート
- ・各クラブメンバーへの情報発信(ガバナー月信およびメール等)

(2) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2011年8月19日現在)

地区クラブ名および友好クラブ名(国名)		備考
松本年度の繰越(6月20～30日に入金があった前年度義援金)	848,517	
Taipei Shihlin RC(台湾)	1,184,500	(豊中南RC)
豊中南RC	5,555,556	
IM第6組	500,000	
大阪城南RC	1,000,000	
豊原北區扶輪社(台湾)	1,000,000	(大阪城南RC)
大阪そねぎRC	570,000	
東大阪RC	3,050,000	
合計	13,708,573	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況(2011年8月19日現在)

クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	内地区拠出基金(円)
くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
	合計	2,834,326	1,765,608

(ハ) 現在の地区寄付金残高 11,942,965円
(振込手数料がこの金額から差引かれます)

2011年7月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	7月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月期初 会員数	7月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性										累計	累計						
I M第1組	池田	38	38	3	0	0	0	4	70.00	69.29	I M第5組	大阪中央	50	52	5	2	0	2	4	93.58	79.15
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	3	88.04	88.04		大阪堂島	30	30	1	0	0	0	3	87.78	85.56
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	83.08	81.51		大阪北	189	191	0	2	0	2	4	85.35	72.76
	箕面中央	23	22	0	0	1	-1	5	90.90	85.80		大阪北梅田	49	50	3	1	0	1	3	72.48	63.76
	豊中	44	45	3	1	0	1	4	85.97	85.79		大阪西	71	71	0	0	0	0	3	92.56	83.05
	豊中南	31	31	1	0	0	0	4	83.04	75.00		大阪大淀	53	57	0	4	0	4	4	93.14	75.00
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	5	65.95	65.95		大阪リバーサイド	35	35	5	0	0	0	4	90.29	77.19
	豊中千里	35	35	2	0	0	0	4	91.30	86.88		大阪西北	54	56	0	2	0	2	4	88.50	82.40
	小計	247	245	11	1	3	-2		82.29	79.78		大阪そねざき	34	40	25	6	0	6	4	99.36	90.38
I M第2組	茨木	26	27	4	1	0	1	3	94.82	85.88	大阪梅田	36	36	0	0	0	0	4	79.28	73.90	
	茨木東	41	41	4	0	0	0	4	87.08	72.20	大阪梅田東	32	33	0	1	0	1	5	80.24	72.23	
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	100.00	77.59	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	5	82.31	73.85	
	千里	38	38	0	0	0	0	4	90.79	82.06	小計	661	679	42	18	0	18		87.07	77.44	
	千里メイプル	26	26	2	0	0	0	4	95.10	89.22	大阪	258	260	0	2	0	2	5	74.06	59.86	
	摂津	38	40	0	2	0	2	5	93.45	78.64	大阪東	117	121	0	4	0	4	4	92.15	77.04	
	吹田	61	61	6	0	0	0	4	95.24	89.19	大阪東淀ちゃやまち	31	32	3	1	0	1	3	89.77	79.47	
	吹田江坂	39	40	3	1	0	1	4	96.58	89.56	大阪城東	47	47	5	0	0	0	5	86.11	82.16	
	吹田西	48	48	1	0	0	0	3	100.00	94.55	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	95.36	85.18	
	高槻	45	45	4	0	0	0	4	86.40	80.85	大阪大手前	38	38	3	0	0	0	5	92.94	84.07	
	高槻東	39	39	0	0	0	0	5	97.52	95.33	大阪城北	55	55	2	0	0	0	4	84.89	83.87	
	高槻西	23	23	0	0	0	0	4	98.91	81.52	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	4	87.74	82.25	
小計	453	457	30	4	0	4		94.66	84.72	大阪鶴見	32	33	0	1	0	1	4	84.13	84.13		
I M第3組	大東	43	44	0	1	0	1	4	100.00	90.70	大阪淀川	34	34	2	0	0	0	5	88.23	78.30	
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	3	88.30	78.94	新大阪	35	36	0	1	0	1	4	87.50	79.86	
	枚方	41	41	0	0	0	0	4	95.97	89.88	小計	741	750	16	9	0	9		87.53	79.65	
	門真	30	33	4	3	0	3	4	88.64	78.79	大阪フレンド	12	17	3	5	0	5	3	97.92	82.80	
	交野	34	33	1	0	1	-1	5	84.80	82.28	大阪本町	26	26	2	0	0	0	4	84.62	59.93	
	香里園	17	17	0	0	0	0	4	86.76	73.53	大阪御堂筋	34	34	0	0	0	0	4	85.61	70.45	
	くずは	56	57	0	1	0	1	3	77.25	74.42	大阪南	132	133	0	1	0	1	4	84.77	70.98	
	守口	44	44	3	1	1	0	3	92.78	80.78	大阪難波	44	44	0	0	0	0	4	91.13	81.25	
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	4	91.35	82.69	大阪なにわ	28	28	2	0	0	0	4	85.71	76.78	
	寝屋川	39	39	5	0	0	0	5	89.23	83.08	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	94.49	92.82	
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	95.46	95.46	大阪西南	86	87	13	1	0	1	4	98.17	79.31	
小計	370	374	27	8	4	4		90.05	82.78	大阪船場	41	41	0	0	0	0	3	94.00	86.00		
I M第4組	東大阪	66	66	0	0	0	0	4	91.17	82.49	大阪心齋橋	38	38	0	0	0	0	5	98.95	84.57	
	東大阪中央	36	36	0	0	0	0	3	91.66	91.66	大阪うづぼ	33	34	4	1	0	1	4	97.63	89.50	
	東大阪東	64	63	6	0	1	-1	4	84.50	72.99	小計	490	498	27	8	0	8		92.09	79.49	
	東大阪みどり	27	28	1	1	0	1	4	80.00	67.30	大阪平野	37	37	3	0	0	0	4	95.14	80.70	
	東大阪西	35	35	0	0	0	0	3	96.75	76.83	大阪イブニング	16	16	4	0	0	0	3	83.33	82.92	
	大阪柏原	30	30	3	0	0	0	4	94.37	94.37	大阪城南	55	55	0	0	0	0	5	98.00	88.70	
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	68.00	43.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	88.16	68.42	
	八尾	73	73	0	1	1	0	3	98.48	70.37	大阪天王寺	60	60	0	0	0	0	4	92.35	86.54	
	八尾中央	19	18	1	0	1	-1	3	88.24	82.35	大阪帝塚山	58	59	3	1	0	1	4	88.65	78.77	
	八尾東	23	23	3	0	0	0	5	81.90	78.31	大阪東南	50	50	0	0	0	0	4	94.00	73.00	
	小計	390	389	20	2	3	-1		87.51	75.97	小計	295	296	11	1	0	1		91.38	79.86	
合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員	入会者 数	退会者 数	増減	平均 出席率	平均 出席率		合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員	入会者 数	退会者 数	増減	平均 出席率	平均 出席率	
	82	3647	3688	184	51	10	41	89.1	80.0												

文庫通信 (287号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会等の記録から

- ◎「よい生き方ができる組織の増強を／地域社会と世界平和のために『挑戦』を」
田中作次 2011 2p (D.2580/D.2770)
 - ◎「RI理事会報告・財務見通し5ヵ年計画」 黒田正宏 2011 3p
(第39回ロータリー研究会報告書)
 - ◎「国際ロータリーの現状とこれからのロータリー」 小沢一彦 2011 3p (D.2560)
 - ◎「新しい長期計画とクラブの活性化」 南園義一 2011 5p (D.2780)
 - ◎「職業奉仕の原点」 深川純一 2011 3p (D.2580)
 - ◎「『地域を育み、大陸をつなぐ』の実践－国際奉仕への取り組み(シンポジウム)」
塚原房樹(コーディネーター) 2011 14p (D.2510)
 - ◎「元米山奨学生として」 徐 重仁 2011 2P (D.2780)
 - ◎「中国人から見た日本の現状」 張 旭梅〔2011〕 7P (D.2800)
- [申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

吉川忠章 会員

(東大阪東RC)

2011年7月23日逝去(享年79歳)

地区代表幹事、地区増強委員長

会長、副会長、幹事、プログラム委員長、雑誌委員長、S A A、親睦活動委員長、会計、
青少年委員長、情報委員長、会員選考委員長、会報資料委員長

ベネファクター

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者(マルチプル)

西口 勇 会員

(守口RC)

2011年7月26日逝去(享年67歳)

米山功労者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

葛原忠知 会員

(大阪梅田RC)

2011年8月18日逝去(享年78歳)

会長、幹事、理事、ロータリー情報委員長、国際奉仕委員長、友好委員長

職業奉仕委員長、社会奉仕委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

●お詫びと訂正

月信8月号14ページ、各クラブ創立日・認証日一覧表で間違いがありましたので訂正いたします。

大阪北梅田RC 年会費 (誤) ¥150,000

(正) ¥300,000

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

10 vol.4



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

10 vol.4

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

職業奉仕月間／米山月間	1
職業奉仕月間によせて	2
米山月間によせて	3
ニコニコキャンプ報告	4
インターアクト海外研修	5
広報委員長会議	6
米山大学交換会	7
米山奨学委員長会議・カウンセラー研修会	8
災害支援プロジェクト報告	9
米山奨学委員会	10
ロータリー財団	11
2011年5月度 会員数・出席報告	12
2011年8月度 会員数・出席報告	13
文庫通信	14
敬弔／お知らせ	



1. 職業奉仕について

RIは、職業奉仕に関する声明の中で、「職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。

クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブ・プロジェクトに応えることである。」と述べています。

ところで、職業奉仕は英語の Vocational Service を訳したのですが、この Vocation という言葉は“神から授けられた仕事（天職）”という意味を持っています。昨今の企業における事件を見ていると、社会的責務を忘れ、儲かればいい、自分の会社だけ良ければいい等々の職業奉仕の理念を全く理解しない事例が多く見られるようになってきました。

もう一度見つめ直してみてもう一度は如何でしょうか。

職業奉仕は、一朝一夕に出来るものではありません。ロータリークラブ誕生から100年を超え、ロータリーの奉仕活動が第二世紀へと進む中で、ロータリークラブおよびロータリアンが高度な道徳的水準を維持し、それを実践することにより、更なる発展が期待出来るものだと確信しております。

是非とも、ロータリークラブとロータリアンは仕事を通じて社会に貢献するためにも、高潔な職業奉仕活動を推進していただきたいと思っております。

2. 米山記念奨学事業について

ロータリー米山記念奨学事業は、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給して支援を行う事業で、その運営は民間の奨学財団である（財）ロータリー米山記念奨学会が行っています。設立は1967年、今から約44年前で、これまでに世界119ヶ国、16,389人（2011年7月現在）の外国人留学生を支援しています。

さて、事業そのものの歴史は50年以上前で、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されたことによります。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して3年後、米山梅吉氏が死去してから6年後のことです。

米山記念奨学金の創設の目的は、「日本が再び戦争の過ちを繰り返さない」という誓いと「平和日本」をアピールすることにより、「世界の懸け橋」となることを願ってこの制度が出来上がりました。

また、ロータリー米山奨学金制度の特徴は、経済的支援のみならず、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアも図っていることです。奨学生には毎月1回世話クラブの例会に参加する義務が課せられており、奨学金はそこで手渡しされます。「世話クラブ・カウンセラー制度」は、国費や他の奨学金制度には無い制度として、他団体、行政機関などからも注目されております。

本年度の私の方針としまして、皆様には1人当たり2万円のご寄付をお願いしておりますが、このすばらしい制度が継続するためにも、多くの会員の方々のご支援をお願いいたします。



今年度、岡部Gは地区運営方針の中で4つの強調事項を打ち出されました。

- 1) クラブのサポートと強化
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上
- 4) 未来の夢計画 (Future Vision Plan)

以上の4つを挙げられました。

その中の 3) 公共イメージと認知度の向上の中で岡部Gは「職業体験事業という形で中高生の若い方々にロータリアンの職場を知ってもらおうと考えています。現在、当地区では出前授業を行っています。今年度は中高生の職場体験事業、キャリア教育を考え、この活動を通じて若い人達の将来の目標達成に寄与したいと考えています。」と述べられております。地区の職業奉仕委員会といたしましてもこれを受けまして、まずはキャリア教育について勉強すべく8月20日のクラブ職業奉仕委員長会議で、キャリア教育に対する国の考え方「教育基本法の改正」「学校教育法の改正」「中央教育審議会の答申」などの中でキャリア教育にかかわる部分の勉強会を行いました。その中でキャリア教育とは「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」と述べられておりました。また「特に非正規雇用者が増加するといった雇用関係の変化や『大学全入時代』が到来する中、子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分の将来との関係で意識が見出せずに、学習意欲が低下し学習習慣が確立しないといった状況が見られます。今後更に、子どもたちの発達の段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む必要がある」とも述べられておりました。キャリア教育の一端ではあり

ますが、職場体験学習に取り組むことは日本の将来のためにも大変意味のあることだと感じました。

では私たちロータリアンに何ができるのでしょうか？皆さんは職業奉仕という考え方の中で自分の職業をいかに奉仕という形に結びつけていけばよいのか悩まされることはありませんか？そのひとつのわかりやすい答えがここにあるのではないのでしょうか？それは職場体験学習の受け入れ先になってみるというのはどうでしょうか。各市町村地域によって受け入れ方法はそれぞれあるでしょうし、日数も受け入れ人数も違うことでしょう。また既にロータリーと関係なく受け入れをされている皆さんも数多くいらっしゃると思います。職場体験学習の受け入れとはクラブでどんな受け方ができるのかが始まりではなく、ロータリアンとして個人がまずI serveの考え方のもと職場体験学習の受け入れに対して前向きな考え方を持っていていただき、その機会に遭遇した時にはしっかりと受け入れていただく、そんな方が集まり、はじめてクラブとしての取り組み方法も見えてくるのだと思います。また何もクラブで取り組むからといって必ずしも職業奉仕委員会がその中心にならなければならないものではなく、新世代奉仕や社会奉仕など色んな委員会と共に行うプログラムとしても考えていけるのではないのでしょうか、現にそのような考え方のもとプログラムを実行されているロータリークラブもあるようです。

先にも述べましたし、少しオーバーな表現かも知れませんが、職場体験学習に取り組むことは日本の将来のためにも大変意味のあることだと感じております。また職場体験学習はどこの地域の学校でも行っていることですので、是非とも職場体験学習の受け入れに興味を持っていただき、実践されることをお願い申し上げます。



私の父の弟、私にとって叔父さんは、アメリカ人にショットガンで頭を撃ち抜かれ、亡くなりました。

それも、お父さん、お母さんの目の前で。

私はこの話を聞いた時、可愛い息子を目の前で殺された、お爺ちゃん、お婆ちゃんはどんなに辛かったか、悲しかったか、恐ろしかったかと思うと共に、心が締めつけられる様な感じがしました。

これは、第二次世界大戦時の沖縄での出来事です。

あの戦争で、多くの悲惨で残酷な物語を小さな島に作ってしまいました。

今、現在の日本でも、東北地方を襲った大地震によって多くの悲惨な家族を作り上げてしまっております。

このような地震や戦争が将来また再びおこる可能性が我々の子供達、孫達の世代であるかもしれません。

いな、我々の世代でも可能性は大いにある訳です。

特に、東海、東南海、南海地震が同時発生した場合、日本沈没の憂き目に合う事も、逃れ難き可能性として存在する訳です。そのような事態に遭遇した時、日本だけでは、いかんともし難いのは火を見るより明らかであります。

そういった未来への危機管理の一環とし世界との心の通った連帯という事が、必要不可欠な事であると思われれます。

我々の米山事業は、そんな未来の安全を担保する一環であるはずで。この様に考えますと、打算で奉仕活動してるかのように感じるのですが、見返りを望まない奉仕でも、必ず何かの良き作用があるはずで。

もちろん、見返りを考えてするものではないと思いますが、世界との友好関係を築くというのは、この複雑怪奇な世界情勢の中にあって一朝一夕に築けるものではないと思いますし、継続的に作り上げて行かねばならないと思います。

その意味においても、米山のような優秀で日本に対する想いを持った人材群を作る事は、必要不可欠な事業かもしれません。

皆さんは如何思われますか？

現在の政治で友好的な関係が築けるのでしょうか？

経済の発展に伴って、真の友情がどれほど作って行けるのでしょうか？

はなはだ、心もとない気がします。

さて、

沖縄の言葉で『けらまー見えしが、まちげー見いらん』というのが有ります。

那覇空港に行かれたら海側に大きな窓が有りますが、その海の彼方に見える島影は慶良間諸島です。

けらまーとはこの慶良間島の事ですが、こんな遠い島は見えるけれど、最も近い睫毛は見えないという意味です。

この言葉の解釈には色々あると思います。

人の事は良く見えるけど、一番身近な自分の事は解らない。

最も身近な家族の事を一番理解してなかったり…

人間近すぎると、かえって見えないもしくは、見なくなる事があると思います。

もっとも近い国、中国や韓国の事を我々はどれほど理解しているのでしょうか？

かつてシンガポールのトップスターである、ディックリーがよく自らを含む多くの東洋人をバナナと揶揄しておりました。これは、バナナは、皮は黄色いけれども、中身は白い。つまり、黄色人種である我々は、黄色い肌に、考え方は全て欧米型だと言うのです。戦後日本人は、脱亜入欧と言って、欧米に学べ続けと頑張ってきました。

お陰で、ジーパンを履きTシャツを着て、ハンバーガーを食べながら、ハリウッド映画を見るような生活を私もしておりました。

正に欧米化の日本人で有ります。そして、やはりお隣、中国の事を全然わかっていませんでした。

でも今、皆さんのすぐ側には、アジアから来た優秀な学生がいるんです。彼等から学ぶべき事も沢山あると思います。ぜひ、この機会を十分活用され、身近な所にも目を向ける機会にさせていただければと思います。

2011～2012年度 少年少女ニコニコキャンプ報告

青少年活動委員会

委員長 新庄幸一(枚方RC)

2011～2012年度少年少女ニコニコキャンプは、準備期間の少ない中、ホストである吹田江坂ロータリークラブ、関西大学ローターアクトクラブの皆さんの情熱あふれる運営で、素晴らしい事業となりました。

このプログラムは、世代間の交流の中から、児童には自然への畏敬、団体生活の大切さ、友情の尊さを体感してもらうことを目的に、またローターアクトには青少年リーダーを体験することで、リーダーシップを身に付けていただくことを目的に開催されています。これに加え、今年はニコニコキャンプに、ローターアクターと児童の中間の世代である、インターアクトの皆さんにもサブリーダーとして参加していただき、上下の世代を超えた交流を通して、責任感を持った社会体験をしていただきました。この試みは、今後大きく広がって行くことを願っています。

また、岡部ガバナーより本年の青少年活動委員会の事業には、すべて東日本大震災の復興支援をテーマとするように指示を頂き、ホストクラブの吹田江坂ロータリークラブが、宮城県南三陸歌津小学校の避難所に避難されている皆さんが立ち上げたプロジェクトにより作成されたTシャツを購入され、2日目のプログラムに使用されました。このTシャツは、歌津プロジェクトに賛同した岐阜のTシャツメーカーが無償提供し、購入金額はすべて復興支援に当てられることから、ガバナー方針に合致すると、Tシャツ購入を決定されました。

開校式についての印象は、関西大学のキャンパスを使用されたことで小学生やその保護者にとって、近未来を見学できるいい機会になったのではないのでしょうか。

現地でのプログラムについての報告ですが、カレー作りについては具の大きさで、なかなか炊き上がらないことを子供たちが実感し、準備段階の大切さを感じながらの食事になったと思います。

2日目のオリエンテーリングでは、みんなで考えみんなで協力することの大切さを、学んでくれたと思います。



また陶芸絵付けは、あとからニコニコキャンプの楽しい思い出を呼び起こしてくれるものになると思います。加えて、凧に書いた被災地へのメッセージは、Tシャツの「絆」の文字に記された通り、こころの繋がりとなって被災された方へ届くものと信じております。

夕食時、ロータリアンの皆さんが焼いていただいたBBQを子供たちがおいしそうにほおぼる姿は、このプログラムの疲れを癒してくれるひと時だと感じました。

キャンプファイヤーも、準備時間の少ない中でもよく考えられたスタンツが多く本当に楽しい集いとなりました。何より参加している皆さんが、一つになって盛り上げられたことが、今にも降ってきそうな雨を、追い返したのだと感じました。

最終日の凧揚げでは、被災地へのメッセージをこめた凧が元気よく大空に揚がりました。

この3日間お世話いただいた、舞洲スポーツアイランドロッジ舞洲のスタッフの皆さん、いつも縁の下の力持ちで支えていただいたチームライラの皆さん、プログラム作成から、子供たちの世話までを力いっぱい頑張ってくれた関西大学ローターアクトクラブをはじめ、ローターアクターの皆さん、そしてこのニコニコキャンプを大成功に導いてくださった、庄瀬会長、八橋実行委員長をはじめ、吹田江坂ロータリークラブ会員の皆さん、多くの登録をいただいた、第2660地区内のロータリアンの皆様に、衷心より感謝して報告といたします。

本当にありがとうございました。



2011～2012年度 第2660地区インターアクト 海外研修

インターアクト委員会
委員長 奥田吾朗 (大阪RC)

今年度の海外研修は、8月4日から8日までマレーシアへ行って参りました。参加者は、インターアクトクラブ（以下IAC）の生徒、顧問、そして提唱クラブのロータリアン他41名でした。交流先は、マラッカ州タンピンにあるROTARY OF TAMPIN、同クラブが提唱している2つの学校のIAC、そして現地企業のコクヨ株式会社および現地企業でした。

今年度の海外研修は、奉仕、国際理解、指導力育成の3つの観点の中の特に国際理解と指導力育成に重きをおきました。過去の海外研修は、主に、研修先（国）のIACと奉仕活動を行いながら、親善および国際理解を深めてきました。今年度は、現地IACおよび現地日本企業（RC関係）の協力を仰ぎ、国際人としての素養を身につけてもらうことに重きをおきました。現在の日本とアジアを実感し、これからの日本とアジアを考えるための種を子供たちの思考に蒔く事を目的としました。

具体的には、テーマとして「自分を知る。日本を知る。相手を知る。アジアを知る。」を置き、次の2点を上記のテーマに沿って活動しました。

1. 現地の日本企業との交流。中から見ていた日本と外から見た日本（同様にマレーシア）について話をさせていただき、意見交換をしました。現地日本企業が肌で感じていることを聞くことが出来ました。また、工場の見学もしました。
2. 現地のIACとの交流。以下の点について準備し、英語でプレゼンテーションを行いました。
 - ①自分の国の誇れるところ、自慢できること、喜べること
 - ②自分の国の悲しむべきところ、恥じるところ、改善すべきところ
 - ③④相手の国について同様プレゼンテーション終了後、自由に意見交換をする場が設けられ、活発な意見交換が行われま

した。

以上が大きな流れでしたが、日を追って振り返りますと、初日、結団式にて岡部ガバナー、小山八尾RC会長からご挨拶をいただき、無事出発いたしました。クアラルンプールの国際空港から一路バスにて1時間半移動し、宿泊先であるタンピンのリゾート施設に到着しました。この施設は、タンピンRCの方の関係施設で、費用から施設利用まで様々な面でお世話になりました。

2日目は、日本企業を訪問し、現地のスタッフと一緒に食堂の食事をいただきました。ただし、ちょうど断食の時期と重なっていたためイスラム教徒の人の食事は出来ませんでした。午後からは、マラッカ海峡を含め、マラッカの観光地を見学しました。

3日目は、午前、マレーシアの企業を訪問。そして、午後、現地IACを訪問し、前述した意見交換会およびウエルカムパーティーに出席しました。パーティーでは、岡部ガバナーからの親書を渡し、バナーの交換を行うと共に生徒たちは、それぞれに準備していたパフォーマンスを披露しました。予定時間をオーバーするほど会は盛り上がり、生徒たちは、マレーシアと日本の交流の架け橋の土台をしっかりと築いていました。

最終日は、クアラルンプールへ移動し、観光の後、日本への帰路につきました。

総じて、十分に注意はしましたが、数名お腹の調子が悪くなりましたが、美味しい食事と素晴らしい天候、また、先方の心温まるホスピタリティーに恵まれ、貴重な研修となりました。

最後になりましたが、同行された先生方とロータリアンに感謝すると共に、この研修を支えていただいている各RCおよび地区の各位に心から御礼申し上げます。



猛暑の中、汗だくになりながら、朝早くからお集まり頂き、2011年7月23日（土）9時半から、大阪薬業年金会館において、広報委員長会議を開催させて頂きました。

昨年度ですが、テレビ大阪との共同制作で、今年2月にインドで実際に行った「ポリオワクチン接種」の活動を基に、ポリオ撲滅のための番組を制作してまいりました。これが完成し、「感染症ポリオ 残り1%の闘い」という番組で、さる7月18日（月）に放映されました。

地区広報委員会として、ロータリー活動の實際を、このような放送が出来るまでに至ったことは、長年培ってきた地区の会員皆様のご理解と、ご協力の賜でございます。改めて感謝申し上げます。広報委員会としては、この番組を、DVDに複製して、日本全国の各ガバナー事務所に送らせて頂きました。また当日、ご参加頂きました各クラブ委員長様にもお持ち帰り頂き、各クラブにおいて、ご覧頂き、会員増強その他のツールとして、お役立て頂きたく存じます。

当日、9時前から、この番組DVDを、会議場にて上映させて頂きました。9時半から会議が始まり、岡部泰鑑ガバナーの挨拶の後、委員長、今年度の地区広報の予定について、一通り説明させて頂きました。

基本的には、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」という方針の下、各クラブの広報活動がより活発になるようサポートさせて頂くことと存じます。この為に、

- ①各クラブのホームページを充実させて頂くこと、
- ②東日本大震災関連の記事を掲載するために、各クラブから、原稿その他を、お送り頂きたいこと、また、
- ③マスコミを通じた広報の体制を今年度も継続していくことなど、説明させて頂きました。

また今年度は、第2660地区において、岡部ガバナー提案で、新しいロータリークラブを創立されることになり、その準備状況について、委員長より、

説明させて頂きました。

次にマスコミ関連で、ここ数年お世話になっている産経関西の3名の講師の方をお招きして、広報活動全般について、講演をして頂きました。

まずは、地区から産経関西への窓口としてお世話になる横山教生（よこやまのりお）様から、記事の流れを全般的に説明して頂き、各クラブへ、記事の提供を呼びかけて頂きました。

次に、産経新聞総合企画室の岡崎秀俊（おかざきひでとし）様から、広報の基となる記事そのものの書き方や、ネット社会における広報活動のあり方についての、講演を頂きました。

当日、ご参加頂きました各クラブ広報委員長の皆様には、日頃、インターネットには、あまり接しておられない方もいらっしゃいましたが、マスコミ業界の中心におられる方の講演により、ネット社会に対するご理解がさらに深まったものと存じます。

そして、産経新聞総合企画室長の田所龍一（たどころりゅういち）様から、広報活動の基本部分を、講演して頂きました。田所様は、トラ番記者として、阪神タイガースの記事を通じて、長年にわたり、マスコミ業界の中でご苦労なされてこられた方で、自らをアピールする事の難しさを、お話し頂きました。

以上の講演の後、質疑応答があり、昼前に、暑い委員長会議を無事に終えることができました。

ロータリーの広報の目的が、いくつか書かれている中で、最も大事な広報は、「クラブのロータリアン一人ひとりが、自らロータリーを地域社会に正しく伝えること」という言葉で表わされています。

各クラブの委員長様には、猛暑の中、委員長会議にご参加頂きましたことに感謝申し上げますとともに、自クラブでの広報活動の一助となれば、幸いです。そして、各クラブが、奉仕活動を通じて、地域社会に、さらに深く根ざしていられる事を期待しております。



米山奨学委員会 大学/地区情報交換会プログラム

米山奨学委員会

委員 近藤菜穂子 (大阪ネクストRC)

日時：2011年7月29日(金) 15:00～17:00

場所：ガバナー事務所会議室

参加者：武島委員長、田中副委員長、吉田副委員長、西谷副委員長、有竹、西邨、榊原、福田、近藤、各委員

大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、追手門学院大学、大阪経済大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、関西大学、関西医科大学、関西外国語大学、近畿大学、摂南大学、梅花女子大学、相愛大学、大阪日本語教育センター、コミュニケーションアート、大阪ハイテクノロジー

7月29日、地区米山奨学委員会と大学等との地区懇談会をガバナー事務所会議室で開催致しました。2012年度の米山奨学生を選考するにあたり、24の指定校（5校は欠席）の担当者に御出席いただきました。

米山記念奨学事業の使命とは、将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものになります。この重要な使命をお伝えする大切な情報交換会であります。有竹委員の司会のもと、武島委員長から参加いただいている各大学の担当者より自己紹介と現状についてお話いただきました。

各大学の担当者からは「ロータリアンからの支援を楽しみにしている」「米山奨学事業に沿った留学生を送りたい」「ロータリーの求めている奨学生像を詳しく知りたい」など積極的な意見が出ていました。

そのようなご意見にお答えする意味も含めて、ロータリークラブ、米山奨学制度について田中副委員長よ



りDVDやPower pointを用いて説明がありました。

また、質疑応答では事前に大学からのアンケートに基づきQ&A形式で資料としてお渡し、さらに理解を深めていただきました。特に奨学生の選考として大切にしている点は、ロータリークラブの考え方を理解し奉仕の精神を持っていただきたいこと。いくら学業成績が良く素晴らしい研究をしている学生でも金銭的支援だけを目的にせず、日本と友好的な関係を築くことに関心をもっていただき、ロータリーの活動・運動を理解しようという前向きな姿勢のある奨学生を望んでいるなど具体的に記載されていました。

最後に武島委員長より担当者の方々に、「留学生と直接関わりあうことができる皆様方なので、その学生がどのように変わっていき、成長していく過程を一緒に楽しんでいただきたい。その醍醐味を味わうことができます。私どもと一緒に米山奨学生を育てていきましょう。」と結ばれました。

大学側同士の情報交換も活発におこなわれて、地区米山奨学委員会にとっても大変貴重で有意義な懇談会となりました。



米山奨学委員長会議および カウンセラー研修会

米山奨学委員会

委員 小山 義之 (大阪鶴見RC)

日時：2011年7月30日

場所：大阪薬業年金会館 301号室

参加者：ガバナー 岡部 泰鑑
米山担当顧問パスト・ガバナー 若林 紀男
IM3組ガバナー補佐 三村雄太郎
地区米山奨学委員会委員長 武島 秀吉
地区米山奨学委員会副委員長 吉田 悦治
田中 真人
西谷 雅之

地区米山奨学委員会委員

各クラブ米山奨学委員 40名 (含代理)

カウンセラー 25名

参加者計 97名

2011年度米山奨学委員長会議及びカウンセラー研修会は、7月30日10時より、大阪薬業年金会館で97名のご出席を頂いて開催されました。吉田米山奨学委員会副委員長の司会進行により、来賓紹介及び資料確認に続き、岡部ガバナーの挨拶があり、「米山奨学制度は独特の奨学制度であり、我々ロータリアンは米山奨学生と交わる中で教わることが多い。大事なのは支援するのではなく、互いに交わることである。」とのお話を頂きました。

続いて、米山奨学委員会担当顧問の若林パスト・ガバナーより、「米山奨学会の今後の展望」についてお話を頂き、「今後米山奨学生の採用方法を従来の既に日本に留学している学生の他、外国で日本留学の決まっている人の中からも採用することを検討している。今回の震災・原発事故により、米山奨学生の一部が一時帰国したが、既に全員日本に戻ってきている。米山財団は公益財団法人として認定された」等のお話を頂きました。

次に、武島委員長より、今年度の地区米山奨学委員会活動方針についての報告があり、「米山奨学制度の特徴はカウンセラー制度にあり、カウンセラーの皆様には是非しっかりと奨学生を育てて頂きたい。

各クラブの米山奨学委員の皆様には、色々と工夫して楽しく寄付金を集めて頂きたい。地震災害等が発生した際には、米山事業は未来の危機管理の一環として、世界との心の通った連帯により、安全を担保することができるのではないか。」とのお話を頂きました。

続いて、各クラブの委員長を5グループ、カウンセラーを3グループにそれぞれ組分けして、それぞれ次のテーマにより約50分間の討論をして頂きました。

- ① ロータリアンの米山奨学事業の理解を深め、寄付金を増やすにはどうすればいいか。
- ② 奨学生の世話で困ったこと、良かったこと。
- ③ カウンセラーを引き受けてみて疑問に思ったこと。

(委員長のグループは①又は②、カウンセラーのグループは②又は③をテーマとする。)

各グループの討論は極めて活発に行われ、討論終了後、各グループリーダーより、内容をまとめて発表して頂きました。

発表後、三村IM3組ガバナー補佐より、「大変熱心な討論により、有意義な研修会であった。」とのご講評を頂きました。

最後に、田中副委員長より、閉会の辞があり、研修会を締め括られました。



災害支援プロジェクト報告(第4回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

前回は8月19日までの経過についてご報告いたしましたが、それ以降下記のような(イ)寄付金受入状況、(ロ)地区基金申請案件承認状況で推移しています。今回特筆すべきは、前年度ガバナー会よりとりあえず地区に返金が72,845,511円(被災地区への支払分を比率で分担後)あり、一時預かっております。

各クラブよりのアンケートの回答は(4)に記載しています。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2011年8月19日～9月14日)

地区クラブ名および友好クラブ名(国名)		備考
守口RC	278,594	
八尾東RC	145,000	
大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
合計	623,594	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況(2011年8月19日～9月14日)

クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	内地区拠出基金(円)
大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
大阪中之島RC	家具備品寄贈	424,725	224,725
		合計	963,845

(2) 現在の地区寄付金残高(9月15日現在) 11,599,925円

(3) ガバナー会からの返金(9月6日返金)預かり金 72,845,511円

(4) ガバナー会への寄付金について(9月22日現在)

ガバナー会から返金されました前年度寄付金72,845,511円の取扱いにつきまして、各クラブのご意向を伺っていますが、9月22日までの回答状況の中で地区災害支援プロジェクトがそのまま利用することを承諾いただいたクラブは29クラブです。なお、無回答のクラブが多数ありますので回答結果の詳細は次月号に掲載いたします。

<ご賛同いただいたクラブ名>

東大阪中央、東大阪東、茨木西、門真、大阪、大阪東、大阪イブニング、大阪城南、大阪城東、大阪北梅田、大阪南、大阪中之島、大阪なにわ、大阪南西、大阪ネクスト、大阪咲洲、大阪西南、大阪心斎橋、大阪東南、千里、摂津、四條畷、吹田江坂、吹田西、高槻、豊中千里、八尾、八尾中央、八尾東

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年7月末	全国寄付金合計額	179,597,819円 (前年度比8.93%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	8,455,250円 (前年度比5.34%減)
2011年7月末	全国寄付金合計トップ10	
	1. 第2760地区	11,805,000円
	2. 第2770地区	11,604,000円
	3. 第2750地区	10,238,250円
	4. 第2710地区	9,398,200円
	5. 第2660地区	8,455,250円
	6. 第2790地区	8,110,900円
	7. 第2690地区	7,834,705円
	8. 第2590地区	7,479,000円
	9. 第2650地区	7,417,250円
	10. 第2700地区	6,839,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年7月)

氏名	回数	クラブ名
寺西 太一	4回目	東大阪東 RC
宇野 能史	8回目	大阪イブニング RC
北村 譲	5回目	大阪中之島 RC
村橋 義晃	2回目	大阪中之島 RC
長谷川 眞哲	4回目	大阪大淀 RC
畑 守人	1回目	大阪大淀 RC
菊川 起男	4回目	大阪大淀 RC
大石 正守	3回目	大阪大淀 RC
末岡 稔啓	1回目	大阪大淀 RC
原野 圭司	16回目	大阪帝塚山 RC

米山功労法人

次の方に米山功労法人の称号が贈られました。
(2011年7月)

会社名	回数	クラブ名
株式会社 三榮	1回目	大阪城南 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年7月)

クラブ名	回数
大阪帝塚山 RC	79回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

遠越 英行	大阪大淀 RC	7/22
田嶋 也寸志	池田 RC	7/29

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

森 薫生	1 回目	大阪大淀 RC	7/22
西尾 誠一郎	2 回目	大阪大淀 RC	7/22
篠原 良洋	1 回目	大阪大淀 RC	7/22
橋本 稔子	2 回目	大阪北梅田 RC	7/30

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2011)

黒河 洋	豊中 RC	7/15
------	-------	------

2011年5月度 会員数・出席報告(修正版)

お詫びと訂正

松本年度月信2010-2011最終号の15ページ、2011年5月度 会員数・出席報告に間違いがありました。
お詫びして訂正いたします。

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	5月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月期初 会員数	5月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性										累計	累計						
I M第1組	池田	39	39	3	2	2	0	3	67.62	65.73	I M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	4	77.00	63.00
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	4	89.45	81.61		大阪西	77	76	0	6	7	-1	4	85.62	77.60
	箕面	31	28	1	0	3	-3	3	77.33	72.00		大阪大淀	47	54	0	10	3	7	3	79.61	71.05
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	3	93.65	85.71		大阪リバーサイド	34	36	5	4	2	2	3	91.35	75.97
	豊中	47	46	3	5	6	-1	4	82.40	73.47		大阪西北	56	55	0	2	3	-1	4	86.20	79.35
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	3	73.98	63.62		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	3	85.86	78.25
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	3	62.78	62.78		大阪梅田	43	37	0	1	7	-6	4	79.11	73.22
	豊中千里	38	36	2	1	3	-2	3	90.48	87.53		大阪梅田東	36	36	0	1	1	0	4	80.55	70.73
	小計	273	261	11	11	23	-12		79.71	74.06		大阪ユニバーサルシティ	27	28	3	2	1	1	3	79.49	71.79
													小計	676	692	48	54	38	16		83.76
I M第2組	茨木	24	25	4	2	1	1	3	91.94	82.03	I M第6組	大阪	251	263	0	30	18	12	3	74.09	59.69
	茨木東	42	42	4	2	2	0	3	83.78	67.68		大阪東	117	120	0	7	4	3	3	92.61	75.90
	茨木西	27	29	6	2	0	2	3	89.66	74.71		大阪東淀ちゃやまち	33	35	3	2	0	2	3	83.10	75.01
	千里	43	43	0	1	1	0	4	91.28	76.16		大阪城東	47	50	5	5	2	3	3	78.96	70.87
	千里メイプル	25	26	2	1	0	1	3	94.74	88.16		大阪中之島	27	27	1	3	3	0	3	91.35	77.77
	摂津	39	41	2	3	1	2	3	83.58	74.96		大阪大手前	39	40	3	1	0	1	3	83.33	68.76
	吹田	61	61	6	3	3	0	3	96.03	87.71		大阪城北	60	57	2	2	5	-3	3	74.57	73.14
	吹田江坂	42	40	3	0	2	-2	4	93.71	81.14		大阪天満橋	68	67	0	1	2	-1	3	90.00	83.45
	吹田西	48	49	1	2	1	1	4	100.00	92.27		大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	4	80.56	76.11
	高槻	44	47	4	10	7	3	3	93.87	77.74		大阪淀川	33	35	3	3	1	2	3	88.48	64.51
高槻東	39	39	0	0	0	0	4	94.40	99.27	新大阪	37	37	0	2	2	0	3	82.88	74.77		
高槻西	24	23	0	0	1	-1	3	95.00	79.71	小計	748	767	17	57	38	19		83.63	72.73		
小計	458	465	32	26	19	7		92.33	81.80												
I M第3組	大東	44	45	0	1	0	1	4	97.37	94.74	I M第7組	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	3	92.86	82.77
	大東中央	30	29	11	1	2	-1	3	79.49	67.91		大阪本町	25	27	2	2	0	2	4	89.17	70.73
	枚方	42	43	0	5	4	1	4	89.31	84.55		大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	3	94.12	85.29
	門真	26	32	4	6	0	6	3	94.80	78.13		大阪南	125	138	0	15	2	13	4	83.51	73.89
	交野	28	34	1	6	0	6	3	78.49	78.49		大阪難波	47	44	0	4	7	-3	3	93.49	77.28
	香里園	17	17	0	1	1	0	3	86.28	74.51		大阪なにわ	32	28	2	2	6	-4	3	80.45	73.56
	くずは	56	58	0	5	3	2	3	73.17	64.99		大阪南西	19	18	4	0	1	-1	2	81.25	78.13
	守口	39	47	3	9	1	8	4	86.62	75.00		大阪西南	89	88	13	7	8	-1	3	98.80	81.59
	守ロイブニング	27	26	4	0	1	-1	3	84.62	76.92		大阪船場	42	41	0	1	2	-1	4	95.00	84.00
	寝屋川	39	40	5	3	2	1	4	91.67	82.75		大阪心斎橋	37	39	0	2	0	2	3	98.25	94.49
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	84.85	84.85	大阪うつぼ	34	36	4	2	0	2	3	90.78	80.66		
小計	360	383	28	37	14	23		86.06	78.44	小計	502	511	29	36	27	9		90.70	80.22		
I M第4組	東大阪	70	67	0	2	5	-3	3	81.78	72.83	I M第8組	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	3	83.76	62.18
	東大阪中央	38	39	0	3	2	1	5	78.30	75.34		大阪平野	37	37	3	3	3	0	3	93.64	79.79
	東大阪東	67	65	6	0	2	-2	3	81.60	70.72		大阪イブニング	21	18	5	0	3	-3	3	83.72	67.15
	東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	3	86.42	60.49		大阪城南	54	56	0	4	2	2	3	98.81	81.45
	東大阪西	37	37	0	0	0	0	4	94.03	65.89		大阪咲洲	19	19	1	1	1	0	3	89.47	70.18
	大阪柏原	30	32	3	3	1	2	4	89.58	89.58		大阪住之江	22	21	0	0	1	-1	3	95.45	60.47
	大阪ネクスト	18	17	6	0	1	-1	3	53.00	35.33		大阪住吉	28	28	3	1	1	0	3	89.49	81.47
	八尾	84	80	0	0	4	-4	3	98.52	73.24		大阪天王寺	60	62	0	4	2	2	4	93.96	82.75
	八尾中央	21	22	3	1	0	1	4	89.39	81.06		大阪東南	52	52	0	3	3	0	4	92.31	64.43
	八尾東	26	24	3	1	3	-2	3	79.32	77.54		小計	308	307	13	16	17	-1		91.18	72.21
小計	417	410	22	11	18	-7		83.19	70.20												
第5組	大阪中央	57	54	6	2	5	-3	3	90.74	72.82	合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員数	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
	大阪堂島	28	31	1	3	0	3	4	86.29	79.84	84	3742	3796	200	248	194	54		86.3	75.4	
	大阪北	175	189	0	20	6	14	3	83.25	71.64											

2011年8月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	8月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	例 会 数	増 減	出席率		I M組	クラブ名	7月期初 会員数	8月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	例 会 数	増 減	出席率		
			全員	女性					累計	累計				出席率	出席率					全員	女性	累計
I M 第1組	池田	38	38	3	0	0	0	4	69.29	68.57	I M 第5組	大阪中央	50	52	5	2	0	2	3	91.67	79.98	
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	4	83.19	72.98		大阪堂島	30	30	1	0	0	0	4	88.33	86.66	
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	91.01	86.14		大阪北	189	191	0	2	0	2	3	83.78	70.27	
	箕面中央	23	22	0	0	1	-1	3	88.90	87.30		大阪北梅田	49	50	3	1	0	1	3	78.67	72.67	
	豊中	44	45	3	1	0	1	4	84.64	78.10		大阪西	71	71	0	1	1	0	4	91.43	81.80	
	豊中南	31	32	1	1	0	1	3	75.58	73.06		大阪大淀	53	57	0	4	0	4	3	86.88	69.38	
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	3	57.89	56.14		大阪リバーサイド	35	36	5	1	0	1	3	91.26	83.48	
	豊中千里	35	36	3	1	0	1	4	92.67	83.16		大阪西北	54	56	0	2	0	2	4	90.20	83.50	
	小計	247	247	12	3	3	0		80.40	75.68		大阪そねざき	34	40	25	6	0	6	4	99.38	90.39	
I M 第2組	茨木	26	27	5	1	0	1	4	94.88	85.70	大阪梅田	36	35	0	0	1	-1	4	76.11	66.53		
	茨木東	41	41	4	0	0	0	3	84.89	70.74	大阪梅田東	32	33	0	1	0	1	3	87.87	66.66		
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	94.83	76.72	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	3	84.62	61.54		
	千里	38	37	0	0	1	-1	4	91.45	82.43	小計	661	679	42	20	2	18		87.52	76.07		
	千里メイプル	26	25	2	0	1	-1	3	85.71	72.73	大阪	258	262	0	6	2	4	3	75.19	59.23		
	摂津	38	40	0	2	0	2	3	95.41	82.39	大阪東	117	122	0	5	0	5	3	91.78	78.93		
	吹田	61	61	6	0	0	0	3	96.47	87.88	大阪東淀ちやまち	31	32	3	1	0	1	4	83.64	76.77		
	吹田江坂	39	40	3	1	0	1	3	98.25	79.74	大阪城東	47	47	5	0	0	0	3	87.88	82.57		
	吹田西	48	48	1	0	0	0	4	100.00	91.96	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	3	92.58	83.94		
	高槻	45	45	4	0	0	0	4	93.00	85.34	大阪大手前	38	38	3	0	0	0	3	84.59	76.25		
	高槻東	39	39	0	0	0	0	3	95.10	95.10	大阪城北	55	55	2	0	0	0	4	76.75	76.25		
	高槻西	23	23	0	0	0	0	4	100.00	73.91	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	3	87.14	83.26		
	小計	453	455	31	4	2	2		94.17	82.05	大阪鶴見	32	34	0	2	0	2	4	86.88	82.22		
I M 第3組	大東	43	44	0	1	0	1	4	100.00	88.40	大阪淀川	34	34	2	0	0	0	3	93.13	81.46		
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	4	89.59	79.02	新大阪	35	36	0	1	0	1	4	78.48	72.92		
	枚方	41	41	0	0	0	0	4	97.98	86.49	小計	741	754	16	15	2	13		85.28	77.62		
	門真	30	33	4	3	0	3	3	87.88	80.81	大阪フレンド	12	17	3	5	0	5	4	93.75	76.25		
	交野	34	33	1	0	1	-1	2	91.00	82.13	大阪本町	26	26	2	0	0	0	5	90.45	72.30		
	香里園	17	17	0	0	0	0	4	89.71	85.30	大阪御堂筋	34	34	0	0	0	0	3	86.87	74.75		
	くずは	56	57	0	1	0	1	4	77.57	70.30	大阪南	132	136	0	4	0	4	4	84.15	73.41		
	守口	44	44	3	0	0	0	4	80.90	73.38	大阪難波	44	44	0	0	0	0	3	90.97	74.24		
	守ロイブニング	26	26	4	1	1	0	3	92.31	88.46	大阪なにわ	28	28	2	0	0	0	3	85.57	81.96		
	寝屋川	39	39	5	0	0	0	3	94.74	87.72	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	94.49	87.31		
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	76.52	72.16	大阪西南	86	92	15	6	0	6	4	98.87	77.17		
	小計	370	374	27	7	3	4		88.93	81.29	大阪船場	41	41	0	0	0	0	4	88.00	82.00		
	I M 第4組	東大阪	66	65	0	0	1	-1	4	91.37	81.47	大阪心齋橋	38	38	0	0	0	0	3	93.76	83.00	
		東大阪中央	36	36	0	0	0	0	4	91.35	85.04	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	96.83	90.91	
東大阪東		64	63	6	0	1	-1	3	82.16	71.62	小計	490	506	29	16	0	16		91.25	79.39		
東大阪みどり		27	28	1	1	0	1	3	81.00	58.30	大阪平野	37	37	3	0	0	0	3	96.37	80.05		
東大阪西		35	35	0	0	0	0	4	96.61	67.22	大阪イブニング	16	17	4	1	0	1	3	84.07	78.06		
大阪柏原		30	30	3	0	0	0	4	93.36	91.44	大阪城南	55	55	0	0	0	0	3	100.00	88.63		
大阪ネクスト		17	17	6	0	0	0	3	65.00	45.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	86.84	71.05		
八尾		73	74	0	1	0	1	4	96.96	58.62	大阪天王寺	60	60	0	0	0	0	4	90.34	80.26		
八尾中央		19	18	0	0	1	-1	4	84.74	78.86	大阪帝塚山	58	60	4	2	0	2	4	83.43	71.13		
八尾東		23	23	3	0	0	0	3	88.89	77.78	大阪東南	50	50	0	0	0	0	4	92.00	69.00		
小計		390	389	19	2	3	-1		87.14	71.54	小計	295	298	12	3	0	3		90.44	76.88		
合計		クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増 減	例 会 数	平均 出席率	平均 出席率	合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増 減	例 会 数	平均 出席率	平均 出席率
		82	3647	3702	188	70	15	55		88.1	77.6		82	3647	3702	188	70	15	55		88.1	77.6

文庫通信 (288号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信と新着文献より

- ◎「『現代社会とロータリー』ークラブと会員はどうあるべきか」 上野 操
2011 1p (D.2580月信)
- ◎「ロータリーの綱領について」 川野正久 2011 2p (D.2590月信)
- ◎「『親睦と奉仕の調和』ロータリー思想の原点」 織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)
- ◎「『利己と利他の調和』の哲学ー『東洋の実業倫理』」 亀井義弘 2011 2p (D.2670月信)
- ◎「自他の関係と奉仕」 桑月 心 2011 1p (D.2630月信)
- ◎「地域に合った、オリジナルで独創的な活動をしよう『親睦活動月間を考える』」
崎山武夫 2011 1p (D.2610月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「わかりやすいロータリー 改訂第4版」 D.2650 2011 70p
[申込先：瀨上勝夫 FAX(0779)87-2560]
- ◎「奉仕の原則と保全の法則（1929年出版）」 アーサー・F・シェルドン著 田中 毅訳
2011 103p [申込先：田中 毅 FAX(06)6491-9899]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

南川 淳之祐 会員

(箕面RC)

2011年7月21日逝去(享年70歳)

会長、幹事、情報・規定委員長、
国際奉仕委員長、会計

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

十家 和弘 会員

(池田RC)

2011年9月9日逝去(享年65歳)

米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

● **ロン・バートン氏、2013-14年度RI会長に**
米国オクラホマ州、ノーマン・ロータリー・クラブのロンD.バートン氏が、指名委員会により2013-14年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミネーとなります。

● **マッチング・グラント、地区補助金の申請**
ロータリー財団では現在、マッチング・グラントおよび地区補助金の申請を受け付けています。申請受付期間は、2011年7月1日～2012年3月31日、承認審査期間は、2011年8月1日～2012年5月15日となっています。財団管理委員会は新年度のマッチング・グラント用に2,150万ドルの国際財団活動資金(WF)を配分しています。2011年10月～2012年3月に申請を提出していただくと、最も迅速な処理が受けられます。
(ロータリーの友9月号より)

● **RI ツイッター日本語版**
国際ロータリー公式ツイッター日本語版が始まりましたので、ぜひフォローしてください。
www.twitter.com/rotaryjapan
(ロータリーの友9月号より)

● **広報誌 ROTARY**
今年度も、一般向け、会員勧誘用の2つの広報誌を改訂し制作。ご注文は、ロータリーの友事務所まで。(ロータリーの友9月号より)

● **茨木東RC 新しいホームページアドレス**
茨木東RCのホームページが新しくなりましたので、お知らせ致します。
<http://ibaraki-east-rc.org/>

● **新クラブ設立の状況**
新クラブ設立調査書が国際ロータリー日本事務局

に受理されました。10月4日の会員候補者との初会合で、「仮クラブ」発足の宣言を行う予定です。

● **地区大会へのお誘い**

地区大会委員長 光信 昌明(大阪城南RC)
本年度の地区テーマは、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」です。

- ① 今年度大会の特徴として、「ロータリークラブの大会」であることに着目して構成しました。
- ② 第一日目「見直しを進める」ために、第2680地区パスト・ガバナーの深川氏による「ロータリーの原点」の受講や、「理想の米山奨学生像」を探り、また新入会員には、若林パスト・ガバナーの研修を受けていただきます。
- ③ 第二日目「新たな第一歩を踏み出していただく」一助として、RI研修リーダーの中村靖治(やすはる)RI会長代理のRI現況報告や京都大学大学院の中西輝政教授の講演を聞いていただきます。
- ④ RI会長代理歓迎晩餐会は、関西室内楽協会のメンバーによる演奏などを楽しみ、歓迎の意を尽くしたいと思います。
- ⑤ 家族の集いは、大阪歴史博物館を訪れ、笑いながら楽しく大阪について学んでいただけるよう工夫しております。
- ⑥ 友愛の広場は、一日目は会員相互の親睦を中心にし、二日目は地区委員会活動の報告を中心にしております。特に地区広報委員会の活動は、NHK大阪ホール1階を使用して、一般の方の目に触れる形で、広報活動をしていただきます。
- ⑦ 本年度は東日本大震災発生に鑑みて、大きなエンターテイメントを控えました。
- ⑧ 11月11日(金)は、上本町のシェラトン都ホテル大阪、翌12日(土)は、谷町四丁目のNHK大阪ホールで、お待ちしております。

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

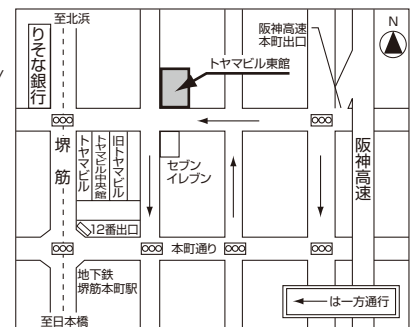
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

11 vol.5



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



11 vol.5

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ロータリー財団月間／世界インターアクト週間	1
ロータリー財団月間によせて	2
世界インターアクト週間によせて	3
地区ロータリー財団 セミナー報告	4
青少年交換来日学生一泊研修会	6
新世代奉仕正副委員長会議報告	7
地区大会へのお誘い	8
地区協議会 会計報告	9
米山奨学委員会	10
ロータリー財団	11
災害支援プロジェクト報告	12
2011年9月度 会員数・出席報告	14
お知らせ／文庫通信	15

敬弔



11月はロータリー財団月間です。地域においては一大事業の地区大会が11～12日に開催されます。

さて、TRFはロータリー財団 (The Rotary Foundation) の略ですが、1917年第6代RI会長アーチ・クラフが「世界のためにより良いことをしよう」と全世界に呼びかけて「基金」が設立されました (最初は\$26.50)。これは、ロータリアンが世界で人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることを目標にしたものです。それ以降、90余年経過した今、TRFの資産は1928年の\$5,739から\$7億になっています。ロータリー財団の発展の礎となったのは、ポール・ハリスの死を悼むロータリアン達の熱い思いによるものです。

ロータリアンが奉仕活動に提供した資金は\$20億、マッチング・グラントは29,000件以上、そして1947年に国際親善奨学金を設立し、今日まで115ヶ国以上の国から47,000人以上の奨学生を援助しており、民間団体では世界最大規模の奨学金を提供しています (金額ベースで\$4億7,600万)。

そして、ロータリアンと国際ロータリーとロータリー財団は、トライアングルの緊密な関係を保っています。ロータリー財団がこれほど効果的なのは、資金と人との絶妙な組合せによるものです。「金だけではたいしたことは出来ない、個人の奉仕は金が無ければ無力である。」

ロータリー財団は2017年に創立、100周年を迎えるにあたり、奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。創立以来、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、ここに来

て、効果的で効率の良い支援方法を編み出しました。それは未来の夢計画と呼ばれるもので、私の年度はその準備年度と位置付けられました。

未来の夢計画は、プログラムと運営を簡素化すること、意思決定を地区に移行することにより、地区レベルとクラブレベルでR財団が自分達のものという自覚を高めること、R財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること等を目的としています。

次に、RI理事会は、11月5日を含む1週間 (月曜日から日曜日) を「世界インターアクト週間」として、世界中のロータリークラブとインターアクトクラブに国際規模の顕著な共通活動に参加してもらうことを目的としています。

すなわち、ロータリアンとインターアクターの高校生とが合同で国際的な活動に参加してもらおうというものです。言うまでもありませんが、インターアクトクラブは12才～18才までの若い人を主体とした奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、共に活動する機会を青少年に与えるために結成されたクラブです。インターアクトクラブは、1年間に2つの奉仕プロジェクトすなわち、1. 学校や地域社会に貢献するもの、2. 国際理解を深めるものです。

さらに、四大奉仕部門から五大奉仕部門と新世代奉仕部門が注目されるようになり、インターアクトを始めとした新世代奉仕プログラムの重要性はこれからますます高まることになります。

この期間が設けられている意義を各クラブにおいて再考されることをおすすめします。



★ロータリー財団月間

- それは ロータリー財団とは何かをもう一度考えてみる月
- それは ロータリー財団プログラムについて知識を深める月
- それは ロータリー財団の輝かしい歴史(実績)を振り返る月
- それは 私たちとロータリー財団プログラムとの関わりについて考える月
- そして ロータリー財団の恩恵を受けているのは私たちが、ロータリー財団をどう支えるかを考える月です

★ロータリー財団月間には

クラブ財団委員会が中心となって、①財団フォーラム ②ロータリー財団のプログラムについての卓話 ③情報集会 などを通して理解を深めて下さい。

1. ロータリー財団のおおまかな歴史

【1917年】RI第6代会長アーチ・クランフがアトランタの国際大会で「基金を作り、世界的規模で慈善・教育・その他社会的奉仕の分野で何か良いことをしよう」と呼びかけたことに始まります。

【1928年】基金が集まり「ロータリー財団」と名付けられ国際ロータリーとは別機関として歩み始めました。

【1947年】ポール・ハリス没。この年多額の寄付金がロータリー財団に集まりました。この年初めて国際親善奨学生が派遣されましたが、これがロータリー財団プログラムの第1歩でした。

【1965年】マッチング・グラントの前身がスタートしました。このあと35年間かかって、2000年にマッチング・グラントの申請件数は1万件に達しましたが、この後はたった4年間でそれは1万件に達してしまいました。

【1985年】ポリオ・プラス・プログラムが発足しました。

【2005年】ロータリー財団「未来の夢計画」FVP: Future Vision Plan 構想が始まりました。

【2010年】ポリオ撲滅のための「ロータリー2億ドルのチャレンジ」が始まりました。また7月から3年計画で世界100地区によるFVPのための試験期間が開始されました。

【2013年】「未来の夢計画」FVPによる新しい補助金制度が開始されます。

2. ロータリー財団はロータリアンからの寄付金が、最

も効果的にロータリー財団の目的に沿った形でロータリアンによって利用されるために、財団プログラムを提供しています。

3. 財団プログラムとは

- ①ポリオ・プラス (ポリオ撲滅活動) : ロータリー2億ドルのチャレンジ
- ②人道的プログラム
 - i. 災害支援 例: ロータリー東日本震災復興基金
 - ii. 地区補助金
 - iii. マッチング・グラント
- ③教育的プログラム
 - i. 国際親善奨学金
 - ii. 研究グループ交換 (GSE: Group Study Exchange)
 - iii. ロータリー平和フェロウシップ

ロータリアンは、これらのプログラムに積極的に関わることが大切です。関わることによって寄付金が如何に有効利用されているかが、見えてきます。

4. ロータリー財団は皆様の寄付金で成り立っています。

ロータリー財団が無ければ、私たちは効果的な奉仕活動を行うことが出来ません。私たちの寄付金が無ければ、ロータリー財団プログラムは存在し得ません。互いに支え合う存在です。

5. ロータリー財団への寄付は公益財団法人ロータリー日本財団を通して行えば、税制上の優遇措置が受けられます。(現金振込みに限る)

6. ロータリー財団への寄付

- ①年次プログラム基金 (年次寄付) 年間150ドル以上
- ②恒久基金 毎年1クラブ1名以上
- ③使途指定寄付 (ポリオ・プラスや災害復興基金への寄付)

いずれも通過寄付で、ロータリー財団に貯蓄はされません。

ポリオ・プラスへの寄付は全てGPEI (Global Polio Eradication Initiative) に投入されます。GPEIはRI, WHO, UNICEF, CDCにより構成されています。各国政府の支援金もGPEIに投入されます。

7. これから私たちは2013-14年度から始まるFVPに基づく新補助金制度について研修を重ね、習得する必要があります。

世界インターアクト週間によせて これからのインターアクトクラブ

インターアクト委員会

委員長 奥田 吾朗 (大阪RC)



今年の地区のインターアクトクラブ行事も残すところ年次大会のみとなりました。8月に行われたマレーシアの海外研修も「日本を知る。アジアを知る。世界を知る。」という目標のもと5日間の研修を無事終えることが出来ました。これもひとえにサポートいただいた岡部Gをはじめ、各RCおよび地区の皆様のおかげと感謝しております。

島国で育つ我々にとって、異文化を知る機会を出来るだけ多くの子どもたちに与えることは、とても大事であり、インターアクトクラブ(以降IAC)要覧にある「IACは、社会奉仕と国際奉仕の2本柱の活動を通して、リーダーの育成や国際人としての様々な力を身につけることを目的とする」に合致しています。

しかし、一方で地区IACの存続が危機に直面していると警鐘を鳴らさざるを得ません。直面する課題は、大きく2つあります。

学校の抱える問題とRCの抱える問題の2つが起因となって、運営が困難になりつつあります。IACは、学校が主体の活動です。そのため学校が魅力を感じる中身であれば、RCの活動として、これまでどおり主軸のひとつとして存在できます。しかし、予算のカットなどが続き、ある限度を超えてしまうと各学校からやめたいという声が出てくる恐れは十分にあります。現在、私立学校との提携がすべてですが、私学の経営状況悪化も今後、重要なポイントとなってくるでしょう。

地区のIACを存続させることを決めるのであれば、最低限の校数および予算を決めておく必要があります。また、法人に対するCSRが厳しくなる中で、活動の中身を再確認するその時期がきています。

会員数の減少と予算の減少は、取り組むべき課題ですが、抗いようのない事実です。しかし、一方で、予算一律カットという安易な予算組み立ては、組織存続の臨界点を越えてしまうことにつながります。今年度は、岡部Gのご理解のもと、ご支援いただきました。しかし、学校が主体のIACは、どの委員会よりも最初に問題が顕在化することは間違いありません。地区、RC、そして各会員がIACの活動をしっかりと考えなければならない時期が来たのではないのでしょうか。これからも皆様のご理解とご協力を心から祈念いたします。

地区ロータリー財団 セミナー報告

ロータリー財団委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

日時：2011年8月27日(土) 13:30～16:30

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーはG主催の大切なプログラムで、各クラブの会長、幹事、財団委員長を対象としたロータリー財団についての勉強会です。猛暑の最中でしたが、岡部泰鑑GはもとよりRI理事近藤雅臣PG、災害支援プロジェクト委員長井上暎夫PG、地区ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員大谷透PG、高島凱夫GE、地区研修委員会から宮里唯子委員、木村芳樹委員、AG、AGEの皆様、国際奉仕・WCS委員会古澤照明委員長など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は境高彦地区代表幹事が務められました。

岡部泰鑑G

岡部泰鑑Gから次のようなお話がありました。

2013-14年度から財団のしくみが変わりますので、今年度はそれに向けて皆様にも勉強をして頂かなければならないと考えています。次年度にはもう補助金の計画、申請を行わなくてはなりません。ということで、今年度は皆様のご理解を深めて頂くためのセミナーを何度か実施したいと考えていますので皆様よろしくお願い致します。

福家 宏ロータリー財団委員長

ロータリー財団(TRF)の成り立ち、RIとの関連、目覚ましい発展と奉仕の歴史、財団プログラムの種類と内容、国際ロータリーとロータリー財団とロータリアンとの関係などをお話し致しました。

1. 寄付増進プログラム+ポリオ・プラス部門

杉村雅之財団情報・増進委員長のお話は下記のような内容でした。

ポリオの新規発症状況は、全般的には大きく減少していることが認められるが、その数は調査の都度ある程度の増加が見られることもあり、この疾患の撲滅は容易ではないことを物語っていると思います。

ポリオ撲滅のための「ロータリー2億ドルのチャレンジ」への寄付は順調に進んでおり、現在までの寄付金合計は1億8,510万米ドルに達しています。もう少しですが、皆様のご協力をお願い致します。

2. 財団法人道的補助金部門

川田隆財団法人道的補助金委員長は、「ロータリー財団と当地区の補助金」というタイトルで、人道的補助金の解説をされました。

マッチング・グラントと地区補助金の利用方法、特にマッチング・グラントについては今年度は東日本大震災の復興支援にも利用可能であることも含め、補助金の5,000ドルから25,000ドルまでと25,001ドルを超えた場合の競争性について説明されました。その他地区補助

金も含めて今年度の予算、補助金授与のシステム(金額)、報告義務などについての説明の後、東日本震災復興のための補助金の利用方法について説明されました。

3. 教育的プログラム部門

(1) 牧尾晴喜財団奨学金・学友委員長は、国際親善奨学生制度を解説される中で2012-13年度が現行制度での最後の年になることを話されました。そして過去の奨学生が現在どのような形で活動しているかを紹介され、ロータリー平和フェローについて、特に当地区輩出の寺西悦子さんをご紹介されました。また地区内クラブの皆様へ新たな平和フェローとなるべき方の推薦を要請されました。財団月間における卓話に関して協力を約束されました。

(2) 岸上億則研究グループ交換委員長は、ロータリー財団の教育的プログラムとしてのGSE(グループ・スタディー・エクステンジ)とは何かを説明されたあと、その目的と目標について話されました。そして他国に派遣されたチームの活動内容として①職業研修 ②文化研修 ③親睦の機会について語られ、団長として参加するロータリアンの役割にも触れられました。そして最近の活動報告とともに、今期のスリランカとの交換について、来年度のハンブルクとの交換についてご紹介をされました。

(3) 大谷透PGは、日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員として次のようなお話をされました。ロータリー平和フェロー(応募資格)と、ロータリー平和センターの概略およびICU(国際基督教大学/東京)がセンターの一つに選ばれた経緯について。そしてICUの初代理事長であり、日本初のRI会長であられた東ヶ崎潔氏についてご紹介され、東ヶ崎ダイアログ・ハウスという冠名の施設の所以を語られました。これまで全世界の平和フェローの数は463名です。ICUは建学60周年を記念して世界平和を目指す対話の場所づくりとして「東ヶ崎潔記念ダイアログ・ハウス」の建設に乗り出しました。そこには研究者の寮や国際会議場が設けられており、ロータリー平和フェローシップの発展に寄与することが期待されていますが、ICUはこの施設の建設費の一部2億円の寄付を呼び掛けています。この施設が世界平和を願うロータリーの発展に寄与するものと考えられるところから、ガバナー会は規約第8条に基づき3年間限定で寄付への協力を決定しました。(ただし賛否両論あり)大震災後のことで寄付に異論もあるでしょうが、世界レベルの平和や紛争に関心にはならないで下さい。平和フェローシップの発展のためにご寄付をよろしくお願い致します。(1人2,000円以上)

《休憩時間》DVD「感染症ポリオ 残り1%の闘い」が上映されました

4. FVP(未来の夢計画)フューチャー・ビジョン・プラン

地区財団FVP委員長でもある私からFVPとはどのようなものか、このプランが浮上して2013-14年度実施に至る過程について概要を説明。その目的とするところ、3年間の試験期間、試験地区を紹介し、未来のロータリー財団のために設定された6つの重点項目を紹介しました。①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展 の6項目です。そして2つの新しい補助金モデル①新地区補助金 ②グローバル補助金とその事例について説明致しました。また新しい制度のもとでロータリー財団の資金を受領するには、地区はロータリー財団により、クラブは地区により「受領資格」を得るべきことにも触れました。そして今年度はFVPをスムーズに受け入れるための研修の機会を設けることをお伝えしました。

5. 東日本震災復興支援

(1)井上暎夫PGは、地区の災害支援プロジェクト委員長として次のようなお話をされました。

当地区には独自の「災害支援プロジェクト」という委員会の管理下で「2660地区災害復興基金」が活用され始めています。この基金は災害支援を希望するロータリアンの皆様の寄付(浄財)から成り立っています。東日本大震災の被害は極めて甚大で今後も継続した支援が必要で、そのためには皆様のご協力も継続的をお願い致します。この基金を災害支援のために活用するのはクラブです。クラブとして活用方法が分からないときは、当委員会にお尋ね下さい。この基金は支援するための資金がクラブ単独では賄いきれない場合に利用出来ます。またロータリー財団の補助金の規定に合わない支援内容についても、利用出来る場合があります。出来るだけ多くのクラブに利用頂くために、受領出来る地区基金には上限が設けられています。また地区基金を用いた支援の内容は全て地区内クラブにG月信などで広報しております。

(2)宮里唯子災害支援プロジェクト副委員長は「災害支援プロジェクトの資金調達」について次のようなお話をされました。(概略しておりますが、ご理解のためには当日の配布資料の方をご参照下さい)

今日ご出席の財団委員長の皆様は、災害支援の方法に関する情報を必ず社会奉仕委員長、国際奉仕(WCS)委員長にお伝え下さい。以下配布資料(早見表形式)に従い、下記のご説明をされました。

- i. 復興支援プロジェクトの資金源…①クラブ/個人の寄付 ②第2660地区基金 ③東日本震災復興基金(財団) ④財団人道的補助金(地区補助金、マッチング・グラント)
- ii. 上記の①②③④について…対象、受付期間、補助額、条件、提出書類、審査機関、所要期間、

申請回数、最終報告書、②③の基金への寄付についての解説

承認件数と金額、申請が却下された事例、申請件数、資金源の予算(残額は潤沢)などの解説

- iii. 社会奉仕活動を行う場合…被災地支援と被災地以外における補助金の種類と金額
- iv. 世界社会奉仕活動を行う場合…被災地には地区基金と東日本震災基金が利用出来る、海外には地区補助金やマッチング・グラントが利用出来る
- v. ②③と地区補助金の申請書式、報告書式の解説

■質問① マッチング・グラントを震災復興支援に用いる場合、当地区内クラブはホスト・パートナーとなり得るか?

(答) 可能だが、被災地のRC/地区がホストパートナーとなるのが望ましい。

■質問② 地区基金の利用はクラブ主体とのこと、地区は利用しないと言うことか?

(答) 必ずしもそうではない。クラブとして拠出はしたがプロジェクトが立ち上げられないケースや、プロジェクトの内容によっては地区が利用する。

6. 講評 RI理事近藤雅臣PG

今回のセミナーを通して「未来の夢計画」(訳語の良し悪しはともかく)は、補助金の利用が簡素化されると言うことであって、今日はある程度理解を深められたのではないかと思います。宮里副委員長には震災支援に関してとても分かり易いご説明を頂きました。お金を効果的に利用したいと考えるならば、先ず寄付しなければ始まりません。国難にあつて、ロータリアンは手を取り合って助け合わなければなりません。そのためにも「入りて学び、出でて奉仕せよ」ということを実践して頂きたいと思います。

7. 閉会挨拶 高島凱夫GE

本日は近藤RI理事のご臨席のもと、無事地区財団セミナーを終えることが出来ました。ロータリー財団はこれからFVPに向けて変化して行きます。クラブ財団委員会部門では、今後はFVPについての情報が次の年度に継承出来るよう人事について考えて下さい。もう来年の12月には申請書の提出の時期がやって来ます。

震災支援には様々な方法があります。支援プロジェクトをすでにスタートしているクラブもありますが、まだのところは是非始めて下さい。皆様今日はご苦勞様でした。

青少年交換来日学生一泊研修会 3地区合同オリエンテーションの報告

青少年交換委員会

委員長 野村正勝 (箕面中央RC)

7名の当地区来日学生(inbound)が来日してからほぼ1ヶ月経った9月24(土)、25日(日)に第2640地区(和歌山県、大阪南部)、第2680地区(兵庫県)と当地区が箕面観光ホテル&スパガーデンで1泊2日の研修会を開催しました。この会は植田委員長の時から始まっており、今年は当地区が当番でした。前年度の委員会でも神田委員のお世話で上記ホテルが決まりましたが、本年度に入り辻村委員と磯田委員が詳細を詰め、日本文化の紹介として「居合い抜き」と「人形浄瑠璃」を準備しました。そして箕面散策や大衆演劇の観劇がfeatureとして組み込まれました。



来日学生は第2640地区から女子6名、第2680地区からは女子2名、男子1名、当地区から全員参加で、女子5名、男子2名 計16名で、日本の交換経験者(ROTEX)も多く参加しました(14名)。当地区では委員会メンバーが7名、元委員長経験者2名で第2680地区ではカウンセラー、ホストファミリーが9名、それにガバナー・エレクト、ノミニーが参加され、第2640地区では委員会メンバーが4名参加されました。総勢59名でした。

初日は午後2時半からスパガーデンの5階の大広間で開会式を行い担当地区の委員長挨拶の後、来日学生の自己紹介を日本語でももらい、幹事の司会でロータリアンやホストファミリー、ROTEXの紹介の後、最初の「日本文化体験」として居合い演武を行いました。大阪大淀RCの井本氏が武道と武術の違いを述べた後、早速真剣を使い立ち技、座り技等の演武をされました。これには来日学生が大いに興味を示し、パワーポイントで日本刀の作り方を示した後、真剣の表面の模様を彼らに直に示したので大いに盛り上がりました。この後、各自ホテルにチェックインをしました。夕食はバイキング。その後、温泉に入り(ここで来日学生は異文化体験をしたようです)、8時から地区別でオリエンテーションを行いました。当地区ではROTEXのメンバーが来日学生の悩みを聞き助言



をあたえるといういつもの形式を取りました。10時就寝で無事研修会の日が過ぎました。

翌日も晴天で早い朝食を取り(午前8時20分まで)、その後来日学生、ROTEX全員で箕面の大滝まで歩いて森林浴をしました。これは好評でした。滝付近には猿が一匹も居なかったので残念がる学生も居ました。第二の「日本文化体験」として能勢人形浄瑠璃 鹿角座の皆さんが「祝い酒」を演じられその後、来日学生を舞台に上げて実際人形を三人一組で演じさせたので、彼らは大いに興奮しました。人形を操り舞台下まで降りてロータリアン相手に演ずる組も出るほどでした。

お昼はカレーライスを頂き、2階のスパガーデンの大衆演劇を皆で1時間ほど見てから、閉会式に臨みました。来日学生たちの中には大衆演劇の粗筋は分かったと頷くものも居ました。勘がいいのでしょうか。

閉会式では第2680地区の石丸ガバナー・エレクトにご挨拶を頂き、来日学生の感想も聞きました。“Japanese culture is cool”が主たる印象。その後、皆で集合写真を撮り散会しました。このグループは来年4月に広島方面の旅行を一緒にします。



新世代奉仕部門の正副委員長会議が、2011年10月8日(土)に大阪科学技術センター 中ホールにおいて、岡部泰鑑ガバナー、大谷透新世代奉仕担当パスト・ガバナー、矢橋弘嗣ガバナー補佐、境高彦代表幹事、西上博幸研修委員のご出席を頂き、青少年活動委員会、各クラブの新世代奉仕部門担当をあわせ78名の参加にて開催されました。

ガバナーから、5番目の奉仕部門として独立した形で、名称も新たにした奉仕活動として、30歳までの若者に、ロータリアンとして接してゆく姿勢、また地区としての取り組みについてのお話を頂き、委員長より、この会議の趣旨や地区の青少年活動委員会がどのような理念の下、ライラやニコニコキャンプを主催しているかを話した上で、協議に入りました。

各クラブには事前に

1. 新世代奉仕が追加されクラブ内での扱いは変わったか
2. クラブにおける青少年活動事業の実施したものの、計画したものを教えてください
3. 地区委員会へのご意見を

という3つの項目でアンケートを実施いたしました。

変化に関しては、これまででも取り組んでいて、変化無く取り組むという回答が多かったのですが、これを機に、新世代奉仕委員会を新設されたクラブも複数あり、重要なプログラムであるという認識が広まりつつあるという回答や、クラブの奉仕事業全体の名称を新世代奉仕とされたクラブもありました。

地区委員会へのご意見として、子どもを虐待などから守る取り組みはないのか、新世代奉仕を積極的に行うために、ロータリーが直接係わる青少年の意識調査の資料がほしい、事業活動の実例がほしい等の意見が寄せられました。事業例の紹介では、各クラブが多くすばらしい奉仕活動を行っておられる中から、5つのクラブに発表して頂きました。

まず大阪フレンドRCより宮城県気仙沼の中でも孤立感が強い大島へ、子どもから子どもへ心のこもったプレゼントを行うプロジェクトの実施を予定されておられることが発表され、大阪難波RCからは、昨年のライラをホストし、つながりの出来た、関西大学の学生80名について7月と8月にボランティアとしての派遣を企画し同行された実例を直に見ることで、自然の力の強大さ、現地の方の復興に向けた力強さ

を感じたことなど、若者が感じ取ったことなどを発表されました。この試みは、11月にも計画していることもお聞きしました。八尾RCからは、市内小中学校15校の児童生徒会の代表3名ずつのリーダー研修への協力を長年つづけておられることや、不登校児の野外活動を企画し、30名程度の児童中に数名の不登校児を参加させる取り組みをされ、これらの児童が次学期から登校されるようになったという報告もされました。また、新任の教師71名への講話など多くの取り組みが紹介されました。東大阪RCからは、突然の指名にもかかわらず、RACの活動支援やフォーラム開催のお話を、大阪東RCからは、世界各国からの留学生による200名の聴衆を集めたスピーチコンテストを開催したお話を頂きました。2011年7月30日から8月1日に吹田江坂RCのホストで行われた、ニコニコキャンプが、成功裏に終わられたことも報告されました。

最後に大谷新世代奉仕担当パスト・ガバナーより講評を頂き閉会いたしました。

アンケートにご協力頂いた皆様、ご参加頂いた皆様に感謝して、報告といたします。

地区大会へのお誘い

地区大会委員会

委員長 **光 信 昌 明** (大阪城南RC)

本年度の地区テーマは、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」です。

- ①今年度大会の特徴として、「ロータリークラブの大会」であることに着目して構成しました。
- ②第一日目「見直しを進める」ために、第2680地区パスト・ガバナーの深川氏による「ロータリーの原点」の受講や、「理想の米山奨学生像」を探り、また新入会員には、若林パスト・ガバナーの研修を受けていただきます。
- ③第二日目「新たな第一歩を踏み出していただく」一助として、RI研修リーダーの中村靖治(やすはる) RI会長代理のRI現況報告や京都大学大学院の中西輝政教授の講演を聞いていただきます。
- ④RI会長代理歓迎晩餐会は、関西室内楽協会のメンバーによる演奏などを楽しみ、歓迎の意を尽くし

たいと思います。

- ⑤家族の集いは、大阪歴史博物館を訪れ、笑いながら楽しく大阪について学んでいただけるよう工夫しております。
- ⑥友愛の広場は、一日目は会員相互の親睦を中心に、二日目は地区委員会活動の報告を中心しております。特に地区広報委員会の活動は、NHK大阪ホール1階を使用して、一般の方の目に触れる形で、広報活動をしていただきます。
- ⑦本年度は東日本大震災発生に鑑みて、大きなエンターテイメントを控えました。
- ⑧11月11日(金)は、上本町のシェラトン都ホテル大阪、翌12日(土)は、谷町四丁目のNHK大阪ホールで、お待ちしております。

2011～2012 年度 RI 2660 地区 地区大会

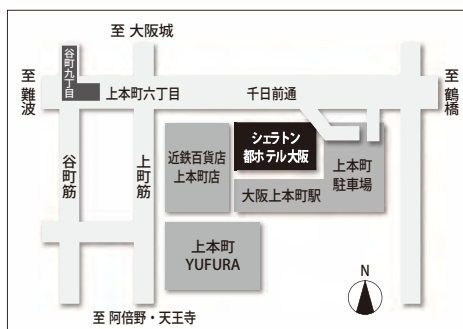
第1日目 シェラトン都ホテル

- 11月11日(金) 13:00～ 開会式
14:10～ セッションⅠ.Ⅱ.Ⅲ / 14:30～ 家族の集い
18:00～ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第2日目 NHK大阪ホール

- 11月12日(土) 13:00～ 本会議

[シェラトン都ホテル大阪]
大阪市天王寺区上本町 6-1-55
Tel: 06-6773-1111 (代表)



大阪市営地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅より徒歩5分。近鉄「大阪上本町」駅直結。
東梅田駅より「谷町線」で約15分、なんば駅より「千日前線」で約5分。
阪神高速環状線 道頓堀出口より約5分。

[NHK大阪ホール]

大阪市中央区大手前 4-1-20
Tel: 06-6937-6000 (直通)



地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅より2番出口から徒歩約3分。
地下鉄中央線「谷町四丁目」駅9番出口すぐ。
<お車をご利用の方>
阪神高速13号東大阪線 法円坂出口(東行き)すぐ。地下有料駐車場(80台)。

2011～12年度のための 地区協議会 会計報告

代表幹事 境 高彦 (大阪城南 RC)

開催日：2011年4月23日(土)

会場：大阪国際会議場

ホストクラブ：大阪城南ロータリークラブ

■ 収入の部

会 員 数	負担額(①)	クラブ数(②)	収入額(①×②)
29名以下のクラブ	90,000	21	1,890,000
30名以上のクラブ	110,000	61	6,710,000
利 息			1
	合 計	82	¥8,600,001

■ 支出の部

項 目	内 訳	金 額	項目別小計	内 訳
会場費	会 場	3,723,366		本会議場・部門別会議場他
	音響・照明	1,027,470		本会議場音響・照明
	備 品 等	85,050		タスキ
	お 茶	244,265		部門別用(ペットボトル)他
	小 計		5,080,151	
会合費	室料等	348,357		実行委員会
	小 計		348,357	
印刷費	プログラム	656,880		当日配布用
	資料その他	143,086		部門別用 アテンダンスカード他
	小 計		799,966	
記録費	記録冊子	2,128,635		添付DVD含他写真
	小 計		2,128,635	
謝礼金	看護師等	40,000		看護師・ピアノ礼金
	昼 食	106,000		食券
	小 計		146,000	
雑 費	その他費用	14,115		振込手数料
		15,270		通信費
		10,780		消耗品
		34,860		損害保険料
	小 計		75,025	
	合 計		8,578,134	

収入の部(①)	支出の部(②)	残 額(①-②)
¥8,600,001	¥8,578,134	¥21,867

2011-12年度のための地区協議会 会計決算を平成23年8月1日に大阪城南ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で、上記の通りであることを報告します。

平成23年8月2日

実行委員長 畑田 豊
代表幹事 中谷 佳正
会計 井上 裕貴

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年8月末	全国寄付金合計額	272,079,479円 (前年度比8.06%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	12,148,500円 (前年度比16.28%減)
2011年8月末	全国寄付金合計トップ10	
	1. 第2750地区	16,592,080円
	2. 第2770地区	16,460,000円
	3. 第2760地区	15,679,000円
	4. 第2590地区	14,916,000円
	5. 第2580地区	13,749,250円
	6. 第2710地区	12,707,700円
	7. 第2650地区	12,149,230円
	8. 第2660地区	12,148,500円
	9. 第2690地区	11,576,205円
	10. 第2790地区	10,605,400円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年8月)

氏名	回数	クラブ名
芳田 至弘	5回目	東大阪東 RC
林 武	1回目	枚方 RC
井上 良典	3回目	枚方 RC
金光 聖中	1回目	枚方 RC
大東 将啓	1回目	枚方 RC
大野 榮	3回目	枚方 RC
新庄 幸一	3回目	枚方 RC
山中 脩自	2回目	枚方 RC
家高 健志	3回目	枚方 RC
吉原 博	1回目	枚方 RC
大野 智子	4回目	守口 RC
小嶋 敦	1回目	大阪西北 RC
西村 園	8回目	大阪西北 RC
杉本 侃	3回目	大阪西北 RC
高林 辰行	8回目	大阪西北 RC
田中 潤治	7回目	大阪西北 RC
妙中 茂樹	2回目	大阪西北 RC
西川 正一	2回目	大阪淀川 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年8月)

クラブ名	回数
枚方 RC	23回目
大阪西北 RC	40回目
大阪淀川 RC	31回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

西田 未彦	大阪中之島 RC	8/19
岡本 啓吾	大阪中之島 RC	8/19
林 武	枚方 RC	8/31
澤村 繁	枚方 RC	8/31
田邊 誠	枚方 RC	8/31
山中 脩自	枚方 RC	8/31
玉田 義宣	大阪西北 RC	8/31

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

寺西 太一	4回目	東大阪東 RC	8/5
井上 家昌	4回目	東大阪東 RC	8/5
安達 昌弘	1回目	大阪中之島 RC	8/19
早瀬 道圓	2回目	大阪中之島 RC	8/19
広田 甫	2回目	東大阪東 RC	8/26
常楽寺 善雄	7回目	東大阪東 RC	8/31
朝田 正治	1回目	東大阪東 RC	8/31
安積 曜夫	1回目	枚方 RC	8/31
堀岡 晃	1回目	枚方 RC	8/31
井上 良典	1回目	枚方 RC	8/31
磯田 隆平	1回目	枚方 RC	8/31
門前 武彦	1回目	枚方 RC	8/31
三村 雄太郎	2回目	枚方 RC	8/31
宮田 久嘉	2回目	枚方 RC	8/31
三好 國司	1回目	枚方 RC	8/31
森本 匡胤	1回目	枚方 RC	8/31
小野 忠幸	1回目	枚方 RC	8/31
小野 俊文	1回目	枚方 RC	8/31
諏訪 正美	1回目	枚方 RC	8/31
寺嶋 三郎	1回目	枚方 RC	8/31
古市 仁	2回目	大阪西北 RC	8/31
田中 潤治	3回目	大阪西北 RC	8/31
尾下 千明	1回目	大阪西北 RC	8/31

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2011)

小山 登	大阪西北 RC	8/5
北村 譲	大阪中之島 RC	8/19
石田 由美子	大阪リバーサイド RC	2010 11/19

災害支援プロジェクト報告(第5回) 災害支援プロジェクト 委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

前回は9月14日までの経過について御報告いたしましたが、10月17日迄は下記の通り推移しています。各クラブよりのアンケートの回答を掲載いたしております。台風12号災害への対応は各地区で対応することとなりましたが、今のところ隣接、和歌山県・奈良県地区ガバナーからの支援要請は来ておりませんので各クラブ内にて友好クラブ又はメンバー間にて交流がある場合は各クラブの裁量にてご支援下さい。

(1) 地区ガバナー会への寄付金について

<アンケート結果一覧>

	クラブ名	クラブ希望	送金額 (円)		クラブ名	クラブ希望	送金額 (円)		クラブ名	クラブ希望	送金額 (円)
1	大東	2	6,529,790	29	大阪平野	2	326,562	56	大阪天王寺	2	547,212
2	大東中央	2	1,765,200	30	大阪本町	2	229,476	57	大阪帝塚山	2	547,212
3	東大阪	1		31	大阪イブニング	1-イ		58	大阪東南	1	
4	東大阪中央	1		32	大阪城南	1		59	大阪鶴見	2	2,074,110
5	東大阪東	1		33	大阪城東	1-イ		60	大阪梅田	2	2,048,515
6	東大阪みどり	2	229,476	34	大阪柏原	2	264,780	61	大阪梅田東	2	317,736
7	東大阪西	1		35	大阪北	2	2,647,800	62	大阪うつぼ	2	410,127
8	枚方	1		36	大阪北梅田	1		63	大阪淀川	2	576,934
9	茨木	2	220,650	37	大阪御堂筋	1		64	大阪ユニバーサルシティ	1	
10	茨木東	2	1,300,070	38	大阪南	1		65	千里	1	
11	茨木西	1		39	大阪中之島	1-イ		66	千里メイプル	2	247,128
12	池田	1-ロ		40	大阪難波	2	388,344	67	摂津	1	
13	池田くれは	2	291,258	41	大阪なにわ	1-イ		68	四條畷	1	
14	門真	1		42	大阪南西	1-イ		69	新大阪	×	
15	交野	2	395,405	43	大阪ネクスト	1		70	吹田	2-一部返金	1,488,766
16	香里園	2	37,069	44	大阪西	2	2,647,800	71	吹田江坂	1-ロ	
17	くずは	1		45	大阪大手前	2	617,820	72	吹田西	2	708,728
18	箕面	2	441,300	46	大阪大淀	2	476,604	73	高槻	1	
19	箕面中央	1		47	大阪リバーサイド	2	368,927	74	高槻東	1	
20	守口	2	414,822	48	大阪咲洲	1		75	高槻西	1	
21	守口イブニング	1		49	大阪西北	×		76	豊中	1	
22	寝屋川	2	1,059,120	50	大阪西南	1-イ		77	豊中南	2	291,258
23	大阪	1-イ		51	大阪船場	1		78	豊中-大阪国際空港	2	4,244,549
24	大阪中央	2	366,279	52	大阪心斎橋	1		79	豊中千里	1	
25	大阪堂島	2	273,606	53	大阪城北	1-イ		80	八尾	1	
26	大阪フレンド	1		54	大阪そねざき	×		81	八尾中央	1-イ	
27	大阪東	1-イ		55	大阪天満橋	2	2,029,980	82	八尾東	1	
28	大阪東淀ちやまち	1									
									合 計		36,824,413

(イ) アンケート回答結果について

9月22日〆切のアンケート結果の集計が出来ましたのでお知らせします。

ガバナー会からの返金 72,845,511円
各クラブへの返金 36,824,413円
地区に繰入 36,021,098円

地区に繰入いただいたクラブにお礼申し上げます。

※アンケート:クラブ希望欄2は各クラブより返金を希望されたクラブです。(35クラブ)

(ロ) 地区災害支援プロジェクトでは、各クラブよりの数多くの支援にお応えするために、1クラブ当たりの上限金額を70万円から200万円に引き上げました。また、原則1クラブ1回限りをプロジェクトによっては別途考慮させていただきます。

(ハ) 地区から地区への支援活動

2520地区へ 1,000万円

2530地区へ 500万円

の支援金を送ることいたしました。

(2) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2011年9月15日～10月17日)

地区クラブ名および友好クラブ名 (国名)	寄付金 (円)	備考
大阪城南 RC	111,793	
交野 RC	330,000	
大阪城南 RC	12,074	
2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
合 計	515,121	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2011年9月15日～10月17日)

クラブ名	プロジェクト内容	総 額 (円)	内地区拠出基金 (円)
大阪東南 RC	ボランティア活動	981,400	700,000
委員会主導 1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
大阪天王寺 RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
委員会主導 2	教育資材寄贈	665,228	665,228
大阪御堂筋 RC	ローターアクト奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
	合 計		3,272,268

(3) 現在の地区寄付金残高 (10月17日現在)

44,863,876 円

(イ) ①前回残高

11,599,925円

②ガバナー会返金のうち地区繰入額

36,021,098円

③寄付金 (9/15～10/17)

515,121円

48,136,144 円

(ロ) 地区基金申請案件拠出額 (9/15～10/17)

3,272,268 円

<お知らせ>

ガバナー・エレクト業務開始のご案内 ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島RC)
次年度地区代表幹事 村橋 義晃 (大阪中之島RC)

10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタートいたしました。

- 所在地 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話:06-6264-2660 FAX:06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp
- 執務時間 月曜日～金曜日 9:30～17:00 ※土・日・祝は休ませていただきます。
- 事務局員 納多 寿恵子

文庫通信 (289号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「有田の伝統を語る(対談)」 14代 酒井田柿右衛門 2011 7p (D.2740)
- ◎「夢を創る」 安藤忠雄 2011 4p (D.2580)
- ◎「一隅を照らす」 半田孝淳天台座主 2011 6p (D.2600)
- ◎「遺言書を書いて千日回峰行」 上原行照師大阿闍梨 2011 5p (D.2600)
- ◎「いくつもの壁にぶつかりながら『19歳・児童売春撲滅への挑戦』」 村田早耶香 2011 4p (D.2780)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原正彦 2011 16p (D.2530)
- ◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」 浜田和幸 2011 7p (D.2560)
- ◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」 結城章夫 2011 7p (D.2800)
- ◎「CO₂貯留研究の現状と課題」 村井重夫 2011 12p (D.2800)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

磯田勝信 会員（くずはRC）

2011年9月19日逝去(享年76歳)
理事、出席委員長、社会奉仕委員長、環境保全委員長
広報委員長、職業分類委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

横井英朗 会員（大阪西南RC）

2011年10月4日逝去(享年77歳)
幹事、青少年担当理事、プログラム委員長、ロータリー情報委員長
広報雑誌委員長、雑誌委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

瀧野和子 会員（大阪イブニングRC）

2011年10月7日逝去(享年61歳)
幹事、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、クラブ管理委員長
ポール・ハリス・フェロー

山畑雅裕 会員（八尾RC）

2011年10月20日逝去(享年86歳)
会長、幹事、副会長、会員増強委員長、青少年奉仕委員長
社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、越中八尾友好委員長
国際教育基金委員長
米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

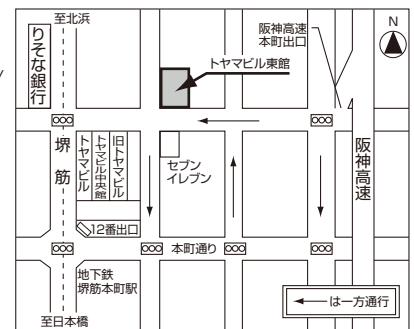
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

12 vol.6



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



12 vol.6

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

家族月間	1
ロータリー家族月間によせて	2
秋のライラ報告	3
米山記念館見学と墓参	4
米山奨学生レクリエーション報告	5
地区大会ご参加のお礼	6
災害支援プロジェクト報告	7
米山奨学委員会	9
2011年10月度 会員数・出席報告	10
文庫通信	11
敬弔／お知らせ	



皆様、早いものでガバナー就任から5ヶ月が経過いたしました。月日の経つのがこんなにも早いものかと思えます。

去る11月11日(金)シェラトン都ホテル大阪、12日(土)NHKホールにおいて開催されました地区大会には中村RI会長代理をはじめ多数のPastor・ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミネー、ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト、および各地区委員会委員、会員の皆様方に御出席を賜りまして誠に有り難うございました。

私の年度の主要行事でありますPETS・地区協議会に引き続き地区大会を無事終えることが出来たことに対しましてご協力、準備に携わっていただきました皆様様に厚くお礼申し上げます。まだ公式訪問も残っておりますので気は抜けませんが、ホッとしたひとときの休息を頂戴いたしました。まだまだ後半の行事も控えておりますので、皆様のご協力の程お願い申し上げます。

さて、12月は「家族月間」です。1995年11月のRI理事会において2月の第2週を「家族週間」としましたので古い会員の方にはなつかしく思い出されることと思います。

しかるに、2003年7月のRI理事会において、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しまして今日に至っています。従って、「家族週間」は廃止されました。

ところで、本年度RI会長カリヤン・バネジーさんは三つの強調事項の第一に強い家族を築くこと。「万事は家族から始まります。私達が行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが母と

子であり、ここから始めてこそ人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことが出来る」と唱えています。私も同感であり、PETS、地区協議会においても強調させていただきました。

12月は、クリスマス・家族会など会員家族を対象としたクリスマス・年末家族会等の名称で家族の大切さを再認識する月間として定着してきました。

以前は、街中には景気の良さを反映して深夜まで酔客で溢れかえり、タクシーを確保するのが大変な時もありました。

しかし、今は世界景気の冷え込みにより以前の活況は見られる影もありません。

3月11日の大震災、また9月の近畿地方を襲った台風12号の被害を見るにつけ、家族の絆の大切さを痛感したと数多くの方がテレビのインタビューに答えています。世の中の荒波に立ち向かう勇気を与えてくれるのは家族に他なりません。

今年一年の各ご家庭を振り返り、本当に私達の置かれている立場を理解し、そして何よりも私達の活動を支えてくれる「家族の温もり」に感謝をして新しい年を迎えようではありませんか。私自身も5ヶ月の総括をして、家族に対して感謝の気持ちを表したいと思います。

よいお年をお迎え下さい!!

合掌



今期のRI会長カルヤン・バネルジー氏は、その会長メッセージの中で、家族のことを、特に母子の関係を重視され、世界をより良くしていくためには、如何に家族が大事であり、家族の絆を軸に、人々の営みが円滑なることを強調されています。さて今年の話題は、東日本大震災に始まり、東日本大震災に終わろうとしております。震災で亡くなられたり、行方不明となられた方に対して、先ずお悔やみを申し上げます。特に涙を誘うのは、重機を駆って、行方不明の小学生の娘さんを探し続ける、母親の姿でした。

私は10月4日～5日と宮城、岩手の被災地を訪れ、岩手県大船渡市立大船渡小学校に参りました。小学校では、津波が迫ってきた時に、車で親御さんが何人か迎えに来ておられたそうです。しかし、校長先生の判断で車に乗せず、直ぐに高台の中学校に避難させたそうです。その結果、幸いなことにタッチの差で子供達が津波に呑み込まれずに済んだのです。小学校では津波に対する訓練を日頃からしており、また瞬時の状況判断のおかげで、子供たちの命が助かりました。

この大船渡小学校の子供たちのために、私たち大阪城南RCは、机・椅子・ロッカー等の備品を贈呈しました。私たち被災地から遠く大阪にいる者にとって、何が出来るか、何をすればお役に立てるかが問われるところですが、一日も早く、子供たちの教育環境を整えてあげるといふのも、その一つの答えと思います。

さて、私たちのクラブでも、毎年12月は年末家族会で、大勢のご家族のご参加をいただいております。今年は、親睦・出席委員長の肝いりで、バレエを身近に見ていただくということで、ロシアクラシックバレエアカデミー（RCBA）（高橋晃子代表）による女性陣や男性陣のダイナミックな踊りを堪能していただく予定です。この外、毎年春には家族会を開催しておりましたが、例えば'09年の春の家族会は趣向を少し変え、吉野山の植林をいたしました。当クラブ会員とご家族、関係先の団体の皆様、計150名で、吉野山・青根ヶ峰で植林をしたのです。会員のご家族の皆様に奉仕活動をお見せする、あるいは共に汗を流して奉仕するというのは、ご家族にロータリー活動を理解していただく第1歩と思います。ロータリーの活動に対する理解が、また一つ増えたと思えました。

最後になりましたが、今年度は岡部ガバナーをはじめ、多くの地区委員を輩出しております。大阪城南RCの会員は、いつもの纏まりの良さを、地区大会でも発揮することが出来、無事大会も終了することができました。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。また、特に家族の集いには多勢の家族の方にご参加いただき、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

2011～2012年度 秋のライラ報告

青少年活動委員会

委員長 新庄幸一(枚方RC)

2011～2012年度秋のライラが2011年10月8日から10日までの日程で、大阪科学技術センター及び大阪府立少年自然の家において、福島相馬RC推薦の受講生5名を含め、東大阪みどりロータリークラブのホストにより開催されました。

2011～2012年度秋のライラは、期待と不安が、織り交ぜられた受講者の緊張した雰囲気の中、岡部ガバナーのご挨拶で開講されました。

基調講演の青山先生のお話は、迫力に充ち、日本人の誇りを取り戻そうという総合テーマを受け、祖国は甦るといふ講演テーマのもと、頂いたレジュメはいつ始まるのかと思いつつも、青山先生の迫力に受講生の皆さんも、会場のロータリアンも飲み込まれました。祖国という意識を持たないことは、世界の標準からはずれ、民が主役の日本の民主主義の歴史についても興味深く聞かせていただきました。原発問題については、体を張った取材だからこそいえる、100年後まで住民が地域に生きる復興のあり方を、ペルーの大使館占拠事件の真実のお話を織り交ぜながら、胸に残る基調講演を頂きました。場所を大阪府立少年自然の家に移し、夜の実習では、すぐに打ち解けた雰囲気となり、アイスブレイキングではきれいな信頼の輪が出来上がりました。

2日目のプログラムは、萩原先生の経験に裏打ちされた、まちの要素を掛け合わせ化学反応を起こすまちづくりのあり方、旭川や富良野などテーマを持っ



た街づくりのお話、心のこもった感謝の必要性はありがたいの哲学と共に心に響きました。また、君が代や日の丸の由来など、興味深いお話を頂きました。受講生の皆さんが、成長してゆく中で先生の発想力は大きな刺激となったことでしょう。

午後の実習では、診断ツールを用いて、自分のコミュニケーションスタイルを診断することで、強みを伸ばし、弱みをなくすことを認識し、ジャングルからの脱出では、個人の特徴を生かして協働作業を通じてその大切さを学ぶことを学び、NASA危機の中で議論して意見を統一してゆくことの大切さ、難しさを学びました。夜のロータリークラブとはというお話では、杉森直前会長から、ロータリー精神を学び、ロータリアンとの座談会では、受講生からの活発な質問にお答えになる、ロータリーパパの真摯な姿勢に受講生は、何かをつかんでくれたものと思います。また、このプログラムを終えた、ロータリーパパも爽快な笑顔を残していただきました。最終日は、このライラで学んだことを午前中でまとめ、午後には、学び、感じ、成長した姿を見せてくれました。

発表の講評を大谷担当パスト・ガバナーより頂き、閉講式では、高島ガバナー・エレクトよりご挨拶と修了証書授与を行っていただき、相馬RC武島様よりのご挨拶、ローターアクト、チームライラの説明の後、東大阪みどりRC井上会長から、次回2012春のライラをホストして頂く、箕面RC黄堂会長へライラ旗が引き継がれ、井上会長の思いをこめた閉会の辞で幕を下ろしました。

最後に、この心に残るライラを大成功に導いて頂いた、会長、地区委員、パパを兼務し、本当に大変な思いをされた井上会長、冷静にライラを導いて下さった、北井実行委員長をはじめ東大阪みどりロータリークラブの皆様、衷心より感謝して報告といたします。



米山記念館見学と墓参

米山奨学委員会

委員 吉田悦治 (大阪大淀RC)

日時 2011年9月23日

場所 米山梅吉記念館

参加者 武島、田中、吉田、榊原、福田、西邨、
近藤、磯田 (第2660地区米山委員)

9月23日、台風12号を追っかける様に上記地区委員8名で米山梅吉記念館見学と墓参にまいりました。沼津市新幹線三島駅よりタクシーで「長泉町の米山記念館に」と言えばタクシーの運転手も心得ており20分位で到着しました。

事務局の挨拶をも済ませ、早速2階の展示会で市川学芸員が、皆の耳を惹きつけて離さない素晴らしい名調子で米山翁の生い立ちと活躍ぶりを説明してくれました。また次の部屋には、米山氏の沢山の著書、掛け軸、生活用品などが展示され、別な室にはロータリー (RI) の資料と写真、それに日本のロータリーの歴史の資料が沢山展示され、大きな銅板に日本歴代地区ガバナーの名が彫られていました。

記念館の庭には、ビチャイ・ラタクルRI会長がここを訪れた時の記念植樹と記念碑、入り口の横には、法隆寺の夢殿をかたどったともいわれる六角形の旧記念館があり、側には、ポール・ハリスが日本を訪問した時、帝国ホテルに記念植樹した月桂樹の孫に当たる木が植えてありました。その後、記念館近くにある墓地に参るのですが、米山翁の石碑は実に質素で、戒名ではなく、正面には梅吉氏作の俳句が彫ってありました。

『いさかいも なき漫々の 青田かな』



記念館、墓地のまわりは、長泉町と云うより米山姓の付く所がかなりあり、米山村と言える程であり、墓参を終えて始めて、私達にとって伝説の人であった米山翁が偉大なる身近なロータリーの大先輩になりました。

さて、日本のロータリーには米山を冠名にした2つの組織があります。それは、米山記念奨学会と、米山梅吉記念館です。奨学会は全日本ロータリーがかかわる巨大財団で、在日留学生への育英事業を目的とする文部科学省の認可の組織です。

一方、記念館は日本ロータリーの創始者、米山梅吉翁を記念し、ロータリー精神の普及を図る目的で、RI第2620地区 (静岡・山梨) の静岡東部11ロータリークラブが主になって、昭和44 (1969) 年、静岡県教育委員会の許可で設立された財団で、財源も運営も全く異なる組織です。頭の痛いのは財政問題です。私達が到着した時も理事長自ら、台風の後片付けをしておられ、館の屋根が嵐の影響で剥がれ落ちていました。現在、記念館を維持するために年間1,400万円ほどが必要です。これに対して収入は全てロータリーアンからの募金です。RI第2620地区から、地区援助賃金を頂き、さらにRI第2590地区、RI第2780地区、米山記念奨学会から主な補助をうけております。入館料のかわりにとスマイルボックスを置いてありますので、ご協力をお願いいたします。

米山奨学生 レクリエーション報告

米山奨学委員会

委員 和田武彦 (大阪梅田東RC)

本年度の「米山奨学生レクリエーション」は、10月16日(日)、前日来の雨がすっかり上がった秋晴れの清々しい一日、恒例により宝塚大劇場で開催され、奨学生29名、ロータリアンとそのご家族、総勢98名が参加されました。

当日は宝塚歌劇団 宙組(そらぐみ)公演、

第1部はミュージカル 「クラシコ・イタリアーノ」

第2部はショー・アトラクト 「Nice Guy! ナイスガイ」

観劇後、劇場内の別室で懇親会が開催されました。

懇親会は、中川和之地区米山委員のテンポの良い司会で進行了ました。

まず、武島秀吉地区米山委員長の「米山記念奨学事業は、世界の架け橋になる人を育てると共に、奨学生、カウンセラー、各クラブの米山委員長そして地区委員と共に、ロータリー精神を学ぶ共育事業である」との開会挨拶、続いて境高彦地区代表幹事の乾杯のご発声で開宴となりました。

その後の、奨学生諸君の近況報告では「クラブの例会で、ロータリアンが東北の震災支援について熱心に討論されているのを間近に見て、ロータリアンを益々尊敬するようになった」などのロータリーの活動についての日頃の思いや、当日の歌劇について「素晴らしいショーに感動した」「宝塚歌劇は長年の憧れ」「自分の道を諦めずに進むミュージカルの主人公の生き方を見習いたい」などの感想などを語ってくれました。



関西学友会の朴日代表からは、学友会活動へ積極的に参加して欲しいと語り掛けての挨拶をされました。

そして、当日の特別イベント元宝塚歌劇の大スター 但馬久美さんのユーモアをまじえての海外公演のご苦労話と素晴らしい歌を堪能しました。但馬さんの歌を間近に聞けるなんて、宝塚ファンが聞いたら泣いて悔しがるハプニングです。

境高彦地区代表幹事の講評では、奨学生の皆さんの日本語の上達に感動したとの、お褒めの言葉を戴きました。

最後に、田中真人地区米山副委員長が「今回の脚本家は、『クラシコ・イタリアーノ』で、場面場面に於ける人との出会いを通じて成長していく様を表現していました。私たちは米山奨学事業という出会いを通してお互いを理解し、また、お互いが感謝できる存在でありましょう」との開会挨拶で楽しい一日はお開きとなりました。



地区大会ご参加のお礼

地区大会委員会

委員長 光信昌明 (大阪城南RC)



国際ロータリー第2660地区2011～2012年度地区大会を国際ロータリー会長代理として2770地区パスト・ガバナー中村靖治様ご夫妻をお迎えして、シェラトン都ホテル大阪並びにNHK大阪ホールで開催させていただきましたところ、近藤雅臣国際ロータリー理事ご夫妻、渡辺好政国際ロータリー元理事、菅生浩三国際ロータリー元理事、他地区のガバナー、パスト・ガバナー、当地区のパスト・ガバナーその他の多数のご来賓にはご多用中にも関わりませず、ご臨席賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

また、2660地区内は勿論のこと他地区からも大多数のロータリアン並びにご家族の皆様にもご参加いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

地区大会開催に当たり、ご参加いただきました皆様方、特に地区内のパスト・ガバナーの皆様、各クラブの会長幹事様には、多大なるご理解とご協力を賜り、お陰様で恙無く尚且つ盛大に閉会することが出来ましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今年度は、東日本大震災という未曾有の出来事に遭遇し、一時は地区大会開催自体の有無を検討する時期もありました。しかし、阪神淡路大震災を経験した我々が、「ロータリアンとして震災から8ヶ月経過した時期に何ができるのかを、ロータリーの地区活動のメインイベントである地区大会で考えることこそ大切である」という強い想いで、開催に踏み切りました。

岡部泰鑑ガバナーの方針である「見直しをすすめ 新たな第一歩を」の言葉を大切に、ロータリークラブの地区大会であるということに着目して、その内容を吟味しました。

大会第一日目は、セッション1で深川純一2740地区パスト・ガバナーから、ロータリーの原点についてご教示いただき、セッション2では、台湾から米山修了生で3490地区パスト・ガバナーの許國文(きよこくぶん)様、

3520地区から林維宏(りんひろ)様、東京米山友愛RCの林芳会長ギリ会員とともに、理想の米山奨学生像を探っていました。

また、入会3年未満の方々には、セッション3で当地区の若林紀男パスト・ガバナーからロータリーについて研修していただきました。

家族のつどいは、嘶家の桂坊枝さんと一緒に大阪歴史博物館を訪れ、楽しく大阪の歴史、文化に触れていただきました。

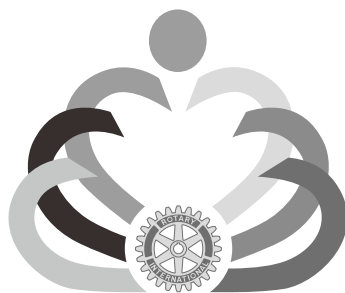
一日目の友愛の広場では、米山奨学生によりますお茶サービスもさせていただきました。

大会第二日目は、ロータリアンとして新たな第一歩を踏み出すきっかけにしていいただければと考えて、国際ロータリー研修リーダーでもあられます中村靖治(やすはる)様の講話と、京都大学大学院教授で国際政治学者の中西輝政様の基調講演を受講していただきました。特に今年は、大きい自然災害が多く発生し、その中のロータリー活動をNHK大阪ホールの特徴を生かして、映像により皆様にお伝えしたことがひとつの特徴です。

会議の後半では、スリランカからのGSEチームの紹介や来年度バンコクで開催されます国際大会のご案内などの後、ザ・タロー・シンガーズによりますアカペラの歌声をお聞きいただきました。

二日目の友愛の広場では、会場の1階と4階を使いまして、ロータリーの災害支援活動も含めた広報活動、地区委員会活動の報告をしていただきました。

最後になりましたが二日間を迎えるにあたり、地区大会開催に対して先達に多くのご助言を頂戴し、ガバナー補佐、地区委員、ガバナー事務所、関係者の皆様方、並びにホストクラブ、コ・ホストクラブの皆様、多大なるご協力をいただいたことに深く感謝を致します。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

災害支援プロジェクト報告(第6回) 災害支援プロジェクト 委員長 **井上 暎夫** (千里 RC)

本年度上期の総括の報告をさせていただきます。新年度7月1日より寄付金締め切り10月31日までの経過を一覧表に纏めました。

地区内各会員皆様様の熱い思いを頂戴いたしまして改めてお礼申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2011年7月1日～10月31日)

	地区クラブ名および友好クラブ名 (国名)	寄付金額 (円)	備 考
1	ペニンシュラ RC (中国 (香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北 RC
2	マニラ RC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東 RC
3	大東中央 RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津 RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南 RC
6	豊中南 RC	5,555,556	
7	I M第6組	500,000	
8	大阪城南 RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南 RC
10	大阪そねざき RC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪 RC
12	守口 RC	278,594	
13	八尾東 RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティ RC	200,000	
15	大阪城南 RC	111,793	
16	交野 RC	330,000	
17	大阪城南 RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南 RC	3,296	
20	くずは RC	560,000	
21	大阪梅田 RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東 RC	100,000	
	合 計	15,967,446	

(ロ) 地区基金申請案件承認・支出済状況(2011年7月1日～10月31日)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	内地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
		合計		9,258,031

(2) ガバナー会への寄付金について ～ 岡部ガバナーから説明 ～

- ・直前ガバナー会から地区への返金 72,845,511円①
- ・地区内35クラブへ返金 36,824,413円②
- ・地区内47クラブから預けられた額①－② 36,021,098円③

「直前ガバナー会が目指した方向」と「我々の年度のガバナー会が目指した方向」とが相違し、更にそのお金が被災地に全額届けられず、前年度ガバナー会は複数年に亘る被災児の奨学金制度を計画されました。我々の年度のガバナー会は義援金の主旨に則り、全額被災地へ送ることを要望しましたが決裂しましたので被災地のガバナーの声を一番にと考えて行動することとしました。被災地ガバナーは各地区のガバナーにガバナー会からの返金を受けることを望まれ、地区ガバナーより被災地区に直接支援を訴えられましたので9月6日に返金を受けました。

(3) 現在の地区寄付金残高 (10月31日現在)

- ・地区内クラブからの寄付金 23件 15,967,446円④
- ・地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金 15件 9,258,031円⑤
- ・2520地区 支援金 10,000,000円⑥
- ・2530地区 支援金 5,000,000円⑦
- ・送金手数料 23,000円⑧
- ・地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧) 27,707,513円

(4) 地区大会時における寄付金額について

- ・11月11日 シェラトン都ホテル大阪「募金箱」 (RI第2520地区北上西RCへ送金) 69,472円
- ・11月12日 NHKホール「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金) 189,394円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年9月末	全国寄付金合計額	334,910,471円 (前年度比6.74%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	15,508,000円 (前年度比20.14%減)
2011年9月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2750地区	21,725,080円
	2. 第2770地区	20,970,000円
	3. 第2590地区	20,494,500円
	4. 第2650地区	19,918,230円
	5. 第2760地区	19,434,000円
	6. 第2580地区	16,541,250円
	7. 第2660地区	15,508,000円
	8. 第2710地区	13,897,665円
	9. 第2690地区	12,938,005円
	10. 第2790地区	12,588,200円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。

(2011年9月)

氏名	回数	クラブ名
片山 隆信	1回目	茨木西 RC
田中 猛夫	2回目	茨木西 RC
口野 孝	1回目	大阪東 RC
土井 孝夫	5回目	大阪東 RC
境 高彦	4回目	大阪城南 RC
金沢 英富	2回目	大阪城東 RC
中村 容子	3回目	大阪城東 RC
西條 仁久	3回目	大阪城東 RC
高橋 俊光	1回目	大阪城東 RC
豊川 孝文	1回目	大阪城東 RC
福光 一七	3回目	大阪西北 RC
上堀 博三	11回目	大阪城北 RC
飯原 啓吾	5回目	新大阪 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。

(2011年9月)

クラブ名	回数
茨木西 RC	13回目
大阪 RC	97回目
大阪東 RC	77回目
大阪城東 RC	42回目

文庫通信 (290号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ガバナーマンスリーから

- ◎「RIテーマの解釈」 田村泰三 2011 1p (D.2710月信)
- ◎「東西ロータリーの温度差」 久野 薫 2011 5p (D.2680月信)
- ◎「あなたの背中で会員増強を」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「会員増強について一急がば回れ」 上野 操 2011 1p (D.2580月信)
- ◎「会員増強および拡大月間にちなんで」 模 泰吉 2011 1p (D.2680月信)
- ◎「次の時代を担う若手会員の増強とベテラン会員に敬意を」 松田健一 2011 1p (D.2600月信)
- ◎「クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) について」 小林完治 2011 1p (D.2690月信)
- ◎「規定審議会 (CL) について」 服部芳樹 2010 3p (D.2630月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

吉 田 乙 彦 会員

(大阪帝塚山RC)

2011年10月2日逝去(享年81歳)

理事、社会奉仕委員長、会員増強委員長、
米山奨学委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

●お詫びと訂正

月信11月号 6ページ「青少年交換来日学生一泊研修会」の記事の中で、間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

6ページ 24行目(誤)大阪大淀RCの井本氏

(正)大阪-淀川RCの井本敏弘会員

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

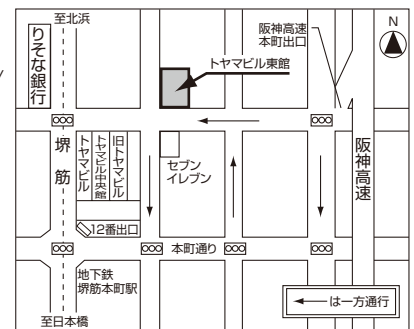
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

1 vol.7



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

1 vol.7

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ロータリー理解推進月間	1
ロータリー理解推進月間にあたって	2
第1回 財団FVPセミナー報告	3
ロータリー財団地域セミナー報告	6
第40回 ロータリー研究会報告	8
スリランカチーム受入報告	10
大阪アーバンロータリークラブ創立総会開催	11
災害支援プロジェクト報告	12
米山奨学委員会	14
ロータリー財団	16
2011年11月度 会員数・出席報告	17
文庫通信	18
敬弔／お知らせ	



謹賀新年

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、会員の皆様におかれましてはご家族揃って初春をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、3月11日に起こりました東日本大震災並びに原発事故の国難に始まり、トルコ地震（5月、10月）、奈良県、和歌山県の台風による大雨被害、ギリシャ、イタリア等ヨーロッパ諸国の経済危機、タイの水害等々、本当に心休まる間がない位次から次へと全世界的規模の危機が起こりました。今年の世界は穏やかな状況で推移して欲しいものと思います。とはいえ、東日本被災地区の苦難はこれから先も続くと思われまますので、皆様方のご支援をいただきながら災害支援プロジェクト事業を粛々と進めて参る所存ですのでご協力の程お願い申し上げます。

昨年の地区活動におきましては、11月11日、12日の両日に実施されました地区大会には大勢の会員の皆様のご出席を賜りました。さらに11月にはモーニングクラブ「大阪アーバンロータリークラブ」のR Iへの申請も終わりました、12月8日に創立総会を実施出来ました。

今年度はあと残すところ6ヶ月を切りますが、本年も地区活動にご協力をお願いいたします。

さて、今月はロータリー理解推進月間（Rotary Awareness Month）です。ロータリアン全員にロータリーについての知識と理解を一層深めていただき、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知っていただくためのプログラム等を実施する月間となっています。

今年のR Iの長期計画の中に「公共イメージと認知度の向上」が取り上げられており、イメージとブランド認知を調和させる、職業奉仕を強調するとなっています。そして、地区の方針におきましても、私は公共イメージと認知度の向上を謳い、ロータリーの認知度の向上をあげさせていただきました。

今まではどちらかというとロータリーの活動は認知度の向上よりも静かに活動をしていればその内社会に知れ渡るといった考え方が大半であったかと思えます。しかしながら、昨今のようなIT革命の最中、私達が十分ロータリー活動についての理解を深めることを通じて、そのことを社会に対して発信していくことも必要であると考えています。

私の年度のR I会長は、本年度でエンドポリオを謳っておりまして、当地区も昨年2月にインドヘポリオワクチンの投与のために大谷P Gがお出かけ下さいました。その時の映像をテレビ大阪と共同でテレビ放送をし、全国のロータリアンにも広く知らしめることが出来ました。

新世代奉仕活動におきましても、ロータリアンと若い世代の方々との交流を通じてロータリーの広報に努めているところです。

また、クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕活動におきましても若い世代の人達の模範となるようなロータリアンの行動が求められており、そのことがロータリーの認知度の向上に役立つものがあります。私達は常日頃の行動を通してロータリアンとしてのマナーと誇りとを広く社会に知らしめることにより、ロータリーの認知度の向上に結びつけようではありませんか…。

合 掌

ロータリー理解推進月間に あたって

バスト・ガバナー **横山 守雄** (大阪中央RC)



RIが1月を「ロータリー理解推進月間」と指定している背景には、この月間にあたり、各会員がロータリーについての知識と真髄をより一層深めること、そしてもう一つには、一般社会の人々にロータリーを如何に理解していただくかという、二つの面があるかと思われます。私達ロータリアンはその両面を考えて、ロータリーの素晴らしい理念を自分達の地域社会や国際社会で広め、実践して行くことが要請されています。

そこで、ロータリーを理解するにあたって、先立つことは、「ロータリーとは？」ということになります。その答えは「The Object of Rotary」「ロータリーの綱領」に集約されていますが、全国のクラブを対象にしたアンケート調査の結果、ロータリアンの半数以上の方々が、現行綱領の日本語訳は難解だと答えていらっしゃいます。

私達はロータリーの会合で「奉仕の理想」という歌をよく斉唱します。一般市民の方から「奉仕の理想」とはどういう意味ですかと、聞かれた場合、明解に、かつ簡潔にお答えできるロータリアンは少ないのではないのでしょうか。ロータリーの基本的な理念と実践方法が述べられている綱領を、ロータリアンが読んでも、また一般市民の目から見ても、「もっと分かり易い日本語訳はないだろうか」ということについて、日本ガバナー会傘下の「綱領等翻訳問題調査研究委員会」において過去2年間にわたり、その検討を続けて参りました。そしてその結果を、昨年11月25-26日に開かれましたロータリー研究会で発表いたしました。日本ガバナー会及び理事諮問委員会へ答申されます新しい日本語訳案は次の通りです。

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育成する。
特に次の各項を奨励することにある。

- 第1項：奉仕の機会を通して知り合いを広めること
- 第2項：奉仕の機会を通して、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、ロータリアン各自の職業において品位を保つこと
- 第3項：ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活において、奉仕の理念を実践すること
- 第4項：奉仕の理念で結ばれた職業人が、国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること

ロータリーの公式英文である「The Object of Rotary」の日本語訳については、日本のロータリアンの中で多様な解釈と翻訳案があります。上記の和訳案も時代の変化と共にこれから変わって行くかもしれませんが、より多くの人々にロータリーの目的と活動を、より良く理解して頂く上での一助となることを願っております。

第1回 財団FVPセミナー報告

FVP: Future Vision Plan「未来の夢計画」

ロータリー財団委員会・財団FVP委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央 RC)

日時：2011年10月22日(土) 14時～16時

場所：大阪YMCA会館2Fホール

司会：四宮孝郎FVP委員

雨模様の週末、当地区で初めてのロータリー財団 地区財団FVPセミナーが実施されました。今回は出席率がやや低めでしたが、会場にはロータリアンが熱心にセミナーを聴講する雰囲気を満たされていました。以下、発言内容をプログラム順に要約し、セミナー報告と致します。

■ 略語

TRF：ロータリー財団

FVP：未来の夢計画

DG：新地区補助金

GG：グローバル補助金

VTT：職業研修チーム

MG：マッチング・グラント

■ キーワード：6つの重点分野

- ① 平和と紛争予防／紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生設備
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

岡部泰鑑G：開会挨拶

FVPについてはすでに昨年度から色々な機会を通して、お伝えをしてきましたが、補助金のしくみが大きく変化して手続きが難しくなることが予想されます。世界では100のパイロット地区が(お隣の第2650地区も)すでに新しい制度のもとで活動しています。私たちも次年度には新補助金の申請が必要です。これをしないと折角寄付金を納めながら、それを利用するための補助金が受け取れません。各クラブにおいては、FVPの情報を習得された財団部門の委員長さんは、次年度委員会に委員として留まり、情報を切れ目なく伝達していけるような委員会構成をお考え頂きたいと思います。

横山守雄ロータリー財団部門顧問PG：FVPセミナーの趣旨説明

FVPは視点を変えればそれほど難しく考える必要は無いように思います。FVPは「未来の夢計画」と呼ばれていますが、ロータリアンにとって特段夢のように素晴らしいプランと言う訳ではありません。将来を目指したプラン程度にお考え下さい。ロータリー財団は近年見直しを迫ら

れました。財団プログラムへの参加が増え過ぎて、財団本部は対応しきれなくなり、制度を変えてロータリー財団の多くの権限を地区に移譲する形を取りました。例えばGSEがVTTと言う名称になるということがあります。基本的なコンセプトに大きな違いはありません。ですから、FVPに向けて地区でもクラブでも新しい委員会を設けなくても、今の構成のままでやって行けるはずで、あまり難しく考えることはないと思います。

福家 宏FVP委員長：FVP実施への流れと補助金制度概説

配布資料の第2770地区作成の「未来の夢計画ハンドブック」と「クイックガイド」をご紹介致しました。

ロータリー財団の歴史を振り返り、1917年アーチ・クラフの「世界のためによいことをしよう」の呼びかけを発端に1928年にTRFが設立されたこと、1947年に基金は大きく膨らみ、その後様々な財団プログラムが創設されTRFが発展の一途をたどったこと、MGは1965年からの35年間に1万件の申請があったが、その後わずか4年間で1万件に達し、TRFの運営を危うくし始めたこととお話しました。そしてTRFは様々な形で多数のロータリアンの意見を収集し、2005年4月から本格的な「FVP」への取り組みを開始。2010年7月から3年間のパイロット期間ののち2013年7月から全世界でFVPによる補助金制度が実施される過程をご紹介しました。

川田 隆FVP委員：新地区補助金について

新地区補助金は年に1回一括して地区に支給され、人道的のみならず教育的プログラムや建築など幅広いプロジェクトに利用可能であること。計画年度の次の年が実施年度という2年の業務サイクルと比較的短期で小規模な活動が利用対象になることを話され、現行の地区補助金と新地区補助金の相違点として新地区補助金がDDFの50%まで利用可能であることを紹介されました(現行は20%まで)。そしてVTTや奨学金を始めとするDGの活動事例を説明のうえDGの申請に至るまでの手続きや申請、報告につき紹介されました。

宮里唯子FVP副委員長：GGについて

GGには「クラブ&地区補助金」と「パッケージ・グラント」の2種類があるが、後者の利用は稀なので前者の利用のみにつき話を進められました。

GGの3プログラム：①人道的プログラム②奨学金③職業研修をご紹介の上、VTTにはDGもGGも利用可能だが、両者には大きな差異があって、GG利用の場合は必

ず6重点分野を満たすという条件があるとの説明をされました。またGGには最低金額(補助金下限15,000ドル)が設定されていて、国際的で大規模(金額規模ではなく効果の規模)なことや効果の持続性の高さが求められていることを説明の上、GGの要件について①人道的プロジェクト ②奨学金 ③VTT それぞれについて解説されました。そしてGGの業務サイクル、具体的な活動事例を紹介されたのち、GG申請にはどのような準備が必要なのかご説明の上、地区や他クラブと良い関係を構築して共にGGプロジェクトに取り組むべきことを話されました。

溝畑正信FVP委員：委員会構成についての考え方

FVP体制を迎えるに当たり、地区とクラブの委員会構成についての提言をされました。まず二つの補助金の業務サイクルをご紹介の上、地区財団部門委員会構成は現行の4小委員会はそのままだに、内部で機能強化を図り、財団奨学・学友委員会、財団人道的補助金委員会にはDG, GG担当者を決め、職業研修委員会はGSE, VTT担当者を決める必要性について述べられました。また、社会奉仕委員会にも国際奉仕委員会にも補助金担当チームを設けて、地区協議会ではロータリー財団部門への出席が望ましいというご説明をされました。

クラブのロータリー財団委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会は従来の単年度制を見直し、副委員長が次年度委員長、委員長が次年度委員になるなどの工夫をしてFVP情報が正確に引き継がれるように、また各委員会にはFVP担当者を設けて地区協議会ではロータリー財団部門への出席を勧告されました。

質疑応答

- 震災支援義援金の流れについて
⇒岡部Gが丁寧に解説されました
- 今日のセミナーで使用されたパワーポイントは、希望するクラブに提供してもらえるか
⇒福家:これまでも提供して来ましたが、同様に本日もご自由にご利用下さい。
地区HPよりダウンロード可能です。
http://www.ri2660.gr.jp/active/zaidan_fvp.html
- ロータリーは単年度制という認識を持っているので戸惑うが、例えば新地区補助金の計画内容はどのような形で次年度に引き継ぐのか
⇒福家:引継ぎの方法はクラブごとに差異があるかと思いますが、例えばクラブ協議会を通してクラブ全体に計画を引継ぐのも一つの方法だと思います。

高島凱夫GN：講評と閉会挨拶

2時間にわたるセミナー聴講を労われたうえ、クラブ財団委員会は2~3年間は誰かが留まって、FVP情報が途切れ目なく伝達されるような配慮をするよう勧告されました。2012-13年度はDGの申請年度ではあるが同時にその年度の地区補助金プロジェクトの申請も並行して行う必要があるという注意喚起をされました。また今回の出席率はあまり芳しく無かったが、次回1月14日のセミナーには是非各クラブ3名の方が揃って出席して、FVPの情報を共有して頂きたいと話され、閉会宣言をなさいました。

【G補佐からの事前質問①】

GG = グローバル補助金 DG = 新地区補助金

Q1. FVP導入の主目的は、財団運営の簡素化にあるのか?

A. 大きな目的の一つと言えます。

ほかにはロータリー財団は次のように説明しています。

- ・財団の使命に沿った成果を出すこと
- ・クラブや地区レベルで「自分たちの財団」という自覚を高めること
- ・世界的目標(GG)と地元のニーズ(DG)の両方を果たすためのプログラムを提供するというのも目標の一つであり、特に後者は地元のニーズの充足が各地区に委ねられる

Q2. 新地区補助金について

① DDFの50%を新地区補助金とするものとして、当地区では概算どの程度か?

A. 繰越金額によりますが、20万ドル程度ではないかと思われます。

(以下参考:ウェビナー資料より)

2010-11年度 授与された補助金の平均額は64,000ドル。補助金あたりのプロジェクト平均数は21件。地区からクラブに支払われた補助金の平均額は3,061ドル

② GGによる奨学生のハードルが高くなる結果としてDGを利用する奨学生が増えてしまい、人道奉仕プロジェクトのための補助金が減ってしまうのではないかと

A. DDFを人道的プログラム、教育的プログラム、寄贈分野にどのように振り分けるかは、2月に行われるDDFシェア会議で予め決定されます

Q3. 6つの重点分野には関連するが、単なる物品の寄贈に留まるプロジェクトはGGの対象とはならないのか?

A. 効果の持続性が求められるので、その条件を満たさなくてはなりません。物品の寄贈も不可ではありません。但し、包括的アプローチ(研修と情報交換)がポイントで、プロジェクトの効果の持続性に加え、測定可能な成果、受益者社会との協力が不可欠。

Q4. シェアシステムは存続するのか？

A. その通りです。

Q5. DGを申請するタイムリミットは？

A. クラブから地区へは3月から4月、地区から財団へは6月初めとなります

【G補佐からの事前質問②】

GG = グローバル補助金 DG = 新地区補助金

Q1. FVPの目的が簡素化の方向に向かうのは良いことだが、どちらかと言えば財団の方にメリットがあるようだが？

A. 今日お聞き頂いた内容から、ご理解頂けるものと存じますが、確かに簡素化は財団にとっては仕事量が大幅に減るのでその通りだと言えますが、地区の裁量権が増すという利点もあります。

(参考：パイロット地区アンケートより)

デメリット：地区の責務が増える

メリット：地区の裁量権がふえる

Q2. DGは1プロジェクト当たりの補助額に上限は無いとの取り決めがあるが？

A. 地区財団人道的補助金委員会で上限を決定するので、無制限ではありません。

Q3. GGはハードルが高いので利用するクラブとしないクラブの2極化が進むのではないか？

A. これは従来のMGでも言えることです。一度トライして成功すれば、次の年度も実施するということがあるろうかと思います。最初は確かに難しいと思いますが、慣れて頂くしかないとします。

GGやDGについては、地区がプロジェクトの立案や資金計画に積極的にかかわる事、クラブにおいては、IMや近隣の複数クラブでプロジェクトに取り組む事が必要になってきます。

Q4. 地区ロータリー財団部門の委員会構成は多くあり過ぎて、一度聞いても委員会の目的が良く分からな

いが、これを機に簡素化に結び付けばよいが？

A. ロータリー財団が推奨している小委員会は8委員会ありますが、当地区ではこれを4委員会に縮小して活動しています。それぞれの活動は年度初めの活動計画書でご判断頂きたいと思います。

Q5. 今回の財団プログラムの変更でGSEや国際親善奨学金が廃止されるが、何故廃止か理由が明らかにされないまま、一方的に決められているようだ。廃止されるプログラムは財団の使命に合わなくなったのか？

新しいシステムでは、新たな奨学金や職業研修チームが発足するが、この方が財団の使命に合致しているのか？

A. FVPの新しいシステムは一方的決定ではなく2005年4月からアンケート調査、フォーカスグループ、意見交換会が繰り返されたのちに、決定されています。新たな奨学金や職業研修チームは、地区として財団の使命に合うような形を作って行けばよいと思います。財団の使命は、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供することであり、この目標を達成する為に、奨学金及び職業研修チームの二つのプログラムも一律ではなくなります。

ロータリー財団 地域セミナー報告

ロータリー財団委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央 RC)

日時：2011年11月23日(水) 10時～17時

場所：大阪国際会議場12F 特別会議場

昨年に引き続き今年度もロータリー研究会は近藤雅臣 RI理事が大阪を開催地として招集されましたので、この付随会合である今年度第2回ロータリー財団地域セミナーも大阪で開催されました。会場は立派でしたが出席者数(250名以上)の割には狭く、テーブルは来賓席にのみ用意されており、資料確認やメモの作成には不便を感じました。橋本 譲第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーターの司会で開会。来賓紹介の後、小沢一彦財団管理委員、近藤雅臣 RI理事、ビル・ボイド財団管理委員長、デビッド・ベンダー寄付増進部長がご挨拶をされ、引き続き表彰がありました。アーチ・クランフ・ソサエティ(累計25万ドル以上の寄付者)3名、メジャー・ドナー(累計1万ドル以上)4名、ポリオ特別功労賞1名、計8名の方が登壇され賞状の授与を受けられました。ロータリー財団は、寄付者を本当に大切にしています。ポリオ特別功労者の小永井氏は南太平洋の多くの小国に自ら赴き、ポリオ撲滅活動に取り組まれたということで、献身的奉仕は受賞に十分値するものであります。このあとよいよセミナー開始です。

【恒久基金現況】

恒久基金は投資収益のみを財団プログラムに利用します(年間800万ドル)。1,000ドル以上の寄付者はベネファクターと呼ばれます。人道的ニーズへの対応能力を高めるため、収入源を確保して財団の堅実な未来を築くことを目的として設立された基金は、その寄付額が幾分減少の傾向があるとのこと。一方2025年までに10億ドル達成の目標は現時点で68.8%に到達しています。

【公益財団法人ロータリー日本財団】

岩井 敏同財団理事長が、同財団設立への10年の道のりを語られ、財団運営には卓越した経理処理能力が求められており業務遂行はたやすくは無いことを話されました。課題として地方税の優遇措置をどう取りつけるかということ挙げられました。

【平和フェローの現況】

坂本俊雄ホストエリア・コーディネーター以下4名の方々は次のように語られました。ロータリーの最終目的は「世界平和」。平和フェローシップ(奨学金)の前身はポール・ハリス没後50周年を記念して設立され、2000年10月以後何度かの名称変更ののちこの名称となり、2002年に平和センターが設立され、世界の7大学が平和センターに指定されています。平和フェロー(奨学生)となるには資格要件がありますが、ロータリーは多くの人がこの制度を利用して海外の大学院で修士の学位を取得し、各地で起きている紛争の解決や平和問題のエキスパートとして活躍してくれることを願っています。平和フェローシップはロータリアンの寄付で賄われていません。平和フェロー1人に学位を与えるには7万5千ドルを要します。これまでの修了生は515名に上ります。国際基督教大学(ICU)には平和フェローのための東ヶ崎潔記念ダイアログ・ハウスが建設されていますが、建設費に充てる寄付金もお願い致します。

【東日本大震災と復興基金支援事業】

パネル・ディスカッション

小沢一彦東日本震災復興基金委員長がアドバイザー。同委員の北 清治氏、第2520地区菅原一博ガバナー、第2830地区小山内康晴ガバナー、第2530地区平井義郎地区財団委員長の4名がパネリストとなってディスカッションが行われました。第2520地区は岩手県、宮城県の両県にわたる広い地区で、リアス式海岸のため津波による被災地は広大で被害も深刻であったこと、17名のロータリアンが命を落とされ、25のRCが活動出来なくなったこと、復興支援には困難が伴っていることなど切々と訴えられました。第2830地区(青森)は八戸港近辺の深刻な被災状況を示されながら、パイロット地区が伝統的地区と協同事業が出来ない不便さを訴えられました。災害支援については特別な配慮があっても然るべきのご意見でした。第2530地区(福島)は地震津波災害に加えて原発事故による放射線被曝という難問を抱えており、困難な状況とともに、先の長い復興支援を期待しておられました。北 清治委員はこの震災に対するロータリー財団の迅速な基金設置を評価され、東日本震災復興基金には164件の申請があり、128件を審査し、57件

を承認。36件を本日中に審査するとの発表をされました。小沢委員長は日本委員会設立の過程と事務局 柚木裕子氏のご健闘ぶりを紹介され、基金への寄付金受けは来年6月末まで、申請は3月末までに延期することを発表されました。

【ポリオ撲滅：2億ドルのチャレンジ】

江崎柳節ゾーン・チャレンジ・コーディネーターは現在のポリオ発症状況を説明され(インドは発症数1件に)、アフガニスタン、パキスタン国境付近での撲滅活動の難しさや新型2価経口ワクチンの効果についても説明されました。またインドのNID(全国予防接種デー)では1日に1億7千万人もの子供に接種が行われたことと、2億ドルのチャレンジは1億9,520万ドル(98%達成)に達したことを紹介されました。

【ロータリー・カード】

小林完治ロータリーカード、ゾーン・コーディネーターは、ロータリアンは是非ともこのカードに配偶者ともに加入して、1日1,000円でも良いからこれで買い物をして欲しいと訴えられました。現在カードを利用した金額の0.3%は東日本震災復興に充てられることになっており、日本中のロータリアンが一斉にカードを利用すればそれは大きな力になることや、クラブの行事の支払にこのカードを利用するよう呼びかけられました。

【未来の夢計画】

清水優季財団室長より2013年に向けた移行手続きについて解説があり、これに引き続き日本の6パイロット地区から3地区(D2650, D2690, D2770)の代表者がパイ

ロット地区として経験された新補助金制度の利用について報告をされました。地区財団監査委員会の設置、地区内ロータリアンへの研修として

- ① 地区補助金管理セミナー
- ② PETS
- ③ 地区協議会
- ④ 地区ロータリー財団セミナー
- ⑤ G補佐研修

などを挙げてその重要性を説かれました。2013年に有効に補助金を活用するには、地区として行程表を作成すること、年度が始まる前に資金推進委員会は活動を始めること、奨学金・学友グループ、WCSグループ、VTTグループなどを編成してグループごとに計画を進めること、地区として補助金利用について申し合わせルールの作成をすること、新地区補助金申請書は3月末までに提出すること、などが推奨されました。

- ◎ 休憩時間中に、当地区のポリオ撲滅キャンペーンDVD「感染症ポリオ 残り1%の闘い」が放映されました。

【質疑応答】

開会後に質問用紙が入口付近にあることを知らされ、用紙はお昼に回収されました。従って昼食後の「東日本震災復興基金」や「未来の夢計画」などの重要なプログラムに関しては質問したくてもその方法がありませんでした。当然ながら質問数も極めて少なくセミナー運営方法に幾分の疑問を感じました。

このあと近藤RI理事による講評をもって、第2回ロータリー財団地域セミナーは閉会となりました。

2011-2012年度 国際ロータリーゾーン1,2,3 第40回 ロータリー研究会 報告

第40回ロータリー研究会

実行委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

開催日：2011年11月24日(木)～26日(土)

場 所：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル

ホスト：東大阪東RC、大阪ネクストRC、千里RC

昨年の第39回ロータリー研究会(以下、研究会)に引き続き、本年も大阪での開催となりました。

今回の研究会も近藤雅臣 RI 理事を招集者として、カルヤン・パネルジー RI 会長ご夫妻、ウィリアム(ビル) B. ボイド TRF 管理委員長ご夫妻、エリオ・チェリニ RI 理事・財務長、朴柱寅 RI 理事ご夫妻をはじめ、RI 及び TRF の役員の方々をお迎えし、海外来賓16名、国内外登録者527名の参加を得て開催致しました。

研究会は元・現・次期 RI 役員及び招集者のゲストが参加する情報提供や討議のための会合で一つ以上のゾーン毎に毎年開催されます。数年前より招集者のゲストとしてガバナー補佐にも案内され、今回も昨年と同様、当該年度の RI 会長や TRF 管理委員長から直接話が聞ける貴重なチャンスであるとの要望があり、第2660地区のクラブ会長、地区委員長ほか希望者も特別にゲストとして加えられました。

●2011年11月24日(木)

於：リーガロイヤルホテル

RI 会長ご夫妻・TRF 管理委員長ご夫妻 歓迎晩餐会

●2011年11月25日(金) 本会議第1日目

於：大阪国際会議場

開会式、各種報告の後、京都産業大学教授の所 功先生に「皇室に学ぶ日本人の底力」と題して、講演をして頂きました。

続いて、両日にわたり、6つのセッションを行いました。それぞれのテーマ及びご担当頂きました方々は以下の通りです。(敬称略)

第1セッション 「RI 戦略計画―活動の実践化」

モデレーター(M)南園義一 RI 戦略計画委員・元 RI 理事

パネリスト(P)足立功一、(P)米田眞理子、(P)二神典子、(P)坂本俊雄

長期計画は、以後、日本語訳を戦略計画とされることが報告されました。

第2セッション 「職業奉仕の基本理念と実践」

(M)黒田正宏 RI 職業奉仕推進委員長・前 RI 理事

(P)深川純一、(P)小船井修一、(P)田中 毅

前年度廃止されました RI 職業奉仕委員会はカルヤン RI 会長の下で推進委員会として設置されました。

終了後休憩を挟んで、リーガロイヤルホテルにて希望晩餐会を行いました。

●2011年11月26日(土) 本会議第2日目

於：大阪国際会議場

第3セッション 「会員増強」

コーディネーター 服部芳樹

事例発表者(C/R)伊藤大亜、(C/R)味戸道雄、(C/R)波多野聖雄、(C/R)刀根荘兵衛
日本で最初の本格的 E クラブ、日本ロータリー E クラブ2650の真摯に取り組む事例が報告され、RI 会長が関心を示されました。

第4セッション 「新世代奉仕」

(M)海沼美智子 RI RYLA 委員

(P)三木 明、(P)浜名賢一、(P)関場慶博、(P)近藤眞道

東日本大震災を受けてオーストリアに招待された福島県の高校生の短期交換が報告されました。

第5セッション 「ホームストレッチのポリオ撲滅運動」

RRFC 橋本 謙

第6セッション 綱領翻訳問題調査・検討委員会特別セッション報告

コーディネーター 鳥居 滋

今年は昨年取り上げて皆様の関心が高かった綱領の和訳問題については、2日目の午前中いっぱいをかけて別会場にてセッションを行って頂き、そこでの討論の内容を午後の本会議で第6セッションにてご報告頂きました。

2日目には、第2750地区の前 ROTEX 会長の峰松加奈さんから青少年交換の報告をして頂きました。

エリオ・チェリニ RI 理事・財務長には「ロータリーとリーダーシップ」と題して約20分の講演を頂きました。そのほか、オープン・フォーラム、バンコク国際大会推進と続き、研究会を無事に終えました。

配偶者プログラム

「陶芸の喜び一心に残る作品ー」

講師：陶芸家 星野亨齊 氏

星野先生には東日本大震災の復興支援義援金活動の趣旨をご理解頂き、研究会のために特別に窯入れをして頂いた器をご提供頂きました。

付随プログラム

●2011年11月23日(祝・水)

ロータリー財団地域セミナー 於：大阪国際会議場

●2011年11月24日(木)

メジャードナー午餐会 於：リーガロイヤルホテル

ガバナー協議会 於：リーガロイヤルホテル

ガバナー会 於：リーガロイヤルホテル

GETS 於：リーガロイヤルホテル

日本恒久基金委員会 於：大阪国際会議場

財団法人ロータリー日本財団理事会 於：大阪国際会議場

このほか、25日には配偶者エクスカージョンとして、宝塚歌劇団の鑑賞を実施いたしました。

RI 会長に横山守雄 PDG、TRF 管理委員長に大谷透 PDG、エリオ・チェリニ RI 理事・財務長に川本典美前会長(大阪ネクスト RC)、朴柱寅 RI 理事に表 泰之さん(大阪ネクスト RC)がそれぞれエイドの役目を担って頂きました。また、本会議両日の司会を若林紀男 PDG が務めて下さいました。そして、2年にわたりご協力を頂きました3クラブの実行委員会のメンバーの皆様、当日お手伝いを頂きましたガバナー事務所の皆様、本当にありがとうございました。

2年連続の大阪での研究会も無事に終わることができました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。



スリランカチーム受入報告

研究グループ交換委員会

副委員長 田中 義久(大阪西 RC)

平成23年11月4日より4週間のスリランカチームの受け入れは、当初の計画では春に行う予定であった。しかし3月11日の東日本大震災・津波被害・福島原発問題という三重苦により、日本全体での復興支援を目指すために、また日本の国際的イメージは最悪のものとなり、その年度での受け入れは中止となった。

そして年度が代わり、通常は年度をまたいだ予算執行の可否は不明でありましたが、国際ロータリーより了承の返答があり、また、いまだ放射能汚染のイメージの強い日本に対して、2004年に津波被害を受けたスリランカチームの熱い思い入れも頂き、春から秋に期間を移して受け入れプログラムが実行されたのである。

この期間変更のためか、スリランカチーム5名のうち2名のメンバーが変更された。しかも男性から女性への変更であり、ホストファミリーの受け入れという点で、また当然その職種も異なることから職業研修の研修先の変更の必要性から11月4日のプログラム開始直前まで様々な混乱が生じた。しかしながら天性の陽気なスリランカチームと誠意を持って「おもてなしの精神」を発揮していただいた各RCの方々、また陰に陽に協力していただいた様々な皆様方のおかげで、大きな問題もなくGSEの受入プログラムを終了することができたのである。

スリランカには生きた動物を食することを嫌う哲学があるようで、ほとんどがベジタリアンである。これは日本の江戸時代の考え方に近く、宗教上の問題ではないらしい。だから人によっては卵や鶏肉、魚は食するようである。日本人にはおもてなしで定番の「お寿司」もスリランカの人たちには味が薄い食品と映り、2週間後には「食べ飽きた」という声も聞いた。その割に、肉の入っていないネギ焼きは、七味や胡椒、からしをたっぷりしみこませて食べ、結構好評であった。

チームの名前はMAYURA、シンハラ語でクジャクという意味だそう。クジャクの美しい羽根は5色の構成要素でできており、それをチームの5名と重ねているらしい。来年2月には日本からスリランカへの派遣がある。クジャクの羽が日の光にあたって輝くように、GSE交換プログラムによってそれぞれの国の理解を深め、友好の光が広がってゆくことを祈りたい。



大阪アーバン ロータークラブ 創立総会 開催

創立会長 西口宗宏

7月より、創立準備委員会を中心に進めてまいりました大阪アーバンRCの創立総会を、12月8日（木）夕方、ホテルグランヴィア大阪において、開かせて頂きました。総会の議案は、①新会員の紹介、②クラブ定款細則の承認、そして③初年度の役員人事案の承認という3件を承認して頂き、滞りなく終了いたしました。そして、会員数25名のクラブとして、岡部ガバナーより「仮クラブ」の発足宣言をして頂き、年内には、日本事務局を通じて、設立申請書を提出する予定でございます。

岡部ガバナーには、地区の会合や公式訪問において、積極的に新クラブ創立の趣旨をお伝えいただき、また横山特別代表には、新クラブ創立のために必要な定款細則等のあらゆる部分においてご指導いただきました。さらには、池尻・境・村橋様の3年度に亘る地区代表幹事、ならびに西村クラブ奉仕・拡大増強委員長にも、新クラブ創立の準備活動が順調に動けるよう、基礎的な部分で多大なご尽力を賜りました。そして、最も大事なことは、地区会員皆様の静かな声援があればこそ出来たものと、心より感謝申し上げます。

今回のクラブは、ガバナーが直接スポンサーとなって立ち上げて頂くという、当2660地区では前例のない方法で設立されました。昨今の経済情勢などを考慮して、経費削減を基本とし、ロータリーの原

点に立ち返り、クラブ運営を考え直すという事からスタートいたしました。

例えば、毎週の例会は、朝7時30分から8時30分を基本として、9時過ぎにはそれぞれの職場において仕事に着手できるよう設定しましたが、これにより、会員各自のお昼の時間帯を解放し、勤務時間を拡大することを基本と致しました。また相互連絡は、基本的に電子メールで行うこととして、事務局は当分の間、設置せず、事務経費の抑制を図ります。従来への価値観には捉われないクラブとして、大阪に拠点をおくビジネスマンの、新しいライフスタイルとして提案させて頂き、厳しい経済情勢の下で、ロータリーの進むべき道を探っていきたいと思います。

大阪アーバンロータリークラブは、発足したばかりの小さなクラブでございます。年明けには、認証状が届くよう、準備をしている所でございます。地区の仲間入りをさせて頂くには、右も左も判らない状況で、地区の皆様には、相当ご迷惑をおかけする事となると存じますが、寛容の精神でもって、見守って下さいますよう、お願い申し上げます。ロータリークラブとしての誇りと重責を同時にかみしめて、社会の皆様にご貢献できるよう、会員一同、努めて参りたいと思います。地区会員の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



災害支援プロジェクト報告(第7回) 災害支援プロジェクト 委員長 **井上 暁夫** (千里RC)

前月号に引き続き、12月7日迄の(1)(イ)寄付金受入状況、(1)(ロ)地区基金申請案件承認・支出済状況、(2)現在の地区寄付金残高を開示させていただきます。現在、1クラブ当たり200万円を限度として地区拠出金を支援いたしておりますのと、1クラブ2回目の支援も行っていますので奮って被災地の支援プロジェクトを実行していただきたく存じます。地区内各会員皆様様の熱い思いを頂戴いたしまして重ねてお礼申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2011年12月7日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねぎRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
	合 計	16,446,212	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2011年12月7日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守ロイブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
		合 計	49,759,147	17,496,186

(2) 現在の地区寄付金残高 (12月7日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
② 地区内35クラブへ返金		36,824,413円
③ 地区内47クラブから預けられた額 (①-②)		36,021,098円
④ 地区内クラブからの寄付金	26件	16,446,212円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	23件	17,496,186円
⑥ 2520地区 支援金		10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金		5,000,000円
⑧ 送金手数料		27,100円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)		69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)		189,394円

地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩) 19,685,158円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年10月末 全国寄付金合計額	493,592,926円 (前年度比3.90%減)
" 第2660地区寄付金合計額	31,088,390円 (前年度比15.15%増)
2011年10月末 全国寄付合計トップ10	
1. 第2750地区	32,560,600円
2. 第2650地区	31,868,790円
3. 第2660地区	31,088,390円
4. 第2770地区	29,288,000円
5. 第2580地区	28,273,745円
6. 第2590地区	27,911,000円
7. 第2760地区	26,167,000円
8. 第2690地区	17,334,570円
9. 第2710地区	17,313,490円
10. 第2790地区	16,062,200円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2011年10月)

氏名	回数	クラブ名
井戸本 忠彦	4回目	東大阪 RC
義之 清規	3回目	東大阪 RC
小島 靖弘	4回目	東大阪 RC
竹村 秀雄	6回目	東大阪 RC
山下 勝弘	6回目	東大阪 RC
北川 忠嗣	4回目	東大阪東 RC
岡田 耕治	1回目	東大阪東 RC
奥林 繁一	6回目	東大阪東 RC
須崎 洋一	8回目	東大阪東 RC
田中 哲男	2回目	東大阪東 RC
谷村 佳昭	5回目	東大阪西 RC
堀田 修平	15回目	枚方 RC
久保 義誓	2回目	茨木 RC
吉田 政雄	1回目	茨木 RC
中田 有紀	2回目	茨木東 RC
塩谷 嘉太郎	3回目	茨木東 RC
三好 洋二	4回目	池田くれは RC
張 虞安	4回目	交野 RC
石橋 高夫	2回目	守口 RC
井上 晶博	1回目	大阪 RC
岩波 清久	2回目	大阪 RC

氏名	回数	クラブ名
岸本 忠三	3回目	大阪 RC
近藤 雅彦	1回目	大阪 RC
萬野 尊昭	4回目	大阪 RC
丸山 功	2回目	大阪 RC
丹羽 昊	2回目	大阪 RC
小浦 芳生	1回目	大阪 RC
岡本 修	2回目	大阪 RC
高月 清	1回目	大阪 RC
辰野 勇	1回目	大阪 RC
辻本 健二	1回目	大阪 RC
生塩 之敬	1回目	大阪 RC
上野 昌也	2回目	大阪 RC
粟井 齊	1回目	大阪北 RC
古市 実	5回目	大阪北 RC
橋本 崇志	2回目	大阪北 RC
長谷川 義幸	3回目	大阪北 RC
廣瀬 哲三	1回目	大阪北 RC
廣田 元孝	3回目	大阪北 RC
岩本 宏美	1回目	大阪北 RC
井上 亮一	4回目	大阪北 RC
筧 喜八郎	1回目	大阪北 RC

氏名	回数	クラブ名
加納 繁照	3回目	大阪北RC
片瀬 貴文	4回目	大阪北RC
木本 武雄	4回目	大阪北RC
小山 大輔	1回目	大阪北RC
米谷 伸行	3回目	大阪北RC
鴻池 一季	7回目	大阪北RC
楠 賢一郎	1回目	大阪北RC
丸山 雅祥	4回目	大阪北RC
森 輝彦	4回目	大阪北RC
中村 順一	2回目	大阪北RC
阪本 勝義	2回目	大阪北RC
阪口 善雄	3回目	大阪北RC
瀬尾 忠志	1回目	大阪北RC
清水 英明	3回目	大阪北RC
杉原 俊一	2回目	大阪北RC
田口 晴義	1回目	大阪北RC
樽谷 清孝	2回目	大阪北RC
田中 成人	3回目	大阪北RC
上島 一泰	2回目	大阪北RC
山田 拓幸	1回目	大阪北RC
山本 博敏	1回目	大阪北RC
八木 一雄	3回目	大阪北RC
吉治 仁義	5回目	大阪北RC
岩津 陽介	3回目	大阪御堂筋RC
松本 憲旺	1回目	大阪御堂筋RC
丸尾 照二	2回目	大阪御堂筋RC
荒木 貴史	1回目	大阪南RC
青山 総一郎	1回目	大阪南RC
藤井 眞澄	1回目	大阪南RC
五十嵐 敢	3回目	大阪南RC
岩田 宙造	5回目	大阪南RC
北嶋 勇志	4回目	大阪南RC
越井 健	4回目	大阪南RC
久我 三郎	4回目	大阪南RC
松 順造	2回目	大阪南RC
錦織 達郎	3回目	大阪南RC
寺崎 泰彦	3回目	大阪南RC
梅原 弘記	1回目	大阪南RC

氏名	回数	クラブ名
米谷 龍二	1回目	大阪南RC
伊藤 定夫	1回目	大阪リバーサイドRC
石田 由美子	3回目	大阪リバーサイドRC
垣内 康弘	2回目	大阪リバーサイドRC
富 道雄	6回目	大阪リバーサイドRC
栗田 隆志	1回目	大阪咲洲RC
松本 功	3回目	大阪咲洲RC
山村 哲也	3回目	大阪咲洲RC
小山 章松	3回目	大阪船場RC
俣野 富美雄	3回目	大阪船場RC
清水 清一	2回目	大阪船場RC
高階 貞男	2回目	大阪船場RC
浅井 顯一	3回目	大阪天満橋RC
橋本 守之	1回目	大阪天満橋RC
西井 幾雄	1回目	大阪天満橋RC
奥 崇	7回目	大阪天満橋RC
在本 茂	2回目	大阪天満橋RC
宇野 稔	5回目	大阪天満橋RC
山村 朋史	2回目	大阪天満橋RC
矢野 昭	2回目	豊中RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年10月)

クラブ名	回数
東大阪東RC	40回目
守口RC	30回目
大阪RC	99回目
大阪北RC	75回目
大阪南RC	80回目
大阪天満橋RC	50回目
高槻西RC	7回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

木村 新一	大阪リバーサイド RC	9月
片岡 重裕	新大阪 RC	9月
井本 喜代次	大阪東南 RC	9月
崎山 喜代志	大阪東南 RC	9月
北村 佳久	大阪東南 RC	9月
中島 成和	大阪南 RC	9月
暮松 毅	大阪南 RC	9月
今西 義人	くずは RC	10月
上野 徹	くずは RC	10月
中山 実	大阪天王寺 RC	10月
渡邊 猛	大阪天王寺 RC	10月
岩部 博	大阪東 RC	10月
吉澤 邦祠	大阪東 RC	10月
樋口 武英	大阪東 RC	10月
戸島 利夫	大阪東 RC	10月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

川尻 勝久	1回目	茨木西 RC	9月
飯原 啓吾	4回目	新大阪 RC	9月
簡 仁一	4回目	茨木 RC	9月
木村 繁雄	2回目	東大阪東 RC	9月
村木 茂	1回目	新大阪 RC	9月
佐伯 崇邦	2回目	大阪なにわ RC	9月
馬場 孝志	3回目	茨木西 RC	9月
坪内 隆	1回目	茨木西 RC	9月
高島 健	3回目	茨木 RC	9月
吉田 了	2回目	大阪中之島 RC	9月
橋本 善治	2回目	茨木西 RC	9月
北村 譲	3回目	大阪中之島 RC	9月
三野 文男	4回目	大阪東南 RC	9月
網本 浩幸	1回目	大阪東南 RC	9月
田中 研一	2回目	大阪東南 RC	9月
山路 昌彦	3回目	大阪東南 RC	9月
内藤 雅敏	4回目	大阪東南 RC	9月
大塚 忠重	3回目	大阪東南 RC	9月

多田 龍弘	3回目	大阪東南 RC	9月
福光 一七	2回目	大阪西北 RC	9月
伊井 智昭	2回目	大阪南 RC	9月
五十嵐 敢	1回目	大阪南 RC	9月
山本 博史	2回目	大阪南 RC	9月
越井 健	4回目	大阪南 RC	9月
米田 幹郎	1回目	大阪南 RC	9月
林 信幸	1回目	大阪南 RC	9月
奥村 安正	2回目	大阪南 RC	9月
中西 庸夫	1回目	くずは RC	10月
小北 英夫	1回目	くずは RC	10月
嶋中 完治	1回目	くずは RC	10月
南 武	1回目	くずは RC	10月
田中 太一郎	1回目	くずは RC	10月
北村 隆	1回目	くずは RC	10月
酒井 公明	1回目	大阪中央 RC	10月
南川 博茂	4回目	大阪中央 RC	10月
福家 宏	5回目	八尾中央 RC	10月
新見 葵	1回目	大阪天王寺 RC	10月
大原 健司	2回目	大阪東 RC	10月
中川 宏一	1回目	大阪東 RC	10月
伊藤 貞男	1回目	大阪東 RC	10月
塩谷 眞治	2回目	大阪東 RC	10月
大橋 孝夫	1回目	大阪東 RC	10月
安積 義夫	1回目	大阪東 RC	10月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2011)

山下 勝弘	東大阪 RC	9月
大山 文雄	大阪東南 RC	9月
岡本 浩	大阪城東 RC	9月
横山 順治郎	大阪南 RC	9月

文庫通信 (291号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係」 宮本四郎 2011 2p
(米山梅吉記念館館報)
- ◎「親睦Fellowshipについて」 本田博己 2011 2p (ロータリーの力)
- ◎「歴史に残る1ページ：『ロータリー年度』の由来」 RI 2011 1p
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎「歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり」 RI 2011 2p
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」 RI 2011 2p
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」 関場慶博 2011 10p (D.2530地区大会記録)
- ◎「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」 安平和彦 2011 12p
(D.2500地区大会報告書)
- ◎「ロータリーの奉仕活動について」 前川昭一 2011 5p (D.2720地区大会記録)
- ◎「歴史に残る1ページ：会場監督」 RI 2011 1p (国際ロータリー・ニュース)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岩 田 喜 義 会 員

(高槻東RC)

2011年12月7日逝去(享年76歳)

幹事、米山奨学委員長、親睦活動委員長、SAA

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

吉 川 謹 司 会 員

(東大阪東RC)

2011年12月11日逝去(享年79歳)

1998～1999年度ガバナー

会長、副会長、幹事、無任所理事

第31回ロータリー研究会実行委員長、2004年国際大会事務総長、

規定審議会代表議員、新世代合同委員長会議委員長、危機管理委員会委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

<お知らせ>

●お詫びと訂正

月信12月号に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

敬 弔 (誤) 吉田 乙彦会員

(正) 古田 乙彦会員

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	納多	寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

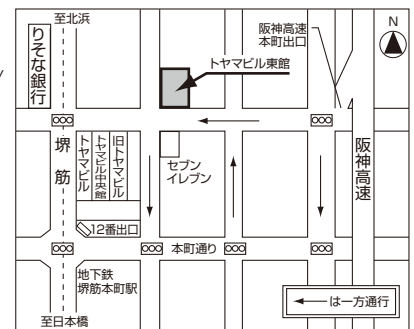
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

2 vol.8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



2 vol.8

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

世界理解月間によせて	1
ガバナー・エレクト研修セミナー（GETS）に参加して	2
財団国際親善奨学生帰国報告会	3
青少年交換委員会クリスマスパーティ	4
第23回 第2660地区ガバナー杯争奪軟式野球大会を終えて！	5
吉川謹司パスト・ガバナーを偲んで	6
8,000人のカンボジアの子供達へ日本脳炎ワクチンを無料接種	8
石巻市 災害ボランティア報告	9
災害支援プロジェクト報告（第8回）	10
米山奨学委員会	12
ロータリー財団	14
大阪アーバンロータリークラブ初例会 開催	16
2011年12月度 会員数・出席報告	17
文庫通信	18
敬弔／お知らせ	



今月は、世界理解月間です。

1905年2月23日この記念すべき日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、ロータリーの創立記念日になっています。

そこで、2月は「世界理解月間」(World Understanding Month)であり、この月間中ロータリークラブは、世界平和に不可欠なものとして、「理解と善意」を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。

また、2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日(World Understanding and Peace Day)と定められており、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認めることとし、強調することになっています。

さらに、2月23日から始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しています。

さて、RI第2680地区パスト・ガバナー、元RI会長代理 深川純一氏は、自身のブログの中で「国際奉仕」「国際理解」についてこう述べておられます。国際奉仕論の論点について、①国家間の利害が対立する時は、力の行使をもって解決しようとし、これが戦争です。このような国家間の利害の対立の中で、個人の善意をもって解決すべき奉仕の実践類型を国際奉仕といいます。②新しい問題として南北問題が出て来ました。ロータリーはこの問題に対するロータリアン個人の善意の働きかけの分野を1962年、世界社会奉仕WCSと呼びました。③ロータリーは、国際奉仕のニーズを解決する方便の問題として

ロータリー財団という制度を作り上げ、それは今日、立派な仕事をしています。

さらに「国際奉仕の本質」について、ロータリーは、1921年個人の善意の世界に立って、地球上の全ての人達を善意で繋いでいく運動としてロータリー運動を捉えようと考えました。

戦争の有無に拘わらず、一人一人のロータリアンが人と人とを善意で結ぶという考え方で、国際社会の全ての人達とお付き合いをした時に、ロータリー運動に、もし力があれば国際的な理解と親善と平和を保障することが出来ると考えたのであります。

この国際奉仕の決議はまさに初期ロータリーの原理の集大成のハイライトの一つとして宣言せられるに至ったのであり、これが今日の国際奉仕の意味する全てのものであることを理解しなければならないのであります。

これは永遠不変の原理の宣言であり、どんなに時代が変わろうとも国際奉仕の実践としては「個人の善意と善意」を結ぶこと以外のものはないと言わなければならないのでありますと結んでおられます。

現在、世界の中では今なおポリオ等の健康問題、貧困、災害、戦争等の問題が起こっています。私達が出来ることは直接手を下すことは少なく、個人の善意、すなわち奉仕を通じて解決を計ることが求められます。

昨年3月11日に起こった東日本大震災における日本国内のみならず、世界各国からの人・物の援助活動を受けたことは記憶に新しいところです。

世界理解月間にあたり、今一度世界に目を向けてロータリーの奉仕活動を考えてみましょう。

合掌

ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)に参加して

ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島RC)



ガバナー・エレクトには「ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS) への出席義務」、「国際協議会への出席義務」があることは、みなさまご存知のことと思います。

アメリカ・サンディエゴで行われます国際協議会に出席した時に、そこでの研修効果が十分に発揮されるために、それぞれの国単位、ゾーン単位でGETSが開催される訳です。

日本では、第1回目が2011年9月8日・9日にグランドプリンスホテル新高輪・高輪で、第2回目が11月24日第40回ロータリー研究会にあわせてリーガロイヤルホテル大阪で開催されました。1回目のGETSでは、34地区中32地区 (第2640、第2730地区のガバナー・エレクトが決まっていませんでした) のエレクトが、2回目には、34地区のエレクトが夫婦同伴で招集されました。

以前、松本直前G、岡部Gから「7月になったら、GETS用の研修資料が段ボール箱いっぱい送ってくる」とお聞きしていましたが、今年の夏休みはないものと諦めていましたが、8月も終わりに近づいても件の段ボール箱は届かず、代わりに「ガバナー要覧 2012~2013」だけが入った少し大きめの封筒が届きました。不安に思い、RI日本事務局に電話を入れると「それを持ってきて下さい」とのことで、少しホッといたしました。が、それは晩夏の短い夢に終わりました。

1回目GETS初日は、9時から配偶者同伴での開会本会議でスタートしました。招集者・近藤 雅臣RI理事のジョークをまじえた中にも「この2日間は厳しいですよ」とのご挨拶などがあり、本番の研修会 (グループ討論) に入りました。2グループに分かれ、セッ

ションごとに講義とグループ討論、意見発表などが行われます。1日目のセッションは、① 責務と長期計画、② 地区リーダーシップ・プラン、③ 指導者の育成、④ 地区の運営、⑤ ロータリアンとのコミュニケーション。その後配偶者同伴で、ロータリーの友、ロータリー米山奨学会プログラムの講話を聞き、終了したのは17時50分でした。2日目は8時にセッション開始。① 好ましい公共イメージの推進、② 会員基盤の強化、③ 奉仕活動の支援、④・⑤ 未来の夢計画、⑥ 国際協議会の準備。配偶者も同じ時間帯に、ロータリー全般にわたり研修を受けていました。このセミナーで、研修の労をお執りいただいたRI研修リーダーの皆様方の献身的な姿に感激いたしました。

2回目GETSは、国際協議会 (米国・サンディエゴ) への参加のための準備が主体でした。協議会の「国際祭りの夕べ」での日本チームの出し物「花笠音頭」の練習も女性たちの主導のもと、充分に行われました。

この原稿を書いている12月21日、田中 作次RI会長エレクトから、16頁にわたる「2012年国際協議会の行事日程」がメールで送られてきました。拝見してみますと、1回目のGETSと同様、極めてタイトなスケジュールが記載されています。

この月信が発行される頃は、“お尻に火がついた”状態で、第2660地区の名を汚さないように、国際協議会では全力で知識を吸収し、皆様方に勝るとも劣らぬロータリアンになるよう努力をしている頃かと思えます。

財団国際親善奨学生 帰国報告会

財団奨学金・学友委員会

委員長 牧尾晴喜 (大阪ネクストRC)

2011年12月3日(土)の夜、ガバナー事務所の近くにあるドルフィンズ堺筋本町店で「財団国際親善奨学生の帰国報告会と忘年会」をPSCの主催で開催しました。昨年に引き続いて第2回となる、3委員会合同『学友の集い』とし、PSC会員以外に、GSEアルムニ会の方々、米山学友会の方々、および関連委員会のロータリアンにも参加を呼びかけ、学友間の幅広い交流を図っていただくようにしました。当日の参加者は60名近くにもおよぶ大忘年会となりました。



当日は、PSC会長の野村雅夫さんの司会で進行了ました。米山奨学生学友会(関西)からは同会の近況などを、GSEアルムニ会からは、スリランカへのチーム派遣に際する準備状況や意気込み、そして、以前にご参加いただいた全国学友会の結成式の様子をお伝えいただきました。当委員会の奨学生の帰国報告では、2009～10年度奨学生の土岐友季子さん(フランス、ヴェルサイユ音楽院)、2009～11年度奨学生の水田百合子さん(フランス、パリ第3大学)、

2010～2011年度奨学生の依田悠介さん(アメリカ、ペンシルバニア大学)が、留学体験を通じての研究活動や国際親善活動、人生観の変化などを熱心にスピーチされました。警察官であるロータリアンがカウンセラーであったために、内側からドアを開けられない車両で送迎いただいた等、ユニークな経験もあったとのこと。今後のロータリーとの積極的なかわりについても抱負を述べていただきました。

昨年はどうしても各委員会で集まってしまうが

であったため、今年はあるべく分かれて座るように最初に誘導するなど配慮して、より積極的な交流を促しました。終始なごやかな雰囲気ですべてが進行し、大変盛り上がりました。今後も、このような学友同士、委員会同士の交流を継続できれば、お互いの刺激やロータリー活動の活性化にもつながるのではないかと期待感を抱く一夜となりました。



青少年交換委員会 クリスマスパーティ

青少年交換委員会

委員長 野村正勝 (箕面中央 RC)

例年12月中旬には地区の委員会と派遣学生 (out-bound) のオリエンテーションを開催し、その後、青少年交換を経験した学生たちの組織、ROTEXのメンバーによるクリスマスパーティが開かれます。今年 は12月10日(土曜日)に午後5時半から大阪シティープラザホテルでパーティが始まりました。参加者は外国からの学生 (inbound) 7名、派遣学生6名それにホストファミリー、顧問ロータリアン、委員会のメンバーで約60名でした。最初にinboundの学生が日本語による近況を述べ、それから派遣学生6名が英語で自己紹介を3分以内で参加者の前でしました。このスピーチはオリエンテーションの度に行っていますが、特にこの会では重要です。乾杯の後、おいしい料理を立食形式でワイワイ楽しみ、いよいよinboundの学生たちやROTEXのメンバーによる出し物です。サンタクロースやトナカイに扮したメンバーが雰囲気を盛り上げます。最後はムカデゲームで全員順番を決め、プレゼント交換をしました。午後8時、名残の惜しい閉会でした。この楽しい雰囲気を味わっていただきたく4葉の写真を並べました。



第23回 第2660地区ガバナー杯争奪 軟式野球大会を終えて！

軟式野球同好会マネージャー
新井文三 (大阪帝塚山RC)

2011年10月16日(日)、昨年度に続いて、高島GEに御参加をいただき始球式を挙行いたしました。本年度第23回大会は、出だしの初日より雨に邪魔をされ、球場確保とメンバー不足に悩まされたクラブの棄権試合に翻弄された一日で始まりました。

今年はその忌々しい3月11日の未曾有の巨大地震による「東日本大震災」が起り、日本中のみならず世界中をも震撼させた最悪の出来事がありました。当時は、国全体が自粛ムードに包まれ他聞に漏れず、昨年度本大会の表彰式や懇親会も中止となりました。一時本年度ホストを承っている当クラブとしては悩みました。今大会を取り止めて大会費用を義援金として拠出する方が良いのでは？色々な葛藤の末、元氣を出してもらう為には、我々が元氣を出して沈んだ気持ちを払拭しなければという思いから、大会開催を決意しました。

「夢の甲子園に出場しよう！」をターゲットに、白球を追い続けるも寄る年波とメンバー不足には勝てず年々意気消沈するばかりです。それでも、ひとたびグラウンドに立てば相手に向かう姿は真剣そのもの。又、メンバー不足の窮状を考えると怪我は絶対禁物。そんなこんな事情を想うと必然と力が入り迫真のプレーを生じる。何はともあれ今大会も大きな怪我人も出ず、全日程を消化することが出来ました。これも偏に参加ロータリアンの寛容と奉仕の精神の

賜物と感謝の念にたえません。本年度大会は10チーム(大阪大手前、大阪中之島、大阪平野、大阪うつば、寝屋川、吹田、吹田西、くずは、八尾、大阪帝塚山)でリーグ戦を戦いました。各チーム、各々に好プレー、珍プレーが続出する試合、時間制限が惜しまれる試合等々、すばらしい試合ばかりです。試合前日又は、当日に雨に祟られ全試合消化が危ぶまれましたが、何とか決勝戦まで実施することが出来ました。その決勝戦を制したのは昨年度覇者の吹田西RCです。くずはRCの善戦もあと一歩及ばず、最終回の裏で逆転負けのクロスゲームでした。試合時間も今大会最長の1時間46分と近年にはないすばらしい試合でした。終わってみれば大会開催で苦悩し、開催を決意した意義が大変大きいことを痛感いたしました。次年度は新チーム「大阪東淀ちゃやまちRC」を新しい仲間としてお迎えする予定です。そしてホストクラブには古豪「大阪平野RC」にバトンタッチいたします。

最後に、「東日本大震災」で被災された東北地方の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



吉川謹司 パスト・ガバナーを偲んで

RI理事、パスト・ガバナー
近藤 雅臣 (千里 RC)

ロータリーを通じ友情を培った、かけがえのない友 吉川謹司さんが79年の生涯を終えられました。残念でたまりません。

吉川さんと最初にお会いしたのは、小生が97年Gに就任したときでした。

GEとして小生をどれだけ助けて頂いたか、その数々を思い出しながら感謝の念で一杯です。

ご承知のように吉川さんは腰が低く、何方に対しても誠心誠意尽くされる方でした。まさに奉仕の心に徹した真のロータリアンであったといえます。

決して多弁でなく静かな方でしたが、ときには、正論を堂々と述べられる論客でもありました。

吉川さんはG就任後、2004年に開催される国際大会準備のための4地区合同地区大会委員長として活躍されることになり、その際、井上PGを財務長に、小生を事務総長に任命され、3人で頑張ることになりました。

このとき、吉川、井上、近藤の「3人組」が結成されたのです。

このコンビは2004年の国際大会関西開催のときにも吉川事務総長、井上財務長、近藤実行委員長となって頑張りました。

この大会は国際大会の歴史始まって以来最高の参加者数を数え、その記録は未だに破られていないこ

とに私どもは秘かな誇りを感じている次第です。

堅い絆で結ばれた3人組はその後も続き、小生が召集者として研究会を2回開催しなくてはならなくなつたときも、実行委員長、副委員長、財務長などの役割を背負って頂きました。

昨年の10月13日の研究会準備委員会のとき、いつも一階まで送って頂き歓談していたのですが、そのときは階段を降りるのが辛いのでといわれ、その場で失礼しました。

相当弱っておられたのに無理して出席して頂いていたのだと今頃わかった自らを責めている次第です。

それほどに奉仕に徹底されていた姿を忘れることはできません。

12月11日帰らぬ人となられたことを奥様から電話で聞き、しばらく呆然としていましたが、どうしてそんなに早く逝ってしまうのですかと心の中で彼を責めていました。

本当に惜しいロータリアンそして親友を失ってしまいました。

人間だれでも死を迎えなくてはなりません。しかし、それを見送ることは本当に悲しいものです。

その悲しさを克服して彼の分もロータリーに尽くすことによってご恩に報いなければと思っています。

吉川さん、ゆっくりお休みください。



吉川 謹司 パスト・ガバナー

2004年、大阪で開催されました国際大会の頃から、近藤、吉川、井上は大阪3人組と呼ばれるようになりました。長幼でも、ガバナー就任順でも真ん中の吉川さんが、旧臘、吉川忠章代表幹事の後を追うように鬼籍に入られたことは痛恨の極みであります。

初めて親しくお話をするようになったのは、近藤DG時代、吉川さんがGEの時です。

近藤DGが出席された地区の会合には、勉強のためと必ず出席され、代表幹事だった私は、その真摯な態度に吉川さんのお人柄を知りました。

翌年の地区大会は、国際大会のリハーサルとなるよう4地区連合大会として大阪ドームで開催され、2年後にこの時のメンバーが国際大会の近藤実行委員長、吉川事務総長、井上財務長に任命され、開催までの3年間昼となく夜となく顔を合わせておりました。

その国際大会では、ドーム会場とRRH本部を結ぶアクセス確保のため水路を利用することとなりましたが、ドーム前には当時船着き場がなかったのです。吉川さんはその実現に奔走され、大会初日に大阪

ドーム岩崎港開港式が行われました。愛称大阪ドームロータリー港と名付けられた大会のメモリアルプレートは吉川さんの名と共に今も港にあります。

常に完璧なお仕事をされた一端ですが、国際大会の成功は、頂きの千玄室大会委員長のお力と相まって、近藤実行委員長とのトリオの真ん中の吉川さんのお力が真に大きかったと改めて振り返っております。

5年前に規定審議会代議員の代役を突然頼まれた時、初めてご病気のことを知りましたが、その後も第2660地区の事を気にかけてられ、RI理事選出、大阪ネクストRC創立、ロータリー研究会等々ご一緒にご尽力を頂きました。

吉川さんに改めて限りなき感謝の念を捧げ、心よりのご冥福をお祈り致します。

近藤理事が読まれた弔辞の通り吉川さんを永遠のお仲間として、ロータリアンであったことの幸せと共に決して忘れることはありません。

吉川さん、ありがとうございました。

吉川 謹 司 会 員

略歴	1952年	(株)セイリュウ 代表取締役社長就任
	2002年	大阪南飲料観光協会会長
	2002年	財団法人 日本国際連合会 評議委員
	2004年	大阪市・サンパウロ市姉妹都市協会 会長
賞	1979年	ブラジル・サンパウロ市名誉市民賞 受賞
	1991年	ブラジル国 南十字星国家勲章 受章
	1993年	大阪市国際貢献功労賞 受賞
ロータリー歴	1971年10月14日	東大阪東ロータリークラブ入会
	1982年～1983年	幹事
	1986年～1987年	会長
	1996年～1997年	第2660地区 世界社会奉仕委員長
	1998年～1999年	第2660地区 ガバナー
	2002年～2003年	第31回ロータリー研究会実行委員長
		第2710地区 地区大会 RI会長代理
	2003年～2004年	2004年国際大会事務総長 (ホストクラブ)

8,000人のカンボジアの子供達へ 日本脳炎ワクチンを無料接種

上場俊哉 (高槻東RC)

カンボジアの子供達を重篤な後遺症もしくは死に至らしめる日本脳炎から救おうと計画し始め、1年10ヶ月目にして、2011年12月9日カンボジア赤十字社シェムリアップ支社で無料予防接種の開始と記念式典に参加することが出来ました。このプロジェクトは高槻RC、高槻東RC、高槻西RC、大阪フレンドRCと世界遺産であるアンコールワット遺跡近くのアンコールRCとのMGで、日本脳炎が蔓延するカンボジアでこの病気自体が国民に認知されていない状況下、保健省の協力のもと8,000人の子供達に無料接種を行うもので、初年度は総額\$48,000となり、3年間の継続プロジェクトとして計画しております。

ポリオ以外のワクチンをプロジェクト化する実績がない中、カンボジア保健省、薬事局、国立免疫センター等政府関係との折衝には細心の注意と慎重な対応が必要でした。又、カンボジアにはRCが4クラブしか存在せず、各クラブともMGの上限である5個のプロジェクトを抱え、世界中からプロジェクトの提案が集まっており、選り取りの環境にあります。こういった状況の中、アンコールRCへの説得交渉に成功し積極的な協力を得ることになりました。が、そこで新しい困難にぶつかりました。前年までのMGの最終報告書が提出されておらずクローズされていないため、新しいプロジェクトが開始できない状況にある事が判明し、諦めきれない我々は未完成の最終レポートの手伝いをする事にしました。相手クラブが無関心であったり、担当者が退会していたり、MGそのものについて互いの知識のなさもあいまってロータリー財団や日本事務局の指導を受けながら何とか完成させ、そのひとつの枠に本プロジェクトを滑り込ませることができました。



カンボジアに4回渡航し大変な苦勞もありましたが、しっかりとした信頼関係をアンコールRCとシェムリアップ保健局と築けたことは、大変ありがたいことであります。このプロジェクトは今スタートしたばかりですが、私の中では既にかげがえのない思い出、困難を乗り越えるパワーをもらった出来事の一つになりました。ご協力いただいた医療関係者及び全ての方々に深く感謝します。



石巻市 災害ボランティア報告

大阪御堂筋ローターアクトクラブ
会長 高橋 洋子

大阪御堂筋RAC 1名・茨木RAC1名・関西大学RAC7名・大阪御堂筋RAC OB・OG2名、大阪中央RAC OB1名・RACメンバーの知人1名の合計13名で10月13日夜より石巻市に災害ボランティアに行きました。

10月14日昼、石巻入りをし、ボランティアセンターが設置されている石巻専修大学のキャンパスへ向かうまでの道中、GWに災害ボランティアで訪れ、作業を行った場所へ立ち寄りしました。ヘドロの掃除をしたドブは何度もの掃除を経て、きれいになっており、生活排水が問題なく流れているようでした。その周辺を見渡すと、以前は残っていた建物が取り壊されているなど、街の雰囲気は少し変わっていました。また、瓦礫の収集場は想像を絶するほどの車や瓦礫が積み重なっていました。しかし、悪いことばかりではなく、信号が復旧している、仮設住宅があちこちに見受けられる、一部の地域に新しいお店がオープンしている等、復興の兆しが見えました。

ボランティアセンターの方の指示に従い、作業場に移動しました。今回の作業は個人宅の片付けがメインでした。1日目は床下の泥撤去作業を行うことになり、メンバーの中でグループを組み、泥を土嚢袋に詰める、土嚢袋を外に運び出す、この作業を何度も何度も繰り返しました。泥は7カ月の間にすっかり乾燥していましたが、厚さ3cm程の泥が床下のあらゆる場所に残っていました。約400袋の土嚢袋に泥を詰め、すべての泥を撤去することが出来ました。

2日目は、勝雄にある個人宅の作業。勝雄は、今なお電気、水道等も復旧しておらず、まだまだ街中が生活の出来る状態ではありませんでした。地盤が下がり、防波堤は倒れ、満潮時は道路が海水につかってしまいます。また、この街は、台風12号の被害で

土砂崩れ等の被害も出たそうです。ボランティアセンターに連絡をすると、片付けにボランティアが来てくれるという情報等も行き届いておらず、その情報を知らされたのは、震災から7カ月経った10月14日。それまで、一人で漁業の道具を探し出したり、瓦礫を撤去したりされていたようです。私達以外にも数名のボランティアが合流し、漁業の作業場の瓦礫撤去、雑草抜き、漁業道具の整理等の作業を行いました。建物は全く残っておらず、すべてが瓦礫と化していました。雑草も私達の背以上に生長し、私道をふさいでいました。大人一人では抜くことが出来ないほどに生長していました。また、漁業に使うロープは津波や土砂に巻き込まれ、ぐちゃぐちゃに絡まっており、皆で協力し、根気よく1本1本ほどきました。

今回のボランティアでは被災者個人と関わり、色々な話を聞くことが出来ました。新築の許可は出ないがリフォームなら可能なこと、湾に入ってきた津波の影響で勝雄の小学校の屋上に流された家が乗ったこと、勝雄にきた津波は水が見えず流れてきた木材や瓦礫等が流れてきたこと。メディア等では伝わってこない本当の現実を知ることが出来ました。私達にできることは些細なことかもしれませんが、沢山の現状を見て、話を聞き、正しい情報を伝え、継続して出来る事を考えていくことであると感じます。

最後になりましたが、今回ボランティアに行くに当たり、大阪御堂筋ローターアクトクラブの皆様、卓話をさせていただいたローターアクトクラブの皆様、他ご協力いただいた皆様に感謝します。そして、このメンバーでボランティアに行けたことを誇りに思います。



災害支援プロジェクト報告(第8回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

1月号に引続き、1月12日までの寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の地区寄付金残高を報告いたします。前回もお知らせいたしましたが、1クラブ当たり200万円を限度として、そして1クラブ2回目の支援も行っています。地区拠出金に余裕がありますので奮って被災地に第2660地区の「熱い思い」を送り「絆」を広げましょう。地区内各会員皆様方のご支援をお願い申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2012年1月12日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名 (国名)	寄付金額 (円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねざきRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
	合 計	17,095,810	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2012年1月12日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守口イブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
		合計	60,778,987	20,852,734

(2) 現在の地区寄付金残高 (1月12日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
② 地区内35クラブへ返金		36,824,413円
③ 地区内47クラブから預けられた額 (①-②)		36,021,098円
④ 地区内クラブからの寄付金	30件	17,095,810円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	27件	20,852,734円
⑥ 2520地区 支援金		10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金		5,000,000円
⑧ 送金手数料		28,400円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)		69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)		189,394円
地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)		16,976,908円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年11月末 全国寄付金合計額	608,085,374円 (前年度比4.52%減)
" 第2660地区寄付金合計額	39,759,390円 (前年度比4.45%増)
2011年11月末 全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	41,863,790円
2. 第2660地区	39,759,390円
3. 第2750地区	36,228,800円
4. 第2770地区	34,135,000円
5. 第2590地区	33,726,000円
6. 第2580地区	32,067,745円
7. 第2760地区	30,253,000円
8. 第2690地区	22,147,970円
9. 第2710地区	21,493,175円
10. 第2820地区	20,385,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2011年11月)

氏名	回数	クラブ名
岩佐 嘉昭	1回目	東大阪 RC
瀬浦 宏康	2回目	東大阪 RC
田辺 稔	1回目	東大阪 RC
辻本 一義	6回目	東大阪 RC
鈴木 勝俊	3回目	東大阪中央 RC
湯谷 登來男	7回目	東大阪中央 RC
岩本 昌治	2回目	くずは RC
原 哽	7回目	箕面中央 RC
酒井 俊一	1回目	箕面中央 RC
福田 治夫	3回目	守口イブニング RC
樋口 武男	1回目	大阪 RC
古川 実	1回目	大阪 RC
諏訪 正弘	1回目	大阪 RC
山本 雅弘	2回目	大阪 RC
有竹 正巳	2回目	大阪東 RC
橋山 宗弘	1回目	大阪東 RC
堀 隆	10回目	大阪東 RC
藤村 達夫	3回目	大阪東 RC
入船 禎三	2回目	大阪東 RC
門田 雅輝	2回目	大阪東 RC
栗山 大作	1回目	大阪東 RC

氏名	回数	クラブ名
森田 豊成	2回目	大阪東 RC
中村 健	5回目	大阪東 RC
中許 忠和	4回目	大阪東 RC
竹内 定夫	1回目	大阪東 RC
吉村 孝文	3回目	大阪東 RC
島田 喜代司	18回目	大阪平野 RC
林 芳繁	6回目	大阪柏原 RC
小路 徹二	4回目	大阪柏原 RC
高橋 守	2回目	大阪柏原 RC
藤本 滝三	1回目	大阪なにわ RC
藤本 和茂	3回目	大阪西南 RC
平田 勝久	5回目	大阪西南 RC
神戸 鐵夫	5回目	大阪西南 RC
松崎 勝司	1回目	大阪西南 RC
西村 淳晨	4回目	大阪西南 RC
西村 敏治	5回目	大阪西南 RC
小田 眞弘	4回目	大阪西南 RC
佐々木 実	1回目	大阪西南 RC
四宮 孝郎	6回目	大阪西南 RC
田邊 和宏	4回目	大阪西南 RC
露口 佳彦	6回目	大阪西南 RC

氏名	回数	クラブ名
辻 英明	2回目	大阪西南 RC
早川 謙一	3回目	大阪心斎橋 RC
岩佐 厚	3回目	大阪心斎橋 RC
井村 周平	1回目	大阪心斎橋 RC
鴻野 精彦	3回目	大阪心斎橋 RC
小嶋 秀夫	3回目	大阪心斎橋 RC
五味 千秋	1回目	大阪心斎橋 RC
上野 好清	4回目	大阪心斎橋 RC
米田 文郎	3回目	大阪心斎橋 RC
原田 渉	2回目	大阪城北 RC
川本 達雄	3回目	大阪城北 RC
野上 恭嗣	5回目	大阪城北 RC
安田 正幸	1回目	大阪城北 RC
今村 聖三	1回目	大阪フレンド RC
山本 富造	3回目	大阪フレンド RC
川瀬 甲子雄	5回目	千里 RC
奥谷 英夫	3回目	千里 RC
石田 弑二	4回目	吹田 RC
木村 雄次郎	8回目	吹田 RC
大橋 弘一	5回目	吹田 RC
大前 清彦	1回目	吹田 RC
谷 安都子	1回目	吹田 RC
田中 豊司	1回目	吹田 RC
山本 啓方	1回目	吹田 RC
淀井 満福	4回目	吹田 RC
榎谷 信彰	5回目	吹田江坂 RC
延 秀恵	3回目	吹田江坂 RC
芳賀 洋	5回目	吹田江坂 RC
北村 康栄	5回目	吹田江坂 RC
水谷 善博	5回目	吹田江坂 RC
長島 寛	5回目	吹田江坂 RC
内田 正	3回目	吹田江坂 RC
山崎 睦治	3回目	吹田江坂 RC
青木 建雄	2回目	吹田西 RC
石崎 克弘	4回目	吹田西 RC
井伊 圭一郎	3回目	吹田西 RC
宮川 藤一郎	6回目	吹田西 RC
中辻 章	5回目	吹田西 RC

氏名	回数	クラブ名
岡 信行	3回目	吹田西 RC
荻田 倫也	1回目	吹田西 RC
澤木 政光	5回目	豊中 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年11月)

クラブ名	回数
東大阪 RC	54回目
東大阪中央 RC	34回目
大阪東 RC	78回目
大阪北 RC	76回目
大阪西南 RC	70回目
大阪心斎橋 RC	30回目
吹田 RC	52回目
吹田江坂 RC	22回目
吹田西 RC	30回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

武枝 敏之	豊中 RC	11月
平松 克一	茨木東 RC	11月
津江 明宏	大阪 RC	11月
吉住 英一	大阪 RC	11月
春次 賢太郎	大阪 RC	11月
香西 喜八郎	大阪 RC	11月
難波 正人	大阪 RC	11月
五辻 信行	大阪 RC	11月
生塩 之敬	大阪 RC	11月
小寺 潤一	豊中 RC	11月
松尾 宗好	豊中 RC	11月
新井 信彦	大阪東 RC	11月
五味 千秋	大阪心斎橋 RC	11月
日野 年澄	大阪心斎橋 RC	11月
吉澤 正人	東大阪 RC	11月
中西 康良	茨木 RC	11月
井上 晶博	大阪 RC	11月
岸本 忠三	大阪 RC	11月
土谷 裕彦	大阪 RC	11月
安藤 圭一	大阪 RC	11月
松本 鐵一	大阪 RC	11月
尾崎 裕	大阪 RC	11月
池田 靖忠	大阪 RC	11月
栗原 裕	大阪船場 RC	11月
中村 一	大阪船場 RC	11月
藤本 滝三	大阪なにわ RC	11月
西尾 智子	大阪西南 RC	11月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

原 暎	3回目	箕面中央 RC	11月
山下 聡一郎	1回目	千里メイプル RC	11月
増本 猛	3回目	茨木東 RC	11月
水野 明人	1回目	大阪 RC	11月
山田 一郎	4回目	大阪 RC	11月
羽鳥 敬彦	1回目	大阪 RC	11月
更家 悠介	1回目	大阪 RC	11月
須崎 洋一	4回目	東大阪東 RC	11月
北川 勝治	4回目	大阪東 RC	11月
中許 忠和	2回目	大阪東 RC	11月
土井 孝夫	2回目	大阪東 RC	11月
藤村 達夫	4回目	大阪東 RC	11月
大森 富夫	1回目	大阪東 RC	11月
村田 吉弘	7回目	大阪東 RC	11月
山下 仁孝	1回目	大阪東 RC	11月
藤澤 肇	1回目	大阪心斎橋 RC	11月
山田 精三	1回目	大阪心斎橋 RC	11月
竹馬 忠雄	2回目	大阪心斎橋 RC	11月
福西 幸夫	2回目	大阪心斎橋 RC	11月
濱谷 和也	2回目	東大阪 RC	11月
竹村 秀雄	4回目	東大阪 RC	11月
三好 千代子	1回目	茨木 RC	11月
早川 徹	1回目	大阪 RC	11月
伊藤 勲	2回目	大阪 RC	11月
岡本 修	1回目	大阪 RC	11月
上野 昌也	4回目	大阪 RC	11月
嘉納 秀一	2回目	大阪 RC	11月
平岡 龍人	2回目	大阪 RC	11月
笹倉 敏彦	1回目	大阪 RC	11月
岩波 清久	1回目	大阪 RC	11月
野村 明雄	1回目	大阪 RC	11月
領木 新一郎	3回目	大阪 RC	11月
川上 善司	1回目	大阪平野 RC	11月
岡部 卓雄	4回目	大阪平野 RC	11月
清水 清一	2回目	大阪船場 RC	11月
大嶋 捷正	2回目	大阪船場 RC	11月
今泉 忠亮	2回目	大阪船場 RC	11月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。
(2011)

原田 稔	2回目	大阪南 RC	11月
濱岡 正典	3回目	大阪西南 RC	11月
亀井 築美	2回目	大阪西南 RC	11月
神戸 鐵夫	3回目	大阪西南 RC	11月
笠井 文雄	3回目	大阪西南 RC	11月
木村 雅彦	2回目	大阪西南 RC	11月
無量井 興吉	2回目	大阪西南 RC	11月
八木 洋子	2回目	大阪西南 RC	11月
弥谷 佐兵衛	2回目	大阪西南 RC	11月
廣瀬 勘一郎	4回目	大阪西南 RC	11月
石田 秀	2回目	大阪西南 RC	11月
新井 清	3回目	吹田西 RC	11月
郷上 勲	2回目	吹田西 RC	11月
井伊 圭一郎	1回目	吹田西 RC	11月
岡 信行	1回目	吹田西 RC	11月
阪本 勝彦	1回目	吹田西 RC	11月
生駒 俊雄	3回目	高槻 RC	11月
丸山 俊郎	8回目	高槻 RC	11月
片山 直	1回目	高槻西 RC	11月
西川 知行	1回目	高槻西 RC	11月

津留 正孝	大阪天王寺 RC	11月
三好 洋二	池田くれは RC	11月
矢橋 弘嗣	千里 RC	11月
遠藤 友一郎	大阪難波 RC	11月
石橋 高夫	守口 RC	11月
中村 健	大阪東 RC	11月
植田 卓	大阪心斎橋 RC	11月
佐々木 誠	守口イブニング RC	11月
安藤 圭一	大阪 RC	11月
増田 國次	大阪西南 RC	11月
丹羽 健二	大阪西南 RC	11月
荻原 美津子	大阪西南 RC	11月
辻 英明	大阪西南 RC	11月
梅本 禎親	大阪西南 RC	11月

大阪アーバンロータリークラブ 初例会 開催

大阪アーバンロータリークラブ
創立会長 西口宗宏

昨年12月に創立総会を行い、その後、日本事務局を通じて、国際ロータリーへの加盟申請を行ってまいりました大阪アーバンロータリークラブは、2011年12月27日付で、RIへの加盟を承認されました。これにより、第2660地区各クラブの皆様の仲間入りをさせていただくこととなりました。創立まで、岡部ガバナー・横山特別代表をはじめとして、非常に多くの会員の皆様に、ご苦勞をおかけしてまいりましたが、やっと、ここまで、やっとたどり着けて、船出させていただくことができました。第2660地区の会員の皆様のご協力に、会員一同、心より、厚く御礼申し上げます。どうも有難うございました。

年明けの2012年1月11日（水）7：30より、ホテ

ルグランヴィア大阪において、第1回目の例会を行いました。この記念すべき例会には、岡部ガバナー・横山特別代表にご出席いただき、大阪アーバンロータリークラブ会員各自に、一人ずつ会員章を手渡していただきました。さらに将来にわたる、激励の言葉をいただき、会員一同、この日は、思い出に残る例会となりました。これは、地区会員皆様の静かなご声援の賜物であると同時に、これからの厳しい時代を乗り越えていかねばならない義務感と重なり、会員一同、気持ちを引き締めて、今後の活動を行ってまいりたいと思います。

地区会員の皆様には、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【 ク ラ ブ の 概 要 】

名 称	大阪アーバンロータリークラブ
例 会 場	ホテル グランヴィア大阪 20階 大阪市北区梅田3丁目1番1号 TEL 06-6344-1235
例 会 日 時	水曜日 7：30～8：30
ビジターフィー	2,500円
創 立 日	2011年12月8日
認 証 状 伝 達 式	2012年2月6日
所 在 地 域	第2660地区の全域およびその周辺地域
事 務 局	〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町2丁目3番37-202号 西口税理士事務所 大阪アーバンロータリークラブ事務局 TEL 06-6622-1323 FAX 06-6622-0837 Mail：westgate@nifty.com URL：http://www.osaka-urban-rotaryclub.org
沿 革	スポンサークラブ ありません ガバナー 岡部泰鑑（大阪城南RC） ガバナー特別代表 横山守雄（大阪中央RC）

文庫通信 (292号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

- ◎「クラブ活性化の為の知恵」 大澤徳平 2011 1p (D.2640月信)
- ◎「ロータリーの意味論 (3) 人間モラトリアム」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの意味論 (4) 因縁果律」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの意味論 (5) 犠牲なき奉仕」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「基本」 玉井公詞 2011 1p (D.2650月信)
- ◎「会員増強におもう」 杉本 直 2011 1p (D.2650月信)
- ◎「最近思うこと」 大西省司 2011 1p (D.2650月信)
- ◎「例会は楽しいですか～『職業奉仕について』」 森 玄房 2011 2p (D.2550月信)
- ◎「日々は職業奉仕」 大澤徳平 2011 1p (D.2640月信)
- ◎「10月職業奉仕月間に因んで」 米田眞理子 2011 2p (D.2640月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新田久治 会員

(大阪中央RC)

2011年12月9日逝去(享年85歳)

副会長、理事、国際奉仕委員長、職業奉仕委員長

米山功労者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

今村 正 会員

(大阪中央RC)

2012年1月1日逝去(享年83歳)

副会長、クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

片山晃英 会員

(高槻西RC)

2012年1月15日逝去(享年72歳)

親睦委員長、社会奉仕委員長

馬場一雄 名誉会員

(豊中RC)

2011年12月29日逝去(享年94歳)

会長、幹事、理事、クラブ奉仕プログラム委員長、
社会奉仕委員長、親睦委員長、緑化・環境保全委員長、
職業分類委員長

米山功労者(マルチプル)

ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

濱本宣仁 会員

(大阪天満橋RC)

2012年1月11日逝去(享年51歳)

<お知らせ>

タイ洪水被害義援金に対する御礼

タイで発生いたしました洪水の被害に対しまして、義援金のお願いをいたしましたところ、各クラブから多額の募金が集まりました。義援金の総額は2,513,617円となりました。

皆様からの義援金は、タイ第3550地区に送金し、現地の被災者救援に使用いたします。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

なお、タイの洪水被害はまだ終息していません。引き続き義援金を受付けますので、募金をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 岡部 泰鑑

守口イブニングRC事務所移転

移転日：2012年1月20日(金)

新住所：〒570-0038 大阪府守口市河原町10-5 守口ロイヤルパインズホテル5F

※ 電話、FAX、E-mailアドレスの変更はありません。

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

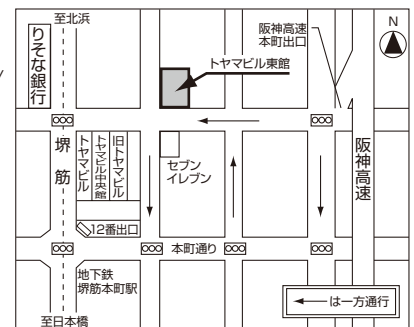
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

3 vol.9



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

3 vol.9

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

識字率向上月間／世界ローターアクト週間	1
「世界ローターアクト週間」に因んで	2
2012年 国際協議会に参加して	3
2011～2012年度 IM第3組報告	4
第2回 地区財団FVPセミナー報告	5
東日本大震災復興支援ボランティア活動報告	7
WCS事業が育てる青少年の活動	8
台湾米山奨学生学友会	9
大阪アーバンロータリークラブ加盟認証状伝達式 開催	10
災害支援プロジェクト報告（第9回）	11
米山奨学委員会	13
ロータリー財団	15
2012年1月度 会員数・出席報告	17
文庫通信	18
敬弔／お知らせ	



昨年3月11日に起こりました東日本大震災から早1年が経過します。私は事の重大さに鑑み、地区内ロータリアンの皆様方に国難に立ち向かう為の方策に全身を傾けて訴えて参りました。そして地区内ロータリアンの皆様方の熱い支援のもと、数々のプロジェクトが立ち上がりました。支援の輪は未だ出発したところでありまして、これから先まだまだ高島年度・福家年度へと引き継がれなくてはなりません。今後とも熱いご支援をお願い申し上げます。

さて、3月は識字率向上月間です。日本では読み書き算術は当たり前の世界ですが、世界中に眼を広げてみますとまだまだ読み書きの出来ない人々の多さに驚かされます。従って国際ロータリーは早く（1986年以来）から強調事項として強く訴えております。

ところで、ロータリー探究では次のように述べています。ユネスコの推計によると世界で15歳以上の8億人の人々が基本的な読み書き能力がなく、とくに女性・女子は世界の非識字人口の64%以上を占めており、1990年以降ほぼ変化していません。読み書き・計算能力が社会に与える恩恵は、識字社会では内戦も少なく経済発展もより速やかであるのが一般的となっています。また、読み書き能力のある人々の方が地域社会の健康問題について認識があるため、一般的により健康であると言えます。そして女性にとって読み書きと簡単な計算を行う能力は、教育的、社会的、経済的機会への扉を開く可能性は大きいと言えます。辞書の寄贈、学校建設、個人指導者としての奉仕のいずれの形をとるにしろ、ロータリアンおよびロータリークラブは識字率を高める活動を積極的に行っています。

RI 理事会は、世界中で識字能力の大切さを強調するとともに独自の識字率向上プロジェクトを開発し、ロータリアンが世界で行う非識字根絶の取り組みに

ついて広報する絶好の機会をロータリークラブと地区に与えるために3月を識字率向上月間と決めました。

最後に2006年6月12日、国際ロータリー年次大会基調演説よりシスター・エセルの言葉を紹介します。“識字率向上は、貧困の悪循環を断ち切るカギ”

世界ローターアクト週間にあたって

1992年3月、RI 理事会はローターアクトの創立25周年を記念して3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。1968年3月13日は世界で初めてノースシャーロット・ローターアクトクラブが出来た日ですが、この1週間はローターアクトについての認識を深め、ローターアクトの実績を示し、ローターアクトとロータリアンとの絆を深める良い機会です。今さら言うまでもありませんが、ローターアクトとは大学または地域社会を基盤として世界中に広くネットワークを有する奉仕クラブのことで、ロータリークラブによって提唱されています。18歳より30歳までの若い人々がその中で自分のパワーやプロの腕前を発揮する機会が与えられ、今日約160ヶ国で約8,100クラブ、18万6,000人以上の会員を擁するまでに拡大しました。当地区には19クラブ260名余りの会員が在籍して地区献血活動や海外研修、ローターアクト研修会等の活動を行っていますが、ここ数年、クラブ数、会員数共に減少傾向にありますので、RIの規定審議会の改正に伴い、四大奉仕から五大奉仕へと新世代奉仕が追加されましたことにも鑑み、これからのロータリー活動には新世代奉仕を抜きには語ることは出来ません。もう一度RACを提唱されているクラブでは未来へ向けての発展性、またRACを提唱されていないクラブではその実現性を検討してみてもは如何でしょうか。

「世界ローターアクト週間」 に因んで

ローターアクト委員会

委員長 梅澤喜八郎 (東大阪西RC)



世界ではじめてローターアクトクラブが設立された3月13日を記念して、その前後一週間が世界ローターアクト週間とされています。

これを機会に、当地区のローターアクトの活動の一端を報告させていただきます。当地区には19のローターアクトクラブがあり、現在の会員総数は約260名で、期首から約60名の増となっています。これらの19のクラブを三つのゾーン（北、中、南）に分けて運営しています。

地区役員は地区代表、幹事、会計、副幹事3名、ゾーン代理3名の9名で構成されており、毎月2回役員会を開いて地区行事の取組みをはじめとする様々な課題を協議しています。

また、各ゾーン毎に月1回そのゾーンに属するクラブの会長が参加してゾーン会議（会長会）が開催されます。この会議には、地区役員から担当副幹事と担当ゾーン代理が出席します。この会議では、各クラブの会員の増減、例会の報告、例会外の諸行事（奉仕活動など）が発表され、また次月の予定の案内が行われます。

年に2回、このゾーン会議にそれぞれの提唱クラブの担当ロータリアンにも出席していただいて意見交換を行い、相互理解を深める機会としています。

主な地区行事として、年2回（例年7月と2月）日赤に協力して献血活動を行っています。また、同じ日に、地区役員と各クラブの役員が集まって地区連絡協議会が開かれます。

9月に「全国統一アクトの日」、11月には「海外研修」があります。今年度はグアムを訪問しました。グアムは第2750地区（東京南）に属しているのです

が日本のローターアクターとの交流の機会が少なく、今回の訪問で相互の理解と友情を深めるのに大いに役立ったと考えています。また戦没者の慰霊のために活躍している現地の日本人ロータリアンの方に出逢い、戦中、戦後のグアムと日本との関わりについて多くのことを学ぶ機会となりました。

3月には「世界RAC DAY」、4月には「新旧理事役員会」、5月には「年次大会」、6月には「リーダーシップフォーラム」がそれぞれ開催されます。

これらの地区行事は各RC事務局に案内を流して参加を要請しています。

是非、理事会でご検討くださいますようお願い申し上げます。

最後に、東北支援について触れさせていただきます。当地区ローターアクトも「災害支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、去る10月29日、30日に、地区代表の古川君と地区役員の末松君が茨木RCの久保様の紹介で気仙沼を訪問し、また1月21日には第2520地区（岩手、宮城）のローターアクト会長・幹事会に上記両君と小生も参加し、現地ローターアクターの諸君や列席されていたロータリアンの方々と、今後の支援のあり方について話し合ってきました。

いろいろな形でみなさまのご協力をお願いすることになると思いますが、どうかよろしく願い申し上げます。

2012年 国際協議会に参加して

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

RIテーマ「Peace Through Service - 奉仕を通じて平和を」
海あり、山あり、砂漠ありの自然溢れる国境の町San Diego。San Diego Bayに面してそそり立つ2棟建てのManchester Grand Hyatt San Diegoにおいて2012年国際協議会が開催されました。

1月14日(土)、村橋次年度地区代表幹事、杉村副代表幹事たちの励ましを受けながら、大阪伊丹空港から東京・成田国際空港経由、一路Los Angelesへ向かい、同地で一泊、15日(日)にバスで、San Diegoに到着いたしました。ホテルの玄関には、田中 作次RI会長エレクト、近藤雅臣RI理事、松宮 剛RI理事エレクトほか日本からのRI関係者が出迎えて下さいました。今年の現地は、最高気温が15℃と思いのほか寒い日に終始しました。

16日(月)からいよいよ国際協議会の開幕です。カルヤン・バナジーRI会長の開会宣言に引き続き、各国・地域の国旗の入场。日の丸は「J」のところにはなく、星条旗・インド国旗と共に最後に登場しました。続いて国歌斉唱では、アメリカ国歌、インド国歌に続き「君が代」が会場に流れ、ふるえる感動を覚えました。このような機会はなかなか経験をすることが出来ないものです(福家 宏ガバナー・ノミニーの時も流れるでしょう)。

開会式の興奮もさめやらぬ内に、アイデア交換・ワークショップ・主題別テーブルミーティング・パネル討論・本会議が20日(金)までくり返し、テーマを変え行われました。アイデア交換・主題別テーブルミーティングでは、日本からのDGEが2班に別れ、お互いの意見を出し合う方法で行われましたが、あまり意見を言わないと、研修リーダーから意見を求められます。この意見交換中あるいは休憩中などに、日本からの34名のDGEの間に友好関係が徐々に盛り上がっていくのが判りました。

ほぼ毎日、朝9時から夕方5時半～6時半までの本会議、前述の研修があり、その後7時頃からは、国際親善晩

餐舞踏会(もちろん、日本人はほとんど踊りません)、国際祭りの夕べ(日本の今年の出し物は、全員で花笠音頭)、「出でて奉仕せよ」晩餐会と遅くまで国際交流の場が設けられていました。

協議会2日目、3日目の本会議では、2012～2013年度に予定されているGSEの相手地区のドイツ第1890地区DGE Henning Kramer氏(Rotary Club Kiel - Dustembrook)と隣同士で座るように設定されていました。私の反対隣はオーストリアのDGEでドイツ語圏に挟まれました。Kramer氏とは、3日目の昼食を共にして、次年度既に決定している、第2660地区チームの2013年5月21日～6月21日の渡独、第1890地区チームの3月30日～4月30日の来日について、話をいたしました。当地区がドイツ滞在中の2013年6月8日には第1890地区の地区大会が開かれる予定だということです。協議会中にGSE相手地区のDGEと効果的な話が出来ましたことは、地区GSE委員会の皆様の事前のメールのやり取りなどさまざまなお骨折りの賜と感謝申し上げます。

21日、松宮RI理事エレクト、研修リーダーの方々の見送りを受けLos Angeles、成田経由で23日に無事帰国いたしました。



2011～2012年度 IM第3組報告

I.M. 実行委員会
委員長 山口愛彦

テーマ：健康と防災・全ての奉仕活動は健康から!!

日時：2012年1月28日 午前9:40～

場所：四條畷市市民総合センター（市民ホール）

参加登録：379名

出席者：185名

国際ロータリー第2660地区第3組のインターシティミーティングを開催するに当たり、開催市の四條畷市長 田中夏木様、地区G岡部泰鑑様、G補佐三村雄太郎様をはじめとして多数の役員の皆様方、また第3組各RCの会長、幹事をはじめ多くのロータリアンの皆様をお迎えして開催できました。心より有難く感謝申し上げます。

本年度のI.M.のテーマは「健康」「防災」の2点を議題とさせて頂きました。各RCの活動も全ての日常生活の基本は健康である事といった観点から、健康を今一度見直してみようとの考えです。しかし病気病魔の種類も多様になり、今回は健康のバロメーターは歯とも言われていますので歯科医の先生に講演を頂きました。また2011年の年は、皆様ご承知の様に災害の多発を見ました。幸い大阪に於いては事なきを得ましたが、いつ災害に見舞われても不思議でないと思われまますので市の防災アドバイザーに防災の講演をお願いしました。又、四條畷消防署チームよりAEDの実技指導を代表会員10名参加のもと行いました。

閉会式に於いては、新入会員にご登壇頂き岡部Gと固い握手を交わして頂きました。我々I.M.第3組は北河内7市のグループであり、長年にわたり近隣社会を文化歴史の面から共有して参りました。第3組11クラ

ブの皆様とは共に志を同じくしロータリー活動を継続いたしてしています。お会いする機会も少なく年に一度のI.M.の機会ですので、最後に粗食ではありますが軽食を囲みお互いの懇親を深めて頂けたかと思っております。この度のI.M.開催に当たり当クラブと致しましては、全員参加の協力体制をとりましたが、何分ミニのクラブで不行き届きの事、多々あったろうと思いますが、今後このミーティングが少しでも各クラブの活動に役立てば幸せと思います。皆様のご協力に感謝申し上げながら、IM3組のホストの出来得た事に厚くお礼申し上げます。



第2回 地区財団FVPセミナー報告

FVP: Future Vision Plan「未来の夢計画」

ロータリー財団委員会・財団FVP委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

日時：2012年1月14日(土) 14時～16時

場所：大阪YMCA会館2Fホール

司会：四宮孝郎財団FVP委員

当地区2回目の地区財団FVPセミナーは、第1回の出席者数160名をはるかに上回り、280名近いロータリアンにお集まりを頂きました。さすがに会場はほぼ満席状態で、クラブの会長エレクト始め奉仕プロジェクト関連委員長の皆様がいよいよ本格的にFVPに取り組もうとされる意気込みを感じさせられました。以下、発言内容をプログラム順に要約し、セミナー報告と致します。

■ 略語

TRF：ロータリー財団

FVP：未来の夢計画

VTT：職業研修チーム

MG：マッチング・グラント

■ キーワード：6つの重点分野

- ① 平和と紛争予防／紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生設備
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

■ このセミナーの資料は当地区ホームページのコンテンツFVPの項でご覧になれます

岡部泰鑑G：開会挨拶

此の度の財団FVPセミナーには残念ながら高島GEのご出席はかありませんでした。と申しますのは、今朝サンディエゴの国際協議会に出席のため大阪を出発されたからで、皆様にはご了解下さい。さて、FVPについてはその目標を十分に見定めて、次年度より円滑に奉仕プロジェクトの計画や実行が進むようにしなければなりません。今後は活動内容や資金調達の方法も大きく変化しますが、このセミナーを通して皆様には新しい情報を十分に把握して頂き、このセミナーが有意義なものとなるよう念願しております。

横山守雄ロータリー財団部門顧問PG：FVPセミナーの趣旨説明

このセミナーは次年度のクラブ・リーダーの皆様のためのセミナーです。FVPは「未来の夢計画」と呼ばれますが、実現困難なので「夢」に終わると言うものでもなければ、薔薇色のように素晴らしいと言うものでもありません。未来志向のプランだとお考え下さい。財団のプランは多

様化してきましたが、財団は第2世紀を迎えるに当たって、仕組みの見直しを行い、より効果的な仕組みを実施しようとしているものです。FVPによる補助金制度は、基本的なコンセプトが大きく変わるわけでは無いのでそれほど難しく考える必要はありません。TRFの権限は大きく地区に移譲されますが、これによってTRFは経費の削減を見込むことが出来ます。その分これからは地区Gの方針が財団プログラムに生かされることになります。次年度クラブ会長の皆様は、是非とも財団プログラムを大いに活用され、クラブの活性に役立てて頂きたいと思えます。

福家 宏財団FVP委員長：FVP実施への流れと補助金制度概説、ハンドブックの説明

第1回と幾分重なりますが、今回もロータリー財団の歴史を簡単に振り返りました。1917年アーチ・クランフの「世界のためによいことをしよう」の呼びかけを発端に1928年にTRFが設立され、1947年を境にTRFが発展の一途をたどったこと、特にMGの申請件数激増がTRFの運営を危うくし始めたことをお話しました。そして2010年7月から3年間のパイロット期間のち2013年7月から全世界でFVPによる補助金制度が実施される過程をご紹介します。FVPへの理解を進める第一歩として先ず「クイックガイド」の学習を奨励し、次いで第2770地区作成の「未来の夢計画ハンドブック」2011年11月版について必読のページをご紹介します。今回は重要な部分をピックアップして、実際にそのページを開いて頂きながら、解説を致しました。

溝畑正信財団FVP委員、次年度地区財団委員長：FVP用語解説とクラブとしての今後の準備

「未来の夢計画ハンドブック」P104-P106用語集を参加者に開いて頂き、そこに記載されている用語について、分かり易く解説されました。そして新地区補助金の「計画年度」「実施年度」については、2013年7月に入ったら速やかにプロジェクトが実施出来るように、前年の3-5月頃までには使用計画が提出できるようにすることと、実施年度については補助金受領後12カ月以内、または補助金支出後2カ月以内に報告書の提出が義務付けられていることを話されました。グローバル補助金についても提案書の作成から申請書提出までに時間を要するので周到な準備が要求されることを話されました。

新地区補助金：クラブとしての取り組み

● 人道的分野：川田 隆財団人道的補助金委員長

- ① 補助金利用のプロセスを簡素化する目的を持った新制度による補助金は、新地区補助金とグローバル補助金の2種類のみで、申請はいずれもオンラインによること
 - ② 新地区補助金は6つの重点分野に関連させる必要はないので、幅広い範囲で利用可能
 - ③ 新地区補助金は1年に一度、一括でDDFの50%を上限として申請すること
 - ④ パイロット地区での新地区補助金の利用状況と申請書提出から承認までの期間(2週間)
 - ⑤ 現在の地区補助金と新地区補助金の手続き時間の比較(短縮される)
 - ⑥ 2011-12年度、2012-13年度、2013-14年度の詳細なタイムスケジュールを紹介
- 以上の内容についてご説明をされました。

● **教育的分野(奨学金): 牧尾晴喜財団奨学金・学友委員長**

- ① ローターリー財団国際親善奨学金、平和フェローシップについて旧制度と新制度を比較
- ② 例えば奨学金により2013年7月に国外へ留学生を派遣する場合、従来のように1年間のオリエンテーションの期間を設けるならば、タイムスケジュールはどのようになるのか、モデルケースを提示
- ③ 新地区補助金利用の奨学金の場合、カウンセラー制度をどうするのかという問題提起
- ④ グローバル補助金による奨学生派遣についての問題点(TRFへの申請書提出の時点で入学許可取得済という要件)などを解説されました。

● **職業研修(VTT): 田邊司郎GSE委員会委員**

GSEとVTTはどこがどう異なるのか、用語の解説をされた上でグローバル補助金によるVTTの場合、団員の人数や年齢制限、研修期間、交換の必要性、団員の職業分類などについて、GSEと比較しながら分かり易く解説をして頂きました。

宮里唯子財団FVP副委員長: グローバル補助金: クラブとしての取り組み

～6つの重点分野に照らし～

グローバル補助金について具体的で比較的詳細なご説明を頂きました。①シェアシステムで3年前の年次寄付の50%がDDFに、残り50%がWFにシェアされ、WFはグローバル補助金に利用されること ②グローバル補助金にはクラブと地区が独自に立案するプロジェクトに対

する補助金と、パッケージ・グラントの二つがあること

- ③プログラムには(1)人道的活動 (2)奨学金 (3)職業研修があるが、6つの重点分野のいずれかに属し、補助金が15,000ドル以上の規模であることなどの要件を満たすべきこと ④人道的プログラムの要件として、(1)成果が測定可能なこと (2)成果が持続可能なこと (3)受益社会と協力して立案と取り組みを行うこと、を挙げて説明されました。

さらに⑤教育的プログラム(奨学金)の要件 ⑥職業研修プログラムの要件について解説され、⑦グローバル補助金の申請手続きについて ⑧クラブの参加資格(資格認定プロセス)について ⑨業務サイクルに関しては、2012-13計画年度に(1)補助金管理セミナー (2)資格認定手続き (3)補助金申請開始を行い、2013-14実行年度にはプロジェクトを実施するというご説明をされました。

質疑応答

Q1. 高槻東RC上場氏: カンボジア(後進国)では、病気の発症率など統計が不十分で、「成果が測定可能」というグローバル補助金の条件をどう満たせばよいのでしょうか?

A. 宮里: 「測定」は必ずしも発症率に限るものではなく、例えば、プロジェクトを開始する前に、プロジェクトの受益者となるコミュニティーのワクチン接種率をお調べ頂ければ、プロジェクト終了後にはその接種率がどの程度上昇したかということでも「測定可能」という条件に見合うのではないかと思います。つまり、発症率だけが「測定可能」という条件を満たすわけではなく、工夫頂く余地があります。

Q2. 八尾RC今西氏: クラブが地区と交わす覚書は毎年必要ですか?

A. 福家: その通りです。毎年必要です。

福家 宏財団FVP委員長: 閉会挨拶

まずは多数のご出席に感謝致します。FVP実施までにパイロット地区は2010年7月から暫定的なFVPの規定に基づいて財団プログラムを実施していますが、実施中に生じてくる新補助金制度の問題点、改善すべき点などが、パイロット地区からロータリー財団にフィードバックされます。従って現在ロータリー財団が世界中の地区/クラブに示している新制度は、2013年7月までに修正が加えられる可能性が十分考えられることをお伝えしておきます。有難うございました。

東日本大震災復興支援 ボランティア活動報告

大阪難波RC社会奉仕委員会
委員長 神田真晃

「東日本大震災復興支援農地清掃と炊き出し、復興太鼓の演奏」の東日本大震災ボランティア活動は、平成23年7月17～18日の2日間、会員が18名（事務局員1名含）、関西大学学生が34名、一般17名の総勢71名で、ボランティアバス班、現地集合班に分かれて現地に入り、支援奉仕を行いました。

活動内容は17日は宮城県亘郡山元町ボランティアセンターの紹介で農道側溝清掃と仮設住宅支援活動を、18日は福島あづま運動公園避難所において屋外清掃・炊き出し・音楽演奏を致しました。

17日の側溝清掃活動には44名（会員3名、学生と一般38名、会員の医院の看護師3名）が従事し、山元町仮設住宅支援活動には9名（会員6名、一般3名）が、炬燵・掃除機・家財道具・米などの搬入仕分け配布に従事しました。

そして18日は総勢71名が、屋外の清掃班32名・炊き出し班23名・音楽レクリエーション班16名に別れ活動致しました。

音楽演奏では三味線奏者1名と我クラブの太鼓同好会会員7名が、被災者約100名の前で素晴らしい演奏を披露し、「幸せ太鼓」の響きが心を癒し、復興への気持ちを盛り上がらせることが出来ました。

また炊き出しでは西野会員従業員を中心にカレーうどん・皿うどん・ジャコご飯を総数500人前作り「今日のは美味しく食べられる、美味しい！」との評判を頂き、多くの方々に「大阪の人情の味」をお伝えし

ました。

清掃班では屋外清掃奉仕を致しました。

また学生が炊き出し・太鼓演奏・居住区清掃のチラシを前もって作成しボランティアセンターに郵送しており、事前に各家庭に配って頂いておりました。当日も心のこもった励ましのメッセージの寄せ書き（縦1m、横2m）を現地の避難所のおじいさんに贈呈しました。

これらの活動は各参加者の超私の奉仕の実践を通して、罹災者たちと手を取り合い、孤独死が起こっている避難者の現状から「がんばろう日本」の希望と復活の心を醸成することを願い実施致しました。

今回、我々は被災者との会話やふれあいを通して、復興太鼓と炊き出しで精神的支援を行うとともに、罹災者全体の心の痛みを和らげる癒しと明日への生きる支援活動が出来ました事を報告致します。



WCS事業が育てる青少年の活動

～アウンサンスーチーさんとテーウーさんにお会いして～

吹田RC国際奉仕委員会

委員長 豊谷 久仁子

吹田RCでは2000～7年の8年間、WCS（世界社会奉仕）事業として、ミャンマー・エアワディ地域のパテインで5年間、中部のマンダレーで3年間に周辺の小学校や村に約145基の手動式ポンプ井戸を、そして50周年を迎えた2009年にはパテインにタンク付の深井戸2基を提供してきました。これは「ミャンマーの小学生に安心して飲める水を」という趣旨のもとに、児童個人の衛生状態を改善し、水源起因の死亡率を減少させることが目的です。ミャンマーでは乾季には飲料水の確保が困難で、毎日遠くまで水を汲みに行くのは子どもたちや女性の仕事です。そのため、学校で教育を受ける時間的、経済的余裕がないのは今も変わりません。

クラブでは毎年現地を訪れてモニタリングを繰り返し、また、RACのメンバーも参加して子どもたちと交流を重ねながら事業を進めてきました。この体験によりRACは今では独自の支援プログラムを展開しています。

そんな中、私は村で出会った我が子を抱く幼い少女の様子にショックを受けました。もし、この少女が学校に行き、知識を得て、自分の人生を自分で考えることが出来たなら、違った道を歩んでいたかもしれないと思ったからです。「少女が歩む人生は自分自身で選ぶものであってほしい」のです。そして、是非、若い人たちに共に考える機会をと思い、日本の少女が同世代のミャンマーの少女たちと交流を通じて相互支援を目指す「ミャンマー・スタディツアー」をガールスカウト大阪府支部は2007年より10か年計画で実施しています。毎年10名の高校生、大学生年代の少女を派遣し、孤児院や障害児センター、自立を目指す女子訓練センターやHIV患者との話し合いなどで交流や相互理解と支援を図っています。この事業がガールガイド・ガールスカウト世界連盟より評価され、日本で初めての「オレブ賞」を受賞いたしました。

この少女たちの活動をミャンマーでも高く評価していただき、第5回目になるミャンマー・スタディ



ツアーでは、1月2日に民主化の指導者であるアウンサンスーチーさんと面談する機会を得ました。各国の首脳が先を競って面会される中、外国の民間の少女たちが会うことは異例



のことです。

アウンサンスーチーさんはスカウトたちの質問にも一つひとつ丁寧に、わかり易く理論的に答えて下さり、一番大切なことは「教育」で最低限の読み書きと知識をつけ、その知識を共有することで生活の質が向上すると話されました。スカウトやヤングリーダーたちは貴重な経験とスーチーさんのまっすぐな生き方に深い感銘を受けました。ビルマの時代にはガールガイドがあり、ガイドとして活動されていたアウンサンスーチーさんとスカウトの“サイン”をして絆を深めました。

私はその後、首都ネピドーで政府、与党の連邦団結発展党（USDP）のテーウー総書記に10年ぶりにお会いしました。吹田RCのパテインでの事業で当時軍司令官だったテーウーさんは当時、外国人が村の中で事業をすることに対して反対意見もあった中、「国民のために」と言って許可してくださったのです。そのお礼とそれに続く少女たちの事業についてお話をし、今後の協力をお願いしました。

政治的には両端にいらっしゃるお二人ですが、国民を思う気持ちに変わりはなく、努力されている姿に尊敬の念を抱いております。

最初からロータリーの事業と青少年活動のガールスカウトの事業がこのような展開になるとは思ってもみませんでした。大人がその後ろ姿を見せることで、青少年は後を追いかけて、やがて独り歩きするのです。立場や年代は違っても、同じ線上、目指す方向が同じであればお互い協力することで大きな輪が広がると信じています。



台湾米山奨学生学友会

米山奨学委員会

副委員長 吉田悦治 (大阪大淀 RC)

日 時：2011年12月17日

場 所：統一超商大樓 2樓

参加者：武島委員長、吉田副委員長、西谷副委員長、
西邨委員、近藤委員

(社) 中華民國ロータリー米山会は12月17日、1時30分より、蘇定東様、歐元韻様のユーモアあふれる流暢な日本語による司会進行により幕を明けました。

許国文理事長の挨拶の後、来賓紹介、講演、自己紹介、工作報告、財務報告、各区活動報告と続くのですが、各方面から集まってこられる人々、新竹、桃園、高雄（日本で言えば京都?）、台南（日本で言えば大阪?）から奨学生OB、日本からも長野、東京、埼玉からこられたカウンセラーの方々、「米山」と聞くといわゆる「心内あれば、色外に現る」のことわざそのままに米山OB達は自然に集まってきて行動する時もお互いに心が通じ合う……の感です。

続きまして、陳美雲様による講演「轉個彎、人生不一樣（ちょっとしたきっかけで人生は変わる。）」「人はそれぞれ、違った人生観を持っているものですが、唯一確かなのは生まれながらにして持っている「運命」というものがあるということです。しかしそれは変えられないものではなく、その人の生き方によって変えることも出来、また新たな運命を創り出すことも出来るのです。”

と言う内容で息子様……呉李剛様（26歳の時、アメリカのファーストレディ、オバマ・ミシェル夫人の大統領就任式典でのドレスをデザイン。このドレスは、現在アメリカ・スミソニアン博物館に展示されている）について話をされました。

9名の学友会新入会員の自己紹介に続き、特に私たちがすばらしいと思ったのは、台湾米山奨学生第2期生の笹川優子様感想発表、第3期生の工藤夕奈様、加藤友花様の自己紹介でした。2009年度より始まりました台湾米山奨学生、日台の「絆」「架け橋」が米山奨学会を通じさらに進化して行くのだなと思った



次第です。

式典も終わり、懇親会に移り、時空を超えた集いになるのですが、最後のお開きには、板橋敏雄（財）ロータリー米山記念奨学会理事長の「万歳三唱」で終わります。台湾に来て、台湾の会場で、ほとんどが台湾米山OBがそろって日本語で『万歳』『万歳』『万歳』……。

今現在、米山奨学学友会は、日本はさることながら台湾、韓国、中国の3カ国でしかありません。もっと、もっと他国の架け橋を増やしていきたいものです。

最後になりますが、(社) 中華民國扶輪米山会とは、日本で最大の民間奨学団体「ロータリー米山記念奨学会」の奨学金を受けた台湾出身の元日本留学生によって1983年に結成されました。台湾と日本の人的交流のほか、台湾における社会・教育・文化への奉仕活動や社会参加を推進しています。2002年に台湾で社団法人の許可を得ました。

台湾出身の元米山奨学生 累計：3,111名

台湾米山奨学生登録数：米山会員数1,600名

大阪アーバンロータリークラブ 加盟認証状伝達式 開催

創立会長 西口宗宏 (大阪アーバンRC)

昨年暮れに認証を受けた、大阪アーバンロータリークラブの加盟認証状伝達式を、2月6日(月)ホテルグランヴィア大阪において、開催させて頂くことが出来ました。当日は、地区各クラブの会長、幹事・次年度会長の皆様および、RI理事 近藤雅臣様、岡部泰鑑ガバナーはじめ、パスト・ガバナーにも大勢ご臨席賜りました。また高島GE、福家GN、そして地区運営をリードして下さっている委員長の皆様にも、多数、お越し頂き、地区皆様の温かいお気持ちを感じながら、伝達式を執り行うことができました。また第2630地区の服部芳樹パスト・ガバナーにも、遠路はるばるお越し頂き、お祝いの言葉を頂戴いたしました。

寺内俊太郎会員の開会の辞より始まり、岡部泰鑑ガバナーの挨拶について、横山守雄パスト・ガバナーから、創立の経緯について説明があり、国内ロータリーの現況と合わせて、当クラブの存在意義について、お話頂きました。その後、RI理事 近藤雅臣様より加盟認証状を手渡しして頂き、大阪アーバンロータリークラブは、第2660地区各クラブの皆様の仲間入りをさせて頂くこととなりました。

地区各クラブの大先輩の皆様に、創立までのご協力に対する感謝の気持ちと、これからの指導に関するお願いを西口会長および山田芙美江副会長より申し上げ、伝達式は滞りなく終わることが出来ました。

その後、祝宴に移り、米国でのGETSを終えて帰国された高島凱夫GEから祝辞を賜り、福家GNの乾杯で、和やかなひと時が始まりました。岡部泰鑑ガバナーには、創立に至るまでのこの1年間の緊張感から解放され、終始おだやかな表情でございました。当クラブ下出一会員のピアノ伴奏で岡部泰鑑ガバナー自ら「マイウェイ」を披露して頂き、疲れを吹き飛ばされた事と拝察いたします。さらに、大谷透PGにも参加者全員とともに熱唱して頂き、和やかなひと時に、華を添えて下さいました。伝達式をこのように盛大に行うことが出来たのは、偏に、地区会員皆様の温かいご協力があったからでございま

す。見守って下さった皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

大阪アーバンロータリークラブは、地区内で初めて朝例会を行うクラブとして発足しましたので、地区会員皆様には、かなり関心の高いことと拝察いたします。事務局を置かず、スポンサークラブを持ちません。相互連絡は、電子メールが基本です。まだ出来上がったばかりのヨチヨチ歩きのクラブでございます。会員一同、気持ちを引き締めて、今後の活動を行ってまいりたいと思います。伝達式にお集まり頂いた皆様の関心そのものが、今後のロータリー活動の在り方についての一つの指針となり、当クラブのこれからの活動の原動力ともなります。

クラブ運営が安定するまでは、何度も試行錯誤を繰り返し、皆様にご迷惑をおかけすることと存じますが、地区会員の皆様には、どうぞ長い目で温かく見守って頂き、ご指導ご鞭撻賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



災害支援プロジェクト報告(第9回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暁夫** (千里RC)

2月13日までの寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の地区寄付金残高を報告いたします。地区内クラブと被災地クラブとの「絆」も深まり、地区基金申請案件は順調に推移しております。2月のクラブ社会奉仕委員長会議では、実際に申請を出されたクラブから当地区の災害支援プロジェクト委員会の活動は決断が早く、申請書類も分かりやすいとお褒めのお言葉を頂戴いたしました。あと3ヶ月余り、地区内各会員皆様方のご支援と活動にご協力の程お願い申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2012年2月13日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねぎRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	合 計	17,264,120	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2012年2月13日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ロータークラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守ロイブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡プレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
		合計	72,335,587	24,269,334

(2) 現在の地区寄付金残高 (2月13日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金	72,845,511円
② 地区内36クラブへ返金 (1月23日池田RCに400,000円返金)	37,224,413円
③ 地区内46クラブから預けられた額 (①-②)	35,621,098円
④ 地区内クラブからの寄付金 32件	17,264,120円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金 30件	24,269,334円
⑥ 2520地区 支援金	10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金	5,000,000円
⑧ 送金手数料	30,000円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)	69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)	189,394円
地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)	13,327,018円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年12月末 全国寄付金合計額	792,536,207円 (前年度比2.60%減)
" 第2660地区寄付金合計額	51,102,186円 (前年度比5.26%増)
2011年12月末 全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	56,484,248円
2. 第2660地区	51,102,186円
3. 第2590地区	46,878,000円
4. 第2750地区	44,301,800円
5. 第2760地区	40,579,501円
6. 第2770地区	38,653,000円
7. 第2580地区	36,432,745円
8. 第2820地区	30,042,020円
9. 第2680地区	27,474,280円
10. 第2780地区	27,452,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2011年12月)

氏名	回数	クラブ名
東坂 巖	1回目	大東中央RC
若狭 一夫	3回目	大東中央RC
村尾 忠信	1回目	東大阪RC
関 文男	5回目	東大阪RC
後藤 正憲	1回目	東大阪みどりRC
野村 悦子	2回目	東大阪みどりRC
土井 健一	2回目	東大阪みどりRC
明石 巧	3回目	池田RC
井上 裕子	1回目	池田RC
北林 安興	1回目	池田RC
森 繁子	15回目	池田RC
山口 正之	1回目	池田RC
木下 久則	5回目	交野RC
黄堂 泰昌	1回目	箕面RC
山下 恵司	5回目	箕面RC
串田 ゆか	1回目	寝屋川RC
下 俊一郎	1回目	寝屋川RC
出橋 恒仁	1回目	寝屋川RC
辻本 憲三	10回目	大阪RC
山田 一郎	3回目	大阪RC
大津 久直	6回目	大阪東淀ちゃやまちRC

氏名	回数	クラブ名
戸田 和孝	1回目	大阪東淀ちゃやまちRC
松村 榮一	5回目	大阪本町RC
村田 喜徳	1回目	大阪本町RC
笹井 敏之	3回目	大阪本町RC
三木 優	5回目	大阪イブニングRC
遠田 義昭	14回目	大阪城南RC
相崎 秀樹	4回目	大阪西RC
林 邦彦	1回目	大阪西RC
桑森 章	1回目	大阪西RC
中村 一志	1回目	大阪西RC
中村 壽孝	1回目	大阪西RC
西村 真一郎	3回目	大阪西RC
野村 卓也	1回目	大阪西RC
清水 美溥	7回目	大阪西RC
種村 泰一	1回目	大阪西RC
大川 展功	3回目	大阪西南RC
柴 雄一	2回目	大阪城北RC
前田 義雄	5回目	大阪東南RC
前田 敏弘	4回目	大阪東南RC
発 剛士	24回目	大阪鶴見RC
覚野 廣久	2回目	大阪鶴見RC

氏名	回数	クラブ名
後藤 洋治	23回目	梅田東RC
山村 幸久	2回目	梅田東RC
橋本 逸郎	10回目	大阪うつぼRC
岩根 和加子	2回目	大阪うつぼRC
中山 重積	5回目	大阪うつぼRC
堤 昌彦	3回目	大阪うつぼRC
河田 英子	3回目	大阪ユニバーサルシティRC
藤田 芳浩	4回目	千里メイプルRC
小山 富夫	1回目	千里メイプルRC
松田 親男	1回目	千里メイプルRC
樋上 幸夫	4回目	摂津RC
和泉 慎次	6回目	摂津RC
益田 光三	1回目	摂津RC
三木 秀雄	3回目	摂津RC
森川 嘉夫瑠	1回目	摂津RC
中川 廣司	7回目	摂津RC
埜口 定男	4回目	摂津RC
尾崎 公宏	1回目	摂津RC
山内 久生	8回目	摂津RC
瀧井 理	5回目	高槻東RC
高木 莊輔	3回目	高槻東RC
高谷 敏雄	3回目	高槻東RC
高岸 久典	1回目	高槻東RC
渡辺 一光	2回目	高槻東RC
藤本 訓子	2回目	豊中南RC
秦 博文	2回目	豊中南RC
廣瀬 譲	1回目	豊中南RC
栗本 武	6回目	豊中南RC
西口 定雄	2回目	豊中南RC
大木原 久	1回目	豊中南RC
今川 憲治	5回目	八尾RC
井川 孝三	3回目	八尾RC
小川 寛	6回目	八尾RC
佐野 清	9回目	八尾RC
谷口 俊文	1回目	八尾RC
山本 義治	13回目	八尾RC
山本 勝彦	3回目	八尾RC
山陰 恭志	1回目	八尾RC

氏名	回数	クラブ名
松尾 美由起	1回目	八尾中央RC
玉井 利宏	7回目	八尾中央RC
富山 博光	1回目	八尾中央RC
山田 正雄	7回目	八尾中央RC
山本 与志弥	1回目	八尾中央RC
長尾 穰治	1回目	八尾東RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年12月)

クラブ名	回数
大東中央RC	8回目
東大阪みどりRC	7回目
池田RC	32回目
交野RC	14回目
大阪RC	100回目
大阪西RC	54回目
大阪ユニバーサルシティRC	1回目
千里メイプルRC	9回目
摂津RC	21回目
豊中南RC	36回目
八尾RC	53回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

山野 寿	茨木東 RC	12月
岡本 直文	池田くれは RC	12月
今村 聖三	大阪フレンド RC	12月
福本 保治	大阪城南 RC	12月
小山 大輔	大阪北 RC	12月
表 久守	大阪北 RC	12月
粟井 齊	大阪北 RC	12月
筧 喜八郎	大阪北 RC	12月
小原 法隆	大阪北 RC	12月
瀬尾 忠志	大阪北 RC	12月
豊田 崇克	大阪北 RC	12月
廣瀬 哲三	大阪北 RC	12月
松浦 永郁	東大阪中央 RC	12月
小川 高弘	東大阪中央 RC	12月
小林 和由	大阪咲洲 RC	12月
川口 栄計	大阪難波 RC	12月
小林 宗廣	大阪難波 RC	12月
西本 健二	吹田江坂 RC	12月
大森 洋子	吹田江坂 RC	12月
市田 忠夫	高槻東 RC	12月
坂井 利孝	高槻東 RC	12月
寺本 佳弘	高槻東 RC	12月
亘 信二	大阪 RC	12月
渡辺 泰男	大阪 RC	12月
小山 富夫	千里メイプル RC	12月
石川 義一	八尾東 RC	12月
中澤 剛	八尾東 RC	12月
高橋 広一	八尾東 RC	12月
千早 正	大東中央 RC	12月
池田 文治	大東中央 RC	12月
北山 治信	東大阪みどり RC	12月
益田 光三	摂津 RC	12月
森川 薫	摂津 RC	12月
尾崎 公宏	摂津 RC	12月
大木原 久	豊中南 RC	12月
廣瀬 譲	豊中南 RC	12月
奥谷 英一	八尾 RC	12月

山陰 恭志	八尾 RC	12月
松井 良介	八尾 RC	12月
野田 重夫	八尾 RC	12月
柏木 武生宜	八尾 RC	12月
谷口 俊文	八尾 RC	12月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

高岡 賢弘	1回目	茨木東 RC	12月
山内 邦夫	1回目	池田くれは RC	12月
長嶋 貞孝	1回目	池田くれは RC	12月
足立 恒雄	2回目	くずは RC	12月
初木 賢司	1回目	くずは RC	12月
平尾 公介	1回目	くずは RC	12月
原田 武夫	2回目	くずは RC	12月
佐藤 直博	1回目	大阪フレンド RC	12月
山本 富造	1回目	大阪フレンド RC	12月
山田 和義	4回目	大阪うつぼ RC	12月
奥澤 邦彦	3回目	大阪うつぼ RC	12月
村上 正人	3回目	大阪うつぼ RC	12月
大川 治	1回目	大阪うつぼ RC	12月
斉藤 隆二	2回目	大阪うつぼ RC	12月
東村 高良	1回目	大阪うつぼ RC	12月
竹内 寛	1回目	大阪柏原 RC	12月
岡村 政嗣	6回目	大阪柏原 RC	12月
植田 泰正	2回目	大阪柏原 RC	12月
田中 義男	4回目	大阪柏原 RC	12月
林 芳繁	4回目	大阪柏原 RC	12月
清水 英明	2回目	大阪北 RC	12月
大西 宏史	2回目	大阪北 RC	12月
吉矢 生人	2回目	大阪北 RC	12月
河田 一彦	2回目	大阪北 RC	12月
上島 一泰	1回目	大阪北 RC	12月
魚本 慶一郎	1回目	大阪北 RC	12月
古野 清賢	3回目	大阪北 RC	12月
田中 真人	1回目	大阪北 RC	12月
緒方 満	2回目	大阪北 RC	12月
廣田 元孝	2回目	大阪北 RC	12月

井上 亮一	3回目	大阪北 RC	12月
杉原 俊一	1回目	大阪北 RC	12月
大堅 敢	1回目	大阪北 RC	12月
片瀬 貴文	1回目	大阪北 RC	12月
岡田 徹	1回目	大阪北 RC	12月
古武 敏彦	1回目	大阪北 RC	12月
石田 豊司	3回目	大阪北 RC	12月
平川 恵一	5回目	大阪北 RC	12月
早嶋 茂	2回目	大阪 RC	12月
荒石 義一郎	3回目	大阪咲洲 RC	12月
中西 藤和	2回目	大阪梅田 RC	12月
竹田 伸	1回目	大阪難波 RC	12月
大地 庸元	3回目	大阪難波 RC	12月
田中 茂人	1回目	大阪北 RC	12月
大川 展功	1回目	大阪西南 RC	12月
今村 啓志	2回目	吹田江坂 RC	12月
長島 寛	2回目	吹田江坂 RC	12月
庄瀬 寛	1回目	吹田江坂 RC	12月
大井 清	2回目	吹田江坂 RC	12月
堀田 稔	2回目	吹田江坂 RC	12月
速見 憲	2回目	吹田江坂 RC	12月
田中 茂晴	2回目	吹田江坂 RC	12月
西山 俊明	2回目	吹田江坂 RC	12月
西村 義博	2回目	吹田江坂 RC	12月
植木 實	1回目	高槻東 RC	12月
川村 俊	3回目	高槻東 RC	12月
渡辺 一光	1回目	高槻東 RC	12月
石井 清隆	2回目	高槻東 RC	12月
高谷 敏雄	2回目	高槻東 RC	12月
福家 宏	6回目	八尾中央 RC	12月
山田 正雄	4回目	八尾中央 RC	12月
絹川 治	1回目	大阪 RC	12月
稲畑 勝太郎	2回目	大阪 RC	12月
石原 福造	1回目	大阪 RC	12月
塩野 秀作	2回目	大阪 RC	12月
河田 英子	1回目	大阪ユニバーサルシティ RC	12月
相原 正雄	6回目	千里メイプル RC	12月
岸上 億則	6回目	千里メイプル RC	12月
近藤 一弥	1回目	千里メイプル RC	12月
黒川 彰夫	4回目	千里メイプル RC	12月

松田 親男	3回目	千里メイプル RC	12月
村田 純子	3回目	千里メイプル RC	12月
中長 伸一	3回目	千里メイプル RC	12月
山田 克子	2回目	千里メイプル RC	12月
長尾 穰治	1回目	八尾東 RC	12月
井上 善博	1回目	東大阪みどり RC	12月
松浦 利英	1回目	東大阪みどり RC	12月
寺西 邦男	2回目	大阪本町 RC	12月
小湊 收	5回目	大阪梅田東 RC	12月
樋上 幸夫	2回目	摂津 RC	12月
和泉 慎次	2回目	摂津 RC	12月
門田 孝三郎	2回目	摂津 RC	12月
中川 廣司	5回目	摂津 RC	12月
西島 英信	2回目	摂津 RC	12月
柴田 仁	3回目	吹田 RC	12月
高津 昇	1回目	吹田 RC	12月
田辺 嘉穂	2回目	吹田 RC	12月
吉岡 諄二	2回目	吹田 RC	12月
石田 弑二	1回目	吹田 RC	12月
田坂 新一	1回目	大阪鶴見 RC	12月
菊井 康夫	2回目	大阪鶴見 RC	12月
越野 憲昭	2回目	高槻 RC	12月
秦 博文	1回目	豊中南 RC	12月
吉田 弘孝	3回目	豊中南 RC	12月
藤本 訓子	1回目	豊中南 RC	12月
上田 卓也	4回目	豊中南 RC	12月
坂本 憲治	4回目	八尾 RC	12月
横井 憲二	2回目	八尾 RC	12月
山本 昌市	2回目	八尾 RC	12月
中川 将	4回目	八尾 RC	12月
寺坂 哲之	4回目	八尾 RC	12月
橋本 雄司	5回目	八尾 RC	12月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。
(2011)

松永 賢一	大阪柏原 RC	12月
稲本 一夫	大阪梅田 RC	12月
田中 春次	高槻東 RC	12月
大橋 弘一	吹田 RC	12月
津本 清次	大阪一淀川 RC	12月

2012年1月度 会員数・出席報告

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	1 月末会 員数		入会者 数	退会者 数	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	IM組	クラブ名	7月期初 会員数	1 月末会 員数		入会者 数	退会者 数	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率		
			全員	女性									累計	累計						増減	数
IM第1組	池田	38	38	3	1	1	0	3	71.29	68.52	IM第5組	大阪中央	50	51	5	5	4	1	4	92.65	71.52
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	4	78.50	76.42		大阪堂島	30	33	1	4	1	3	3	84.37	82.29
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	84.85	81.95		大阪北	189	194	0	9	4	5	3	81.07	71.31
	箕面中央	23	24	0	2	1	1	3	90.20	88.60		大阪北梅田	49	51	3	3	1	2	3	75.16	67.32
	豊中	44	44	3	2	2	0	4	84.98	75.21		大阪西	71	70	0	2	3	-1	3	88.25	77.42
	豊中南	31	31	2	2	2	0	3	80.22	76.95		大阪大淀	53	55	0	4	2	2	3	81.41	78.21
	豊中-大阪国際空港	20	19	0	0	1	-1	3	65.50	65.50		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	4	88.91	75.00
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	3	90.71	83.94		大阪西北	54	56	0	4	2	2	4	92.26	83.47
	小計	247	247	13	9	9	0		80.78	77.14		大阪そねざき	34	38	24	6	2	4	3	95.61	88.47
IM第2組	茨木	26	26	5	1	1	0	3	94.45	86.11	大阪梅田	36	30	0	0	6	-6	4	81.41	74.32	
	茨木東	41	41	4	0	0	0	4	85.42	74.82	大阪梅田東	32	32	0	1	1	0	4	80.37	67.96	
	茨木西	29	28	6	0	1	-1	3	91.67	73.81	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	3	82.05	73.08	
	千里	38	36	0	2	4	-2	5	91.67	81.56	小計	661	673	41	39	27	12		85.29	75.86	
	千里メイプル	26	22	2	0	4	-4	4	88.64	77.27	大阪	258	270	0	18	6	12	4	71.61	55.15	
	摂津	38	40	0	2	0	2	4	94.16	84.22	大阪東	117	119	0	5	3	2	3	91.69	75.64	
	吹田	61	61	6	1	1	0	4	96.31	87.64	大阪東淀ちゃやまち	31	30	3	1	2	-1	4	86.63	75.94	
	吹田江坂	39	39	3	1	1	0	4	98.57	92.40	大阪城東	47	45	5	1	3	-2	3	87.10	77.17	
	吹田西	48	49	2	1	0	1	3	100.00	94.63	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	3	94.04	86.90	
	高槻	45	46	5	3	2	1	3	91.60	84.34	大阪大手前	38	38	3	1	1	0	4	84.03	81.38	
	高槻東	39	38	0	0	1	-1	4	94.06	94.06	大阪城北	55	53	2	0	2	-2	3	77.16	77.16	
	高槻西	23	23	0	1	1	0	3	97.10	76.82	大阪天満橋	67	66	0	1	2	-1	4	86.75	83.89	
小計	453	449	33	12	16	-4		93.64	83.97	大阪鶴見	32	35	0	3	0	3	4	80.52	68.84		
IM第3組	大東	43	45	0	4	2	2	4	100.00	94.83	大阪-淀川	34	33	2	1	2	-1	3	91.85	71.10	
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	3	85.72	71.62	新大阪	35	37	0	2	0	2	3	82.88	77.48	
	枚方	41	40	0	1	2	-1	4	93.77	82.04	小計	741	754	17	35	22	13		84.93	75.51	
	門真	30	33	4	3	0	3	4	93.18	85.61	大阪フレンド	12	20	3	8	0	8	3	91.40	77.72	
	交野	34	34	1	1	1	0	3	79.82	66.31	大阪本町	26	26	2	1	1	0	4	84.96	81.70	
	香里園	17	15	0	0	2	-2	3	95.55	88.89	大阪御堂筋	34	35	0	2	1	1	3	89.45	78.97	
	くずは	56	56	0	2	2	0	3	80.22	74.86	大阪南	132	141	0	12	3	9	4	84.71	73.25	
	守口	44	43	3	1	2	-1	3	79.79	67.96	大阪難波	44	42	0	1	3	-2	4	94.16	73.81	
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	4	80.77	68.27	大阪なにわ	28	26	2	1	3	-2	4	80.16	74.50	
	寝屋川	39	38	5	0	1	-1	4	91.89	81.55	大阪南西	16	17	3	1	0	1	3	93.17	90.95	
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	95.83	90.06	大阪西南	86	93	16	10	3	7	3	98.11	77.78	
小計	370	370	27	14	14	0		88.78	79.27	大阪船場	41	41	0	0	0	0	3	96.00	92.00		
IM第4組	東大阪	66	66	0	1	1	0	3	88.42	79.03	大阪心齋橋	38	38	0	1	1	0	3	95.37	84.52	
	東大阪中央	36	36	0	0	0	0	3	98.96	92.54	大阪うつぼ	33	34	4	2	1	1	4	96.57	86.14	
	東大阪東	64	60	4	4	8	-4	4	81.74	65.97	小計	490	513	30	39	16	23		91.28	81.03	
	東大阪みどり	27	26	1	2	3	-1	3	98.67	68.00	大阪平野	37	35	3	0	2	-2	3	91.17	81.37	
	東大阪西	35	34	0	0	1	-1	3	95.36	69.95	大阪イブニング	16	16	3	1	1	0	4	90.63	76.56	
	大阪柏原	30	29	2	0	1	-1	4	92.58	87.88	大阪城南	55	53	0	0	2	-2	4	99.51	89.88	
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	3	57.00	39.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	3	85.96	68.42	
	八尾	73	71	0	3	5	-2	3	96.68	65.75	大阪天王寺	60	59	0	0	1	-1	4	92.37	81.65	
	八尾中央	19	19	1	2	2	0	4	92.53	86.25	大阪帝塚山	58	58	4	3	3	0	3	81.84	73.08	
	八尾東	23	24	2	3	2	1	4	84.09	81.49	大阪東南	50	51	0	1	0	1	4	94.00	76.10	
	小計	390	382	16	15	23	-8		88.60	73.59	大阪アーバン	0	27	8	27	0	27	3	73.10	73.10	
小計	295	318	19	32	9	23		88.57	77.52	合計	83	3647	3706	196	195	136	59		87.7	78.0	

文庫通信 (293号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

- ◎「例会出席して、何を学ぶの？」 亀井義弘 2011 4p (我が心の原点、ロータリー)
- ◎「ロータリークラブの弱体化と対応策」 関口宗男 他編 2011 2p
(ロータリーの軌跡と展望及びロータリーの基本についての解説)
- ◎「SAAについて その1～4」 深川純一 2011 4p (純ちゃんのコーナー PartX)
- ◎「シェルドン登場」 田中毅 2011 4p (シェルドンの森 ロータリーの真実を求めて)
- ◎「ロータリーの危機」 田中毅 2011 13p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「ロータリー活動と意識についてーロータリー歴の長い会員と短い会員」 丹羽司一 2011 13p
(ロータリーに関する意識と活動についてーロータリーに未来を考える)
- ◎「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル 2011 10p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」 武笠和夫 2011 2p (社会教育No.783)
[上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎「職業奉仕の源 社是・社訓他」 宝塚中RC 2011 17p
[申込先：宝塚中RC FAX(0797)83-1110]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

田中成和 会員

(大阪帝塚山RC)

2012年1月6日逝去(享年76歳)

会長、理事、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長、クラブ広報委員長
職業奉仕委員長、会員増強委員長

米山功労者(マルチプル)

ポール・ハリス・フェロー

谷 勅行 会員

(池田くれはRC)

2012年2月6日逝去(享年66歳)

親睦活動委員会委員長、青少年奉仕委員会委員長

熊澤忠躬 会員

(守口RC)

2012年2月9日逝去(享年86歳)

ガバナー(1995~1996年度)

会長、ロータリー財団委員長、職業奉仕委員長、クラブ奉仕委員長、国際奉仕委員長
地区社会奉仕委員会顧問、地区米山奨学部門顧問、諮問委員会委員

2004年国際大会医療部会部会長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

●大阪そねざきRC 事務局メールアドレス変更のお知らせ

メール：(現) k_kawanami803@west.jtb.jp (2012年1月31日限り)

メール：(新) kazuyuki_kawanami@jtb.co.jp (2012年2月1日以降)

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	納多	寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2012年8月11日(土)～16日(木)
年末年始
2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

4 vol.10



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



4 vol.10

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

雑誌月間に寄せて	1
雑誌月間にちなんで/会長とロータリーの友	2
2011～2012年度 IM第4組報告	3
2011～2012年度 IM第5組報告	4
米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト報告	5
2011～2012年度 第2660地区 DDFシェア会議報告	6
第2回 クラブ社会奉仕委員長会議を終えて	9
熊澤忠躬パスト・ガバナーを偲んで	10
災害支援プロジェクト報告（第10回）	12
米山奨学委員会／ロータリー財団	14
2012年2月度 会員数・出席報告	15
文庫通信	16
敬弔／お知らせ	



4月はロータリー雑誌月間です。

ロータリーの特別月間は、8月は会員増強および拡大月間、9月は新世代のための月間、10月は職業奉仕月間および米山月間、11月はロータリー財団月間、12月は家族月間、1月はロータリー理解推進月間、2月は世界理解月間、3月は識字率向上月間、4月が雑誌月間、6月はロータリー親睦活動月間となっています。4月が何故、雑誌月間なのでしょう。か…。「ロータリー活動と雑誌との関わりは何なのでしょう」という疑問を抱くロータリアンは多いのではないのでしょうか。さらに4月はRIの公式機関誌である「THE ROTARIAN」の購読と世界31の地域雑誌の購読および活用促進に役立つプログラムを実施するように定められた月間でもあります。それはロータリーの情報の普及を図ることをも目的としています。地域内クラブは、この月間中に雑誌に関するプログラムを実施することを要請されています。

ここで公式機関誌である「THE ROTARIAN」の歴史を見てみましょう。

1911年1月25日チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された「ザ・ナショナル・ロータリアン」（1912年に「ザ・ロータリアン」に改称）の発行日を記念して、当初1月25日を含む1週間が雑誌週間と決められていました。当初の出版費は、ロサンゼルス「カリフォルニア・ダチョウの羽毛を直接あなたに」という仲介業者を通さない販売をうたい文句にした会社など4社の広告費で賄いました。

6ヶ月後、各RCからのニュースを扱う「クラブ会長のコーナー」などを設け、広告も20件以上になり、チェスリー・ペリー編集長も継続出版に自信を得、購読料として年間25セントを徴収することとなりました。

1912年米国ミネソタ州ダルスで開催された第3回RI国際大会で今日の名称「ザ・ロータリアン＝THE ROTARIAN」に改称され、当時のグレン・

ミードRI会長は「われわれの雑誌は、誰でも読む興味を抱かせる一般の出来事などの記事も掲載すべきだ」と、早くも広報誌の役割を期待していたことがうかがえます。

90年後の今も“実験”は依然として進行中です。当初12ページのタブロイド判が今では最新デジタル・テクノロジーを駆使した56～64ページの月刊誌となっているのです。購読者も当初は、米国とカナダを合わせて3,000人でしたが、今は約50万人の人達に購読されています。

「ザ・ロータリアン」は、英語だけの出版ですが、地域のクラブプロジェクトに関心を持つロータリアンのために、22の言語で出版されている30の地域雑誌がそれぞれの地域をカバーしています。

また「THE ROTARIAN」の優れた論説には定評があります。17人のノーベル賞受賞者と19人のピューリッツァー賞受賞者が寄稿していますし、個々のクラブ会員向けの唯一のロータリー出版物で、RI政策、プログラム、理事会決定事項など公式のニュースを掲載しています。

<以上、ロータリーの友2003年4月号より>

次に2010年手続要覧の「ロータリークラブ定款」第14条ロータリーの雑誌において、各会員は会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認並びに指定されている地域的なロータリー雑誌（日本では「ロータリーの友」）を購読しなければならないとされています。

なお、この地域雑誌として認定されるための要件および雑誌月間が1月から4月になった経緯については大谷パスト・ガバナーがガバナー月信2010.VOL.10「雑誌月間によせて」の記事に記載されていますので、興味のある方はご一読下さい。

この雑誌月間に改めて「ロータリーの友」を読破するのもいい機会ではないでしょうか。

雑誌月間にちなんで 会長とロータリーの友

ロータリーの友

地区代表委員 上 敏郎 (大阪城南RC)



4月はロータリーの雑誌月間です。この月間は、ロータリーの雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

「ロータリーの友」は日本のロータリーが2地区に分割されたとき、分割後もお互いのことを知っていたという思いから両地区共通の雑誌として発刊が決まりました。創刊号は1953年1月号で横組みでした。その後現在のようにヨコ組タテ組に分かれた編集になったのは1972年1月号からです。そして、1980年7月からRIの公式地域雑誌に承認され今日に至っています。横組みにはRIの指定記事、特別月間の特集などロータリーの地域雑誌としての公式的な記事が中心です。縦組みには日本のロータリアンのコミュニケーションに役立つ記事が掲載されています。横組み巻頭には、RI会長のメッセージが毎月掲載されています。価格は210円、3月号の発行部数は9万6千部です。

ロータリアンの三大義務の一つに雑誌の講読があります。日本のロータリアンは会員の身分を保持する限り、「ロータリーの友」を購読する義務を負っています。しかし入会するとき「友誌」の支払いは了承しましたが、必読であるという説明が不十分であったのか、あまり読まれていないようです。そしてそれを問題にする意識も低いと感じています。

雑誌月間には、友について考え、友を有効に活用することについてご協力をお願いします。

まず、会長から、「ロータリーの友」を読むことは会員の義務であることを、あらためてお話いただきたいと思います。

雑誌月間中に会長から「友」についてなんでも結構です日ごろの感想でも話していただけませんか。併せて雑誌月間以外の特別月間には、担当の委員長から

「友」に特集された記事の紹介を是非お願いします。「友」の掲載記事をテーマにフォーラムを企画もご検討いただきたく思います。「友」が会員の情報の機軸になることでRIの方針や特別月間についての理解も深まりクラブの活性化につながると思います。

「友」についてこれまでのように雑誌委員長任せから、クラブの会長・幹事それに各委員長も分担していただき、例会で「友」に掲載された記事の内容について機会あるごとに取り上げていただくようお願いいたします。時には先輩からの解説も加えていただければ、入会の浅い会員にはより理解が深まると思います。

皆さんで分担していただいた分、雑誌委員長は自クラブの活動状況や、「友」に対する会員の意見や提言などの収集により時間を割いて下さい。「友」の編集部もそれを歓迎していると思います。

会長が例会で「今月の友には…」と話していただくことで、会員の「友」への関心は変化すると思います。「見直しを進め、新たな第一歩を」は、本年度のガバナー方針です。クラブ会長はじめ役員の方々のご理解とご協力をお願いします。

友の豆知識

- RI指定記事というロゴ付の原稿があります。これはThe Rotarianの記事で、指定されたものを翻訳して掲載しています。これは義務付けられています。
- 会員以外向けの広報誌として「Rotary 世界と日本」を発行しています。10冊で525円です。
- 会員勧誘用の広報誌としては、「Rotary あなたも新しい風に」を発行しています。5冊420円です。
- ロータリーの友編集委員会の名称が変わります。編集という文字を削除して、「ロータリーの友委員会」に変わるようです。

2011~2012年度 IM第4組報告

八尾中央 RC 会長 大橋 生佳
I.M. 実行委員会 委員長 吉村 清明

テーマ：「幸せに生きる」

場 所：シェラトン都ホテル大阪4階 浪速の間

開催日：2012年2月4日（土）13時30分～18時30分

参加クラブ：東大阪RC/東大阪東RC/東大阪中央RC/東大阪西RC/東大阪みどりRC/八尾RC/大阪柏原RC/八尾東RC/
大阪ネクストRC/八尾中央RC

参加者数：226名（登録会員総数390名）

2月4日IM第4組インターシティーミーティング開催に皆様方のご協力に感謝致します。

本年度のRIのテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」、更に3つの強調事項として「家族・継続・変化」であり、又、岡部ガバナーの地区テーマ「見直しをすすめ、新たな第一歩を」であります。そこで、RIと地区テーマに沿い、今回は、障がい者理解の少ない日本社会で「知的発達障がい」を負い、自己主張の機会や他人から評価を受けることの少ない人達の、心の中を見つめ、人々は「何が本当に幸せなのか」「心の豊かさ・安らぎ」とはなんだろうか。又、障がいをもちながらも逞しく生きる姿に私達は本当に理解しているだろうか。そこで素直なテーマとして「幸せに生きる」とは何かを考えることと致しました。なお、今回はSOへの寄付、著書購入に多くのご協力有難う御座いました。

基調講演は、細川佳代子様に「スペシャルオリンピックス（SO）の魅力」～可能性への挑戦～をテーマでご講演をいただき、この（SO）とは、知的発達障がい者による世界規模のスポーツの祭典。発祥の地アメリカではパラリンピックを凌ぐ95%の認知度があり、世界大会には各国や地域から数千人規模のアスリートとボランティア達、著名人らが集い、共に生きる喜びを謳歌します。2005年2月、この第8回冬季世界大会が長野で開催されました。

ケネディ家の秘密から端を発した、この（SO）の真実とその感動的な姿と意義、それを支える人達の奮闘を映像で紹介され素晴らしい感動を与えていただきました。

細川様は「知的発達障がいの有る人達が人口の2%前後生まれてくるのは、その子の周りの人達に優しさ、思いやりを教える為に神様から与えられた贈り物。彼らが幸せになるか不幸になるかは、周りの人達の理解とサポート次第です」。この話を聞きショックと驚きが（SO）活動の原点。行政、関係福祉団体から無視され、障がい者理解の少ない日本社会でボランティアによる活動で全国に普及することは至難の業。反対意見、批判、中傷、悲観論、慎重論と冬季世界大会が長野での誘致までは孤独との戦いでしたが、同時に素晴らしい自己実現との出遭いの旅でした。アテネでの点火から500万人のトーチランのおかげで全国に活動の輪が広がり、開催地長野の皆さんの真摯な努力と情熱により大成功に終わりました。この活動を通じて、人間の尊厳、生きるということ、幸せとは、そして人として一番大切なことは何かを学ぶことが出来ました。

パネルディスカッションのテーマ「幸せに生きる」で進めました。

パネリスト 生田神社宮司（第2680地区パスト・ガバナー）加藤隆久氏

パネリスト 社会福祉法人 日本ライトハイス専務理事 橋本照夫氏

パネリスト 第2660地区 ロータリー財団委員長（内科医）福家 宏氏

コーディネーター 美原病院名誉院長（精神科医） 柳 雄二氏

加藤氏：「神道とは幸せを分かち合う喜びを求める生き方」であり、人間として正しく生きていくことを追求する信仰で、「幸せに生きる」ためには、支えあい等共同体的側面、鎮守の森の持つ価値観や力、役割分担や助け合い等、生きがいの側面、思いやり・感謝やおそれ・救いの文化・多世代交流である。

橋本氏：社会の障害者や健常者などすべての人々が助け合い、手を携えて一緒に歩み、一緒に生きる社会の実現が大切。一人ひとりの人権が尊重され、その人らしい人生を送ることが出来れば、人は幸せを感じる。盲導犬を提供し、自分の意思で「行きたいところへ行けるよう」手助けしている。

福家氏：ロータリーのポリオ撲滅活動はRIが途上国や紛争地域で始め、WHOなどと共同活動を展開。2006年には4カ国のみとなる。2008年以降ゲイツ財団が総額4億500万ドルをロータリーに託し、ロータリアンはこれに応え2億ドルを集める活動を開始。ポリオは残り1%まで減少。インドは過去1年間で発症0を記録した。

柳 氏：昨年、国家戦略相は、国民の幸福度指標を発表「心の幸福感が基本」又「経済・健康・社会」との関連性の3つの指標を取り上げ、困っている人々を助けることとなった。昨年、ブータン国王の来日で国民総生産より国民総幸福度を重視するとの表明が出された。健康、長寿は幸せの大きな1つの条件だが、健康とは言えなくとも、その人らしく生きていれば、幸せに生きていると言うことになるのでしょうか。

ご参加の皆様方もそれぞれの感じ方をされたと思います。そのことが何かの形でお役に立てば幸いです。



2011～2012年度 IM第5組報告

大阪梅田 RC 会長 稲本 一夫
I.M. 実行委員会 委員長 秋元 延介

テーマ：「若い」－認知症と長寿社会－

ホスト：大阪梅田RC

日時：2012年2月18日（土）12：30～18：00

場所：新阪急ホテル

参加者：岡部泰鑑G・大森慈祥PG・神崎茂PG・横山
守雄PG・大谷透PG・松本新太郎PG・森康次
IM第5組G補佐・丹羽健二IM第7組G補佐・
IM第5組各RCメンバー・大阪難波RCメン
バー

出席者数：199名

日本の高齢化は世界でも類のない速さで進み、認知症は年齢とともに増加し65歳以上では、患者数は200万人（8%）を数えます。今年度のRIの強調事項のひとつである「家族」を中心に、患者をどのように支え、命の尊厳を失わずに最後まで生きるにはどうしたらよいかを考えることにしました。

関根友実さん（元朝日放送アナウンサー）の総合司会で、まず基調講演「認知症の予防、治療、療養最前線」を長尾クリニック院長、関西国際大学客員教授 長尾和宏氏が話されました。認知症には初期、中等度期、高度期があり、高度認知症になると着衣の選択ができなくなる、最近では糖尿病性認知症が増えている…と解説されました。早期発見、早期治療

が大切なこと、治療にはアリセプトが用いられますが、進行を遅らせる薬であって、新しい薬も出ていますが、まだ根治薬はありません。認知症の中核症状は最近のことを忘れることで、食事をしたことを忘れ、食べ過ぎて糖尿病になることもあります。周辺症状は徘徊や憂鬱症で、妄想で暴言を吐いて周囲の人たちを困らせます。認知症の人は最後には食べられなくなります。日本ではいま40万人の胃瘻造設患者がいますが、安易に胃瘻を選ぶべきではありません。認知症には医師とケアマネージャーが連携せねばならないと結ばれました。

パネルディスカッションでは熊田梨恵さん（ジャーナリスト・社会福祉士）から介護のなまなましい体験が紹介され、丸尾多重子さん（つどい場さくらちゃん理事長）から高齢者の住める環境と介護するひとの精神的安定が必要であること、相原克偉氏（大阪梅田RC会員・歯科医）から口腔機能維持の大切さと、認知症早期に名前入りの義歯を作るなど具体的な提案もありました。終了後の交流会では、講師と出席者の盛んな交流が見られました。

今回の催しはパネリストと聴衆が一体化し、非常に有益であったとガバナー以下出席者からの高い評価に満足しています。



米山奨学生ふれあい スピーチコンテスト報告

米山奨学委員会

委員長 武島秀吉 (大阪御堂筋 RC)

日時：2012年2月18日(土) 14:00～16:00

場所：大阪国際交流センター

参加者：【審査員】近藤 R I 理事、高島 G E、福家 G N、境代表幹事、武島委員長、林芳 (東京米山友愛 RC)、
朴学友会会長 (以上7名)

田中、西谷、吉田各副委員長、小山、河内、福田、西邨、近藤各委員

参加者 60名

昨年から始まったスピーチコンテスト。今回は、奨学生のスピーチはもちろんのこと、各クラブが奨学生にどの様に対応していたかを表現する場として、クラブの時間も用意してみました。

と言いますのも、クラブによって、米山奨学生に対する想いも色とりどりあると思われるので、その辺りも見てみたかった訳であります。

結果、皆さんそれぞれに工夫をして、奨学生の為に動いていただいている事が解り、嬉しくなっておりました。なかでも、この度スピーチで優勝された大阪なにわRCの張 夏荷さんのスピーチには、クラブの方の熱い想いが込められておりました。クラブのカウンセラーさん中心で、張さんの誕生日に、彼女の誕生年のお札硬貨を探し出してプレゼントをするという、お洒落なもの。とても、おっちゃんロータリアンが考えた様には思えない、素敵なプレゼントでした。

張さんも、クラブメンバーの気持ちをシッカリ受けとめ、心からの感謝で、スピーチされている姿に会場の皆が感動しました。

これからも、こんな素晴らしい話が各クラブで聞ける事を願ってやみません。

- | | |
|-------|---|
| ◆最優秀賞 | 張 夏荷 (中国) 「米山奨学生として感じたこと」
大阪市立大学修士課程 世話クラブ：大阪なにわRC |
| ◆優秀賞 | ユオン・バン・ビン (ベトナム) 「私の人生目標」
大阪大学大学院博士課程 世話クラブ：池田RC |
| ◆特別賞 | タイ・ジャコ・アンナ (シンガポール) 「日本留学の成果」
大阪大学大学院博士課程 世話クラブ：大阪城南RC |
| ◆特別賞 | 孫 宏亮 (中国) 「花火が咲いた時」
大阪ハイテクノロジー専門学校 世話クラブ：大阪東淀ちゃやまちRC |



2011~2012年度 第2660地区 DDFシェア会議報告

ロータリー財団委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

日時：2012年2月9日(木)

場所：G事務所会議室

出席者：岡部泰鑑G、ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、高島凱夫GE、宮里唯子次年度地区財団FVP委員長、古澤照明地区国際奉仕・WCS委員長、川上大雄地区社会奉仕委員長、福家宏地区財団委員長、溝畑正信地区財団副委員長、杉村雅之地区財団情報・増進委員長、川田隆地区財団人道的補助金委員長、牧尾晴喜地区財団奨学金・学友委員長、小林哲次年度地区国際奉仕・WCS委員長、初木賢司次年度地区社会奉仕委員長、吉川仁育次年度地区財団人道的補助金委員長、北埜登次年度地区財団奨学金・学友委員長、田中義久次年度地区研究グループ交換委員長、村橋義晃2012-13年度地区代表幹事、山田正雄2013-14年度地区代表幹事

シェア・システムShare System ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF（地区財団活動資金）、50%がWF（国際財団活動資金）に配分され、地区/クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらにDDFとWFには通常は恒久基金の投資収益の50%が加算されます。このような仕組みをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議 2013年-2014年度に配分される新規DDFは2010-11年度の年次寄付と恒久基金投資収益、それぞれの50%です。この金額のさらに50%が新地区補助金となります。残りの50%に前年度（2012-13年度）の繰越金を加えた合計金額が2013-14年度に新地区補助金以外の部分で利用可能なDDFということになります。2年先の2013-14年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するかを決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が開催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会からご帰国されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分について協議し、決定を致します。

次々年度のDDF配分額 2010-2011年度の年次寄付

の50%は358,960.48ドル。（これに恒久基金の利息の50%が付加されますが、金額が未報告）新地区補助金の授与額は恒久基金の利息の50%を加えるとほぼ18万ドル程度になるものと考えられます。新地区補助金以外に配分可能なDDFは2012-2013年度の繰越金額106,274.41ドルを加算しますと、29万ドル程度と予測されます。

岡部G 今回のDDFシェア会議はFVPの実施年度のDDF配分を決定するという重要な会議となりますが、この会議が有意義なものとなることを期待致します。

高島GE 1月14日に出発し、16日～21日まで国際協議会に参加してきました。田中作次氏が日本人で30年ぶりのRI会長エレクトとなられ、開会の国歌は米国、インドの国歌に続き「君が代」となりましたのでカ一杯歌いました。田中作次次年度RI会長のテーマはPeace through Service「奉仕を通じて平和を」です。以下、田中会長エレクトは次のようなメッセージを寄せられました。『この平和は戦争に対する平和闘争と言うようなことでは無く、一人一人が穏やかな心で奉仕することで平和を築いて欲しいというコンセプトです。日本人には自分よりも他人のニーズを優先するという優しい心があり、この心を生かして奉仕を実践しましょう』『次年度はベルリンとホノルル、広島で平和フォーラムを開催します』とのことで、特に若い人々の多数の参加を求めておられます。会員増強についてもお話があり、日本のロータリアンの減少をカルヤン・バナジー会長とともに憂いておられ、2015年には世界のロータリアンを130万人にまで増やしたいとのご意向を示されました。

ポリオ撲滅関連について①ロータリー2億ドルのチャレンジは1月中に2億620万ドルに達したこと②ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がこれにこえて5,000万ドルの追加補助金を拠出したこと③インドで昨年1月13日以後、ポリオの新規発症ゼロが記録されたことをご報告されました。

DDF配分協議 溝畑次年度地区財団委員長、宮里次年度地区財団FVP委員長、財団部門地区4委員会各委員長（GSE委員会は副委員長）、及び古澤地区国際奉仕・WCS委員長、川上地区社会奉仕委員長から、それぞれ今年度の実績を踏まえて、次々年度のDDF配分について意見が述べられました。

①地区もクラブもチームを組んでFVPを推進しては

どうか

- ②クラブ財団委員長の役割は寄付金集めではなく、財団プログラム推進と並行すべき
- ③地区財団部門各委員会がこれまで積み上げて来た経験的知識は豊富で、これを是非とも生かして、あまり臆することなく当地区が国内でリーダーシップを発揮出来るくらいのことを考えて欲しい
- ④地区国際奉仕・WCS委員会、地区社会奉仕委員会、地区財団人道的補助金委員会は地区財団FVP委員会と情報を共有し、コンセンサスを基に協力し合いながら活動することが必要
- ⑤新地区補助金の配分ルールは、1人当たりの年次寄付額により按分するという考え方も必要
- ⑥人道的プログラムについては着手し易いが、奨学金、職業研修については一定のルール作りが課題
- ⑦月に1回程度、地区財団FVP委員会と財団部門、奉仕部門委員会は合同委員会の開催が必要
- ⑧地区としてFVPに向けて進行のスケジュールを早期決定すべき
- ⑨奨学金については問題山積。新地区補助金利用の奨学金の場合、地区で選考した奨学生とクラブ主導でクラブが選考した奨学生の間での整合性の問題は簡単ではない。地区財団奨学金・学友委員会単独では何も決定出来ない
- ⑩地区財団人道的補助金委員会としては次年度地区補助金は既定の通り56,000ドル、次々年度は16万ドル程度を考えている
- ⑪地区国際奉仕・WCS委員会としてはクラブに予算規模の大きなプロジェクトを立案してもらい、FVPに繋げていきたい
- ⑫今後も東日本震災復興支援を積極的に進めたい。支援方法については十分検討する

横山PG（財団部門顧問） 今年度、次年度の活動やDDF配分はよしとして、今日は次々年度をどうするかということが重要です。パイロット地区であるD2690の鳥居滋地区財団委員長は今年度国際協議会の研修リーダーを務められた方ですが、鳥居氏は『グローバル補助金の利用は現段階では困難と言わざるを得ない。地区やクラブに海外プロジェクトの企画力と交渉力を兼ね備えたロータリアンが居ないことにはロータリー財団のコーディネーターと交渉を進めるのは容易ではない』『従来の

マッチング・グラントとは比較出来ないほど提案から申請、承認、事後監査のプロセスが困難』と言われています。D2690では慎重を期して当面は地区内プロジェクトを中心に新地区補助金利用を主に活動されるとのことです。当地区もこれから先、パイロット地区の様子をよく検討しながら進めていくという慎重姿勢が必要でしょう。

福家地区財団委員長 例年であれば1月末から2月の初めには、ロータリー財団より次々年度当地区の利用可能なDDFのデータがシェア・キットとして送付されてきますが、今年は6月になるらしく詳細な金額は不明のままの会議となりました。さらに、今後FVP実施までに制度に変更が加えられる可能性を含めて不確定要素が大きいため、今回は2013-2014年度のDDF配分の実数については寄贈分野のみを決定するに留まりました。従来のように、地区補助金に何ドル、マッチング・グラントのためのDDFに何ドル、奨学金に何ドルという配分を決定してしまうと、後に変更を迫られることになり、却って混乱を招くので得策ではないという判断もありました。

寄贈分野については、平和フェローに25,000ドル、ポリオ・プラスに40,000ドルと決定致しました。

横山顧問PGより

- ①岡部年度基本方針を評価
- ②2012-2013年度DDFシェアについては高島GNの方針を尊重すべき
- ③未来の夢計画を見据えてDDF配分を考慮すべき
- ④DDFが十分利用できていないまま、次年度への繰越額が多くなっている現実を考慮してDDFをもっと有効に利用して個々のロータリアンの負担が増えないようにすべきなどのコメントを頂きました。

DDF配分額決定 これまでの協議に基づき、2012-13年度のDDFの配分額が決定されました。結果は、P8表の通りです。

高島GNより 2012-13年度について漠然としたアイデアは持っているが、今後検討を重ねて色々なプランをそれぞれ明確にしていきたいと考えている。上記の通り今年度DDFシェア会議では活発な意見交換がなされ、実りある会議となりました。

D-2660 DDFバランスシート

2012年2月9日シェア会議

ロータリー財団委員会

単位: US\$

	2011-12年度予算	2012-13年度予算	2013-14年度予算
前年度DDF繰越額	194,577.46	162,635.49	106,274.41
TRF新規DDF配分額	279,558.03	280,138.92	358,960.48
DDF利用可能総額	474,135.49	442,774.41	465,234.89

配分・分野	2011-12年度予算		使用見込み		2012-13年度予算		使用見込み		2013-14年度予算		使用見込み	
〈人道的分野〉	〈新地区補助金〉\$180,000.00											
地区補助金	50,000		55,000		56,000		56,000		人道部門			
WCS MG	65,000		65,000		100,000		100,000		奨学金			
〈教育的分野〉	奨学生@26,000				奨学生@27,000				VTT*			
国際親善奨学生	8名	208,000	3名	78,000	7名	189,000	4名	108,000	合計①			
〈プログラム強化〉	〈1/2DDF+50%PFE+前年度繰越金〉											
GSE語学研修	2,500		2,500		2,500		2,500		GG*用			
GSE派遣					5,000		5,000		奨学金			
〈寄贈分野〉	VTT*											
ロータリー平和フェロー	0		25,000		25,000		25,000		〈寄贈分野〉			
ポリオ・プラス	86,000		86,000		40,000		40,000		平和フェロー	25,000		
分野別・配分総額	411,500		311,500		417,500		336,500		ポリオ・プラス	40,000		
次年度への繰越予定額	62,635.49		162,635.49		25,274.41		106,274.41		その他	0		
										合計②	65,000	
										配分総額	65,000	
										次年度への繰越額(予定)	400,234.89	

* VTT = Vocational Training Team (職業研修チーム)

* PFE = Permanent Fund Earnings (恒久基金収益)

* GG = Global Grants (グローバル補助金)

第2回 クラブ社会奉仕委員長会議を終えて

社会奉仕委員会

委員長 **川上大雄** (大阪ユニバーサルシティRC)

2012年2月4日(土)、薬業年金会館において第2回クラブ社会奉仕委員長会議を開催しました。

本年度は岡部Gの東日本災害支援を地区として全力を挙げて行うという号令のもと、災害支援プロジェクトを立ち上げられ、この半期を経て、どんな成果が災害プロジェクトを通してあったのか、また、今後の問題点などを上半期の報告と下半期の取り組みとして、岡部G、災害支援プロジェクト井上委員長よりお話していただき、また、実際にどのような支援を具体的にしたかを映像・資料をまじえ、くずはRC、交野RC、大阪リバーサイドRCよりご報告いただきました。その他のプロジェクトはガバナー月信vol.7での井上委員長の災害支援プロジェクト報告(第7回)をご参照いただければと思います。また、財団法人道的補助金委員会より川田委員長に財団法人道的補助金の上半期実績と今後の取り組みについてお話いただきました。

さて、当地区社会奉仕委員会としてはこの災害プロジェクトをバックアップすべく“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンを繰り広げさせていただいております。本当に数多くのクラブ、ロータリアンの皆様に東北に出向いていただき、東北の各クラブ

にメイクアップしていただきましたこと、改めて御礼申し上げます。最初、やはり、顔が見えない状況とテレビで見ているだけではわからない被害の甚大さを目の当たりにし、東北の各クラブの方々との話を通して、今何をすべきかが見えてきたと思います。

また、当委員会と第2520地区災害支援特別委員会との合同会議を仙台にてさせていただいた時にも、大阪の人達が、そこまで東北の事を考えてくれたのかと、顔と顔とがわかるロータリーの絆を改めて感じた次第であります。

被災地では内陸部においては、ある程度の復興が落ち着いていますが、沿岸部、福島原発などのエリアでは全てが遅々と進んでいない状況にあります。また、支援の内容も震災直後の緊急的なものから、メンタルケア、雇用の問題等、非常にデリケート且つ難しい問題に直面しております。本当の復興はまだまだこれからであり、我々ロータリアンとしてやれるべきこと、やらなければならないことが、いっぱいあると思います。

どうか、各クラブにおいても、今後もどのような取り組みをすべきかを、引き続きご検討いただきたいと思います。



熊澤忠躬パスト・ガバナーを 偲んで

2010~2011年度IM第3組
ガバナー補佐 西原房三(守口RC)

2012年2月9日、多くのロータリアンから敬愛された熊澤PGが、86歳の生涯を終えられました。

1993年守口RCからガバナーを出す事が決定的となり、熊澤先生が苦渋の決断だったと思いますが、引受けられました。当時のG事務所は弁天町にありガバナーが代わると一代毎に事務局も代わるので、守口RCの事務員が出向しました。

地区代表幹事になられた小西豊和氏、1994年当時会長の私共々、全会員にとって初めての経験でしたが、一丸となって勉強しサポートしました。この時ほどクラブ全体が盛り上がった事はありません。

熊澤PGは地区の予算編成他諸問題を的確に把握され改善に努められ、阪神淡路大震災では震災遺児里親制度を立ち上げられました。

1986年会長時、10数名の第5次守口RCフィリピンネグロス島医療奉仕団団長として行かれ、当時まだゲリラ活動の活発な地域でしたが、無事大任を果たされました。

同年、比国アキノ大統領来日歓迎午餐会に日比友好功労者の一人として当時の中曽根康弘首相より官邸に招かれた事が新聞に報道されました。

PGになられてからは、一ロータリアンに徹し会員間の調和に気配りされ、例会でも酒席でも気さくな先輩として全会員に慕われる存在でした。熊澤PGに一番身近におられた小西豊和地区代表幹事に思い出をお聞きしましたところ、熊澤PGは医学者であると同時に政治家と経営者の素質を兼備されている方でした。氏は陸軍士官学校卒だけあって抜群の統率力を持たれていました。趣味のゴルフ、読書、麻雀、又嗜好は酒、タバコで、小料理屋のカウンターに座り、杯を重ねる程にタバコをふかしながら、呵々大笑いする氏は周囲に楽しい雰囲気醸し出されていた様子が今でも目に浮かびます。又、考えついた事はすぐに発表し、且つ行動される方で、財政困難であった地区会計を一に増強、二に増強と拡大に努め、次期に引き継ぎの時には多大な繰越金を残し財政の基盤を立て直したのは熊澤Gの獅子奮迅の働きぶりを如実に物語っています。走り出したら止まらないガバナーに暴れん坊将軍と名付けておりました。まさに巨星墜つる感に胸の痛みを覚えていますと、語ってくれました。

熊澤PG、安らかにお眠り下さい。

熊澤忠躬会員



熊澤忠躬パスト・ガバナー

生年月日	1925年 8月10日	
学歴	1950年 3月	京都大学医学部卒業
	1957年10月	医学博士授与
職歴	1951年11月	京都大学医学部耳鼻咽喉科学教室助手
	1956年 5月	高知市民病院耳鼻咽喉科部長
	1958年 4月	関西医科大学耳鼻咽喉科学教室助教授
	1967年 8月~1968年12月	西独ヴェルツブルグ大学ヘアレキサンダーフンボルト 奨学生として講師待遇にて留学
	1972年 3月	関西医科大学耳鼻咽喉科学教室教授
	1993年 4月	関西医科大学名誉教授
賞	1985年 5月	第3回国際フィルムフェスティバルにて銅賞
	1991年 5月	第5回滲出性中耳炎国際シンポジウム(米国フロリダ)にて“Guest of Honor”を受賞
	1992年11月	北京長城病院耳鼻咽喉科名誉教授
学会等役職	1971年~	日本耳鼻咽喉科学会評議員
	1982年~1987年	日本耳鼻咽喉科学会理事
	1989年 5月	第90回日本耳鼻咽喉科学会総会会長
ロータリー歴	1977年 2月 9日	守口RC入会
	1986~1987年度	守口RC会長
	1995~1996年度	第2660地区ガバナー
	1996年~	第2660地区諮問委員会委員
	2002~2003年度	第2660地区社会奉仕委員会顧問
	2003~2004年度	第2660地区米山奨学部顧問
	2003~2004年度	2004年国際大会医療部会部会長

熊澤忠躬パスト・ガバナーを 偲んで

国際ロータリー第2660地区
ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島 RC)

先生、お前か！とおっしゃらないで下さいね。2月10日の諮問委員会で、告别式での弔辞の話が出まして、パスト・ガバナーの皆様が、それは高島が一番適任だ、と言うことになり、若輩の私がここに立っています。

熊澤先生との最初の出会いは、先生が西ドイツ・ビルツブルグ・ウルシュタイン教授のもとからご帰国になられた頃、私が関西医大5回生の頃かと記憶しています。

それから44年、関西医大耳鼻咽喉科教室、ロータリーで本当にお世話様になりました。特に、熊澤教室創設の頃、先生から第1号の学位を頂戴いたしました。また、2年数ヶ月に及ぶ西ドイツ・ハンブルクへの留学にも行かせていただき、今も楽しい思い出として、家族で話をするのがしばしばあります。2012～2013年度のロータリー研究グループ交換は、そのハンブルク地域第1890地区と行われることが決まっています。

教室での先生との思い出を語り始めると、いくら時間があっても足りません。現在のロータリーでの立場も、先生と横山守雄パスト・ガバナーのご推挙によるものです。

熊澤パスト・ガバナーは、1977年2月に守口ロータリークラブにご入会になられました。チャーターメンバーでいらした、関西医大 岡宗夫元理事長兼学長が、大学をお辞めになるときに、守口市と大学とのパイプ役に、とパスト・ガバナーが引っ張り出されたようです。守口ロータリークラブ創立50周年記念誌を拝読していると、ご入会当時はあまり熱心なロータリアンではなかったようです。ある時「ロータリーの究極の目的は、世界平和である」ということに気づき、共鳴を受けた、とお書きになっています。次年度、30年ぶりの日本人国際ロータリー会長 田中作次さんは「奉仕を通じて平和を」をRIのテーマとされました。パスト・ガバナーがお聞きになったら「我が意を得たり」といろいろお教をいただけたと思います。それを機に奉仕活動に邁進され、フィリピン・ネグロス島への医療奉仕活動、地区委員会への参加などを経て、1995年7月にRI第2660地区ガバナーにご就任されました。ガバナー任期中は、その年の1月に発生した阪神淡路大震災で両親を亡くした子供たちの里親制度を実施されまし

た。その子供たちのほとんどが成人を迎え、昨年最後の一人が昨年成人を迎えたと聞いています。チャリティコンサートも開催されました。

自宅が極々近くということで、何かの会合の折には、樟葉までよく一緒に帰らせていただきました。その車中、大学のこと、ロータリーのことなど、本当にいろいろなことをお教いただきました。しかし、まさか今の立場になるとは思いませんでしたので少し忘れていたこともあります。お教を守りながら、ガバナー年度、人生を乗り切ろうと思いません。「いったじゃろうが！」とお叱りの声が聞こえてくるような気がします…。

昨年11月の関西医大耳鼻咽喉科学教室 開講80周年記念式典の頃、少し体調を崩された折、パスト・ガバナーらしからぬお手紙をいただき「キッと目を見据えて物事に立ち向かう先生の方が良いですよ」と申しあげましたところ「大丈夫、しばらく休んだので、気が湧いてきた」とのお返事をいただき、また12月の地区諮問委員会にもご出席され、お酒も召し上がっていらしたので少し安心していました。1月26日、サンディエゴでの国際協議会から帰国の報告を申し上げ、公式ネクタイをお渡ししたときは「頼むよ。地区大会楽しみだな！」とおっしゃって下さいました。ガバナー年度を見ていただかず、本当に悔しい気持ちです。

お孫さんの医大ご卒業、次年度の地区大会を心待ちにされておられましたのに…。

先生、高原の親父、それに大辻夫妻も最近向こうに行きました。高原亭の面々が麻雀パイを揃えて待っていると思います。3月のPETS、4月の地区協議会、12月の地区大会には、麻雀をちょっと中断し、大阪国際会議場に姿を見せて、出来映えを見て下さい。先生がパスト・ガバナー席にお座りいただいていると思ひ会議を進め、お褒めのお言葉をいただくよう、ホストクラブ全員で立派なものにしたいと思います。

44年間、ご指導ありがとうございました。

安らかに、お休み下さい。

(弔辞を掲載)

災害支援プロジェクト報告(第10回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

3月12日現在の寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の地区寄付金残高を報告いたします。東日本大震災が起きましたから、早一年が過ぎ去り、ややもすると「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではありませんが、被災地支援に対する「熱情」がやや弱くなって参ります。地区基金は、今期で残高が0になる位、皆様方のご支援を頂いておりますが、各会員皆様方の更なるご支援とご協力の程よろしくお祈いします。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2012年3月12日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねざきRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとまひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	利息	2,738	
33	大阪東南RC	500,000	
34	大阪城南RC	15,423	
	合 計	17,782,281	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2012年3月12日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守口イブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡プレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
31	大阪イブニングRC	冷蔵設備寄贈	1,884,120	1,684,120
32	茨木西RC	寝具寄贈	3,000,000	1,200,000
33	摂津RC	学校用備品寄贈	2,119,908	500,000
34	大阪東淀ちややまちRC	発電機寄贈	945,000	695,000
35	茨木RC	ふれあいコンサート支援	753,500	553,500
36	高槻RC	浄水器寄贈	5,974,500	1,300,000
		合計	87,012,615	30,201,954

(2) 現在の地区寄付金残高 (3月12日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
② 地区内36クラブへ返金		37,224,413円
③ 地区内46クラブから預けられた額 (①-②)		35,621,098円
④ 地区内クラブからの寄付金	34件	17,782,281円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	36件	30,201,954円
⑥ 2520地区 支援金		10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金		5,000,000円
⑧ 送金手数料		32,100円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)		69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)		189,394円

地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)

7,910,459円

米山奨学委員会/ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2012年1月末	全国寄付金合計額	945,031,483円 (前年度比3.91%減)
"	第2660地区寄付金合計額	57,284,886円 (前年度比0.12%減)
2012年1月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	67,234,330円
	2. 第2660地区	57,284,886円
	3. 第2590地区	53,407,000円
	4. 第2750地区	52,441,850円
	5. 第2760地区	48,790,001円
	6. 第2770地区	44,061,500円
	7. 第2580地区	41,638,617円
	8. 第2820地区	33,337,020円
	9. 第2690地区	33,162,451円
	10. 第2780地区	33,037,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2012年1月)

氏名	回数	クラブ名
田川 和見	1回目	大東 RC
中村 眞也	2回目	大東 RC
小林 誉典	2回目	大東 RC
上田 正義	3回目	大東 RC
木田 眞敏	4回目	大東 RC
辻 幸雄	4回目	大阪中央 RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012)

地寄 剛史	豊中千里 RC	1月
松岡 一郎	大阪 RC	1月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012)

森脇 寛	1回目	大阪中央 RC	1月
田中 壽秋	2回目	大阪なにわ RC	1月
久保 義誓	2回目	茨木 RC	1月
松村 榮一	2回目	大阪本町 RC	1月
安藤 康雄	2回目	大阪本町 RC	1月
常楽寺 喜雄	8回目	東大阪東 RC	1月

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。
(2012)

東野 達雄	茨木東 RC	1月
-------	--------	----

2012年2月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	2月 月末会員 数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	本-4777 出席率	I M組	クラブ名	7月期初 会員数	2月 月末会員 数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	本-4777 出席率
			全員	女性										累計	累計						
I M第1組	池田	38	38	3	1	1	0	5	72.16	64.00	I M第5組	大阪中央	50	52	6	6	4	2	4	92.65	78.00
	池田くれは	29	28	1	0	1	-1	4	84.18	83.09		大阪堂島	30	32	1	4	2	2	4	86.71	83.59
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	89.59	85.13		大阪北	189	194	0	9	4	5	5	82.44	72.94
	箕面中央	23	24	0	2	1	1	4	87.70	83.80		大阪北梅田	49	51	3	3	1	2	4	74.02	63.73
	豊中	44	45	3	3	2	1	4	84.09	76.72		大阪西	71	70	0	2	3	-1	4	86.27	76.19
	豊中南	31	31	2	2	2	0	4	81.11	79.46		大阪大淀	53	54	0	4	3	1	4	84.29	79.52
	豊中一大阪国際空港	20	19	0	0	1	-1	4	66.67	63.89		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	4	85.87	71.33
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	4	91.07	85.33		大阪西北	54	56	0	4	2	2	4	89.83	84.22
	小計	247	247	13	10	10	0		82.07	77.68		大阪そねざき	34	38	24	6	2	4	5	97.86	88.67
													大阪梅田	36	30	0	0	6	-6	4	85.19
I M第2組	茨木	26	26	4	1	1	0	5	95.91	79.07	大阪梅田東	32	32	0	1	1	0	4	80.46	67.18	
	茨木東	41	41	4	0	0	0	4	80.60	67.43	大阪ユニーサルシティ	28	29	4	1	0	1	4	89.42	75.96	
	茨木西	29	28	6	0	1	-1	4	92.00	68.75	小計	661	673	43	41	29	12		86.25	76.28	
	千里	38	36	0	2	4	-2	4	91.67	83.86	大阪	258	269	0	19	8	11	4	73.93	58.13	
	千里メイプル	26	23	2	1	4	-3	4	88.76	77.53	大阪東	117	119	0	5	3	2	4	93.37	77.36	
	摂津	38	40	0	2	0	2	4	91.69	82.72	大阪東淀ちややまち	31	30	3	1	2	-1	4	79.74	71.89	
	吹田	61	61	6	1	1	0	3	97.54	88.58	大阪城東	47	45	5	1	3	-2	4	91.40	82.27	
	吹田江坂	39	39	3	1	1	0	4	95.75	88.69	大阪中之島	27	29	2	3	1	2	4	92.14	81.55	
	吹田西	48	49	2	1	0	1	3	100.00	86.66	大阪大手前	38	38	3	1	1	0	4	82.64	73.90	
	高槻	45	46	5	3	2	1	5	90.95	87.78	大阪城北	55	53	2	0	2	-2	5	74.37	73.57	
高槻東	39	38	0	0	1	-1	4	95.34	91.74	大阪天満橋	67	66	0	1	2	-1	4	89.27	83.91		
高槻西	23	23	0	1	1	0	4	95.65	78.26	大阪鶴見	32	35	0	3	0	3	4	82.15	76.17		
小計	453	450	32	13	16	-3		92.99	81.76	大阪淀川	34	33	2	1	2	-1	4	92.41	83.92		
I M第3組	大東	43	45	0	4	2	2	4	100.00	92.19	新大阪	35	37	0	2	0	2	4	84.46	80.41	
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	5	83.36	68.01	小計	741	754	17	37	24	13		85.08	76.64	
	枚方	41	39	0	1	3	-2	4	89.70	76.02	大阪フレンド	12	20	3	8	0	8	4	85.03	71.05	
	門真	30	33	4	3	0	3	4	95.32	79.69	大阪本町	26	26	2	1	1	0	4	91.05	81.39	
	交野	34	34	1	1	1	0	4	82.15	78.32	大阪御堂筋	34	35	0	2	1	1	4	89.84	75.78	
	香里園	17	15	0	0	2	-2	4	100.00	83.33	大阪南	132	142	0	13	3	10	4	83.53	73.29	
	くずは	56	56	0	2	2	0	5	71.34	65.37	大阪難波	44	42	0	1	3	-2	4	95.41	77.98	
	守口	44	43	3	2	3	-1	4	90.35	83.91	大阪なにわ	28	26	2	1	3	-2	4	81.05	71.04	
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	3	74.36	66.67	大阪南西	16	17	3	1	0	1	4	93.18	83.45	
	寝屋川	39	38	5	0	1	-1	3	95.50	85.59	大阪西南	86	95	17	12	3	9	5	98.90	78.32	
四條畷	12	13	0	1	0	1	4	91.48	87.50	大阪船場	41	41	0	0	0	0	4	97.00	89.00		
小計	370	369	27	15	16	-1		88.51	78.78	大阪心斎橋	38	38	0	1	1	0	4	99.34	82.59		
I M第4組	東大阪	66	69	0	4	1	3	5	84.35	73.62	大阪うつぼ	33	34	4	2	1	1	4	96.77	86.88	
	東大阪中央	36	35	0	0	1	-1	3	97.62	84.60	小計	490	516	31	42	16	26		91.92	79.16	
	東大阪東	64	60	4	4	8	-4	4	81.35	68.51	大阪平野	37	35	4	1	3	-2	4	93.53	79.85	
	東大阪みどり	27	26	1	2	3	-1	4	89.42	63.46	大阪イブニング	16	16	3	1	1	0	4	85.94	82.81	
	東大阪西	35	34	0	0	1	-1	4	96.49	71.96	大阪城南	55	53	0	0	2	-2	4	100.00	87.34	
	大阪柏原	30	29	2	0	1	-1	4	90.50	80.93	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	5	89.47	76.84	
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	63.00	44.00	大阪天王寺	60	58	0	0	2	-2	4	90.01	81.41	
	八尾	73	70	0	3	6	-3	5	93.67	63.65	大阪帝塚山	58	58	4	3	3	0	4	82.31	66.19	
	八尾中央	19	19	1	2	2	0	4	86.48	79.03	大阪東南	50	51	0	1	0	1	4	94.12	68.83	
	八尾東	23	24	2	3	2	1	4	72.78	60.80	大阪アーバン	0	28	9	28	0	28	4	74.30	74.30	
小計	390	383	16	18	25	-7		85.57	69.06	小計	295	318	21	34	11	23		88.71	77.20		
合計												クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均 出席率	平均 出席率	
												83	3647	3710	200	210	147	63	87.6	77.1	

文庫通信 (294号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー創立記念日にあたって

- ◎「70周年に当り創世期のロータリーを憶う」 平島健次郎 1975 7p (ロータリー入門)
- ◎「これがロータリーだ」 直木太一郎 1983 41p (私のロータリー、50年)
- ◎「平凡で偉大なロータリー精神」 末永直行 1972 20p
- ◎「シェルドン…忘れ得ぬその名」 ジョン O. ナットソン：神崎正陳 訳 1998 12p
- ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」 鳴海淳郎 2000 9p
- ◎「ロータリー進化論」 前原勝樹 1985 19p
- ◎「ロータリーの組織と奉仕」 深川純一 2001 68p
- ◎「ロータリー広報乃王道」 佐藤千壽 1997 34p
- ◎「米山梅吉と日本のロータリー(抄)」 長井盛至 1983 31p
- ◎「四つのクラブの七つの驚き」 安積得也 1977 44p (おゝロータリアン)

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「我が自叙伝」 ハーバート J. テーラー著：菅野多利雄 訳 1990 219p

[申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022) 365-3000]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮田久嘉 会員

(枚方RC)

2012年2月15日逝去(享年85歳)

会長、幹事

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

笠井勝巳 会員

(大阪天王寺RC)

2012年2月22日逝去(享年72歳)

会長、副会長、理事、会計、出席委員長、会報委員長、会員増強委員長

職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、環境保全委員長、環境資源委員長

青少年委員長、ロータリー財団委員長、世界社会奉仕委員長

米山委員長、ロータリー情報委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

榎木 勇 会員

(大阪天満橋RC)

2012年3月1日逝去(享年84歳)

健康委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

三宅一嘉 会員

(大阪東南RC)

2012年3月2日逝去(享年72歳)

会長、幹事

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2012年8月11日(土)～16日(木)
年末年始
2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

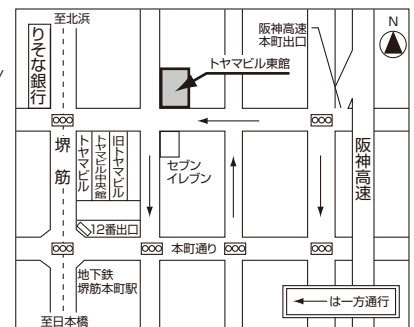
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

5 vol.11



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

5 vol.11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

上半期を振り返って	1
2011～2012年度 IM第7組報告	2
2011～2012年度 IM第6組報告	3
国際ロータリー第2660地区 ガバナー・ノミネー指名宣言	4
GSE スリランカ派遣報告	5
青少年交換 東京研修旅行	6
米山奨学生終了者歡送会	7
青少年交換 一日座禅体験会とお茶会	8
災害支援プロジェクト報告(第11回)	9
米山奨学委員会	12
ロータリー財団	13
2012年3月度 会員数・出席報告	14
文庫通信	15



平成23年7月1日より新米ガバナーとしてデビューして以来、はや残すところ約2ヶ月。振り返ると早いですが、期間中は何かと多忙を極めています。

昨年1月に渡米して国際協議会に出席し、ガバナーとしての研修を満了し形は出来ましたが、不安一杯で帰国し、PETS、地区協議会の準備に入った矢先の3月11日午後、国難ともいえる東日本大震災が勃発しました。テレビに映し出された光景は何という悲惨な姿なのでしょう。俄には信じ難い画面に食い入るように見入り、これはロータリーの組織をあげて援助しなくてはならない、私への試練であると考えさせられました。PETS、地区協議会において災害支援プロジェクトの早急なる組織作りを提案し、それ以後、地区内会員に対して寄付金のお願いを絶えずいたしました。前年度ガバナー会との考え方の相違により一度皆様方から前年度ガバナー会へ拠出いただいた義援金を地区に戻していただき、各クラブへのアンケートを実施の後、地区に残ったお金と寄付金とを加えて災害支援プロジェクトの原資といたしました。地区大会においては私自身被災地に向き、惨状を目の前にした経緯から各クラブ会員に対して災害支援を重ねてお願いいたしました。この頃から各クラブの反応が鋭くなり、様々なプロジェクトの事案が被災地に向けて実行されるようになりました。地区会員の被災地に向けての「熱い思い」と「絆」が結実して参りました。あと数ヶ月ですが、私の在任中に寄付金を全て使い切りたいと思います。何よりも嬉しいことに、2月のクラブ社会奉仕委員長会議の折にプロジェクトを実施されたクラブの方から地区の災害支援プロジェクト委員会の支援金に対する「決断力」と「申請書の簡便さ」に対して讃辞を頂戴いたしましたことは私にとっては大変光栄なことと受け止めております。

次に、地区広報委員会が広報活動として2ヶ年に亘り計画されましたプロジェクトです。昨年2月、大谷PGがインドへポリオ・ワクチンの接種に行かれた時の記録をテレビ大阪開局30周年記念事業と協同で全国へ「感染症ポリオ残り1%の闘い」のタイトルでテレビ放映、そしてその記録をDVDに記録し、全国のガバナー事務所へ贈呈出来ましたことです。ポリオ2億ドルチャレンジは今年達成されました。

さらに、私にとって良かったなと思うことは、新クラブをガバナー主導で立ち上げることが出来ました。私一人で立ち上げた訳では当然ありません。これに参画いただいた横山PG、西口会長および大阪アーバンRCの会員一人一人の活躍があればこそです。第2660地区内会員が年々減少していく中での新クラブ結成というアドバルーンは大変勇気のいることでした。どうすればいいのかと日夜悩む日々でしたが、若い人達に、そしてロータリークラブに入りたいが時間的な制約（例会日・例会時間等）から入会をためらっておられる方々を是非とも会員として迎えたいという思いのもと、早朝例会のクラブを作ることといたしました。今年の国際協議会に出席いただいた高島GEは、次年度RI会長の田中作次さんから、日本で今年初めて出来たクラブであり、今年中は出来ないであろう新クラブを第2660地区で立ち上げていただいたことに感謝しますというメッセージをいただいたと報告されております。

何も分からない所から出発いたしました。目今の出来事に対処している間にあと数ヶ月の在任期間を迎えることとなりましたが、皆様の熱い思いをもう少しの間、私に向けていただきたく思います。

合掌

2011～2012年度 IM第7組報告

大阪難波RC

会長 遠藤友一郎

テーマ：「今、若者たちのころは！」

情報化社会の到来は、若者たちのころに
どんな変化をもたらしたか
現代の若者たちのころ、考え方、行動を
見つめてみよう
未来へ向かう若者たちへ、今私たちが伝え
たいこと

ホスト：大阪難波RC

日時：2012年3月3日（土）10：30～14：00

場所：スイスホテル南海大阪 8階 浪速の間

参加クラブ：大阪フレンドRC、大阪本町RC、大阪御
堂筋RC、大阪南RC、大阪なにわRC、大
阪南西RC、大阪西南RC、大阪船場RC、
大阪心斎橋RC、大阪うつぼRC、大阪難
波RC

出席者：岡部泰鑑G、岩田宙造PG、大谷透PG、境
高彦地区代表幹事（松本新太郎PG代理）、
矢橋弘嗣AG、三村雄太郎AG、岡田耕治
AG、佐藤俊一AG、丹羽健二AG、樋口秀和
AGE、小林和由AGE、谷口勉AGE、大森保子
PAG、鈴木洋PAG、井上隆晴PAG、重里國麿
PAG、藤田誠一郎PAG、青木禎一郎PAG、山
口郁夫（石巻東RC,AG）、菅原信武（石巻東
RC,PAG）、浅野仁一郎（石巻南RC,直前会長）
以上、来賓21名

出席会員206名 合計227名

昨年の東日本大震災からほぼ1年を経過する3月3日
の開催となりましたIMですので、開会式では点鐘に
先立ち、出席者一同の黙禱にて死者、行方不明者の
冥福を祈りました。そして今年度は丹羽健二AGの提
案により、IM第7組全クラブが一致団結して東日本
大震災復興支援事業として、石巻市の4RCを介しまし
て、各クラブと提携する海外の多くのRCとMGの形で
宮城県東松島市に業務用冷蔵庫60台や車椅子搬送用
バンの寄贈などを実行しましたので、岡部Gの御挨拶
の後に、丹羽AGからこの件の報告をして頂きました。
そして、石巻市からの来賓を代表して、国際ロータ

リー第2520地区第5分区の山口AGからお礼の挨拶が
ありました。

休憩を挟んで、前北海道日本ハムファイターズ監
督、梨田昌孝氏より「信頼しようまかせよう リー
ダーシップ論」と題したご講演をして頂きました。
氏の野球監督・解説者としての経験を通じて、若手
選手の育成やチームを何度も優勝に導かれた名将・
名監督としての苦労話や手腕をお聞かせ頂き、今回
のIMのテーマである現代の若者像の理解に役立たせ
てもらったのが主眼でした。氏の実演を交えた魅力的
なお話に、出席者の食い入るような視線や笑顔を拝
見して、IMの主催クラブとして会員一同大変喜ばし
く思いました。

ところで、順序が逆になりましたが、今回、「今、
若者たちのころは！」というテーマを設定致しま
したのは、大地庸元IM実行委員長の発案に基づき関
係者で検討して決めたわけです。その趣旨を私なりに
説明します。ITの発達を象徴とする社会的環境の
変化や経済的・国際的環境の変化を基盤とする現代
の日本の姿は、四半世紀前のそれとは随分異なっ
たものになってきております。こうした状況を背景に
しますと、現代の若者たちの考え方や行動が我々の
同年代の時代とは違ったものになってきているので
はないか、という仮説に立ち、それでは彼らと如何
に接し、又彼らをどの様に導くことが我々に求めら
れているのかを話し合いたいと考えたからです。勿
論、日本のみならず世界的にRC会員の減少が危惧さ
れている現実を踏まえましても、将来のRCの会員候
補である若者たちにとって魅力的なRCのあり方を探
る上で、きっと役立つと考えたからでもあります。
今回、ボランティアとして被災地で活躍する若者た
ちと日々接しておられる石巻のロータリアンを始め、
多くの来賓の方々にもIMのディスカッションに全員
加わって頂き、殆ど退席される方もなく227名とい
う多数の参加者を見ましたことは主催クラブとして衷
心より感謝致しております。

ご出席頂きました皆様、本当に有難うございま
した。



2011～2012年度 IM第6組報告

大阪-淀川RC 会長 津本清次
I.M. 実行委員会 委員長 杉本忠博

テーマ：「環境とエネルギー」
ホスト：大阪-淀川ロータリークラブ
開催日時：2012年3月10日 13:00～17:00
開催場所：ホテルグランヴィア大阪 名庭の間
登録者数：242名
出席者数：165名

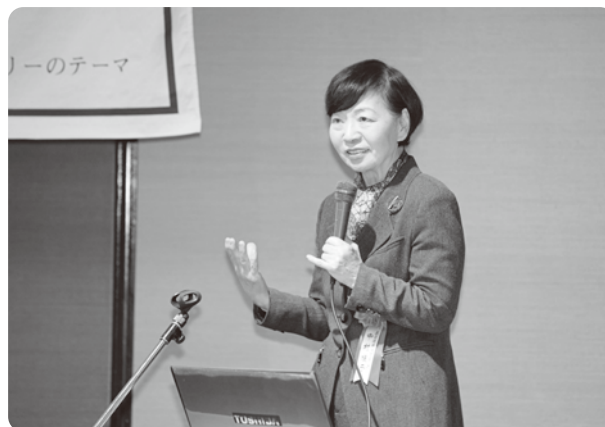
今回のIMは、テーマを「環境とエネルギー」とし、JT生命誌研究館館長で著名な生命学者、かつ環境について高い識見をお持ちの中村桂子氏に、第一部の基調講演をお願いしました。

中村氏は、環境（Environment）とエネルギー（Energy）に、経済（Economy）を加えた三つのEを一体として捉えて解決を求めること、視点を変えて考えてみるのが肝要、と説き起こされました。

そして、人間を出発点とすること、人間は自然の一部であり、環境は人間など生き物に関わるものとして、自然の持つ力を生かした新しい科学技術や社会システム（経済）を構築していくべきであり、これからは「ほんとうの豊かさの中でのほんとうの幸せ」を追究すること、すなわち、食物（農業・水産業）、健康（医療）、住居（林業）、知（教育）、環境（特に水と緑）が重要であり、地産地消型産業や地域の自然・文化を活かした生活が要諦と述べられました。

第二部のパネルディスカッションは、「地球環境保全とエネルギー需給の両立をめざして」と題して、中村桂子氏がコーディネーターとなり、まず大阪大学大学院工学研究科の下田吉之教授が、都市（需要側）からみたエネルギーシステムについて、次いで近畿大学建築学部の岩前 篤教授が、住宅からみたエネルギーシステムについて、そして関西電力執行役員 大阪北支店長で当クラブ会員の岡田雅彦氏が、今後のエネルギー供給の課題について、それぞれ学会、産業界の最先端の知識・情報をもとに自説を述べられました。最後に中村氏が、改めて自然と文化を大切にす社会の価値を訴えて締め括られました。

限られた時間のなかで高度な意見を聞くことができ、中途退席者もほとんどみられない充実した勉強会となりました。



国際ロータリー第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

第2660地区 ガバナー・ノミニー候補者の指名

地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、当指名委員会において慎重審議の結果、大阪帝塚山RC会員、泉 博朗氏を2014～2015年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として指名することに決定いたしました。

ガバナー月信8月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をおねがいしましたが、期日までに規約に該当するお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条に基づき、当指名委員会により選出された同氏を上記年度のガバナー候補者として指名いたします。

2012年4月1日

2011～2012年度
地区ガバナー指名委員会

第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、大阪帝塚山RC会員、泉 博朗氏を2014～2015年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として宣言します。

2012年4月3日

国際ロータリー第2660地区
2011～2012年度
ガバナー 岡部 泰鑑

泉 博朗（いずみ ひろあき）氏の略歴

生年月日 1948年6月17日生

職業 泉行政書士事務所所長 株式会社テクノグループ代表取締役

所在地 〒543-0076 大阪市天王寺区下寺町1-3-45

経歴 1972年 関西大学工学部管理工学科卒業

1972年 星電器製造株式会社入社

1978年 泉行政書士事務所開設

1981年 株式会社テクノグループ設立（IT関連）現在に至る

所属クラブ 大阪帝塚山ロータリークラブ

（2011年に大阪阿倍野ロータリークラブ、大阪住之江ロータリークラブ、
大阪住吉ロータリークラブが合併して大阪帝塚山ロータリークラブに名称変更）

職業分類 医療情報システム

ロータリー歴 1990年 大阪住吉ロータリークラブ入会

2005～2006年度 地区青少年活動委員会委員長

2008～2009年度 大阪住吉ロータリークラブ会長

2010～2011年度 IM第8組ガバナー補佐

その他 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者（マルチプル）



GSE スリランカ派遣報告

GSE チーム

リーダー 泉 博朗 (大阪帝塚山 RC)

今回のGSEメンバーは3名の男性、1名の女性、そしてリーダーとして私の5名のメンバーであります。

2月1日岡部G、岸上GSE委員長その他皆様のお見送りをいただき、期待と不安を感じながら関西空港を出発いたしました。無事にスリランカのコロombo空港に到着し、RI第3220地区ゲハングをはじめ、ロータリアン、スリランカのGSEメンバーの歓迎を受けました。

コロombo、キャンディ、クリアピテア、ワリヤボラ、そしてコロomboという行程でありました。コロomboは、首都ではありませんが経済的に一番発展している都市でして、大変活気のある都市でありました。各自の職業研修をさせていただき、また今後のすべてがそうでありましたように、ロータリアンの方々のお家にホームステイをさせていただきました。私にとりまして、おそらく全員が感じたことだと思いますが、本当に家族のように接していただいた事が未だに忘れることが出来ません。

地区大会ではGSEのプレゼンテーションを行い、最後に東日本大震災に多くの支援をいただきましたことのお礼をいたしました。地区大会が終わって、多くの一般のロータリアンから「素晴らしかった」と握手を求められ、その手のぬくもりは今でも感じております。コロombo以外ではどちらかと言えば、あまり産業がなく寺院、自然、遺跡、文化などに接することが出来ましたが、一番は、やはり人の温かさに接したことでありましょう。全体的に見て、まだ発展途上という感はありますが、各自の



職場研修以外に、紅茶工場、お茶畑、証券取引所、コロombo港などを見学し、特に現地の若者の活気に接し、益々発展することを感じました。

最後になりますが、素晴らしいロータリアンおよびそのご家族の方々に感謝を申し上げて、そしてこのような経験をさせていただいた皆様にお礼を申し上げます。ポボマスティシイ (ありがとうございました)

メンバー紹介

江藤良介 (大阪府庁) 西村卓也 (かばん製造)
貴元亜希子 (美容師) 寺川晋一 (大阪市：消防士)
泉博朗 (行政書士、コンピュータ)



青少年交換 東京研修旅行

青少年交換委員会

委員長 野村正勝(箕面中央RC)

本年度はスキーツアーに代わり東京研修旅行を新たに企画しました。瀨谷委員を中心に計画頂き、3月20日から22日までの3日間、新幹線を利用した東京訪問を実施しました。



内容は舞浜のディズニーシー体験、浅草でのホテル宿泊、国会議事堂の参議院議員議場見学、皇居桜田門などの散策、東京都庁見学、秋葉原散策、第2560地区の交換学生らとの交流(於 三定)、浅草でのホテル宿泊、水上バスによる隅田川下り、お台場見学などです。



Inboundの学生は6名の予定がリディアさんの直前欠席で5名参加、outbound候補生4名参加と世話役のROTEX4名、委員会から4名(うち2名は交代)計16名が参加しました。Outboundの学生は今年の7-8月にそれぞれの目的国に出発しますが、その前にこうした研修旅行で今大阪に住むinboundの学生と知り合いになるのは大変有意義なことです。何故なら彼らは7月には帰国するからです。2月には彼らの一部はROTEXのメンバーによる日本文化体験で奈良を見学し顔なじみになっています。

左の写真は国会前での記念撮影で、二つ目の写真は第2560地区の交換学生らとの交流で第2660地区のinboundやoutboundの学生たちの顔が揃って見えます。三つ目の写真はスカイツリーを背景に浅草の船着き場で写したものです。

議事堂の中央広場には伊藤、板垣、大隈3氏の銅像が建っており、衆議院議員議場の中庭には池があり昔、議員は馬車で来たので馬の水飲み場であったといわれています。昭和11年に竣工した建物はさすがに風格があり、その後の皇居の二重橋付近も快晴で輝いていました。今、二泊三日の研修旅行が無事終了しほっとしています。多忙な中、随行くださった金本委員、岩佐委員、磯田委員にはこころから感謝申し上げます。

米山奨学生終了者歡送会

米山奨学委員会

委員 近藤 菜穂子 (大阪ネクストRC)

日時：2012年2月26日（日）

場所：ハイアットリージェンシー大阪

参加者：岡部G、近藤RI理事、若林PG、武島委員長

米山各委員、大学指導教官、学友会

各クラブ会長・幹事、カウンセラー

計75名

2012年2月26日（日）ハイアットリージェンシー大阪にて2011 - 12年度「米山奨学委員会主催 米山奨学生終了者歡送会」が開催されました。

厳かに第一部の式典が進んでいく中で、岡部ガバナーから奨学生一人ひとりの名前を読み上げていただき、終了証書、記念品を手渡して頂きました。そして武島秀吉委員長からは、前回のふれあいスピーチコンテストでの世話クラブ会長と奨学生との心温まる絆を思い起こして、感極まりながら歡送の言葉を述べられ、出席者全員の感動を誘いました。

終了生代表挨拶をした温都蘇さん（大阪そねざきRC）は、『他人への思いやりと助け合いの精神を持つ』創始者である米山梅吉氏の志を受け継ぎ、将来日本との架け橋になっていけるように頑張っていきたいと素晴らしいスピーチをして下さいました。その挨拶に対して岡部ガバナーより、縁を大切に最高の奉仕活動を行ってほしいという激励の言葉が贈られ無事に終了式を閉会致しました。

第二部での懇親会では近藤RI理事よりご祝辞をいただき、若林PGより乾杯のご発声後、終了生より挨拶があり和やかな雰囲気の中、会食・懇親が進んでいきました。また、去る2月18日（土）に大阪国際交流センターで「第2回米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト」が開催され、見事最優秀賞に輝いた張夏荷さん（大阪なにわRC）のスピーチが行われ、世話クラブとの深いふれあいの話に会場全員が感動の渦に包み込まれた中、閉会となりました。

今年度、奨学生をお世話していただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様のお陰で奨学生も無事に巣立っていくことができました。心より深く感謝申し上げます。今後も奨学生を温かく見守っていきたいと思います。そして将来、架け橋となってくれることを心より願っております。



青少年交換 一日座禅体験会とお茶会

青少年交換委員会

委員 磯田 郁子 (大阪東淀ちやまちRC)

毎年恒例の高槻西ロータリークラブ主催の「一日座禅体験会とお茶会」が2012年4月8日(日)高槻にある神峯山寺で開催されました。この行事は地区の青少年交換委員会の来日学生や派遣候補生を招いて開かれるもので、今年は青少年交換委員会から野村委員長と4名の委員、ROTEX5名、昨年8月に来た来日学生6名、今年1月に来た来日学生1名、今年8月に派遣される予定の派遣候補生4名が参加しました。

はじめに近藤真道住職より仏教についてわかりやすく説明をしていただき、来日学生も熱心に話に聞き入っていました。その後、座禅の仕方を教わり体

験に挑みました。来日学生達は「座禅をしている間は寒さを感じなかった」「いい体験ができた」と感想を述べていました。

午後からは境内にある茶室で茶道の体験をしました。お茶の作法などを教わりながらお点前を興味深げに見ていました。

来日学生、派遣候補生ともに日本のよき文化を体験し、有意義な一日となりました。主催していただきました高槻西ロータリークラブには青少年交換委員会から改めてお礼を申し上げます。



災害支援プロジェクト報告(第11回)

災害支援プロジェクト

委員長 井上 暎夫(千里RC)

4月11日現在の寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の地区寄付金残高を報告いたします。災害支援プロジェクト報告もあと残すところ2回となりました。この間、寄付金は約6,000万円、支援拠出金約3,500万円、プロジェクト総額約1億140万円となりました。今回は特に大船渡市漁業協同組合へユニック付大型中古トラック寄贈につき地区内各37クラブより総額6,255,704円のご寄付を頂き誠に有り難うございました。あと僅かな期間となりましたが更なるご支援の程よろしく申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2012年4月11日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC(中国(香港))	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC(フィリピン)	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC	454,200	
4	摂津RC	184,657	
5	Taipei Shihlin RC(台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	I M第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社(台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねざきRC	570,000	
11	TAICHUNG RC(台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区(スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	利息	2,738	
33	大阪東南RC	500,000	
34	大阪城南RC	15,423	
35	大阪城東RC	30,979	
36	ロータリー研究会実行委員会	36,025	ロータリー研究会寄付
37	地区内37RC(詳細は別項を参照)	6,255,704	トラック寄贈案件
	合 計	24,104,989	

(口) 地区基金申請案件承認状況 (2012年4月11日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導 1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導 2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導 3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守口イブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡ブレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
31	大阪イブニングRC	冷蔵設備寄贈	1,884,120	1,684,120
32	大阪うつぼRC	情報誌に協賛	500,000	250,000
33	茨木西RC	寝具寄贈	3,000,000	1,200,000
34	摂津RC	学校用備品寄贈	2,119,908	500,000
35	大阪東淀ちゃやまちRC	発電機寄贈	945,000	695,000
36	茨木RC	ふれあいコンサート支援	753,500	553,500
37	高槻RC	浄水器寄贈	5,974,500	1,300,000
38	大東中央RC	図書・備品寄贈	1,511,441	800,000
39	大阪リバーサイドRC	布団乾燥機寄贈	2,820,000	1,310,000
40	委員会主導 4	ユニック付トラック寄贈	7,500,000	1,244,296
41	千里RC	フォークリフト寄贈	2,081,950	1,530,950
		合計	101,426,006	35,337,200

(2) 現在の地区寄付金残高 (4月11日現在)

直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
地区内36クラブへ返金		37,224,413円
地区内46クラブから預けられた額 (-)		35,621,098円
地区内クラブからの寄付金	37件	24,104,989円
地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	41件	35,337,200円
2520地区 支援金		10,000,000円
2530地区 支援金		5,000,000円
送金手数料		33,800円
地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)		69,472円
地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)		189,394円
大船渡市漁業協同組合ユニック付大型中古トラック寄贈案件支援金 (37RC分)		6,255,704円
地区寄付金残高 (+) - (+ + + + +)		2,840,517円

(3) 大船渡市漁業協同組合 ユニッ付大型中古トラック 寄贈プロジェクト

大船渡市漁業協同組合からのユニッ付大型中古トラックの支援要請に対応するため、地区内クラブに寄付のお願いをいたしましたところ、37クラブからご賛同をいただき寄付金の総額は6,255,704円となりました。皆様からのご支援に対しまして心より御礼申し上げます。

本プロジェクトにつきましては、地区基金1,244,296円を申請し、承認され、寄付金と合わせた合計7,500,000円を4月9日、北上西ロータリークラブに送金いたしました。

調達資金の内容は下記のとおりです。

プロジェクト総予算	14,500,000円
調達資金：	
第2660地区37RC	6,255,704円
地区基金	1,244,296円
第2520地区	3,000,000円
北上西RC	400,000円
ロータリー東日本復興基金	3,600,000円
(合計)	(14,500,000円)

< 37クラブ寄付金一覧 >

	クラブ名	寄付金額
1	大東中央	150,000
2	東大阪東	300,000
3	東大阪みどり	50,000
4	茨木西	100,000
5	池田	50,000
6	池田くれは	30,000
7	箕面	34,000
8	箕面中央	30,000
9	守口イブニング	30,000
10	寝屋川	409,120
11	大阪	300,000
12	大阪堂島	200,000
13	大阪フレンド	19,000
14	大阪東	150,000
15	大阪東淀ちゃやまち	50,000
16	大阪本町	100,000
17	大阪城南	500,000
18	大阪北	1,000,000
19	大阪北梅田	41,000

	クラブ名	寄付金額
20	大阪難波	49,000
21	大阪大淀	300,000
22	大阪咲洲	95,000
23	大阪西南	100,000
24	大阪船場	410,000
25	大阪そねざき	57,012
26	大阪天王寺	100,000
27	大阪帝塚山	100,000
28	大阪東南	100,000
29	大阪梅田	600,000
30	大阪うつぼ	100,000
31	千里	300,000
32	四條畷	30,000
33	豊中	78,000
34	豊中南	46,000
35	豊中千里	50,000
36	八尾	100,000
37	八尾中央	97,572
	総計	6,255,704

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2012年2月末	全国寄付金合計額	1,028,827,890円 (前年度比2.37%減)
"	第2660地区寄付金合計額	62,518,386円 (前年度比3.83%増)
2012年2月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	72,531,080円
	2. 第2660地区	62,518,386円
	3. 第2750地区	57,307,850円
	4. 第2590地区	55,735,000円
	5. 第2760地区	54,075,501円
	6. 第2580地区	47,290,767円
	7. 第2770地区	46,055,000円
	8. 第2710地区	35,846,725円
	9. 第2680地区	35,696,211円
	10. 第2820地区	35,660,020円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。

(2012年2月)

氏名	回数	クラブ名
博多 尚文	1回目	守口RC
陽田 幸作	1回目	大阪梅田RC
板井 浩之	1回目	大阪梅田RC
仲下 正一	1回目	大阪梅田RC
岡山 晃三	1回目	大阪梅田RC
秋元 延介	3回目	大阪梅田RC
内海 閑一郎	3回目	大阪梅田RC
茅野 哲郎	2回目	大阪堂島RC
佐藤 太一郎	3回目	大阪堂島RC
川崎 全司	6回目	大阪堂島RC
勝亦 良彰	1回目	大阪西北RC
森 恕	5回目	大阪西北RC
中谷 庄八	9回目	大阪西北RC
藤井 宏一	9回目	大阪西北RC
生尾 雅美	1回目	新大阪RC
横田 喜久雄	17回目	大阪東淀ちややまちRC
堀口 利夫	3回目	大阪中之島RC
田中 壽秋	4回目	大阪なにわRC
内藤 喬皓	3回目	大阪城南RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。

(2012年2月)

クラブ名	回数
大阪堂島RC	30回目
大阪梅田RC	34回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012)

河野 耕作	大阪堂島 RC	2月
中村 正敏	大阪堂島 RC	2月
北野 克美	新大阪 RC	2月
村角 末義	新大阪 RC	2月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2012)

笠井 和憲	大阪柏原 RC	2月
梅原 一樹	大阪中之島 RC	2月
若林 紀男	大阪東 RC	2月
藤江 博	大阪柏原 RC	2月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012)

水山 章	4回目	大阪堂島 RC	2月
竹田 秀道	6回目	大阪堂島 RC	2月
片岡 亥一郎	4回目	大阪堂島 RC	2月
川崎 全司	4回目	大阪堂島 RC	2月
藤本 眞一郎	6回目	大阪堂島 RC	2月
播磨 章一	1回目	大阪堂島 RC	2月
横山 利夫	5回目	大阪堂島 RC	2月
池側 一司	1回目	大阪なにわ RC	2月
藤野 千代麿	1回目	大阪城南 RC	2月

2012年3月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月未 会員数		入会者 数	退会者 数	例会 増減 数	例会 出席率 %	ホームクラブ 出席率 %	I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月未 会員数		入会者 数	退会者 数	例会 増減 数	例会 出席率 %	ホームクラブ 出席率 %		
			全員	女性									累計	累計						全員	女性
I M 第1組	池田	38	37	3	1	2	-1	3	70.37	65.34	I M 第5組	大阪中央	50	52	6	6	4	2	4	90.38	80.32
	池田くれは	29	28	1	0	1	-1	4	77.96	73.84		大阪堂島	30	32	1	4	2	2	4	85.93	82.03
	箕面	27	24	1	0	3	-3	4	83.59	81.21		大阪北	189	196	0	12	5	7	4	80.50	70.74
	箕面中央	23	24	0	2	1	1	5	87.30	86.70		大阪北梅田	49	51	3	3	1	2	3	74.51	64.71
	豊中	44	45	3	3	2	1	3	87.38	78.74		大阪西	71	69	0	2	4	-2	4	87.95	79.86
	豊中南	31	31	2	2	2	0	5	79.52	70.87		大阪大淀	53	54	0	4	3	1	5	79.13	72.83
	豊中-大阪国際空港	20	19	0	0	1	-1	4	74.27	74.27		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	4	81.37	69.43
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	4	87.84	83.90		大阪西北	54	56	0	4	2	2	3	94.50	85.46
	小計	247	245	13	10	12	-2		81.03	76.86		大阪そねぎき	34	38	24	6	2	4	4	95.21	89.69
I M 第2組	茨木	26	26	4	1	1	0	4	86.47	68.08	大阪梅田	36	30	0	0	6	-6	3	84.35	75.97	
	茨木東	41	40	4	0	1	-1	4	84.33	74.56	大阪梅田東	32	32	0	1	1	0	4	89.84	76.56	
	茨木西	29	28	6	0	1	-1	4	88.39	73.22	大阪ユニバーサルシティ	28	29	4	1	0	1	4	87.50	75.96	
	千里	38	36	0	2	4	-2	3	90.74	83.12	小計	661	674	43	44	31	13		85.93	76.96	
	千里メイプル	26	23	2	1	4	-3	4	90.91	77.27	大阪	258	265	0	19	12	7	5	72.93	59.35	
	摂津	38	40	0	2	0	2	5	94.77	84.52	大阪東	117	120	0	7	4	3	5	91.86	76.35	
	吹田	61	60	6	1	2	-1	4	99.15	91.80	大阪東淀ちゃやまち	31	31	3	2	2	0	4	90.22	77.18	
	吹田江坂	39	39	3	1	1	0	3	96.22	87.67	大阪城東	47	45	5	1	3	-2	5	86.31	78.42	
	吹田西	48	49	2	1	0	1	3	100.00	86.36	大阪中之島	27	30	2	4	1	3	4	96.68	81.97	
	高槻	45	46	5	3	2	1	4	87.33	81.22	大阪大手前	38	38	3	1	1	0	5	88.33	81.80	
高槻東	39	38	0	0	1	-1	4	99.19	96.81	大阪城北	55	53	2	2	4	-2	3	78.34	77.69		
高槻西	23	23	0	1	1	0	4	98.91	78.26	大阪天満橋	67	65	0	1	3	-2	4	89.24	83.51		
小計	453	448	32	13	18	-5		93.03	81.91	大阪鶴見	32	35	0	3	0	3	3	85.46	75.74		
I M 第3組	大東	43	45	0	4	2	2	3	100.00	89.77	大阪-淀川	34	33	2	1	2	-1	5	93.93	85.34	
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	4	90.25	72.02	新大阪	35	37	0	2	0	2	4	83.11	75.68	
	枚方	41	40	0	2	3	-1	3	94.59	86.49	小計	741	752	17	43	32	11		86.95	77.55	
	門真	30	33	4	3	0	3	5	90.00	76.25	大阪フレンド	12	20	3	8	0	8	3	89.20	65.20	
	交野	34	33	1	1	2	-1	5	82.07	71.18	大阪本町	26	26	2	1	1	0	3	90.97	81.95	
	香里園	17	15	0	0	2	-2	4	96.67	86.67	大阪御堂筋	34	35	0	2	1	1	5	86.88	74.38	
	くずは	56	56	0	2	2	0	4	76.23	61.70	大阪南	132	142	0	14	4	10	3	84.15	72.22	
	守口	44	43	3	2	3	-1	4	79.98	70.31	大阪難波	44	42	0	1	3	-2	4	96.70	76.79	
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	4	78.85	73.08	大阪なにわ	28	26	2	1	3	-2	4	83.30	76.49	
	寝屋川	39	38	5	0	1	-1	5	93.51	85.41	大阪南西	16	17	3	1	0	1	4	87.82	73.20	
四條畷	12	13	0	1	0	1	4	86.74	79.93	大阪西南	86	95	17	12	3	9	4	98.89	73.42		
小計	370	369	27	16	17	-1		88.08	77.53	大阪船場	41	41	0	0	0	0	3	96.00	92.00		
I M 第4組	東大阪	66	69	0	4	1	3	4	86.63	78.40	大阪心斎橋	38	38	0	1	1	0	5	96.81	86.44	
	東大阪中央	36	35	0	0	1	-1	3	97.91	93.34	大阪うつぼ	33	34	4	2	1	1	3	97.62	83.78	
	東大阪東	64	60	4	4	8	-4	4	80.91	67.45	小計	490	516	31	43	17	26		91.67	77.81	
	東大阪みどり	27	26	1	2	3	-1	4	91.35	76.92	大阪平野	37	35	4	1	3	-2	5	94.24	79.88	
	東大阪西	35	34	0	0	1	-1	3	96.38	66.20	大阪イブニング	16	16	3	1	1	0	5	81.25	72.50	
	大阪柏原	30	29	2	0	1	-1	3	92.76	89.19	大阪城南	55	53	0	0	2	-2	4	98.41	92.60	
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	63.00	47.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	84.21	69.74	
	八尾	73	70	0	3	6	-3	4	93.42	69.28	大阪天王寺	60	58	0	0	2	-2	3	90.69	82.62	
	八尾中央	19	21	1	4	2	2	3	86.38	84.53	大阪帝塚山	58	58	4	3	3	0	4	80.49	67.18	
	八尾東	23	24	2	3	2	1	5	74.55	65.54	大阪東南	50	50	0	1	1	0	3	94.00	73.33	
小計	390	385	16	20	25	-5		86.33	73.79	大阪アーバン	0	29	9	29	0	29	4	70.80	70.80		
											小計	295	318	21	35	12	23		86.76	76.08	
合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率											
	83	3647	3707	200	224	164	60		87.5	77.3											

文庫通信 (295号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

「RI長期計画からRI戦略計画へ！」 南園義一 2012 1p (D.2710月信)

「RMIアンケート調査(日本)概要報告」 RI 2010 2p

「RI広報に関するアンケート調査から得られた結果報告」 RI 2008 15p

「ロータリーの意味論(6)共通の希望、夢、願い」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)

「ロータリーの意味論(7)リーダーシップ」 久野 薫 2012 4p (D.2680月信)

「鈴木正三の思想とロータリー」 安平和彦 2012 8p
(D2680インターシティ・ミーティング報告書)

「CLPを考える」 田村泰三 2011 1p (D.2710月信)

「まことのロータリアン」 大澤徳平 2011 1p (D.2640月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

月信編集委員会からのおねがい

ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所に必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	納多	寿恵子

休日

土曜、日曜、祝日

夏期

2012年8月11日(土)～16日(木)

年末年始

2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

ホームページアドレス

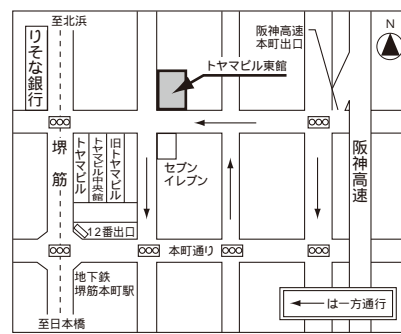
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

勤務時間

9:30～17:00



地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

6 vol.12



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

6 vol.12

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ロータリー親睦活動月間	1
PETS・地区チーム研修セミナー開催報告	2
2011～2012年度 IM第2組報告	3
2011～2012年度 IM第1組報告	4
2011～2012年度 IM第8組報告	5
仙台復興支援ふれあいコンサート報告	6
RIより地区の表彰を受賞	7
タイ・バンコク国際大会に参加して	8
災害支援プロジェクト報告(第12回)	10
米山奨学委員会	12
ロータリー財団	13
文庫通信	14
2012年4月度 会員数・出席報告	15
お知らせ	16

敬弔



私の年度の最後の月がやって来ました。

さて、6月はロータリー親睦活動月間（Rotary Fellowships Month）です。ロータリーはさまざまな国や文化から同じ関心事を分かち合う会員が集まるロータリー親睦グループを通じて世界中に広められた「親睦」という概念を土台としています。このロータリー親睦活動によって、会員は生涯にわたる友情を築くだけでなく、自らの関心を保ち、活動への意欲を一層高めながらロータリーに積極的に関わっていくことができます。スポーツ、趣味、職業上の関心をはじめ、幅広い職業や趣味を網羅したロータリー親睦活動は100団体近くにのぼり、そのすべてが国際的な親睦、友好、奉仕を深める役目を果たしています。ここでは同好のロータリアンが特定の関心に対する情熱を分かち合うだけでなく、数多くの親睦グループ・メンバーが自らの趣味や技能を生かして他の人々への奉仕を行っています。例えば、カヌーを楽しむロータリアンの国際親睦グループは汚染された川の清掃を行ったり、コンピューター・ユーザーであるロータリアンの国際親睦グループは電子メディアの使い方についてロータリアンや地元の人々のために研修会を行っています。また「ジッパー・クラブ」と名乗る心臓疾患を克服したロータリアンの国際親睦グループ・メンバーは、心臓疾患を持つ恵まれない子供たちの命を救う手術を提供しています。ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことをきっかけに、1928年に非公式に始まりました。1947年にはボート好きのロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗り始めました。現在、最も長く継続して活動を行っているのがこのヨット親睦グループです。ロータリー親睦活動の範囲は月日を経て変化してきましたが、今日でも変わ

らぬその目的は、友好の下にロータリアンを結び付け、各々が楽しみとするレクリエーションまたは職業的活動の場を提供することです。

“ロータリー親睦活動要覧”よりさらに、大谷透パスト・ガバナーは2009～2010ガバナー月信6月号に次のように述べておられます。

「Fellowships Month」が年度末の6月に当てられた理由を考えてみました。我々はクラブで奉仕活動を行い、達成感を持って気分良く終了できた場合、会員相互の人間関係は明らかによくなります。しかし、もし奉仕作業の過程で意見の不一致から会員間に感情の縫れが生じたり、一部の会員の仕事が十分評価されずに不満が生じたならば、たとえその奉仕活動がどんなに愛に満ち、賞賛や感謝を受けたものであっても、ロータリーの評価基準からいうと成功とはいえません。ロータリーの特別な集会で、いつも「手に手つないで」を歌って終わるのも、最後に仲よく友情を大切にしようとの思いからです。

クラブ内に親友をつくるためのツールに趣味の会があります。各クラブに夫々、野球、ゴルフ、囲碁、麻雀、コーラス等の同好会があり、中には地区レベル、全国レベルで交わりを深めているものもあります。このような親睦をとりもつ会のお世話は立派な奉仕の業ですからクラブ奉仕といえます。恵まれない人々を助けるという要素が入らないために奉仕という言葉を使うのに抵抗を感じる人がいるかもしれませんが、交友の絆を強めるための労力は立派な奉仕です。同好会の交わりからその中に人格的な交友関係（親友）が育まれる事をロータリーは期待しているのです。

以上、親睦活動月間について改めて考える良い機会を与えていただきました。私の年度の締めくくりとして多くのロータリアンと親睦活動を通じて更なる友人を増やしていこうではありませんか!!

2012～2013年度のための PETS・地区チーム研修セミナー開催報告

次年度地区代表幹事
村橋 義晃 (大阪中之島RC)

2012 - 2013年度のためのPETS・地区チーム研修セミナーを3月31日に大阪国際会議場にて、地区役員、会長エレクト及び地区委員会の総勢262名のロータリアンが出席して合同研修セミナーを行い、岡部Gによる開会挨拶、点鐘、故吉川PGと故熊澤PGへの黙禱を捧げ、厳かな雰囲気のもとに開会されました。

午前中の合同研修セミナーにおいて、高島GEから、次年度RI会長・田中作次氏のテーマ「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」が発表され、このRIテーマに基づき、心の平和、健全な青少年の育成を重要課題として、第2660地区の活動コンセプト「育もう未来の力を～飛躍～」について、その思いを語られました。

続いて、地区のロータリー財団委員会、米山奨学委員会、国際奉仕委員会より報告がなされ、次年度の

地区財務委員長から次年度地区予算について説明があり、午前中のプログラムを終了致しました。

昼食後に開催のPETS・地区チーム研修セミナーは、各々の会場にて開会され、PETSは、大谷PGから「クラブリーダーとしての役割」と題して講演を頂き、出席された会長エレクトによるIM毎のバズセッションを行い、IM担当の各AGEよりテーマに沿って発表が行われました。

地区チーム研修セミナーでは、井上PGから「委員会の役割と責務」について講演を頂き、高島GEより「地区委員会へのお願い」を申し上げた後、委員会毎にバズセッションが行われました。

再度、合同セミナー会場に集合し、福家GNからの挨拶、高島GEの閉会挨拶をもって、2012 - 2013年度のためのPETS・地区チーム研修セミナーの全てのプログラムを終了致しました。



2011～2012年度 IM第2組報告

I.M. 実行委員会

委員長 城谷 星

テーマ：ゼロからのスタート

ホスト：茨木東RC

(会長・東野達雄 実行委員長・城谷 星)

日時：2012年4月14日 14:00～17:00

場所：ホテル阪急エキスポパーク

参加クラブ：茨木RC、茨木西RC、千里RC

千里メイプルRC、摂津RC、吹田RC

吹田江坂RC、吹田西RC、高槻RC

高槻西RC、高槻東RC、茨木東RC

登録者数：448名

出席者数：210名(来賓、RC家族含む)

2011～2012年度国際ロータリー第2660地区第2組のIMが、岡部ガバナー、近藤RI理事・PG、井上PG、大谷PG、高島GEのご臨席のもと、4月14日(土)に行われました。

当日は、ウェルカム演奏と茨木東RCのコーラスチーム「コーロ・フロイデ」の合唱で始まりました。

昨年3月11日、東日本を大震災が襲い、東北地方が未曾有の被害を受けました。私たちのRCは、東日本大震災特別対策委員会を設置し、その対応を整えたのであります。そして姉妹締結を結んでいます米国、韓国からも支援の手が差しおのべられ、現地に直接おもむきました。そこで目にした光景は、終戦後と変わらないような荒涼とした被災地でした。そして支援活動の為に東奔西走しておられるRI第2520地区ガバナー榎山直樹氏に、支援先の岩手県庁でおめにかかり、その活動に共感し、今回のIMのテーマとなりました。

私たちは、「ゼロからのスタート」をテーマとし、講演とパネル・ディスカッションを企画しました。講演は、現在第2520地区復興支援特別委員会委員長であります榎山直樹直前ガバナーをお招きし「ふるさととは負けない！～新しい日本の創造を目指して～」という演題で行って頂きました。平穏な日常生活が、突如大自然の猛威により破壊されたその時、その現場に遭遇した一人のロータリアンは、何を考えどう行動し続けたのか。ご自身の一つ一つの生々しい過酷な体験を、淡々と冷静に話されるその姿に、講師の人間としての、そしてガバナー・ロータリア

ンとしての使命感と誇りと行動力が、熱く伝わってくる講演でありました。

そして、パネル・ディスカッションでは、榎山直前ガバナーにも参加して頂き、吹田RC会長エレクト・石井博章様、千里RC会長・奥谷英夫様、摂津RC会長・樋上幸夫様、茨木東RC会長・東野達雄様の皆様と共に「東日本へのこれからの支援と取組み」についてディスカッションをして頂きました。活発で有意義な議論の中に、「相手に何がして欲しいのかときくのではなく、自分たちは何をしたらいいのか、支援に向けての提案をして頂けたら有難い」と榎山氏は述べられました。

日本が今、真剣に取り組まなければならない東日本大震災問題。震災より一年が経過し、人々の記憶も少し薄れ、対岸の火事と思われがちとなってきたこの時期に、地区からの取り組みの勧めでもありました東日本大震災のテーマは、東日本の復興だけでなくとどまらず、今、日本がしなければならないそして考えなければならない課題であり、さらには日本の復興にもつながるものだと考え、取り組んで参りました。

当日は、岡部ガバナーから激励の言葉を頂き、今年度のRIテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の精神にも共感した、まさにタイムリーな内容であると講評頂きました。又、このIMの開催にあたりPRに訪問いたしました折、各RCの会員の皆様から励ましの言葉を頂きましたこと、何よりも終始身近でアドバイスを頂いた矢橋ガバナー補佐に、お礼を申し上げたいと思います。皆様のご協力ありがとうございました。

尚、当日お集まり頂きました皆様に、一本松基金として120,672円のご寄付を頂きました。



2011～2012年度 IM第1組報告

豊中RC 会長 北村 公一
I.M. 実行委員会 委員長 米田 真

テーマ：職場体験学習
ホスト：豊中ロータリークラブ
日時：2012年4月21日（土）13:00～17:00
場所：ホテルアイボリー
出席者数：114名

2011～2012年度RI第2660地区第1組インターシティー・ミーティングを開催するにあたりまして岡部泰鑑G及び二井清治G補佐のご指導のもと、IM第1組は地区の強調事項であります『職場体験学習』をテーマといたしました。キャリア教育の目的はこれからの社会を背負って行く、あるいは背負って行かねばならない中高生を自主的精神に満ちた心身ともに健康な国民に育て上げることにあります。そしていま何よりも望まれるのは、学校と社会が一体となってキャリア教育を実施し若者の社会観、勤労観、職業観を育む体験学習を行うことであり、その一つが中学生を対象とする職場体験学習であります。

このような北村会長の挨拶にはじまり主宰者であります岡部Gは本日実施されますインターシティー・ミーティングは、地区大会に次ぐ地区の行事です。

近隣のクラブの皆様が一堂に顔を合わせる有意義な会合です。ご参加の皆様におかれましては、是非共、この機会に名刺交換などなさいまして友好の輪を広げ、クラブ活動、そして個人個人の発展に役立てていただければと思いますとご挨拶されフォーラムの開始となり、また教育関係者、生徒、受入れ事業所の9人のパネリストから講演をいただき、そのご意見を参考に第1組8ロータリークラブのロータリアンがテーブルディスカッションを行い、生徒を派遣する学校側・実際に体験学習を行う生徒・受け入れ側となる私たちロータリアンが職場体験学習のあり方と実行支援について考えました。詳細な報告書は後日、皆様にお届けいたします。最後に二井G補佐が職場体験学習は子供たちにとって大変意義のある事業であり継続していくことが望ましいと述べられ、今後は、今一度子供たちにどのような力をつけなければいけないのか再考すると共に、制度として定着させるには如何なる方法があるのか、又、ロータリアンとしての関わり方と支援のあり方についても、更に議論を継続していくことが大切だと述べられ、このフォーラムの講評とされました。



2011～2012年度 IM第8組報告

大阪帝塚山RC 会長 西尾良一
IM実行委員長 泉 博朗

テーマ：「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」

- 西郷南洲翁遺訓を通して

西郷隆盛公の高潔性を学ぶ -

ホストクラブ：大阪帝塚山RC

日時：2012年5月12日（土）13：00-16：30

場所：大阪科学技術センター大ホール

出席会員数：161名（会員数317名）

参加クラブ（IM第8組）：

大阪アーバンRC、大阪イブニングRC、大阪咲洲RC、大阪城南RC、大阪天王寺RC、大阪東南RC、大阪平野RC、大阪帝塚山RC

第8組IM開催にあたり、皆様方のご協力に感謝いたします。開催直前に6クラブの合同例会を移動例会として頂き、クラブの負担軽減、クラブ会員の費用負担の軽減、そして何よりも多くの会員の皆様にIMに参加をいただく事を、最重点に考えました結果、泉IM実行委員長の発案の下、このような企画になりました。

本日のテーマは、

「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」

- 西郷南洲翁遺訓を通して

西郷隆盛公の高潔性を学ぶ -

という事で、基調講演は西郷隆盛翁の曾孫にあたる西郷隆文様でございます。演題は「西郷隆盛公の人となり」であります。現在の日本が置かれている状況は、外交では外圧にさらされ、経済活動では大手企業が苦戦を強いられ、政治の世界では互いに足の引っ張り合いで、重要法案も土俵にすら載せられず、国内の一番大事な関心事の震災復興、原発事故処理が遅々として進まず、ただ時間を無駄にしているように感じます。



パネル・ディスカッションでは、「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」をテーマとし、パネリストは西郷隆文氏（西郷隆盛公奉賛会理事長、隆盛公曾孫）

島津義秀氏（島津義弘公奉賛会理事長、加治木島津家13代当主）

竹川修司（大阪帝塚山RC次期会長）の3名の方々進行役は 泉 博朗（IM実行委員長）で進めさせて頂きました。

江戸末期は今の日本の状況と酷似していると思われる中で、我々が如何にすべきかを島津斉彬公、西郷隆盛公の考え方、そして薩摩に伝わる「郷中教育」について研修させていただきました。

郷中教育の教え

・うそをいうな ・負けるな ・弱い者をいじめるな
島津いろは歌

いにしへの 道を聞いても唱へても わが行いに
せずば かいなし

西郷隆盛公 漢詩「感懐」

幾たびか辛酸を経て 志始めて堅し

丈夫玉碎して軛全を愧ず

一家の遺事人知るや否や

児孫の為に美田を買わず

最後になりましたが、多数の地区役員の皆様方、ご出席をいただいた会員の皆様方、あらためまして心より感謝申し上げます。

（講演ならびにパネル・ディスカッションの記録画に若干の残りがございますのでご希望の方は大阪帝塚山RC事務局までお申し込み願います。なくなりました場合はご容赦願います。）



仙台復興支援 ふれあいコンサート報告

会 長 朱 明 義 (茨木 RC)

震災後、弊クラブは緊急的な物資供給支援をはじめ、姉妹・友好クラブと手を携え、また第2660地区のご指導のもと多種の基金を運用させていただきながら、被災地に対する支援を連綿と行ってまいりました。

本年度の弊クラブの方針は、他の事業を極力控え東日本の復興支援に特化するものです。その方針の立脚した、いわば総決算と位置付ける事業が、今回の「仙台復興支援ふれあいコンサート」でした。

緊急的な支援が一段落し、支援に対する思いが風化したかの報道が取りざたされる昨今、弊クラブにとって、この時期に被災者の方々のメンタルケアのための支援事業を行うことが有意義であると確信し、実施に至りました。

事業を計画するにあたり、メインの大規模コンサートを軸に、いくつかのミニコンサートを行うプランを立てましたが、実施前の現地視察を経て、プランの変更を致しました。それは、大きなイベントに赴くことができず、仮設住宅に引きこもっておられる方々が多数いらっしゃることを知ったからです。住宅のドアをノックしてお声掛けを致し、茨木ロータリー会員が一人でも多くの方々と直に接し共にコンサートを楽しみ元気になる、そんな空間こそが、森 祐理さんのコンサートの内容にはふさわしいと考えました。

成果は、数字だけで表せるものとは思いませんが、量的には準備した会場が全ていっぱいになる盛況でした。それには、弊クラブ会員が仙台青葉・台北西北両ロータリー会員とともに、お一人お一人お声掛けをした賜です。とにかくコンサートの場においてさえ頂ければ、絶対に喜んでもらえるかと確信して、一軒一軒、沢山のドアをノックしました。

この事業の成果というものは、触れ合った被災者の方々が、これから力強く前に一歩進みだしてもらえるかに尽きると思います。

私たちは、この段階で本年度の支援活動が成功だと安穩に思うことは出来ません。

既に次年度の、新たな支援活動に着手しているところです。

この支援活動を終わられる日がいつ来るのだろうか...と改めて感じた今回の事業でしたが、いつの日か支援活動が終わる日、すなわち被災地が元気を取り戻し、被災者の方々が自分たちの手で復興を成される日を願いつつ、弊クラブは支援を続けなければならないとメンバー一同、気持ちを新たに致した次第です。

最後になりますが、仙台青葉ロータリークラブには、企画段階から多大なるご協力を頂き感謝の意に

堪えません。今後も、情報交換をしながら協力体制の下、今後の支援活動を行う所存です。

< 事業内容 >

東北少年院 3月2日(金)13:30~14:30
院生30名、教官20名、茨木RC10名、仙台青葉RC6名

荒井小学校用地仮設住宅 3月2日(金)15:30~17:00
参加者54名、茨木RC10名、仙台青葉RC6名

箱塚屋敷仮設住宅 3月3日(土)10:00~11:30
参加者52名、茨木RC12名、仙台青葉RC8名
台北西北RC2名

箱塚桜団地仮設住宅 3月3日(土)13:00~14:30
参加者38名、茨木RC14名、仙台青葉RC8名
台北西北RC2名

若林日辺グラウンド仮設住宅
3月3日(土)15:30~16:30
参加者48名、茨木RC14名、仙台青葉RC14名
台北西北RC2名

名取市内関上朝市訪問 3月4日(日)9:00~9:30
茨木RC14名、仙台青葉RC7名、台北西北RC2名

石巻十三浜相川復興祭 3月4日(日)11:45~12:30
参加者140名、茨木RC13名、仙台青葉RC5名




当年度タイで開催されました国際大会に当地区より300名を超える会員の方々のご参加をいただきました事に対しましてお礼申し上げます。そして、5月9日本会議場において当地区は表彰の対象となり、RIから全世界532地区の中より上位15地区の中に見事選ばれ表彰を受けることが出来ました。地区の表彰には、R財団への寄付に関して1つの要素、並びに会員増強に関連する4つの要素が対象とされ、全要件を満たしたことにより表彰状を贈られました。

この表彰は、第2660地区全会員のご協力があればこそ達成出来たものであります。ここに地区内全会員にご報告申し上げますと共に、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

合掌

2011-12年度 会長賞



2011-12年度会長賞
表彰状

受賞ロータリー地区

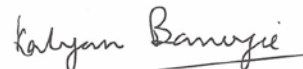
DISTRICT 2660

貴地区は会員増強とロータリー財団に関して
以下の卓越した実績を残されました


年次プログラム基金に対し一人当たり平均100米ドル以上の寄付を達成
年次プログラム基金への寄付に100%のクラブが参加
クラブの75%において少なくとも85%の会員維持率を保持
少なくとも1つの新クラブを結成
会員数25名未満のクラブを5%減少

ロータリー世界で上位15 地区

よってここに会長賞を贈り感謝の意を表します



カルヤン・バナールジー
国際ロータリー会長





タイ・バンコク 国際大会に参加して

永田 藤夫 (大阪城南 RC)

本年度の国際大会はタイのバンコクで5月2日から9日まで8日間開催されました。私達は大阪城南RCのメンバーを中心に、大阪帝塚山RC等の方々とジョイントし、総勢25名で参加をしてみました。

5月6日、早朝 午前6時から約1時間半、バンコクを中心街から東方へ約30分のインペリアル・クイーンズ・パークホテルの3階大会場において開催の『日本人朝食会』へ、私達第2660地区からは、岡部Gをはじめ小島AGを含め総勢304名が出席し、日本全国各地からご出席の多数のロータリアンの方々とお会いでき、相互の知己と友情を確認しました。井上PGの司会のもと、近藤RI理事の開会挨拶、元RI理事の千 玄室氏や多数の海外の役員の方々をはじめRI会長エレクトの田中作次氏も演壇に立たれました。

同日の6日、バンコク市内から北西のインパクト・センターの大会議場で『本会議』が開催され、世界各地から多数のロータリアンの出席をみました。当日は出席者が多数のため、3回に分けての開催で、私達は開催時間までの間、友愛の広場を見学の後、第2回

目開催(3:30PM~6:30PM)の本会議に出席をしました。本会議の冒頭に、タイ王国のチュラポン王女が来賓として出席され、タイ国挙げての歓迎のもと、カルヤン・パネルジーRI会長の開会挨拶から本会議は始まりました。

公式行事は5月9日まででしたが、今回、最終日の9日に当地区岡部GがRI会長賞を受賞され、第2660地区にとりましても名誉なことでありました。

私達は公式行事以外に、今回の国際大会に出席した姉妹クラブの『香港島東RC』と5月7日、バンコク市内から北方のデュシタニ・ホテルのレストランを借りきって、6:00PMからジョイント・ディナー・ミーティングを開催いたしました。その席に香港島東RCの姉妹クラブである『マレーシアのペナンRC』および『フィリピンのマカティ・ノースRC』のロータリアン26名が合流、合計59名の大夕食会となり、相互のバナーの交換や楽しい歓談、写真撮影などを含め、和気あいあいで大いに盛り上がり、時の経つのも忘れ延々3時間の素晴らしい国際交流の良い機会を経験し、5月9日、無事帰国しました。





災害支援プロジェクト報告(第12回)

災害支援プロジェクト

委員長 井上 暎 夫(千里RC)

5月7日現在の寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の寄付金残高を報告いたします。

いよいよ私の任期も残り実質1ヶ月となり、次年度は岡部ガバナーに委員長を引き継ぐこととなりました。今回は特に大きな支援活動は地区内クラブからは出ておりません。寄付金の残高も240万円余り(使用先決定済み)であり、支援活動も限られます。災害支援プロジェクトの最終報告は7月に入りましてから支援活動を行われた各クラブからの報告書を一冊にまとめたものをお送り申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2012年5月7日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港))	197,600	松本年度の繰越し 大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン)	12,060	松本年度の繰越し 大阪東RC
3	大東中央RC	454,200	松本年度の繰越し
4	摂津RC	184,657	松本年度の繰越し
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	I M第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねざきRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	利息	2,738	
33	大阪東南RC	500,000	
34	大阪城南RC	15,423	
35	大阪城東RC	30,979	
36	ロータリー研究会実行委員会	36,025	ロータリー研究会寄付
37	地区内37RC	6,255,704	トラック寄贈案件
38	大阪城南RC	31,600	
39	新大阪RC	300,000	漁民センター支援案件
	合 計	24,436,589	

(口) 地区基金申請案件承認状況(2012年5月7日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ロータークラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守口イブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡プレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
31	大阪イブニングRC	冷蔵設備寄贈	1,884,120	1,684,120
32	大阪うつぼRC	情報誌に協賛	500,000	250,000
33	茨木西RC	寝具寄贈	3,000,000	1,200,000
34	摂津RC	学校用備品寄贈	2,119,908	500,000
35	大阪東淀ちゃやまちRC	発電機寄贈	945,000	695,000
36	茨木RC	ふれあいコンサート支援	753,500	553,500
37	高槻RC	浄水器寄贈	5,974,500	1,300,000
38	大東中央RC	図書・備品寄贈	1,511,441	800,000
39	大阪リバーサイドRC	布団乾燥機寄贈	2,820,000	1,310,000
40	委員会主導4	ユニック付トラック寄贈	7,500,000	1,244,296
41	千里RC	フォークリフト寄贈	2,081,950	1,530,950
42	大阪柏原RC	ソーラー街灯寄贈	2,100,000	700,000
		合計	103,526,006	36,037,200

(2) 現在の地区寄付金残高(5月7日現在)

直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
地区内36クラブへ返金		37,224,413円
地区内46クラブから預けられた額(-)		35,621,098円
地区内クラブからの寄付金	39件	24,436,589円
地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	42件	36,037,200円
2520地区 支援金		10,000,000円
2530地区 支援金		5,000,000円
送金手数料		34,200円
地区大会募金箱(北上西RCへ送金)		69,472円
地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭(RI第2520地区へ送金)		189,394円
大船渡市漁業協同組合ユニック付大型中古トラック寄贈案件支援金(37RC分)		6,255,704円
地区寄付金残高(+)-(+ + + + +)		2,471,717円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2012年3月末	全国寄付金合計額	1,087,298,219円 (前年度比1.41%減)
"	第2660地区寄付金合計額	64,908,386円 (前年度比2.23%増)
2012年3月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	78,354,975円
	2. 第2660地区	64,908,386円
	3. 第2750地区	61,188,050円
	4. 第2590地区	58,230,500円
	5. 第2760地区	56,913,501円
	6. 第2770地区	50,172,000円
	7. 第2580地区	50,010,267円
	8. 第2820地区	38,570,020円
	9. 第2710地区	38,013,508円
	10. 第2780地区	37,745,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。

(2012年3月)

氏名	回数	クラブ名
三好 千代子	2回目	茨木RC
中津 敏子	1回目	大阪-淀川RC
福井 宏有	3回目	大阪-淀川RC
長谷川 孝	2回目	大阪南RC
赤松 昭次	1回目	大阪東南RC
木田 吉男	1回目	大阪東南RC
草野 孝文	1回目	大阪東南RC
和田 光博	1回目	大阪東南RC
吉森 正浩	1回目	大阪東南RC
松井 研次	2回目	大阪東南RC
山崎 正博	2回目	大阪東南RC
山路 昌彦	3回目	大阪東南RC
大塚 忠重	4回目	大阪東南RC
橋本 友三	4回目	大阪東南RC
網本 浩幸	4回目	大阪東南RC
福本 保治	1回目	大阪城南RC
尾崎 敬則	2回目	大阪城南RC
杉原 茂	4回目	大阪城南RC
片山 勝彦	5回目	大阪城南RC
田邊 雅史	1回目	大阪天王寺RC
羽賀 順一	1回目	大阪天王寺RC
鈴木 勲	1回目	大阪天王寺RC

氏名	回数	クラブ名
河野 利紘	2回目	大阪天王寺RC
南部 高志	3回目	大阪天王寺RC
坂本 好男	4回目	大阪天王寺RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。

(2012年3月)

クラブ名	回数
大阪東南RC	27回目
大阪城南RC	38回目
大阪天王寺RC	50回目
大阪南RC	81回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012)

大矢 克巳	大東 RC	3月
田川 和見	大東 RC	3月
橋本 正幸	大東 RC	3月
神寶 敏夫	大阪梅田 RC	3月
谷村 満智子	大阪平野 RC	3月
榎本 桂子	寝屋川 RC	3月
出橋 恒仁	寝屋川 RC	3月
辻本 容治	寝屋川 RC	3月
田邊 司郎	寝屋川 RC	3月
岡田 光司	寝屋川 RC	3月
永井 一弘	寝屋川 RC	3月
松下 繁生	寝屋川 RC	3月
前田 浩輝	寝屋川 RC	3月
串田 ゆか	寝屋川 RC	3月
峯 真貴子	大阪そねざき RC	3月
片淵 正一	大阪天王寺 RC	3月
岡本 雄介	大阪大手前 RC	3月
久保 友志郎	大阪大手前 RC	3月
木村 節三	大阪大手前 RC	3月
高良 尚志	大阪天満橋 RC	3月
西浦 司	大阪天満橋 RC	3月
清水 大吾	吹田西 RC	3月
長屋 興	吹田西 RC	3月
紙谷 幸弘	吹田西 RC	3月
伊藤 泰充	吹田西 RC	3月
仲田 裕行	高槻 RC	3月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2012)

大西 寛治	大東 RC	3月
水崎 勝	寝屋川 RC	3月
大和田 雅江	大東中央 RC	3月
在本 茂	大阪天満橋 RC	3月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012)

樋口 秀和	3回目	大東 RC	3月
角井 吉彦	3回目	大東 RC	3月
大橋 秀典	2回目	東大阪東 RC	3月
佐治 信隆	1回目	守口 RC	3月
内海 閑一郎	2回目	大阪梅田 RC	3月
吉崎 広江	1回目	東大阪東 RC	3月
森本 光	1回目	箕面中央 RC	3月
野村 正勝	3回目	箕面中央 RC	3月
浦川 光雄	3回目	箕面中央 RC	3月
尾崎 敬則	1回目	大阪城南 RC	3月
川西 津音夫	1回目	大東中央 RC	3月
畑山 勇	1回目	寝屋川 RC	3月
高浪 宣昭	2回目	大阪そねざき RC	3月
片本 邦	2回目	大阪そねざき RC	3月
上田 稚子	1回目	大阪そねざき RC	3月
吉岡 宏之	1回目	大阪天王寺 RC	3月
吉田 章男	1回目	大阪天王寺 RC	3月
若宮 邦弘	1回目	大阪天王寺 RC	3月
津留 正孝	1回目	大阪天王寺 RC	3月
高森 隆	1回目	大阪天王寺 RC	3月
高見 篤志郎	1回目	大阪天王寺 RC	3月
杉本 源衛	1回目	大阪天王寺 RC	3月
新屋 正富	1回目	大阪天王寺 RC	3月
西埜 毅	1回目	大阪天王寺 RC	3月
松井 隆雄	1回目	大阪天王寺 RC	3月
家田 成夫	2回目	大阪天王寺 RC	3月
平尾 一平	1回目	大阪天王寺 RC	3月
花田 力	2回目	大阪天王寺 RC	3月
古池 幹郎	1回目	大阪天王寺 RC	3月
浮舟 邦彦	4回目	大阪鶴見 RC	3月
発 剛士	6回目	大阪鶴見 RC	3月
中村 健輔	2回目	大阪天満橋 RC	3月
松宮 清隆	2回目	大阪天満橋 RC	3月
木村 忠夫	1回目	大阪天満橋 RC	3月
金田 五郎	1回目	大阪天満橋 RC	3月
林 邦彦	1回目	大阪西 RC	3月
鈴木 基弘	3回目	吹田西 RC	3月
松尾 浩	2回目	高槻 RC	3月

文庫通信 (296号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

日本の先輩ロータリアンのロータリー観

「さわやかインタビュー 人間米山梅吉を大いに語る(その1~3)」

湯浅恭三・杉谷武雄 米山記念奨学会 1986 [22p]

「大夢翁 土屋元作伝 第一章・第二章」 日出RC編 1996 24p

「『奉仕の理想の意味』 ポール・ハリス 『角砂糖クラブとこんぺい糖クラブ』 齊木亀治郎
『常識の意味』 米山梅吉」 辻 忠夫編 D.268 1991 3p (ロータリー百話)

「ロータリー・ニュースとガバナー昔話」 直木太一郎 神戸RC 1975 79p

「ロータリー・ニュース 1981年~83年」 直木太一郎 神戸RC 1983 99p

「前原ガバナー講話集」 D.355 - - 87p

[上記申込先：ロータリー文庫]

「ロータリアン福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」 蒲原権 編 有田RC 1986 102p

[申込先：有田RC FAX(0955)43-3140]

「ロータリーの本」 森 光繁 今治RC 1978 126p

[申込先：今治RC FAX(0898)22-3952]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時 ~ 午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

2012年4月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	4月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減 数	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	4月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減 数	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率																			
			全員	女性										累計	累計							全員	女性	累計	累計															
I M 第1組	池田	38	37	3	1	2	-1	4	68.10	64.29	I M 第5組	大阪中央	50	52	6	6	4	2	4	90.38	77.38																			
	池田くれは	29	29	2	1	1	0	4	85.20	75.58		大阪堂島	30	32	1	4	2	2	4	82.81	82.81																			
	箕面	27	24	1	0	3	-3	4	82.50	77.84		大阪北	189	197	0	13	5	8	4	77.07	66.20																			
	箕面中央	23	24	0	2	1	1	3	78.10	75.70		大阪北梅田	49	51	3	3	1	2	4	73.04	60.29																			
	豊中	44	45	3	3	2	1	4	84.82	66.61		大阪西	71	70	0	3	4	-1	4	86.33	77.20																			
	豊中南	31	31	2	2	2	0	3	83.51	71.36		大阪大淀	53	54	0	4	3	1	4	82.67	74.75																			
	豊中 - 大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	4	62.76	54.47		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	4	84.23	71.54																			
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	4	91.43	88.57		大阪西北	54	56	0	4	2	2	4	91.81	80.08																			
	小計	247	247	14	12	12	0		79.55	71.80		大阪そねざき	34	38	24	6	2	4	4	95.17	86.92																			
													大阪梅田	36	31	0	1	6	-5	4	81.30	75.93																		
I M 第2組	茨木	26	26	4	1	1	0	4	96.88	80.80	大阪梅田東	32	32	0	1	1	0	4	85.15	78.12																				
	茨木東	41	41	4	1	1	0	4	87.55	74.50	大阪エニバーサルシティ	28	29	4	1	0	1	4	82.69	74.04																				
	茨木西	29	28	6	0	1	-1	4	83.93	66.82	小計	661	677	43	47	31	16		84.39	75.44																				
	千里	38	36	0	2	4	-2	4	93.06	82.62	大阪	258	264	0	19	13	6	3	75.20	59.41																				
	千里メイプル	26	23	2	1	4	-3	4	90.00	82.22	大阪東	117	121	0	8	4	4	4	94.56	80.68																				
	摂津	38	40	0	2	0	2	4	96.56	74.14	大阪東淀ちゃやまち	31	31	3	2	2	0	3	82.61	76.81																				
	吹田	61	60	6	1	2	-1	4	97.29	90.57	大阪城東	47	44	5	1	4	-3	4	86.76	80.46																				
	吹田江坂	39	38	3	1	2	-1	4	95.02	81.52	大阪中之島	27	30	2	4	1	3	4	96.66	79.99																				
	吹田西	48	49	2	1	0	1	4	100.00	85.92	大阪大手前	38	38	3	1	1	0	4	86.81	75.01																				
	高槻	45	47	5	4	2	2	4	92.08	74.65	大阪城北	55	53	2	2	4	-2	4	80.30	77.31																				
高槻東	39	38	0	0	1	-1	4	95.26	89.68	大阪天満橋	67	65	0	1	3	-2	4	88.14	81.66																					
高槻西	23	22	0	1	2	-1	4	100.00	81.81	大阪鶴見	32	35	0	3	0	3	4	87.05	79.45																					
小計	453	448	32	15	20	-5		93.97	80.44	大阪-淀川	34	33	3	2	3	-1	4	93.93	80.81																					
I M 第3組	大東	43	45	0	4	2	2	4	100.00	81.10	新大阪	35	36	0	2	1	1	4	83.79	79.73																				
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	4	89.11	77.52	小計	741	750	18	45	36	9		86.89	77.39																				
	枚方	41	40	0	2	3	-1	4	91.22	80.41	大阪フレンド	12	21	3	9	0	9	3	81.47	68.70																				
	門真	30	34	5	6	2	4	4	84.53	77.05	大阪本町	26	25	2	1	2	-1	4	97.73	88.64																				
	交野	34	33	1	1	2	-1	4	77.82	72.90	大阪御堂筋	34	35	0	2	1	1	4	85.94	74.22																				
	香里園	17	14	0	0	3	-3	4	100.00	89.40	大阪南	132	143	0	16	5	11	4	84.14	74.57																				
	くずは	56	56	0	2	2	0	4	71.30	62.17	大阪難波	44	48	0	7	3	4	3	96.95	77.78																				
	守口	44	43	3	2	3	-1	4	87.19	74.97	大阪なにわ	28	26	2	1	3	-2	4	82.68	75.95																				
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	4	81.73	68.27	大阪南西	16	17	3	1	0	1	4	82.61	79.36																				
	寝屋川	39	39	5	1	1	0	3	92.98	74.56	大阪西南	86	97	17	14	3	11	4	98.91	75.52																				
四條畷	12	13	0	1	0	1	4	82.77	82.77	大阪船場	41	41	0	0	0	0	4	96.00	90.00																					
小計	370	370	28	20	20	0		87.15	76.47	大阪心斎橋	38	38	0	1	1	0	3	96.48	88.28																					
I M 第4組	東大阪	66	69	0	6	3	3	4	86.20	80.39	大阪うつぼ	33	34	4	2	1	1	4	95.60	81.92																				
	東大阪中央	36	36	0	2	2	0	4	93.94	88.54	小計	490	525	31	54	19	35		90.77	79.54																				
	東大阪東	64	60	4	4	8	-4	4	81.08	70.95	大阪平野	37	35	4	1	3	-2	4	91.13	71.75																				
	東大阪みどり	27	26	1	2	3	-1	4	88.46	75.00	大阪イブニング	16	16	3	1	1	0	4	89.06	70.31																				
	東大阪西	35	34	0	0	1	-1	4	96.46	71.71	大阪城南	55	53	0	0	2	-2	4	99.49	86.56																				
	大阪柏原	30	29	2	0	1	-1	4	93.60	88.94	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	89.48	69.73																				
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	62.00	44.00	大阪天王寺	60	58	0	0	2	-2	4	89.06	83.30																				
	八尾	73	71	0	4	6	-2	4	95.86	62.49	大阪帝塚山	58	58	4	3	3	0	4	81.52	68.40																				
	八尾中央	19	21	1	4	2	2	4	88.13	83.74	大阪東南	50	50	0	1	1	0	4	94.00	68.00																				
	八尾東	23	24	2	3	2	1	4	76.61	66.79	大阪アーバン	0	28	9	30	2	28	4	70.83	67.50																				
小計	390	387	16	25	28	-3		86.23	73.26	小計	295	317	21	36	14	22		88.07	73.19																					
合計	クラブ数											クラブ数																												
	83	3647	3721	203	254	180	74		87.1	75.9																														

< お知らせ >

東大阪西RC事務所移転

移転日：2012年4月27日（金）

新住所：〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-8-21 オルグ上町502

TEL 06-6775-5111 / FAX 06-6775-5112

電話、FAX、E-mailアドレスの変更はありません。

茨木東RC事務所移転

移転日：2012年5月28日（月）

新住所：〒567-0881 大阪府茨木市上中条一丁目9番20号

茨木商工会議所 3階

TEL 072-627-5753 / FAX 072-623-9902

E-mail: ierotary@beach.ocn.ne.jp

電話、FAX、E-mailアドレスの変更はありません。

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

古川信義 会員

(大阪城東RC)

2012年4月17日逝去(享年80歳)

幹事、会計、ロータリー財団委員長、出席・親睦活動委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

杉本全司 会員

(吹田江坂RC)

2012年4月22日逝去(享年79歳)

会長、理事、米山奨学委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長
奉仕活動委員長、地区規定情報委員、地区クラブ奉仕委員

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

尾崎弘昌 会員

(東大阪中央RC)

2012年4月28日逝去(享年89歳)

会長、ロータリー情報委員会委員長、クラブ奉仕委員会委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小林則夫 会員

(大阪西北RC)

2012年5月13日逝去(享年73歳)

幹事、会員選考委員長、SAA、親睦活動委員長、出席委員長、
職業奉仕委員長、米山奨学会委員長、クラブ奉仕委員長

米山功労者(マルチプル)

ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所に必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	納多	寿恵子

休日

土曜、日曜、祝日

夏期

2012年8月11日(土)～16日(木)

年末年始

2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

ホームページアドレス

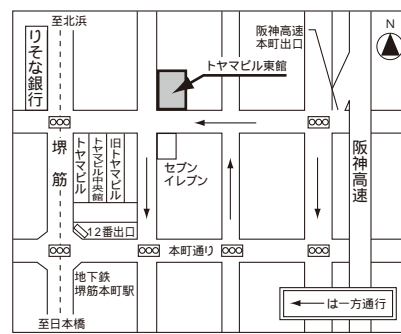
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

勤務時間

9:30～17:00



地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp